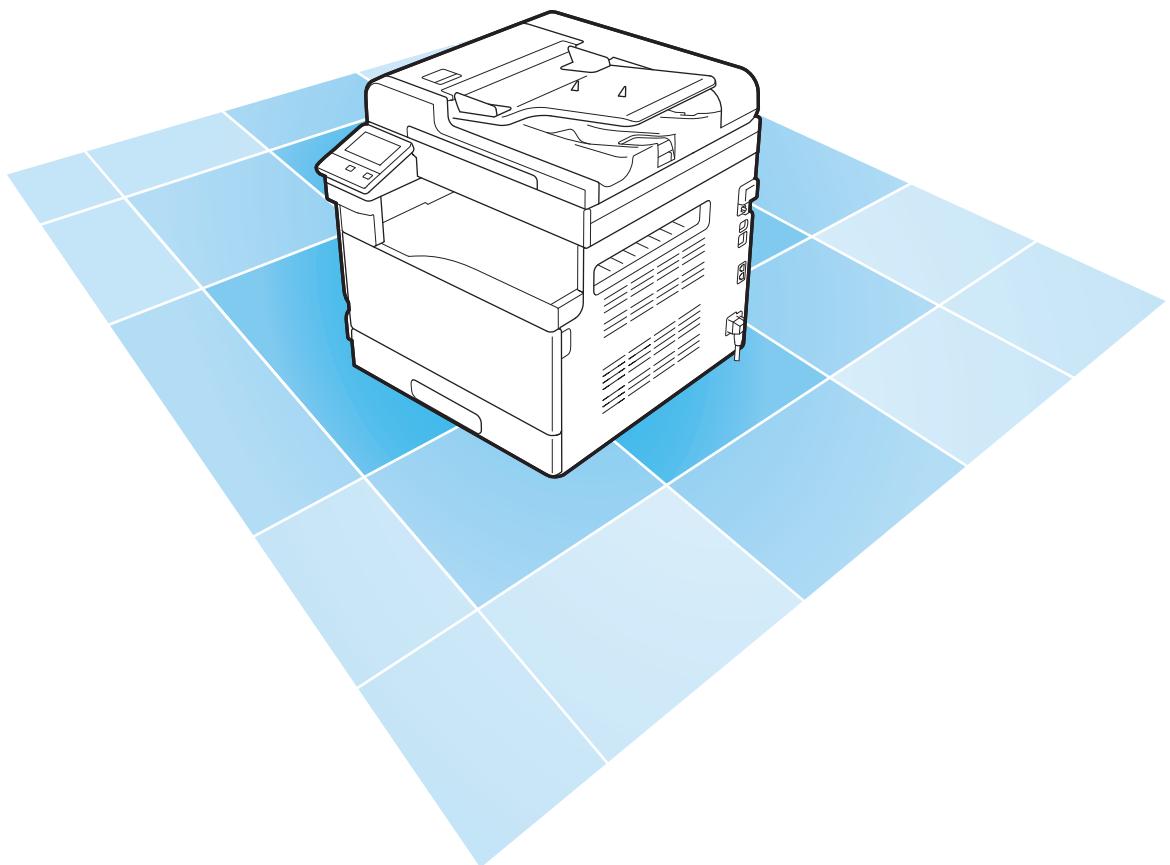


# ColorMultiWriter 600F

カラープリンタ複合機



## ユーザーズマニュアル

AdobeおよびPhotoshopは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。Internet Explorer、Microsoft、Microsoft Edge、OneDrive、SharePoint、Windows、およびWindows Serverは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Bonjour、iPad、iPhone、Mac、macOS、OS X、およびAirPrintは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。Android、Google、Google Chrome、Google Cloud Print、Google Drive、およびGoogle Playは、Google Inc.の登録商標または商標です。OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。

この取扱説明書のなかで  と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行なう前にお読みいただき、指示をお守りください。

本機には偽造防止機能が搭載されているため、まれに原稿によっては適切なコピーやスキャンデータが得られないことがあります。

コンピューターウィルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したもので、なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

#### ご注意

- 1本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- 2本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 3本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- 4本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- 5本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

NEC、NECロゴは、日本電気株式会社の登録商標です。

DocuWorks、MULTIWRITERおよびCentreWare は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

# はじめに

このたびはColor MultiWriter 600F（以降、本機と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書には、本機の操作方法および使用上の注意事項を記載しています。本機の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムなどに付属の説明書をお読みください。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。本機をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読みなおしてご活用いただけます。

日本電気株式会社

# 目次

|   |    |
|---|----|
| はじめに .....                              | 3  |
| <b>1 お使いいただく前に ..... 10</b>             |    |
| 1.1 マニュアル体系 .....                       | 11 |
| 1.1.1 本機に付属するマニュアル .....                | 11 |
| 1.1.2 オプション製品に付属するマニュアル .....           | 11 |
| 1.2 本書の使いかた .....                       | 12 |
| 1.2.1 本書の構成 .....                       | 12 |
| 1.2.2 本書の表記 .....                       | 13 |
| 1.3 こんな機能があります .....                    | 14 |
| 1.4 各部の名称 .....                         | 17 |
| 1.4.1 正面／左側面／右側面／背面／内部 .....            | 17 |
| 1.4.2 自動両面原稿送り装置 .....                  | 19 |
| 1.4.3 操作パネル .....                       | 20 |
| <b>2 本機のセットアップ ..... 21</b>             |    |
| 2.1 電源について .....                        | 22 |
| 2.1.1 電源を入れる .....                      | 22 |
| 2.1.2 電源を切る .....                       | 22 |
| 2.2 本機をコンピューターと接続する .....               | 23 |
| 2.2.1 概要 .....                          | 23 |
| 2.2.2 有線 LAN で接続する .....                | 24 |
| 2.2.3 USB で接続する .....                   | 25 |
| 2.2.4 無線 LAN で接続する .....                | 25 |
| 2.2.5 IP アドレスを設定する .....                | 29 |
| 2.2.6 Windows® 用のソフトウェアをインストールする .....  | 32 |
| 2.2.7 Mac 用のソフトウェアをインストールする .....       | 35 |
| 2.2.8 Linux 用のプリンタードライバーをインストールする ..... | 44 |
| <b>3 本機の基本操作 ..... 45</b>               |    |
| 3.1 操作パネルを使用する .....                    | 46 |
| 3.1.1 ホーム画面について .....                   | 46 |
| 3.1.2 タッチパネルディスプレイの基本操作 .....           | 48 |
| 3.1.3 ホーム画面をカスタマイズする .....              | 49 |
| 3.1.4 文字を入力する .....                     | 53 |
| 3.1.5 パネル操作を制限する .....                  | 54 |
| 3.1.6 ユーザーごとに機能の利用を制限する .....           | 57 |
| 3.2 節電機能について .....                      | 58 |
| 3.2.1 節電状態に移行する .....                   | 58 |
| 3.2.2 節電機能の種類 .....                     | 58 |
| 3.2.3 節電状態に移行する時間を変更する .....            | 58 |
| 3.2.4 節電状態から復帰する .....                  | 59 |
| 3.3 ジョブを確認する .....                      | 60 |
| 3.3.1 ジョブの実行状況を確認する .....               | 60 |
| 3.3.2 実行待ちのジョブを中止する .....               | 60 |
| 3.3.3 本機に保存されているジョブを出力または削除する .....     | 61 |
| 3.4 用紙について .....                        | 62 |
| 3.4.1 弊社が推奨する用紙 .....                   | 62 |
| 3.4.2 各トレイで使用できる用紙質量と枚数 .....           | 62 |
| 3.4.3 各トレイで使用できる用紙 .....                | 63 |
| 3.4.4 用紙の保管と取り扱い .....                  | 66 |

|          |  |            |
|----------|--|------------|
| 3.5      | 用紙をセットする .....                           | 67         |
| 3.5.1    | トレイ 1、トレイ 2 に用紙をセットする .....              | 67         |
| 3.5.2    | トレイ 5 (手差し) に用紙をセットする .....              | 69         |
| 3.5.3    | はがきをセットする .....                          | 71         |
| 3.5.4    | 封筒をセットする .....                           | 72         |
| 3.6      | 原稿をセットする .....                           | 74         |
| 3.6.1    | 自動両面原稿送り装置にセットする .....                   | 74         |
| 3.6.2    | 原稿ガラスにセットする .....                        | 76         |
| <b>4</b> | <b>プリント .....</b>                        | <b>78</b>  |
| 4.1      | コンピューターからプリントする .....                    | 79         |
| 4.1.1    | Windows® の場合 .....                       | 79         |
| 4.1.2    | Mac の場合 .....                            | 80         |
| 4.2      | プリントを中止する .....                          | 82         |
| 4.2.1    | 操作パネルで中止する .....                         | 82         |
| 4.2.2    | コンピューターで中止する .....                       | 82         |
| 4.3      | カラープリントジョブを白黒でプリントする .....               | 83         |
| 4.4      | 蓄積プリント機能を使う (Windows®) .....             | 84         |
| 4.4.1    | セキュリティープリントする .....                      | 84         |
| 4.4.2    | サンプルプリントする .....                         | 86         |
| 4.5      | はがきや封筒にプリントする .....                      | 87         |
| 4.5.1    | はがきにプリントする .....                         | 87         |
| 4.5.2    | 封筒にプリントする .....                          | 89         |
| <b>5</b> | <b>コピー .....</b>                         | <b>92</b>  |
| 5.1      | コピーする .....                              | 93         |
| 5.1.1    | コピーの基本操作 .....                           | 93         |
| 5.1.2    | いろいろなコピー機能 .....                         | 95         |
| 5.2      | IDカードをコピーする .....                        | 103        |
| 5.2.1    | IDカードコピーの基本操作 .....                      | 103        |
| 5.2.2    | いろいろな IDカードコピーの機能 .....                  | 105        |
| <b>6</b> | <b>スキャン .....</b>                        | <b>110</b> |
| 6.1      | 概要 .....                                 | 111        |
| 6.2      | 本機の操作パネルを使ってスキャンする .....                 | 112        |
| 6.2.1    | スキャンしたデータをコンピューターに保存する .....             | 112        |
| 6.2.2    | スキャンしたデータをメールで送信する (スキャナー (メール送信)) ..... | 128        |
| 6.3      | コンピューターからスキャンする .....                    | 138        |
| 6.3.1    | Windows® の場合 .....                       | 138        |
| 6.3.2    | Mac の場合 .....                            | 146        |
| <b>7</b> | <b>ファクス .....</b>                        | <b>147</b> |
| 7.1      | ファクスする .....                             | 148        |
| 7.1.1    | ファクスを送信する .....                          | 148        |
| 7.1.2    | ファクスを受信する .....                          | 153        |
| 7.1.3    | いろいろなファクス機能 .....                        | 157        |
| 7.2      | コンピューターからファクスを送信する (ダイレクトファクス) .....     | 163        |
| 7.2.1    | Windows® の場合 .....                       | 163        |
| 7.2.2    | Mac の場合 .....                            | 164        |
| <b>8</b> | <b>スマートフォン/タブレットからのプリント、スキャン .....</b>   | <b>167</b> |
| 8.1      | 本機をスマートフォン/タブレットと接続する .....              | 168        |
| 8.1.1    | Wi-Fi で接続する .....                        | 168        |
| 8.1.2    | Wi-Fi Direct で接続する .....                 | 169        |

|          |                                    |            |
|----------|------------------------------------|------------|
| 8.2      | Print Utilityを使ってプリント、スキャンする ..... | 173        |
| 8.3      | その他のサービスを利用する .....                | 174        |
| 8.3.1    | AirPrint.....                      | 174        |
| 8.3.2    | Google クラウド プリント .....             | 176        |
| <b>9</b> | <b>本体設定を変更する .....</b>             | <b>180</b> |
| 9.1      | 本機の設定メニューについて .....                | 181        |
| 9.2      | [言語設定] .....                       | 194        |
| 9.3      | [機器情報] .....                       | 195        |
| 9.4      | [レポート/リスト] .....                   | 196        |
| 9.4.1    | レポート/リストを出力する .....                | 197        |
| 9.5      | [トレイ設定] .....                      | 198        |
| 9.5.1    | [手差しトレイ] .....                     | 198        |
| 9.5.2    | [トレイ 1] .....                      | 198        |
| 9.5.3    | [トレイ 2] .....                      | 199        |
| 9.5.4    | [トレイの優先順位] .....                   | 199        |
| 9.6      | [消耗品] .....                        | 200        |
| 9.7      | [メーター] .....                       | 201        |
| 9.8      | [一般] .....                         | 202        |
| 9.8.1    | [日付と時刻の設定] .....                   | 202        |
| 9.8.2    | [画面の明るさ] .....                     | 202        |
| 9.8.3    | [サウンド] .....                       | 202        |
| 9.8.4    | [NFC] .....                        | 203        |
| 9.8.5    | [状態表示ランプ(青)] .....                 | 204        |
| 9.8.6    | [節電設定] .....                       | 204        |
| 9.8.7    | [タイマー] .....                       | 204        |
| 9.8.8    | [ミリ / インチ切替] .....                 | 204        |
| 9.8.9    | [原稿サイズ検知切替] .....                  | 204        |
| 9.8.10   | [原稿ガイド位置の確認] .....                 | 205        |
| 9.8.11   | [出力用紙サイズの初期値] .....                | 205        |
| 9.8.12   | [ファックス設定] .....                    | 205        |
| 9.8.13   | [メール設定] .....                      | 209        |
| 9.9      | [ネットワーク設定] .....                   | 210        |
| 9.9.1    | [Wi-Fi] .....                      | 210        |
| 9.9.2    | [Wi-Fi Direct] .....               | 212        |
| 9.9.3    | [Ethernet] .....                   | 213        |
| 9.9.4    | [プロトコル] .....                      | 214        |
| 9.9.5    | [その他] .....                        | 215        |
| 9.10     | [アプリの初期値] .....                    | 216        |
| 9.10.1   | [コピー設定] .....                      | 216        |
| 9.10.2   | [ファックス設定] .....                    | 218        |
| 9.10.3   | [スキャン設定] .....                     | 218        |
| 9.11     | [セキュリティ設定] .....                   | 221        |
| 9.11.1   | [パネルロック] .....                     | 221        |
| 9.11.2   | [サービスロック] .....                    | 222        |
| 9.11.3   | [ユーザー認証] .....                     | 222        |
| 9.11.4   | [セキュリティーファクス受信] .....              | 223        |
| 9.11.5   | [コピー集計管理] .....                    | 223        |
| 9.11.6   | [プリント集計管理] .....                   | 224        |
| 9.11.7   | [メール送信者の編集] .....                  | 225        |
| 9.11.8   | [送信時の宛先確認] .....                   | 225        |
| 9.11.9   | [メール送信宛先制限] .....                  | 225        |
| 9.11.10  | [ソフトウェアダウンロード] .....               | 226        |
| 9.11.11  | [認証失敗アクセス拒否] .....                 | 226        |

|         |                         |     |
|---------|-------------------------|-----|
| 9.11.12 | [セキュリティ警告の有無] .....     | 226 |
| 9.12    | [メンテナンス] .....          | 227 |
| 9.12.1  | [用紙種類調整] .....          | 227 |
| 9.12.2  | [1 次転写電圧オフセット調整] .....  | 227 |
| 9.12.3  | [2 次転写電圧オフセット調整] .....  | 227 |
| 9.12.4  | [印字位置指定] .....          | 227 |
| 9.12.5  | [カラーレジ調整] .....         | 228 |
| 9.12.6  | [濃度補正] .....            | 228 |
| 9.12.7  | [自動階調補正] .....          | 228 |
| 9.12.8  | [NVM の初期化] .....        | 228 |
| 9.12.9  | [プリント用カウンターの初期化] .....  | 229 |
| 9.12.10 | [蓄積ジョブの削除] .....        | 229 |
| 9.12.11 | [トナーカートリッジ] .....       | 229 |
| 9.12.12 | [高地使用設定] .....          | 229 |
| 9.12.13 | [ジョブ履歴の削除] .....        | 229 |
| 9.13    | [高度な設定] .....           | 230 |
| 9.13.1  | [PCL 設定] .....          | 230 |
| 9.13.2  | [PDF 設定] .....          | 232 |
| 9.13.3  | [USB ポート設定] .....       | 233 |
| 9.13.4  | [コピー設定] .....           | 233 |
| 9.13.5  | [スキャン設定] .....          | 233 |
| 9.13.6  | [出力設定] .....            | 234 |
| 9.13.7  | [トナー残量警告メッセージ] .....    | 235 |
| 9.13.8  | [ドラムカートリッジ寿命時の動作] ..... | 235 |
| 9.13.9  | [ジョブ履歴レポート] .....       | 235 |
| 9.13.10 | [LDAP アドレス帳] .....      | 236 |
| 9.13.11 | [オプションのアプリ] .....       | 236 |

## **10 便利な使いかた ..... 237**

|        |   |     |
|--------|---|-----|
| 10.1   | CentreWare Internet Servicesを使う .....           | 238 |
| 10.1.1 | Web ブラウザーの設定.....                               | 239 |
| 10.1.2 | CentreWare Internet Services を起動する .....        | 240 |
| 10.1.3 | CentreWare Internet Services のセキュリティーについて ..... | 240 |
| 10.2   | 本機に付属するソフトウェアを使う .....                          | 242 |
| 10.2.1 | 概要.....   | 242 |
| 10.2.2 | ソフトウェアをアップデートする .....                           | 246 |
| 10.3   | アドレス帳を使う .....                                  | 247 |
| 10.3.1 | アドレス帳に宛先／グループを登録する.....                         | 247 |
| 10.3.2 | アドレス帳から宛先を指定する.....                             | 249 |
| 10.3.3 | アドレス帳の宛先を編集／削除する .....                          | 249 |
| 10.3.4 | LDAP サーバーのアドレス帳を使用する .....                      | 252 |
| 10.4   | プリント集計管理機能を使う .....                             | 258 |
| 10.4.1 | 概要.....   | 258 |
| 10.4.2 | 登録ユーザーだけにプリントを許可する.....                         | 259 |
| 10.4.3 | 登録ユーザーごとにプリントの利用を制限する.....                      | 264 |
| 10.4.4 | アカウント情報を持たないジョブのプリントを許可する .....                 | 277 |
| 10.4.5 | プリントの利用状況を確認する .....                            | 278 |
| 10.5   | コピー集計管理機能を使う .....                              | 279 |
| 10.5.1 | 概要.....   | 279 |
| 10.5.2 | 登録ユーザーだけにコピーを許可する.....                          | 280 |
| 10.5.3 | 登録ユーザーごとにコピーの利用を制限する .....                      | 283 |
| 10.5.4 | コピー集計管理機能を使う .....                              | 291 |
| 10.5.5 | コピーの利用状況を確認する .....                             | 293 |

|                        |   |            |
|------------------------|---|------------|
| 10.6                   | ユーザー認証機能を使う .....                       | 294        |
| 10.6.1                 | 概要 .....                                | 294        |
| 10.6.2                 | ユーザー認証機能を設定する .....                     | 295        |
| 10.6.3                 | ユーザー認証機能を使う .....                       | 301        |
| 10.7                   | 暗号化機能を使う .....                          | 303        |
| 10.7.1                 | 事前準備をする .....                           | 303        |
| 10.7.2                 | 暗号化機能を設定する .....                        | 310        |
| <b>11</b>              | <b>日常管理 .....</b>                       | <b>315</b> |
| 11.1                   | 消耗品を交換する .....                          | 316        |
| 11.1.1                 | トナーカートリッジを交換する .....                    | 317        |
| 11.1.2                 | ドラムカートリッジを交換する .....                    | 319        |
| 11.1.3                 | トナー回収ボトルを交換する .....                     | 325        |
| 11.2                   | 清掃する .....                              | 328        |
| 11.2.1                 | 本体外部を清掃する .....                         | 328        |
| 11.2.2                 | タッチパネルディスプレイを清掃する .....                 | 329        |
| 11.2.3                 | 本体内部を清掃する .....                         | 329        |
| 11.2.4                 | 原稿カバー、原稿ガラス、原稿押さえ部、原稿読み取りガラスを清掃する ..... | 332        |
| 11.2.5                 | 自動両面原稿送り装置のローラー部を清掃する .....             | 333        |
| 11.3                   | 出力したページ数を確認する .....                     | 335        |
| 11.3.1                 | メーター別に確認する .....                        | 335        |
| 11.3.2                 | ユーザー別、用紙サイズ別に確認する .....                 | 335        |
| <b>12</b>              | <b>困ったときには .....</b>                    | <b>337</b> |
| 12.1                   | 紙詰まりに対処する .....                         | 338        |
| 12.1.1                 | 原稿が詰まった場合 .....                         | 338        |
| 12.1.2                 | 用紙が詰まった場合 .....                         | 340        |
| 12.2                   | トラブルを解決する .....                         | 344        |
| 12.2.1                 | メニュー設定のトラブル .....                       | 344        |
| 12.2.2                 | 機器本体のトラブル .....                         | 344        |
| 12.2.3                 | 画質のトラブル .....                           | 349        |
| 12.2.4                 | コピーのトラブル .....                          | 354        |
| 12.2.5                 | プリント時のトラブル .....                        | 357        |
| 12.2.6                 | ファクスのトラブル .....                         | 359        |
| 12.2.7                 | スキャナーのトラブル .....                        | 361        |
| 12.2.8                 | 無線 LAN 接続のトラブル .....                    | 363        |
| 12.2.9                 | Wi-Fi Direct のトラブル .....                | 363        |
| 12.2.10                | IPv6 環境のトラブル .....                      | 364        |
| 12.2.11                | スキャナードライバー／ソフトウェアのトラブル .....            | 364        |
| 12.3                   | エラーコードが表示されたら .....                     | 366        |
| 12.4                   | 修理に出す前に .....                           | 373        |
| 12.4.1                 | 修理依頼について .....                          | 373        |
| 12.4.2                 | プリンター内の電話帳データ（個人情報）の取り扱いに関して .....      | 373        |
| <b>付録</b>              | <b>.....</b>                            | <b>374</b> |
| 主な仕様 .....             | 375                                     |            |
| 基本機能 / コピー機能 .....     | 375                                     |            |
| プリント機能 .....           | 376                                     |            |
| スキャン機能 .....           | 378                                     |            |
| ファクス機能 .....           | 380                                     |            |
| ダイレクトファクス機能 .....      | 381                                     |            |
| 両面出力機能 .....           | 381                                     |            |
| 自動両面原稿送り装置 .....       | 382                                     |            |
| 1トレイモジュール（オプション） ..... | 382                                     |            |

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| オプション製品について .....                 | 383 |
| 保証について .....                      | 384 |
| 保証書について .....                     | 384 |
| 保守サービスについて .....                  | 384 |
| プリンターの耐久性について .....               | 385 |
| 消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について ..... | 386 |
| 補修用性能部品について .....                 | 387 |
| 情報サービスについて .....                  | 387 |
| 無線LANアダプタ（オプション）の取り付けについて .....   | 389 |
| 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクについて .....    | 390 |
| 工場出荷時の状態に戻す .....                 | 391 |

# 1 お使いいただく前に

|     |                  |    |
|-----|------------------|----|
| 1.1 | マニュアル体系 .....    | 11 |
| 1.2 | 本書の使いかた .....    | 12 |
| 1.3 | こんな機能があります ..... | 14 |
| 1.4 | 各部の名称.....       | 17 |

# 1.1 マニュアル体系

## 1.1.1 本機に付属するマニュアル

### 簡単操作ガイド

本機の基本的な操作手順や本機を安全にご使用いただくための注意事項などについて説明しています。

### ユーザーズマニュアル（本書）（「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスク）

プリント／コピー／スキャン／ファクス機能の操作方法や、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、日常の管理方法などについて説明しています。

## 1.1.2 オプション製品に付属するマニュアル

本機ではオプション製品をご用意しています。製品によっては設置手順などを説明したマニュアルが付属しています。

# 1.2 本書の使いかた

本書は、プリント／コピー／スキャン／ファクス機能の操作方法や、操作パネルのメニュー項目、トラブルの対処方法、日常の管理方法などについて説明しています。



## 補足

- ・本書では特に断りのない限り、コンピューターを使った手順ではMicrosoft® Windows® 7およびmacOS 10.13を例に説明しています。

## 1.2.1 本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

### お使いいただく前に (P.10)

操作の前に知っていただきたい本機の基本的な情報について説明しています。

### 2 本機のセットアップ (P.21)

本機とコンピューターおよびネットワークの接続方法や、ソフトウェアのインストール方法について説明しています。

### 3 本機の基本操作 (P.45)

本機の画面、使用できる用紙、用紙や原稿のセット方法について説明しています。

### 4 プリント (P.78)

プリントの基本的な操作方法と、機能について説明しています。

### 5 コピー (P.92)

コピーの基本的な操作方法と、機能について説明しています。

### 6 スキャン (P.110)

スキャンの基本的な操作方法と、機能について説明しています。

### 7 ファクス (P.147)

ファクスの基本的な操作方法と、機能について説明しています。

### 8 スマートフォン／タブレットからのプリント、スキャン (P.167)

本機とモバイル機器の接続方法や、モバイル機器からのプリントまたはスキャン方法について説明しています。

### 9 本体設定を変更する (P.180)

本機の設定メニューについて説明しています。

### 10 便利な使いかた (P.237)

本機に付属するソフトウェアや応用機能について説明しています。

### 11 日常管理 (P.315)

本機の清掃など日常のお手入れについて説明しています。

### 12 困ったときには (P.337)

トラブルの対処方法について説明しています。

### 付録 (P.374)

本機の仕様やサポート情報について説明しています。

## 1.2.2 本書の表記

- 本書中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- お客様の設定内容によっては、本書に掲載している画面が実際の画面と異なる場合があります。
- 本書では、説明する内容に応じて、次のマークや記号を使用しています。



操作の前に知りたいことや、注意していただきたい重要な事項を記述しています。



補足事項を記述しています。



参照先を記述しています。

「 」

- ・本書内にある参照先を表しています。
- ・DVD-ROMや機能の名称、タッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字などを表しています。

『 』

参照するマニュアルを表しています。

[ ]

- ・本機のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
- ・コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウインドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。

< >

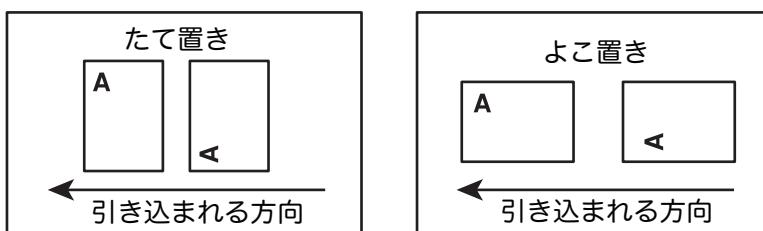
操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。

>

操作パネルやコンピューターで順に項目を選ぶ手順を、省略して表しています。

- 本文中では、原稿または用紙の向きを、次のように表しています。

□、□、たて置き：本機正面から見て、原稿□や用紙□をたて長にセットした状態を表しています。  
□、□、よこ置き：本機正面から見て、原稿□や用紙□をよこ長にセットした状態を表しています。



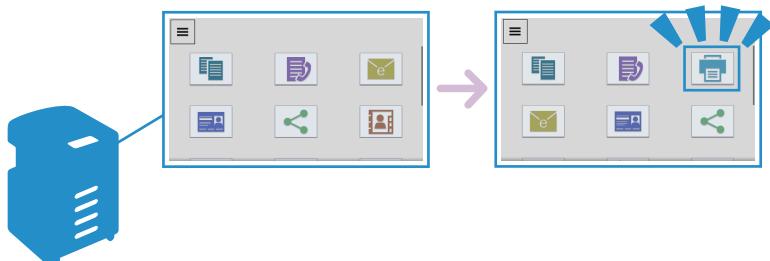
# 1.3 こんな機能があります

本機で利用できる便利な機能について紹介します。

## ホーム画面のカスタマイズ

**新しい機能ボタンを作成する → P.51**

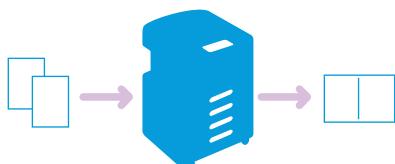
よく使う設定を登録した機能ボタンを作成し、[ホーム] 画面に配置できます。



## コピー

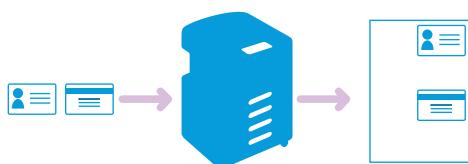
**2枚の原稿を1枚にまとめる ([2アップ]) → P.99**

2枚の原稿を縮小して、1枚にまとめてコピーできます。



**IDカードのおもてとうらをコピーする ([IDカードコピー]) → P.103**

IDカードのおもてとうらを、1枚にまとめてコピーできます。



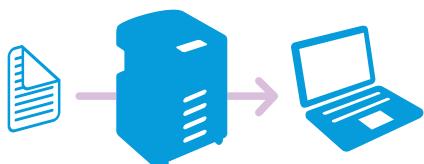
## スキャン

**スキャン文書をコンピューターに送る ([スキャナー (ネットワーク)]) → P.112**

スキャンした文書をネットワーク上のコンピューターに保存できます。

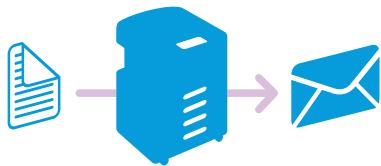
**Print & Scan Hubでスキャンする → P.138**

本機のソフトウェアであるPrint & Scan Hubを使って原稿をスキャンできます。



## [スキャン文書をメールで送る（\[スキャナー（メール送信）\]）→ P.128](#)

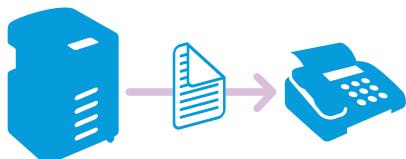
スキャンした文書をメールの添付ファイルとして送信できます。



## ファクス

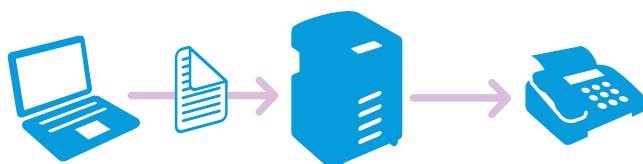
### [本機でファクスする → P.148](#)

本機の操作パネルを操作して、ファクスを送受信できます。



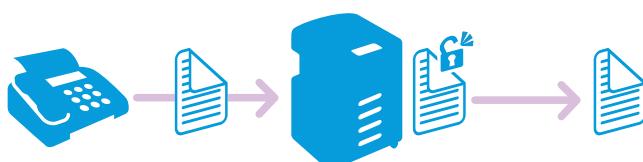
### [Windows®コンピューターからファクスする（ダイレクトファクス）→ P.163](#)

お使いのコンピューターで自席から送信できます。送信する文書のプリントをなくして、用紙のムダづかいを防ぎます。



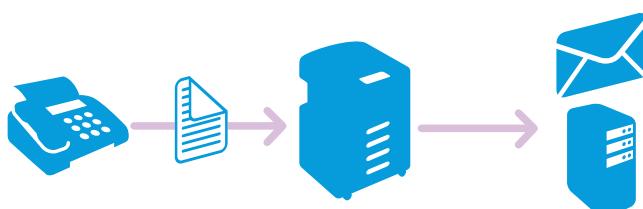
### [セキュリティーファクス受信する → P.154](#)

受信したファクスを第三者から閲覧されないようにできます。



### [ペーパーレスファクス受信（\[ファクス受信転送設定\]）→ P.206](#)

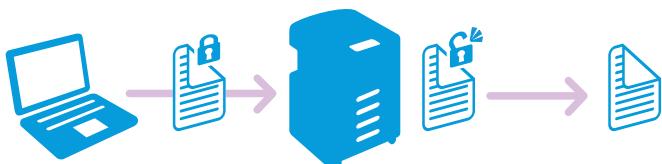
受信したファクスを指定したメールアドレスやサーバーに転送することができます。用紙にプリントしないため、資源を節約し、情報漏えいの危険を減らすことができます。



## プリント

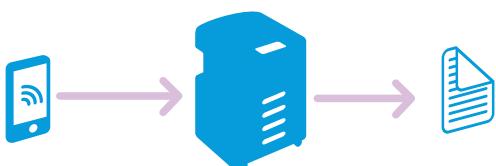
機密文書をプリントする ([セキュリティープリント]) → P.84

ユーザー ID と暗証番号を設定して、プリントを指示したデータを本機に蓄積させておけば、あとから本機の前でプリントを指示できます。



スマートフォン／タブレットからプリントする → P.168

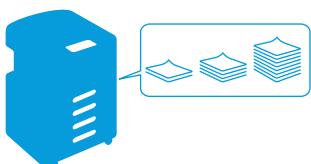
スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器から、文書、写真、ウェブページやメールなどをプリントできます。



## 集計管理

枚数を管理する → P.258

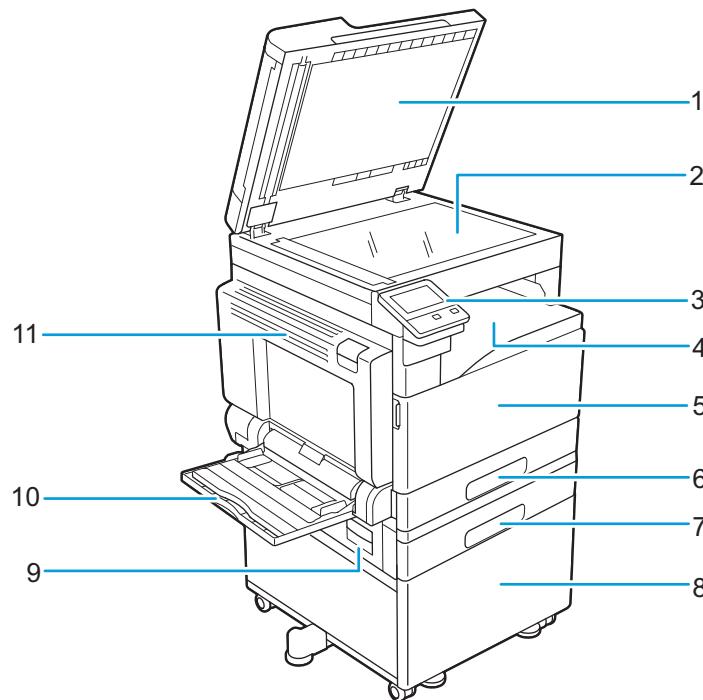
ユーザーごとに、コピー／プリントの利用量を集計したり、コピー／プリントの利用を制限したりすることができます。



# 1.4 各部の名称

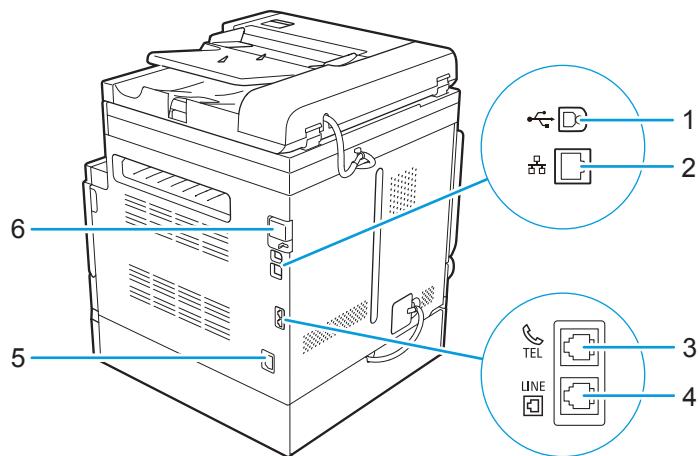
## 1.4.1 正面／左側面／右側面／背面／内部

### 正面と左側面



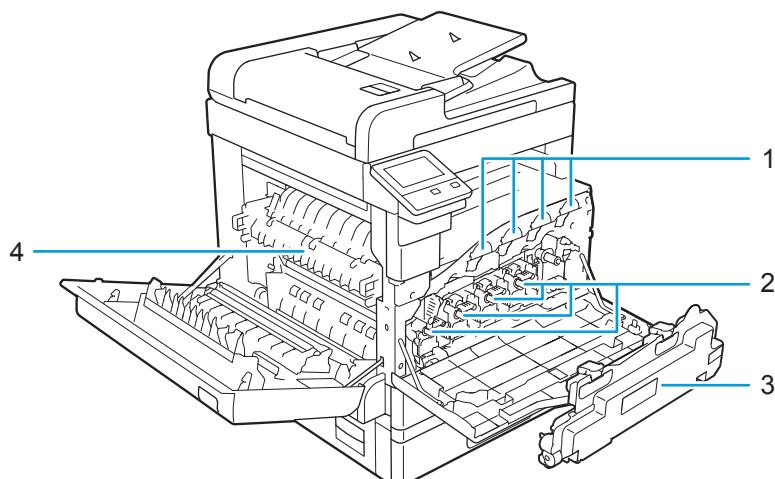
|               |                                     |
|---------------|-------------------------------------|
| 1 原稿カバー       | 7 トレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション） |
| 2 原稿ガラス       | 8 専用キャビネット（お使いの機種によってはオプション）        |
| 3 操作パネル       | 9 左側面下部カバー [B]                      |
| 4 排出トレイ       | 10 トレイ5（手差し）                        |
| 5 フロントカバー     | 11 左側面上部カバー [A]                     |
| 6 トレイ1（標準トレイ） |                                     |

## 右側面と背面



- 
- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1 USBインターフェイスコネクター    | 4 LINEコネクター         |
| 2 イーサネットインターフェイスコネクター | 5 電源コードコネクター        |
| 3 TELコネクター            | 6 無線LANアダプタ (オプション) |
- 

## 内部

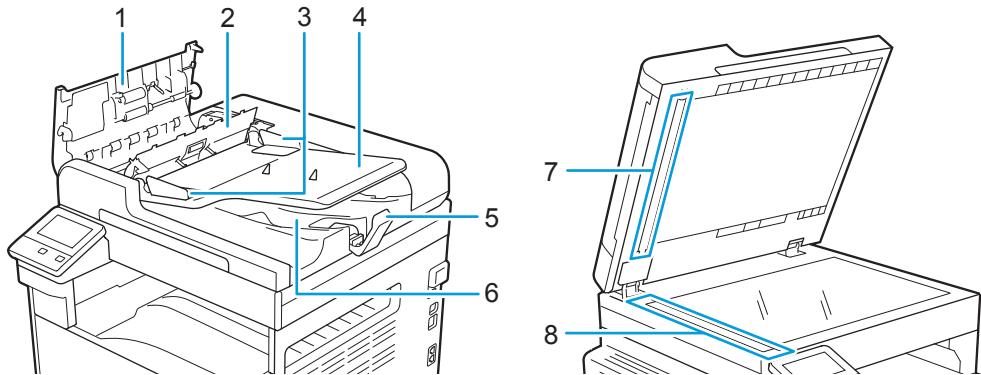


- 
- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 トナーカートリッジ | 3 トナー回収ボトル |
| 2 ドラムカートリッジ | 4 定着ユニット   |
- 

### 注記

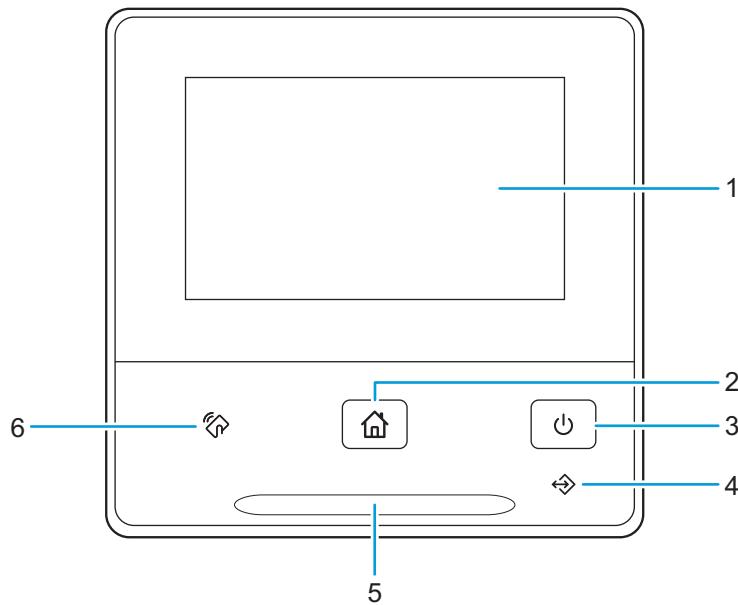
・高温なので触れないように注意してください。

## 1.4.2 自動両面原稿送り装置



- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1 左側カバー   | 5 原稿受けストッパー |
| 2 内カバー    | 6 原稿受けトレイ   |
| 3 原稿ガイド   | 7 原稿押さえ部    |
| 4 原稿送りトレイ | 8 原稿読み取りガラス |

## 1.4.3 操作パネル



|                  |   |
|------------------|---|
| 1 タッチパネルディスプレイ   | 操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。<br>直接触れて、画面の指示や機能の設定をします。                             |
| 2 ホーム〈ホーム〉ボタン    | [ホーム] 画面に移動します。   |
| 3 電源〈電源/節電〉ボタン   | ・本機の電源を入れる／切るときに押します。<br>・節電状態を解除するとき、または節電状態にするときに押します。<br>本機が節電状態に入るとゆっくり点滅します。 |
| 4 データランプ         | ・ファクスの送受信中に点滅します。<br>・メモリーに保存されているデータがあるときに点灯します。                                 |
| 5 状態表示ランプ        | ・モバイル機器から識別信号を受信したときと、認証が成功したとき、<br>認証を解除したときに青色に点滅します。<br>・エラーが発生するとオレンジ色に点滅します。 |
| 6 NFC〈NFCタッチエリア〉 | モバイル機器をかざすと、本機とモバイル機器がNFC機能で通信を開始します。   |

### 参照

- ・電源を入れる／切る方法については、「電源について (P.22)」を参照してください。
- ・節電機能については、「節電機能について (P.58)」を参照してください。

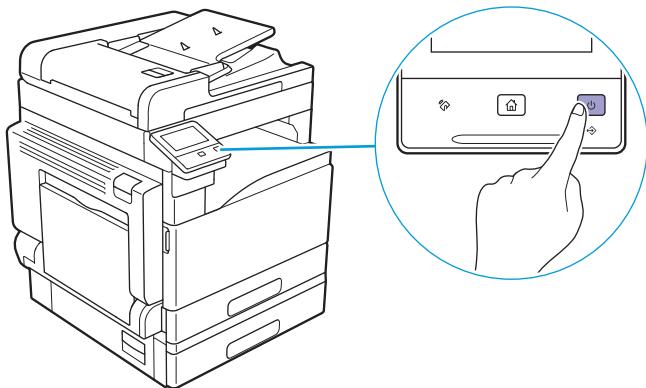
## 2 本機のセットアップ

|     |                       |    |
|-----|-----------------------|----|
| 2.1 | 電源について .....          | 22 |
| 2.2 | 本機をコンピューターと接続する ..... | 23 |

## 2.1 電源について

### 2.1.1 電源を入れる

1. ⏪(電源/節電) ボタンを押します。



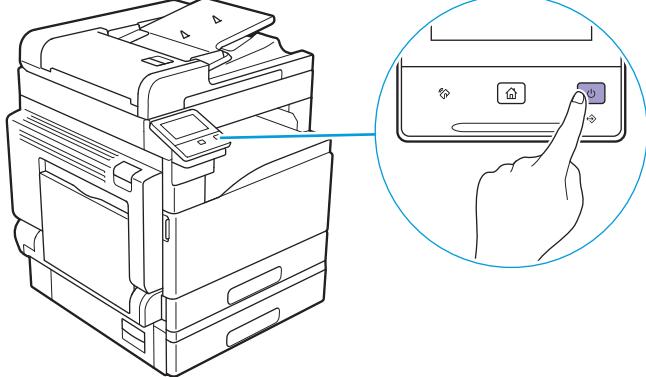
### 2.1.2 電源を切る



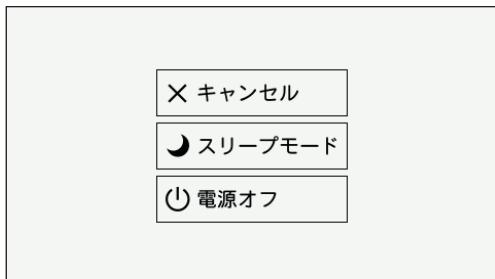
#### 注記

- ・本機の電源を切るとメモリー内の印刷データや蓄積データは消去されます。

1. ⏪(電源/節電) ボタンを押します。



2. タッチパネルディスプレイの【電源オフ】をタップします。



#### 補足

- ・⏪(電源/節電) ボタンを3秒以上長押ししても、本機の電源を切ることができます。

# 2.2 本機をコンピューターと接続する

## 2.2.1 概要

本機は有線LAN接続、USBによる接続、および無線LAN接続に対応しています。接続には次の手順をおすすめします。



### 補足

- ・有線LAN接続と無線LAN接続を同時に行うことはできません。無線LAN接続を行う場合は、LANケーブルを本機から取り外してください。

### 有線LAN接続、またはUSBによる接続



#### 準備

LANケーブルまたはUSBケーブルを本機に接続します。LANケーブルを接続した場合は、IPアドレスを設定します。

「有線LANで接続する (P.24)」

「USBで接続する (P.25)」



#### Windows®

ソフトウェアをインストールします。

「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.32)」

#### Mac

ソフトウェアをインストールします。

「Mac用のソフトウェアをインストールする (P.35)」



## 無線 LAN 接続



### 準備

無線 LAN アダプタ（オプション）を取り付け、LAN ケーブルを外します。

「無線 LAN アダプタ（オプション）の取り付けについて (P.389)」



### Windows®

無線 LAN 接続し、ソフトウェアをインストールします。

「無線 LAN に自動設定で接続する (P.26)」  
「無線 LAN に手動設定で接続する (P.27)」  
「[おまかせセットアップ] で接続する (Windows®) (P.28)」  
「サポートツールで接続する (Windows®) (P.28)」



「Windows® 用のソフトウェアをインストールする (P.32)」

### Mac

無線 LAN 接続し、ソフトウェアをインストールします。

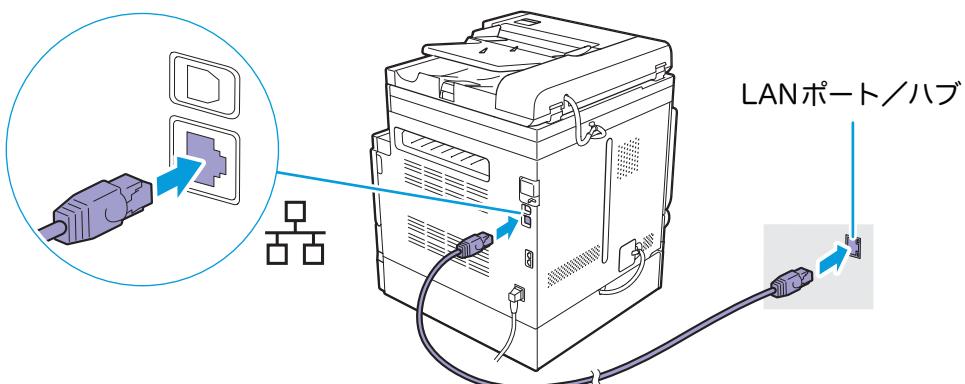
「無線 LAN に自動設定で接続する (P.26)」  
「無線 LAN に手動設定で接続する (P.27)」



「Mac 用のソフトウェアをインストールする (P.35)」

## 2.2.2 有線 LAN で接続する

### 1. 本機と LAN ポートまたはハブを LAN ケーブルで接続します。



### 2. 本機の IP アドレスを設定します。



- IP アドレスの設定方法については、「IP アドレスを設定する (P.29)」を参照してください。

次にソフトウェアをインストールします。



- Windows® のソフトウェアのインストールについては「Windows® 用のソフトウェアをインストールする (P.32)」を、Mac のソフトウェアのインストールについては「Mac 用のソフトウェアをインストールする (P.35)」を参照してください。

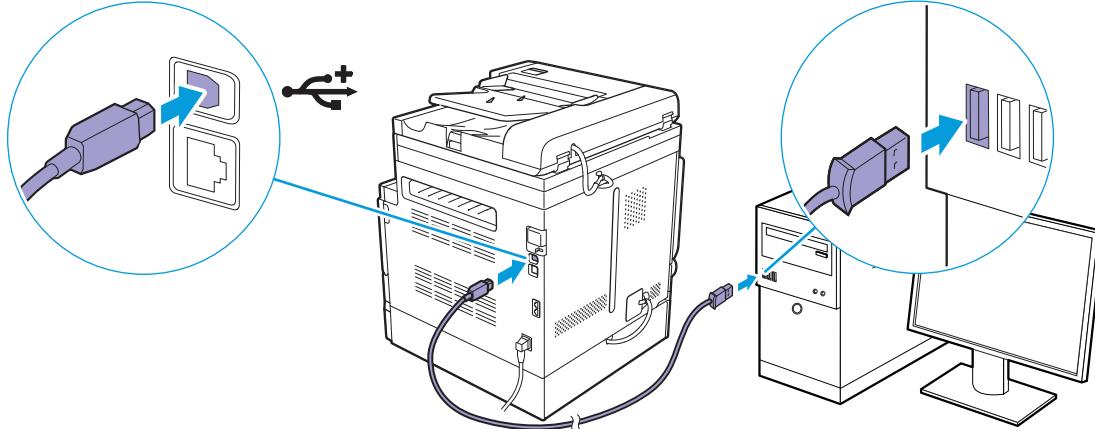
## 2.2.3 USBで接続する

本機の電源が入っていない状態で、コンピューターをUSBケーブルで接続します。



### 注記

- ・本機をUSBハブに接続しないでください。



次にソフトウェアをインストールします。



- ・Windows®のソフトウェアのインストールについては「Windows®用のソフトウェアをインストールする(P.32)」を、Macのソフトウェアのインストールについては「Mac用のソフトウェアをインストールする(P.35)」を参照してください。

## 2.2.4 無線LANで接続する

### 無線LANを使うために必要な作業

無線LANを設定する前に、次の操作をしてください。

#### 1. 無線LANアダプタ（オプション）が本機に接続されていることを確認します。



- ・詳しくは、「無線LANアダプタ（オプション）の取り付けについて(P.389)」を参照してください。

#### 2. LANケーブルが本機に接続されていないことを確認します。LANケーブルが本機に接続されている場合は、LANケーブルを取り外してから、本機の電源を切り、再度電源を入れます。

無線LAN接続の設定方法は次のとおりです。

- ・本機の操作パネルから、自動設定で接続する。  
「無線LANに自動設定で接続する(P.26)」
- ・本機の操作パネルから、手動設定で接続する。  
「無線LANに手動設定で接続する(P.27)」
- ・「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクの【おまかせセットアップ】を使って接続する。  
「[おまかせセットアップ]で接続する(Windows®)(P.28)」
- ・「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクのサポートツールを使って接続する。  
「サポートツールで接続する(Windows®)(P.28)」

# 無線LANに自動設定で接続する

本機はWPS（プッシュボタン方式）およびWPS（PINコード方式）を使用した無線LAN接続に対応しています。

WPS（プッシュボタン方式）では、設定を操作パネルから行ったあと、お使いの無線LANアクセスポイントに付いているWPSボタンを押して設定します。

WPS（PINコード方式）では、本機に割り当てられるPINコードを無線LANアクセスポイントに入力して設定します。

どちらの方法も無線LANアクセスポイントがWPS方式に対応している必要があります。



- ・無線LANアクセスポイント側のWPS操作については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

## ●WPS（プッシュボタン方式）で接続する場合

1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] > [WPS] をタップします。
4. 「無線LANルーターのWPSボタンを押してください。」のメッセージが表示されたら、無線LANアクセスポイントに付いているWPSボタンを2分以内に押します。  
無線LANアクセスポイントとの接続が完了すると、本機は自動的に再起動します。

## ●WPS（PINコード方式）で接続する場合

1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] > [WPS] をタップします。
4. [PINコードで接続] をタップします。



- ・タッチパネルディスプレイに表示される8桁のPINコードをメモしておきます。

5. 「PIN: XXXX 無線LANルーターを操作してください。」のメッセージが表示されたら、PINコードを無線LANアクセスポイントに入力します。

無線LANアクセスポイントとの接続が完了すると、本機は自動的に再起動します。



・PINコードの入力方法については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

## 無線LANに手動設定で接続する

無線LANアクセスポイントを一覧から選ぶか、またはSSIDを指定して無線LANに接続します。



・無線LANアクセスポイントのSSIDと、WEPキーまたはパスフレーズが必要になります。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

### ●無線LANアクセスポイントを一覧から選んで接続する場合

1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。

2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] をタップします。

4. [Wi-Fi設定ウィザード] をタップします。

5. 接続先の無線LANアクセスポイントをタップします。



・無線LANアクセスポイントが表示されない場合は、手動で入力してSSIDを設定します。詳しくは、「SSIDを手動で入力して接続する場合 (P.27)」を参照してください。

6. WEPキーまたはパスフレーズを入力し、[次へ] をタップします。

### ●SSIDを手動で入力して接続する場合

1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。

2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi] をタップします。

4. [Wi-Fi設定ウィザード] をタップします。

- 5. [SSIDを入力] をタップします。**
- 6. SSIDを入力し、[次へ] をタップします。**
- 7. お使いの環境に合わせて [インフラストラクチャー] または [アドホック] を選びます。**

 **補足**

- ・ [Wi-Fi Direct] が有効な場合は、[アドホック] を使用できません。

- 8. 暗号化方式を設定します。**
- 9. [次へ] をタップします。**
- 10. 必要に応じてWEPキーまたはパスフレーズを入力し、[次へ] をタップします。**

## [おまかせセットアップ] で接続する (Windows®)

「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクの [おまかせセットアップ] を使って、無線LANに簡単に接続できます。また、[おまかせセットアップ] を使うと、ネットワークへの接続とソフトウェアのインストールが一度にできます。



次の条件を満たしている場合に [おまかせセットアップ] で無線LAN接続ができます。

- ・ お使いのコンピューターが本機に設定したい無線LANアクセスポイントにつながっている
- ・ 本機が別の無線LANに接続されていない

 **補足**

- ・ お使いの環境によっては [おまかせセットアップ] で無線LANに接続できないこともあります。
- ・ 暗号化方式をWEPに設定して無線LAN環境に接続する場合は、[おまかせセットアップ] は使用できません。無線LAN設定を本機の操作パネルから行い、ソフトウェアを [好みインストール] でインストールします。無線LAN設定については、「無線LANに手動設定で接続する (P.27)」を、ソフトウェアのインストールについては、「[好みインストール] でインストールする (P.34)」を参照してください。

 **参照**

- ・ [おまかせセットアップ] を使った無線LAN接続とソフトウェアのインストールについては、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.32)」を参照してください。

## サポートツールで接続する (Windows®)

「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクのサポートツールを使って、無線LANの設定ができます。次の条件を満たしている場合にサポートツールで無線LAN接続ができます。

- ・ お使いのコンピューターが本機に設定したい無線LANアクセスポイントにつながっている
- ・ 本機が別の無線LANに接続されていない

- 1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。**

## 2. [サポートツール/マニュアル] をクリックします。



## 3. [Wi-Fi 設定] をクリックします。



## 4. 画面の指示に従って設定します。

### 2.2.5 IP アドレスを設定する

#### IP アドレスを設定する

IP アドレスの設定／変更方法について説明します。



- IPv6 環境の IP アドレスを設定するときは、「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクのサポートツールまたは CentreWare Internet Services を使用してください。サポートツールについては、「[サポートツール] で設定する (Windows®) (P.30)」を参照してください。CentreWare Internet Servicesについては、CentreWare Internet Services ヘルプを参照してください。

#### ●本機の操作パネルから設定する

##### 1. ⌂ <ホーム> ボタンを押します。

## 2. [機器設定] をタップします。



## 3. [ネットワーク設定] をタップします。

4. 本機が有線LANに接続されている場合は [Ethernet] を、無線LANに接続されている場合は [Wi-Fi] をタップします。

## 5. [IP動作モード] をタップします。

お使いの環境に合わせて、[デュアルスタック]、[IPv4] または [IPv6] をタップします。



- ・ 使用するネットワークがIPv4およびIPv6の両方に対応している場合は、[デュアルスタック] を選んでください。

## 6. [TCP/IP] > [IPアドレスの取得方法] をタップします。

## 7. IPアドレスを設定します。

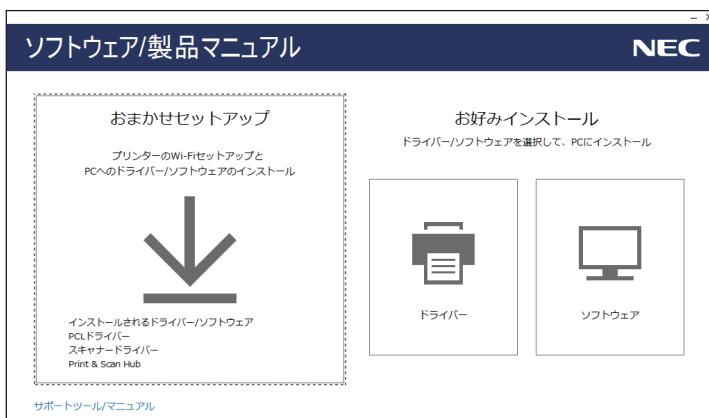
- ・ IPアドレスを自動で設定する場合  
**a**[DHCP/AutoIP]、[BOOTP]、[RARP]、または [DHCP] をタップします。
- ・ IPアドレスを手動で設定する場合
  - a**[直接入力] をタップします。
  - b**[IPアドレス] をタップします。
  - c**IPアドレスを入力し、[OK] をタップします。
  - d**[サブネットマスク] をタップします。
  - e**サブネットマスクを入力し、[OK] をタップします。
  - f**[ゲートウェイアドレス] をタップします。
  - g**ゲートウェイアドレスを入力し、[OK] をタップします。

## 8. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

## ● [サポートツール] で設定する (Windows®)

1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。

2. [サポートツール/マニュアル] をクリックします。



### 3. [IPアドレス設定] をクリックします。



### 4. 画面の指示に従って設定します。

## IPアドレスを確認する

設定内容は、操作パネルの画面またはシステム設定リストで確認できます。

### ●操作パネルを使用する

1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



### 3. [機器情報] をタップします。

### 4. [IPv4] または [IPv6] に表示されるIPアドレスを確認します。

### ●システム設定リストを使用する

#### 1. システム設定リストを出力します。



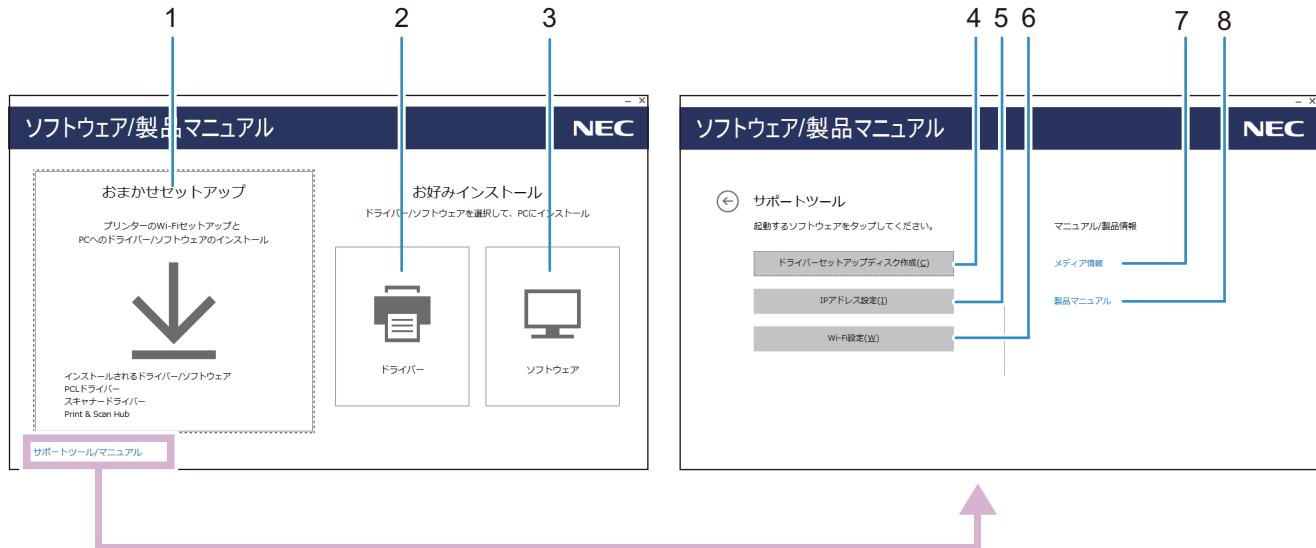
・リストの出力方法については、「レポート/リストを出力する (P.197)」を参照してください。

#### 2. リストの [ネットワーク設定] または [無線LAN] の項目内に記載されているIPアドレスを確認します。

## 2.2.6 Windows®用のソフトウェアをインストールする

### 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクを使う

付属の「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクを使って、次の機能を利用できます。



#### 1 [おまかせセットアップ]

本機で使用できる基本的なソフトウェアを、まとめてインストールできます。また、無線LAN環境で利用する場合は、ネットワークへの接続とソフトウェアのインストールが一度にできます。

インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- PCLドライバー（プリンタードライバー）
- スキャナードライバー
- Print & Scan Hub

#### 補足

- ・スキャナードライバーは、本機とコンピューターがUSBで接続されている場合にインストールできます。

#### 参照

- ・インストール方法については、「[おまかせセットアップ]でインストールする (P.33)」を参照してください。
- ・Print & Scan Hubについては、「Print & Scan Hub (Windows®) (P.242)」を参照してください。

#### 2 [お好みインストール] > [ドライバー]

必要なドライバーだけを選んでインストールできます。インストールできるドライバーは次のとおりです。

- PCLドライバー（プリンタードライバー）
- スキャナードライバー

#### 補足

- ・スキャナードライバーは、本機とコンピューターがUSBで接続されている場合にインストールできます。

#### 参照

- ・インストール方法については、「[お好みインストール]でインストールする (P.34)」を参照してください。

### 3 [お好みインストール] > [ソフトウェア]

必要なソフトウェアだけを選んでインストールできます。インストールできるソフトウェアは次のとおりです。

- Print & Scan Hub
- 宛先表ツール
- ContentsBridge Utility



- ・インストール方法については、「[お好みインストール] でインストールする (P.34)」を参照してください。
- ・ソフトウェアについては、「本機に付属するソフトウェアを使う (P.242)」を参照してください。

### 4 [サポートツール] > [ドライバーセットアップディスク作成]

ドライバーのセットアップディスクを作成できます。複数のコンピューターに同じ設定でドライバーをインストールする場合に、作業負荷を軽減できます。



- ・セットアップディスクは、ディスクを作成したコンピューターのOSと異なるOSのコンピューターでは使用できません。OSごとにセットアップディスクを作成してください。

### 5 [サポートツール] > [IP アドレス設定]

IP アドレスを設定できます。



- ・設定方法については、「[サポートツール] で設定する (Windows®) (P.30)」を参照してください。

### 6 [サポートツール] > [Wi-Fi 設定]

無線LANを設定できます。



- ・設定方法については、「サポートツールで接続する (Windows®) (P.28)」を参照してください。

### 7 [メディア情報]

「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクの収録内容を確認できます。

### 8 [製品マニュアル]

ユーザーズマニュアル(本書)およびCentreWare Internet Servicesヘルプを表示できます。

## [おまかせセットアップ] でインストールする



- ・事前に次の手順を実施してからインストールを開始してください。
  - 「有線LANで接続する (P.24)」
  - 「USBで接続する (P.25)」
  - 「無線LANを使うために必要な作業 (P.25)」

### 1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。



- ・「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
  - 1 [スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [ファイル名を指定して実行] をクリックします。  
Windows® 10 の場合は、スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
  - 2 「D:\Launcher.exe」(「D」は光学ディスクドライブの名称) を入力し、[OK] をクリックします。

## 2. [おまかせセットアップ] をクリックします。



## 3. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

# [お好みインストール] でインストールする



- 事前に次の手順を実施してからインストールを開始してください。
  - 「有線LANで接続する (P.24)」
  - 「USBで接続する (P.25)」
  - 「無線LANで接続する (P.25)」

## 1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。



- 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクが起動しない場合は、次の操作をしてください。
  - [スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [ファイル名を指定して実行] をクリックします。  
Windows® 10 の場合は、スタートボタンを右クリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。
  - 「D:\Launcher.exe」（「D」は光学ディスクドライブの名称）を入力し、[OK] をクリックします。

## 2. [ドライバー] または [ソフトウェア] をクリックします。

[ソフトウェア] を選んだ場合は、手順5に進みます。



## 3. [使用許諾契約の条項に同意する] を選び、[次へ] をクリックします。

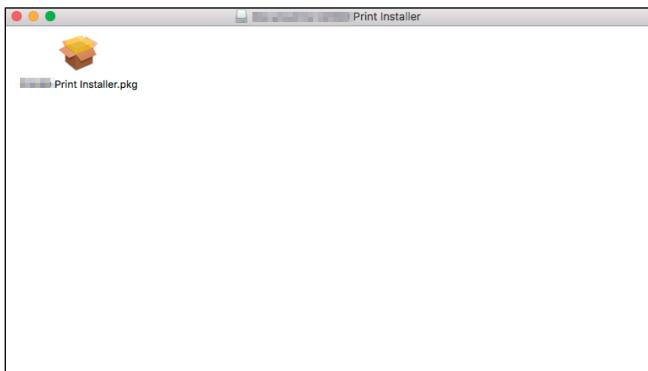
## 4. お使いの接続方法を選び、[次へ] をクリックします。

## 5. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

## 2.2.7 Mac用のソフトウェアをインストールする

### ソフトウェアをインストールする

1. 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクをコンピューターにセットします。
2. ディスク内にあるフォルダーを、[Software] > [MacHB] > [MacOSX] > [Common] の順に開きます。
3. フォルダー内にあるpkgファイルをダブルクリックします。



4. 画面の指示に従ってインストールを完了します。

### 本機をMacに登録する

#### ● USB接続で本機を追加する

ここでは、macOS 10.13を例に手順を説明します。

1. 本機の電源を入れます。
2. USBケーブルで本機とコンピューターを接続します。
3. [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。

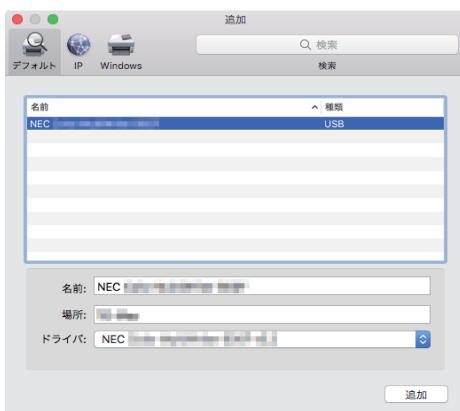


4. [プリンタ] に本機が表示されていれば、登録は完了です。  
本機が表示されない場合は、手順5以降に従って本機を追加します。

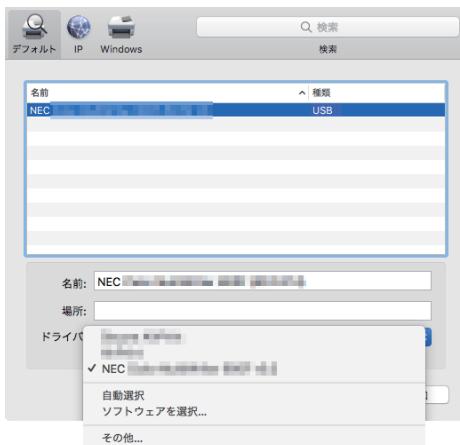
5. [+] をクリックします。



6. [種類] 列に [USB] と表示されている本機の名前を、[名前] から選びます。



7. [ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。



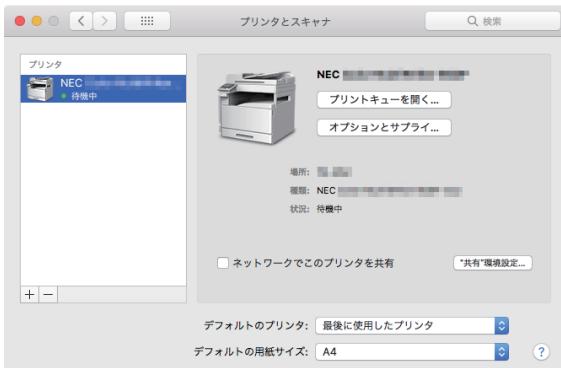
## 8. [追加] をクリックします。



## 9. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。



## 10. [プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。



### ●LPD接続で本機を追加する

ここでは、macOS 10.13を例に手順を説明します。

#### 1. 本機の電源を入れます。

#### 2. 本機とコンピューターが接続されていることを確認します。

有線LAN接続の場合は、本機をLANケーブルで接続します。

無線LAN接続の場合は、本機とコンピューターの無線LAN接続が確立されていることを確認します。

### 3. [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリントとスキャナ] をクリックします。



### 4. [+] をクリックします。



### 5. [IP] をクリックします。



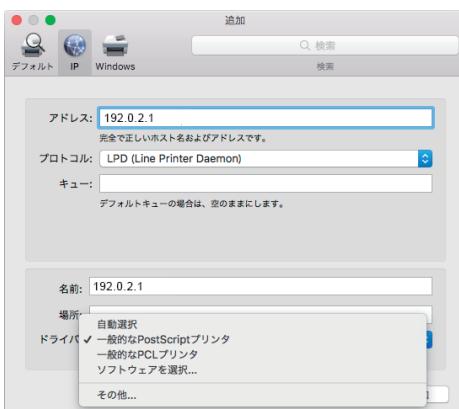
## 6. [プロトコル] から [LPD (Line Printer Daemon)] を選びます。



## 7. 本機のIPアドレスを [アドレス] に入力します。



## 8. [ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。



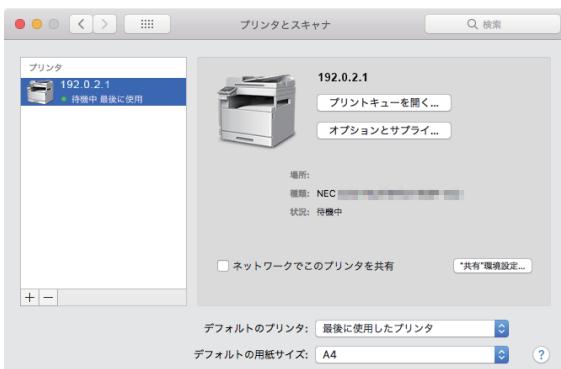
## 9. [追加] をクリックします。



## 10. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。



## 11. [プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。



### ●Bonjour接続で本機を追加する

ここでは、macOS 10.13を例に手順を説明します。

#### 1. 本機の電源を入れます。

#### 2. 本機とコンピューターが接続されていることを確認します。

有線LAN接続の場合は、本機をLANケーブルで接続します。

無線LAN接続の場合は、本機とコンピューターの無線LAN接続が確立されていることを確認します。

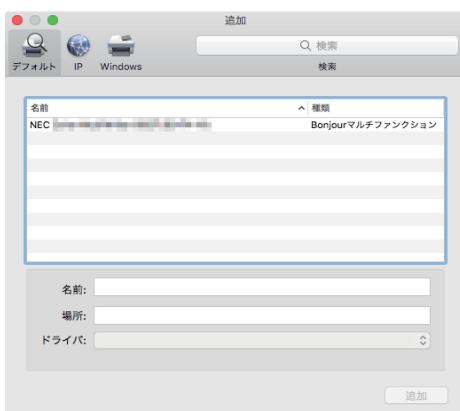
### 3. [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。



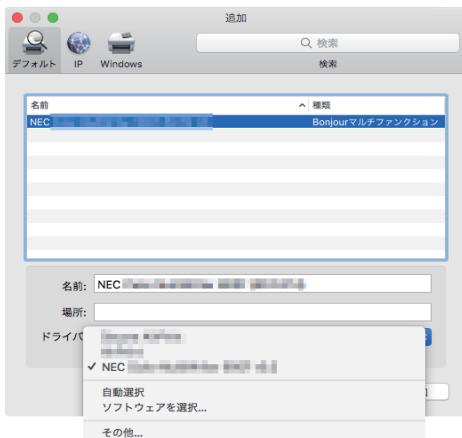
### 4. [+] をクリックします。



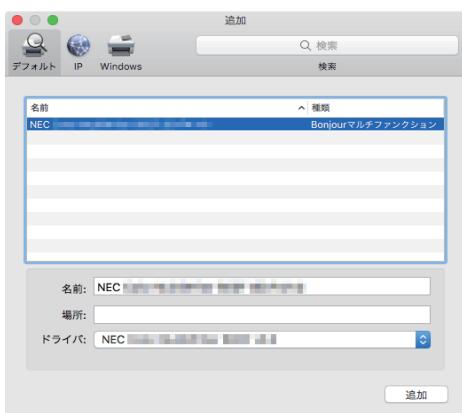
### 5. [種類] 列に [Bonjour マルチファンクション] と表示されている本機の名前を、[名前] から選びます。



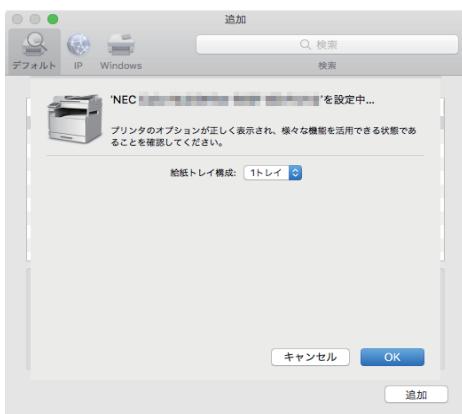
## 6. [ドライバ] から、本機に対応するドライバーを選びます。



## 7. [追加] をクリックします。



## 8. 本機に装着済みのオプション製品を設定し、[OK] をクリックします。



## 9. [プリンタ] に本機が表示されていることを確認します。



## オプション製品の機能を有効にする

本機に装着済みのオプション製品をドライバーから設定し、関連する機能を有効にします。ここでは、macOS 10.13を例に手順を説明します。

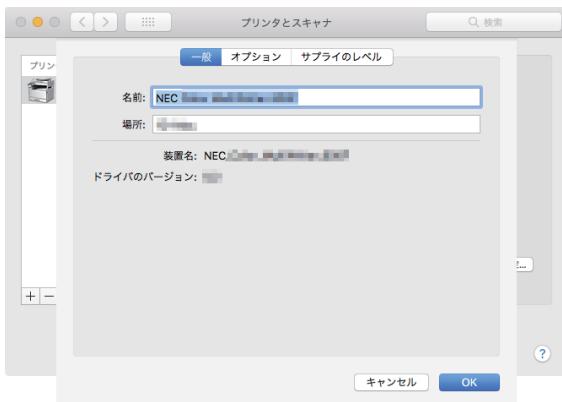
### 1. [Apple] メニューから [システム環境設定] を開き、[プリンタとスキャナ] をクリックします。



### 2. [プリンタ] から本機を選び、[オプションとサプライ] をクリックします。



### 3. [オプション] をクリックします。



### 4. 本機に装着済みのオプション製品を選び、[OK] をクリックします。



## 2.2.8 Linux 用のプリンタードライバーをインストールする

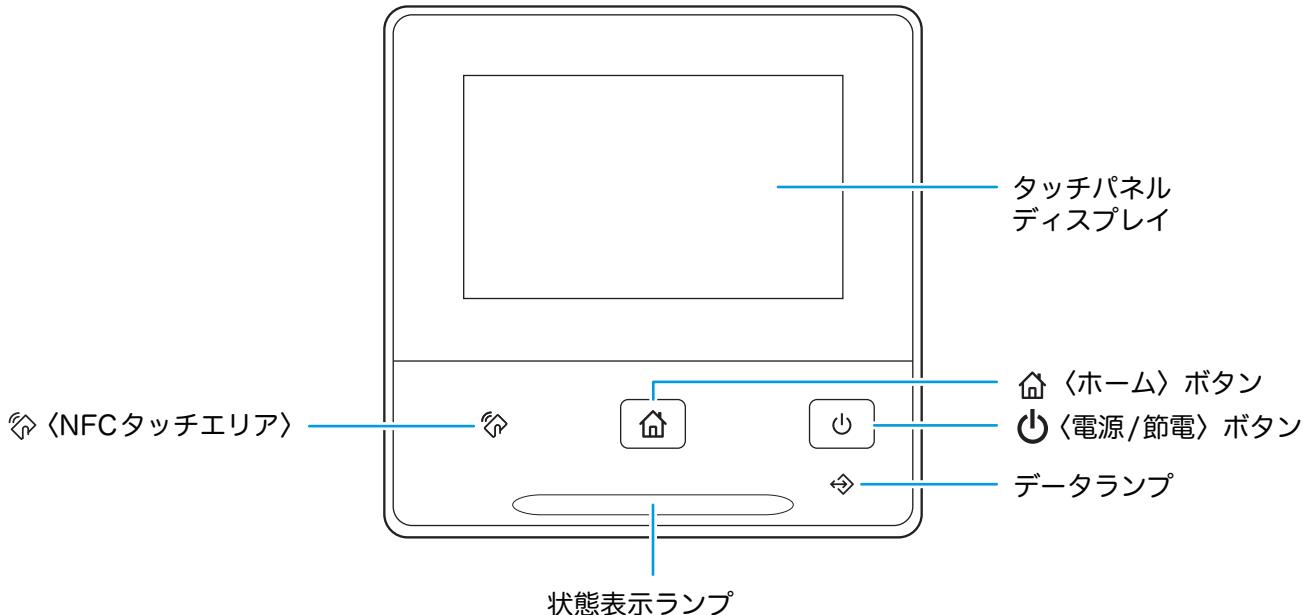
最新版のLinux用のプリンタードライバーは、弊社公式サイト (<https://jpn.nec.com/printer/laser/>) から入手できます。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

# 3 本機の基本操作

|     |                  |    |
|-----|------------------|----|
| 3.1 | 操作パネルを使用する ..... | 46 |
| 3.2 | 節電機能について .....   | 58 |
| 3.3 | ジョブを確認する .....   | 60 |
| 3.4 | 用紙について .....     | 62 |
| 3.5 | 用紙をセットする .....   | 67 |
| 3.6 | 原稿をセットする .....   | 74 |

# 3.1 操作パネルを使用する

操作パネルは、タッチパネルディスプレイ、**△**〈ホーム〉ボタン、**○**〈電源/節電〉ボタン、データランプ、状態表示ランプと **◆**〈NFCタッチエリア〉から構成されています。操作パネルを使ってメニューを閲覧し、文字や数値を入力します。

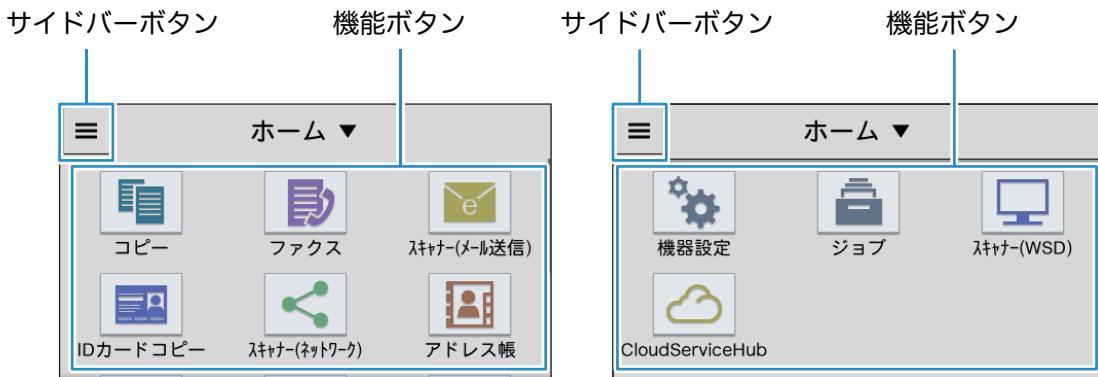


## 3.1.1 ホーム画面について

[ホーム] 画面を表示するには **△**〈ホーム〉ボタンを押します。[ホーム] 画面は、使用目的に合わせてカスタマイズできます。

### 参照

- ・[ホーム] 画面のカスタマイズについては、「ホーム画面をカスタマイズする (P.49)」を参照してください。



## 機能ボタン

[ホーム] 画面では、次の機能ボタンを利用できます。

### [コピー]

原稿をコピーしたり、コピー機能を設定したりします。

### 参照

- ・「コピーする (P.93)」

## [ファクス]

ファクスを送受信したり、ファクス機能を設定したりします。



- ・「ファクスする (P.148)」

## [スキャナー (メール送信)]

原稿をスキャンしてメールで送信したり、スキャン機能を設定したりします。



- ・「スキャンしたデータをメールで送信する (スキャナー (メール送信)) (P.128)」

## [IDカードコピー]

IDカードをコピーしたり、コピー機能を設定したりします。



- ・「IDカードをコピーする (P.103)」

## [スキャナー (ネットワーク)]

原稿をスキャンしてサーバーに送信したり、スキャン機能を設定したりします。



- ・「FTP/SMB接続したコンピューターまたはサーバーに保存する (スキャナー (ネットワーク)) (P.112)」

## [アドレス帳]

アドレス帳に宛先を登録したり、宛先を編集／削除したりします。



- ・「アドレス帳を使う (P.247)」

## [機器設定]

本機全般を設定します。



- ・「本体設定を変更する (P.180)」

## [ジョブ]

ジョブの状況確認や実行中のジョブのキャンセルをします。また、本機に蓄積されているプリントジョブやセキュリティー受信モードで受信したファクスを出力します。



- ・「ジョブを確認する (P.60)」
- ・「操作パネルで中止する (P.82)」
- ・「セキュリティープリントする (P.84)」
- ・「サンプルプリントする (P.86)」
- ・「受信したファクスを出力する (P.156)」

## [スキャナー (WSD)]

Web Services on Devices (WSD)を使って、コンピューターにスキャンしたデータを送信します。



- ・「ネットワーク接続したコンピューターに保存する (スキャナー (WSD)) (P.123)」

## サイドバー

[ホーム] 画面左上のサイドバーボタンをタップすると、サイドバー画面が表示されます。サイドバー画面では、消耗品の状態、エラーメッセージ、ネットワーク情報やWi-Fi Directの情報を表示します。



### 補足

・サイドバーボタンには本機の状態を示すマークが表示されることがあります。この場合は、サイドバーボタンをタップして、詳細を確認してください。

■<sup>1</sup> : 通知があることと、通知の件数を示します。

■<sup>2</sup> : 実行中のジョブがあることを示します。

■<sup>3</sup> : エラーや停止中のジョブがあることを示します。

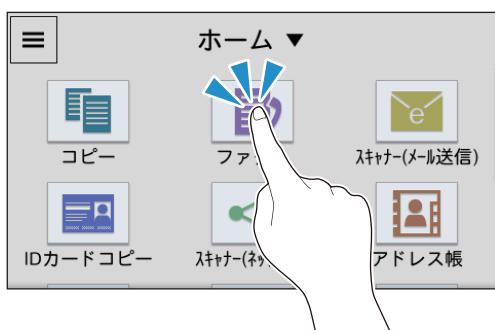


画面右上の をタップして [ジョブ] メニューを開いたり、 をタップして [機器設定] メニューを開いたりします。

## 3.1.2 タッチパネルディスプレイの基本操作

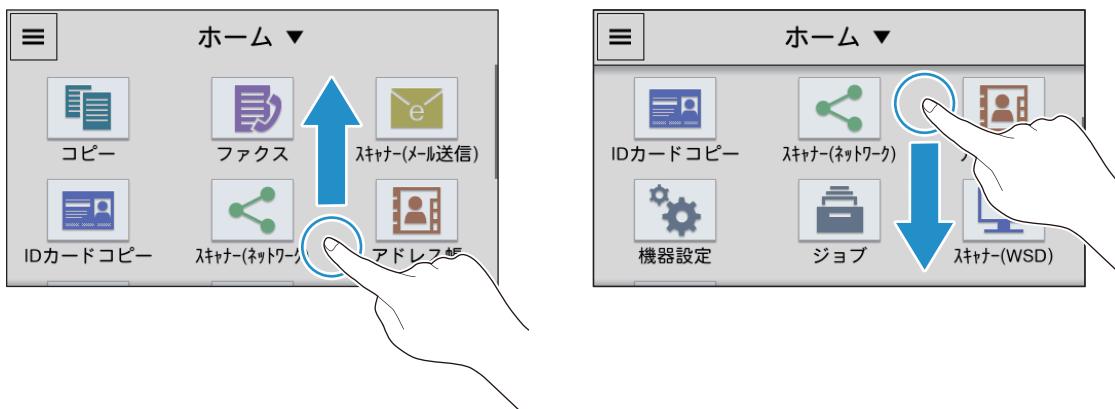
### 機能ボタン/メニューを選ぶ

機能ボタンやメニューをタップします。



## 画面をスクロールする

上方向または下方向に、画面をフリックまたはスワイプします。



### 3.1.3 ホーム画面をカスタマイズする

[ホーム] 画面は、使用目的に合わせてカスタマイズできます。

よく使う機能ボタンにアクセスしやすいように並べ替えたり、使わないボタンを [ホーム] 画面から消したりできます。

また、たとえば「両面カラーで15部コピーする」というような、よく使う機能の設定を登録した機能ボタンを作成することで、操作のたびに設定しないで、簡単な操作ですぐに機能を実行できます。

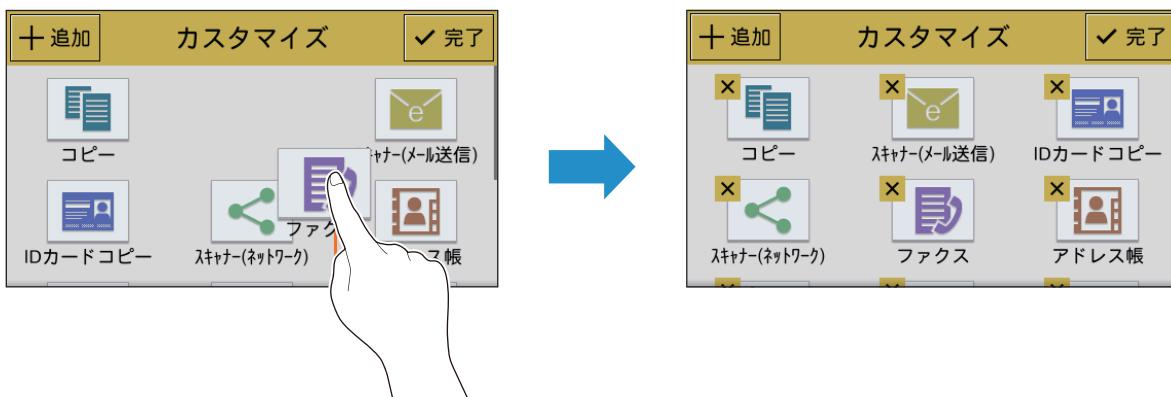


## 機能ボタンを移動する

1. [ホーム ▼] > [カスタマイズ] をタップします。



- 2.** 移動する機能ボタンを長押しして、移動する場所にドラッグします。  
オレンジ色の短いバーが移動する位置に表示されます。位置を確認して、機能ボタンを配置します。



- 3.** [完了] をタップします。

## あらかじめ登録されている機能ボタンを追加する

本機にあらかじめ登録されている機能ボタンを [ホーム] 画面に追加できます。

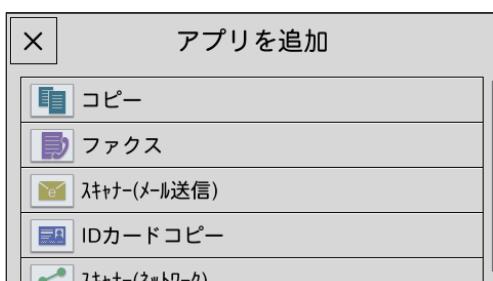
- 1.** [ホーム ▼] > [カスタマイズ] をタップします。



- 2.** [追加] をタップします。



- 3.** [ホーム] 画面に追加する機能ボタンをタップします。



- 4.** [完了] をタップします。

# 新しい機能ボタンを作成する

よく使う設定を登録した機能ボタンを作成し、[ホーム] 画面に配置できます。

## ●機能ボタンを作成する

ここでは、コピー用の機能ボタンの作成手順を例として説明します。

ファクスやスキャンなどほかの機能ボタンを作成する場合は、それぞれの設定画面で同様に操作します。

1. [ホーム] 画面で、[コピー] をタップします。

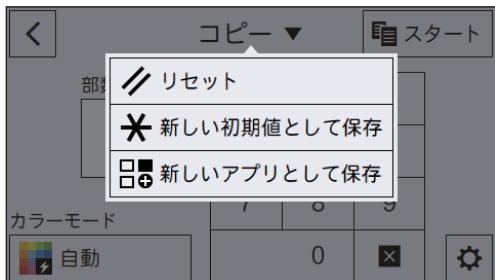


2. コピー設定を変更します。



・コピー設定については、「いろいろなコピー機能 (P.95)」を参照してください。

3. [コピー▼] > [新しいアプリとして保存] をタップします。



4. 機能ボタン名を入力します。



・文字を入力する方法については「文字を入力する (P.53)」を参照してください。

5. [次へ] をタップします。

6. 機能ボタンに使いたい色と画像アイコンをタップします。



## 7. [確定] をタップします。



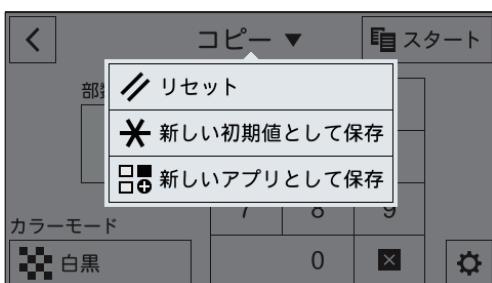
- ・[ファクス] または [スキャナー(メール送信)] の設定を機能ボタンに保存すると、宛先情報も保存されます。ファクスやメールの誤送信を防ぐために、タッチパネルディスプレイに表示された宛先のファクス番号やメールアドレスが正しいことを確認してください。

### ●機能ボタンを編集する

機能ボタンの設定を編集できます。ここでは、コピー用の機能ボタンの編集手順を例として説明します。

ファクスやスキャンなどほかの機能ボタンを編集する場合は、それぞれの設定画面で同様に操作します。

1. [ホーム] 画面で、[コピー] をタップします。
2. 必要に応じて設定を変更します。
3. [コピー▼] > [新しい初期値として保存] をタップします。



4. 機能ボタン名を変えたいときは、テキストボックスをタップし、名前を入力します。



- ・文字を入力する方法については「文字を入力する (P.53)」を参照してください。

5. [次へ] をタップします。
6. 機能ボタンの色や画像アイコンを変えたいときは、使いたい色とアイコンをタップします。
7. [確定] をタップします。

### 機能ボタンを削除する

1. [ホーム ▼] > [カスタマイズ] をタップします。



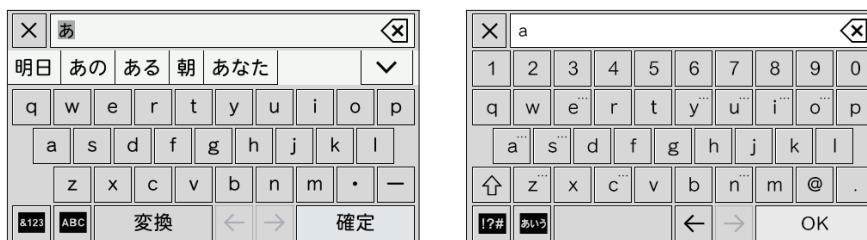
2. 削除する機能ボタンを選び、左上の をタップします。



3. [はい] > [完了] をタップします。

### 3.1.4 文字を入力する

宛先登録など文字入力が必要な場合には、タッチパネルディスプレイに、キーボード画面が表示されます。



| 項目         | 内容  |
|------------|---|
| 英字を入力する    | 英字を入力するには、 <b>ABC</b> をタップします。<br>英字の大文字を入力するには、 をタップします。小文字に戻すには、 を再度タップします。大文字で固定するには、 をダブルタップします。<br>日本語入力に戻す場合は、 をタップします。 |
| 記号や数字を入力する | 日本語入力の場合は、 <b>&amp;123</b> をタップします。英字入力の場合に記号を入力するには、 <b>!?#</b> をタップします。   |
| スペースを入力する  | をタップします。  |
| 文字を削除する    | を1回タップすると、1文字削除されます。  |
| 文字を変換する    | をタップします。  |
| 文字列を確定する   | 日本語入力の場合は、 をタップします。英字入力の場合は、 をタップします。   |

### 3.1.5 パネル操作を制限する

暗証番号を使用して各設定にアクセス制限をかけることができます。権限のないユーザーが本機の設定を変更することを防ぎます。

アクセス制限の対象となる設定は次のとおりです。

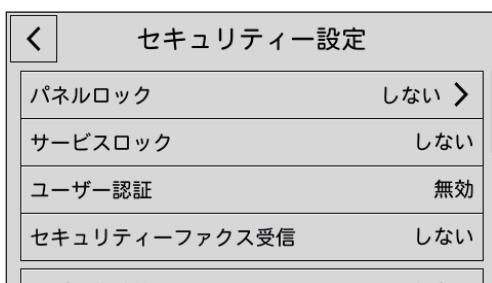
- ・ [アドレス帳]
- ・ [レポート/リスト]
- ・ [一般]
- ・ [ネットワーク設定]
- ・ [アプリの初期値]
- ・ [セキュリティー設定]
- ・ [メンテナンス]
- ・ [高度な設定]

#### パネル操作制限を有効にする

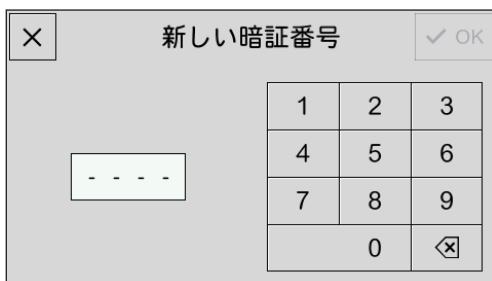
1. ① <ホーム> ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [セキュリティー設定] > [パネルロック] をタップします。



4. [パネルロック設定] の ② をタップしてチェックマークを表示します。
5. 4 行の暗証番号を入力し、[OK] をタップします。



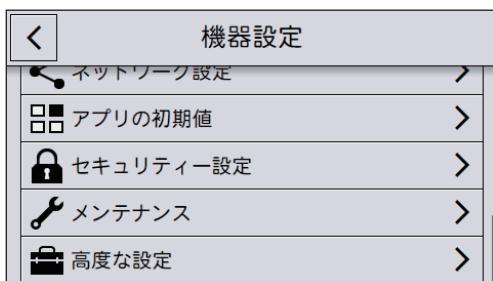
6. 暗証番号を再度入力し、[OK] をタップします。

## パネル操作制限の暗証番号を変更する

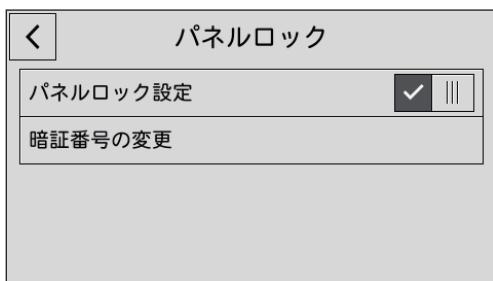
1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



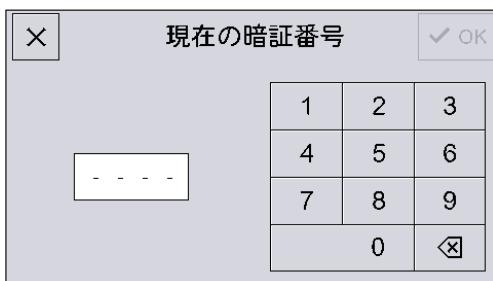
3. [セキュリティ設定] をタップします。



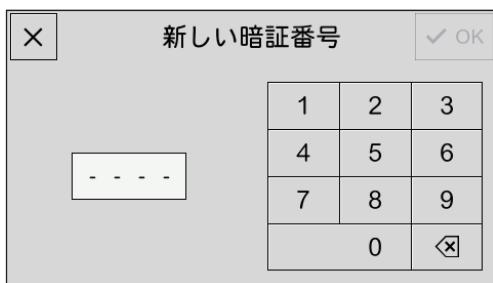
4. 現在の暗証番号を入力し、[OK] をタップします。
5. [パネルロック] > [暗証番号の変更] をタップします。



6. 現在の暗証番号を入力し、[OK] をタップします。



## 7. 新しい暗証番号を入力し、[OK] をタップします。



## 8. 新しい暗証番号を再度入力し、[OK] をタップします。

# パネル操作制限を無効にする



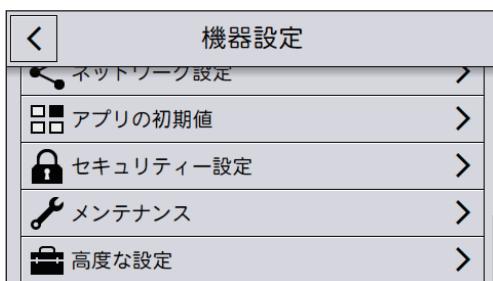
- パネル操作制限を無効にする前に、[セキュリティーファクス受信]、[ユーザー認証] と [サービスロック] を無効にする必要があります。詳しくは、「[セキュリティーファクス受信] (P.223)」、「[ユーザー認証] (P.222)」および「[サービスロック] (P.222)」を参照してください。

1. ① 〈ホーム〉ボタンを押します。

2. [機器設定] をタップします。

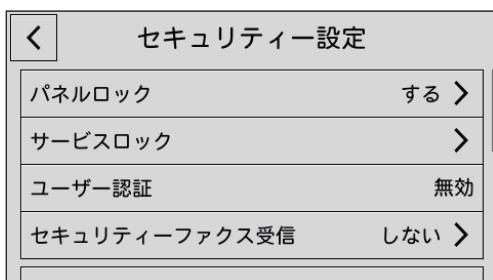


3. [セキュリティー設定] をタップします。



4. 現在の暗証番号を入力し、[OK] をタップします。

5. [パネルロック] をタップします。



6. [パネルロック設定] の  をタップしてチェックマークを非表示にします。

7. 現在の暗証番号を入力し、[OK] をタップします。

### 3.1.6 ユーザーごとに機能の利用を制限する

ユーザー認証機能を有効にすると、本機に登録されたユーザー（登録ユーザー）に各機能の利用を許可し、登録されていないユーザー（ゲストユーザー）に対して利用できる機能を制限できます。さらに、登録ユーザーごとに利用できる機能を制限することもできます。登録ユーザーが本機を利用するときは、操作パネルから登録ユーザーのアカウントにログインします。ログインせずに本機を利用する場合、ゲストユーザーとして扱われます。



・詳しくは、「ユーザー認証機能を使う (P.294)」を参照してください。

## 3.2 節電機能について

節電機能を利用すると、電力消費量を抑えることができます。

### 3.2.1 節電状態に移行する

本機は次の場合に節電状態になります。

- ・一定時間操作をしなかったとき
- ・ (電源/節電) ボタンを押して [スリープモード] を選んだとき

節電状態になると、 (電源/節電) ボタンがゆっくり点滅します。

### 3.2.2 節電機能の種類

低電力モードとスリープモードがあります。

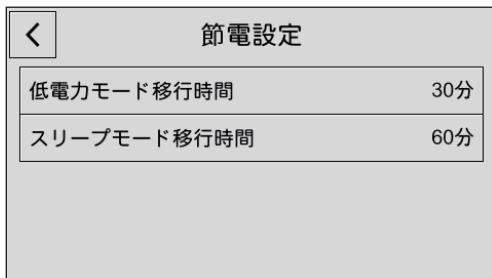
本機はまず低電力モードに入ります。その後、設定時間が経過すると、スリープモードに移行します。

### 3.2.3 節電状態に移行する時間を変更する

1.  (ホーム) ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [一般] > [節電設定] をタップします。
4. [低電力モード移行時間] または [スリープモード移行時間] をタップします。



・詳しくは、「[節電設定] (P.204)」を参照してください。

5. 数値を設定します。
6. [OK] をタップします。

### 3.2.4 節電状態から復帰する

節電状態から復帰するには、（電源/節電）ボタンを押します。

# 3.3 ジョブを確認する

本機の【ジョブ】画面で、ジョブの実行状況を確認したり、実行待ちのジョブを中止したりできます。また、本機に保存されているジョブの出力／削除ができます。



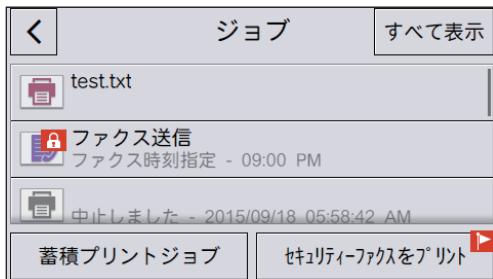
- ・ジョブの実行状況は、レポートまたはCentreWare Internet Servicesでも確認できます。詳しくは、「[ジョブ履歴レポート] (P.196)」またはCentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

## 3.3.1 ジョブの実行状況を確認する

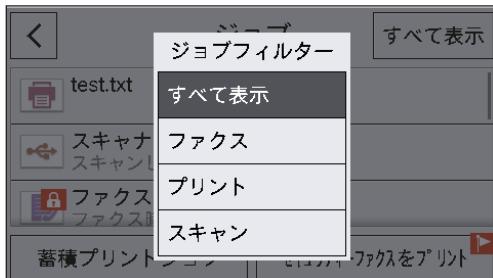
1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [ジョブ] をタップします。



ジョブの実行状況が一覧表示されます。



- ・一覧表示するジョブは、ファクス、プリント、スキャンのどれか一つを選ぶこともできます。画面右上のボタンをタップして表示される [ジョブフィルター] から選びます。



- ・正常終了したジョブは、実行中のジョブの下に表示されます。
- ・各ジョブをタップすると、ジョブの詳細が表示されます。

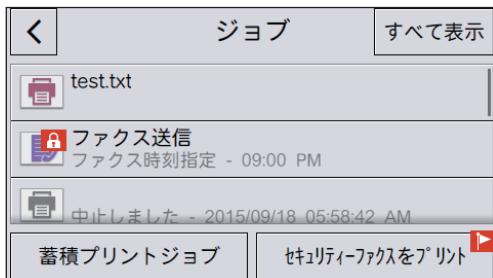
## 3.3.2 実行待ちのジョブを中止する

1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。

## 2. [ジョブ] をタップします。



## 3. ジョブの一覧から中止するジョブを選びます。



## 4. [中止] をタップします。



## 5. 「ジョブを中止しますか？」のメッセージが表示されたら [はい] をタップします。

### 3.3.3 本機に保存されているジョブを出力または削除する

#### 蓄積プリントジョブを出力／削除する

セキュリティープリント、サンプルプリントのそれぞれで、保存されているジョブを出力したり削除したりできます。



- 詳しくは「セキュリティープリントする (P.84)」または「サンプルプリントする (P.86)」を参照してください。

#### セキュリティーファクスを出力する

セキュリティー受信モードで受信したファクスは、4桁の暗証番号を入力して出力します。



- 詳しくは「受信したファクスを出力する (P.156)」を参照してください。

# 3.4 用紙について

## 3.4.1 弊社が推奨する用紙

### ⚠ 警告

- ・電気を通しやすい紙（折り紙/カーボン紙/導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

より鮮明にコピーやプリントをするためには規格に合った用紙を使用してください。弊社では次の標準紙を推奨しています。

| 用紙トレイに設定する用紙種類 | 用紙名                | 用紙質量 (g/m <sup>2</sup> ) |
|----------------|--------------------|--------------------------|
| 普通紙            | FUJI XEROX P       | 64                       |
| 普通紙            | FUJI XEROX V-Paper | 64                       |

その他の用紙については、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

### ❗ 注記

- ・水、雨、蒸気などの水分により、印刷面の画像がはがれることがあります。詳しくはお買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

## 再生紙の利用について

本機で利用できる再生紙は次のとおりです。

| 用紙名                         | 用紙質量 (g/m <sup>2</sup> ) | 古紙パルプ配合率 |
|-----------------------------|--------------------------|----------|
| FUJI XEROX G70              | 67                       | 70%      |
| FUJI XEROX C <sup>2</sup> r | 70                       | 70%      |

## 3.4.2 各トレイで使用できる用紙質量と枚数

| 用紙トレイ                             | 対応用紙質量 (g/m <sup>2</sup> ) | セット可能枚数* |
|-----------------------------------|----------------------------|----------|
| トレイ1                              | 60～90                      | 280枚     |
| トレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション） | 60～256                     | 560枚     |
| トレイ5（手差し）                         | 60～216                     | 100枚     |

\* FUJI XEROX P紙の場合

### 3.4.3 各トレイで使用できる用紙

#### 用紙種類

| 用紙の種類       | 用紙質量<br>(g/m <sup>2</sup> ) | トレイ1 | トレイ2 (1トレイモジュール)<br>(お使いの機種によってはオプション) | トレイ5 (手差し) | 自動両面 |
|-------------|-----------------------------|------|--|------------|------|
| 普通紙         | 60～90                       | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| 普通紙 (うら面)   | 60～90                       | ○    | ○                                      | ○          | ×    |
| 上質紙         | 91～105                      | ×    | ○                                      | ○          | ○    |
| 上質紙 (うら面)   | 91～105                      | ×    | ○                                      | ○          | ×    |
| 再生紙         | 60～89                       | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| 再生紙 (うら面)   | 60～89                       | ○    | ○                                      | ○          | ×    |
| 穴あき紙        | 60～89                       | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| レターヘッド      | 60～89                       | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| 厚紙1         | 106～169                     | ×    | ○                                      | ○          | ○    |
| 厚紙1 (うら面)   | 106～169                     | ×    | ○                                      | ○          | ×    |
| 厚紙2         | 170～256                     | ×    | ○                                      | ○(170～216) | ×    |
| 厚紙2 (うら面)   | 170～256                     | ×    | ○                                      | ○(170～216) | ×    |
| コート紙1       | 106～169                     | ×    | ○                                      | ○          | ○    |
| コート紙1 (うら面) | 106～169                     | ×    | ○                                      | ○          | ×    |
| コート紙2       | 170～256                     | ×    | ○                                      | ○(170～216) | ×    |
| コート紙2 (うら面) | 170～256                     | ×    | ○                                      | ○(170～216) | ×    |
| ラベル紙        | 106～256                     | ×    | ○                                      | ○(106～216) | ×    |
| プレプリント紙     | 60～89                       | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| 色紙          | 60～89                       | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| 郵便はがき       | -                           | ×    | ×                                      | ○          | ×    |
| 郵便はがき (うら面) | -                           | ×    | ×                                      | ○          | ×    |
| 封筒          | -                           | ×    | ×                                      | ○          | ×    |

○: 使用可 ×: 使用不可



・自動両面機能は質量が60～169 g/m<sup>2</sup>の用紙で使用できます。

# 用紙サイズ

## ●定形サイズ



### 補足

- ・本機の各機能の【用紙サイズ】に表示されない定形サイズの用紙は、【ユーザー定義サイズ】で設定してお使いください。

| 用紙のサイズ             | 向き   | トレイ1 | トレイ2 (1トレイモジュール)<br>(お使いの機種によってはオプション) | トレイ5 (手差し) | 自動両面 |
|--------------------|------|------|--|------------|------|
| A3 (297 x 420 mm)  | たて置き | ×    | ×                                      | ×          | ×    |
|                    | よこ置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| B4 (257 x 364 mm)  | たて置き | ×    | ×                                      | ×          | ×    |
|                    | よこ置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| A4 (210 x 297 mm)  | たて置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
|                    | よこ置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| B5 (182 x 257 mm)  | たて置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
|                    | よこ置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| A5 (148 x 210 mm)  | たて置き | ×    | ×                                      | ×          | ×    |
|                    | よこ置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| 八開 (270 x 390 mm)  | たて置き | ×    | ×                                      | ×          | ×    |
|                    | よこ置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| 十六開 (195 x 270 mm) | たて置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
|                    | よこ置き | ×    | ×                                      | ○          | ○    |
| 11 x 17"           | たて置き | ×    | ×                                      | ×          | ×    |
|                    | よこ置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| 8.5 x 14" (リーガル)   | たて置き | ×    | ×                                      | ×          | ×    |
|                    | よこ置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| 8.5 x 13"          | たて置き | ×    | ×                                      | ×          | ×    |
|                    | よこ置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
| 8.5 x 11" (レター)    | たて置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |
|                    | よこ置き | ○    | ○                                      | ○          | ○    |

○：使用可 ×：使用不可

## ●ユーザー定義サイズ

|                                   |                                |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| トレイ1                              | 使用できません                        |
| トレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション） | よこ：140～297 mm<br>たて：182～432 mm |
| トレイ5（手差し）                         | よこ：89～297 mm<br>たて：98～432 mm   |

ユーザー定義用紙を設定した場合、自動両面機能は次の用紙サイズと用紙質量のときに利用できます。

トレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション）

よこ：140～297 mm

たて：182～432 mm

用紙質量：60～169 g/m<sup>2</sup>

トレイ5（手差し）

よこ：128～297 mm

たて：140～432 mm

用紙質量：60～169 g/m<sup>2</sup>

## 使用できない用紙

故障の原因となるので、次の用紙は使用しないでください。

- ・ 折り目やしわが入った用紙
- ・ 湿気を含んだ用紙、湿気で波打った用紙
- ・ カールした用紙
- ・ 使用後（一部のラベルを剥がした後）のラベル紙
- ・ 本機以外のプリンターやコピー機で一度プリントした用紙
- ・ OHP フィルム
- ・ バックライトフィルム（電飾フィルム）
- ・ 水転写紙
- ・ インクジェット用紙
- ・ 感熱紙、熱転写紙
- ・ 布地転写用紙
- ・ ベタ塗りの裏紙
- ・ ノーカーボン紙
- ・ 横目用紙のような、コシの弱い用紙
- ・ 凹凸処理を施した紙（エンボス紙）
- ・ ミシン目のある用紙

その他にも、使用できない用紙があります。詳しくはお買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

## 3.4.4 用紙の保管と取り扱い

### 用紙の保管

- 用紙は、専用キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙詰まりや画質不良の原因となります。
- 開封後、用紙の残りは包装紙に包んで保管してください。
- 用紙は、折れ曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
- 直射日光を避けて保管してください。

### 用紙の取り扱い

- 用紙の束は、きちんとそろえてからセットしてください。
- サイズの異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- ラベル用紙は紙詰まりを起こしたり複数枚が同時に送られたりすることがあるので、よくさばいてからご使用ください。

# 3.5 用紙をセットする

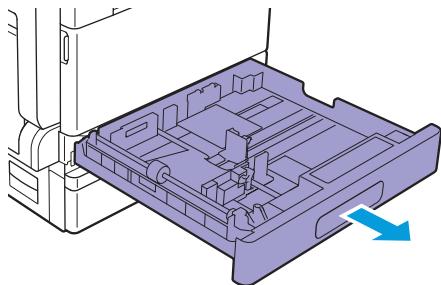
## 3.5.1 トレイ1、トレイ2に用紙をセットする



### 注記

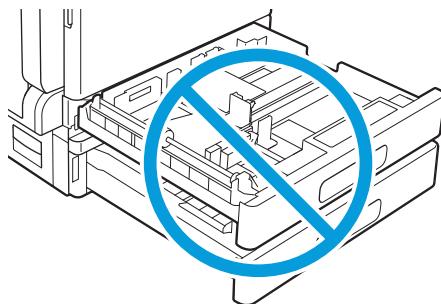
- ・プリント／コピー中は、使用中の用紙トレイを引き出さないでください。

#### 1. 用紙トレイを、止まる位置まで引き出します。



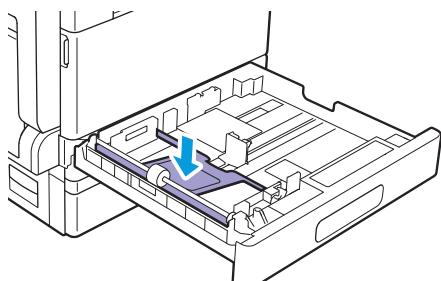
### 注記

- ・用紙トレイに残っている用紙の上に、異なるサイズや種類の用紙を補給しないでください。紙詰まりやエラーの原因になることがあります。
- ・すべての用紙トレイを同時に引き出すと、機械全体が傾き、転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

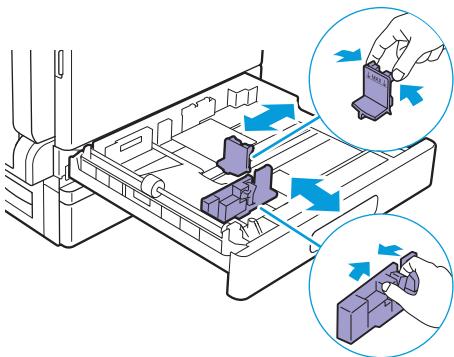


用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

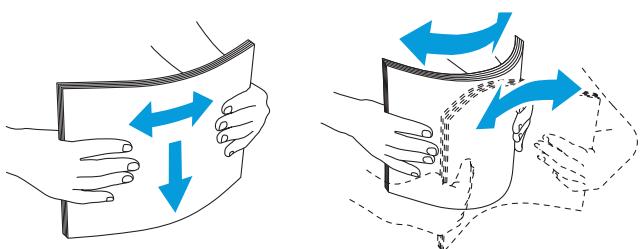
トレイ1に用紙をセットするには、金属プレートを下に押します。



## 2. 用紙ガイドを用紙サイズに合った位置まで移動します。



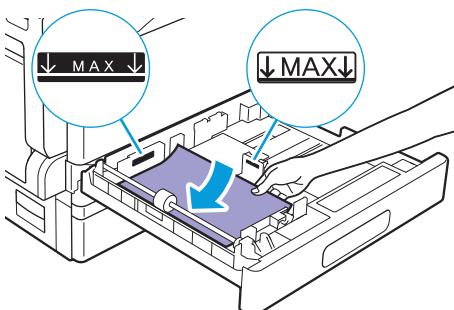
## 3. 用紙をセットする前に、用紙をよくさばきます。平らな面で用紙の四辺を整えます。



## 4. コピーまたはプリントする面を上にして、用紙トレイに用紙の先端を左側にそろえてセットします。

### ! 注記

- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。



### ! 補足

- 用紙ガイドが用紙とずれていると紙詰まりの原因になります。用紙ガイドが用紙とずれている場合は、用紙ガイドを用紙サイズに合わせ直します。
- トレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション）に非定形サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズに合うように、用紙ガイドの位置を微調整します。

## 5. 用紙トレイが止まるまでゆっくりと押し込みます。

### ! 注記

- 用紙トレイを押し込むときは、ゆっくりと押し込んでください。用紙トレイを勢いよく押し込むと、故障の原因になります。

- 6.** 操作パネルに用紙設定画面が表示されたら、画面左下の用紙サイズに、トレイにセットした用紙サイズが表示されていることを確認します。



**補足**

- 工場出荷時は、用紙設定画面が表示されない設定になっています。用紙設定画面を表示する場合は、[機器設定] > [トレイ設定] で、各トレイの [設定画面を表示する] にチェックマークを付けてください。

- 7.** 画面右下の用紙種類をタップして、用紙種類を選びます。

- 8.** [OK] をタップします。

## 3.5.2 トレイ 5（手差し）に用紙をセットする

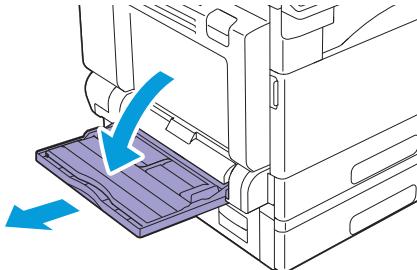
**注記**

- トレイ5（手差し）からコピーやプリントをしているときに、トレイ5（手差し）に用紙を追加したり、用紙を取り除いたりしないでください。紙詰まりの原因となります。

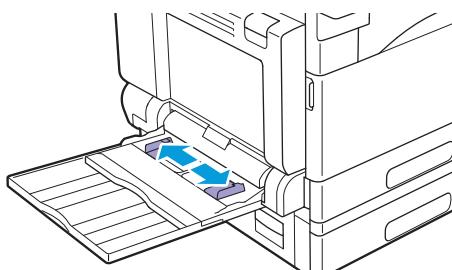
- 1.** トレイ5（手差し）を開きます。

**補足**

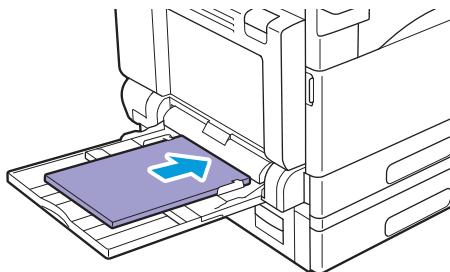
- 必要に応じて、延長トレイを引き出します。延長トレイを引き出すときは、ゆっくりと引き出してください。



- 2.** 用紙ガイドをセットする用紙のサイズに合わせます。



- 3.** コピーまたはプリントする面を下にして、用紙をそろえた状態で先端が軽く突き当たるまで差し込みます。



#### !**注記**

- 異なる種類の用紙はセットしないでください。
- 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

#### 💡**補足**

- 用紙ガイドが用紙とずれていると紙詰まりの原因になります。用紙ガイドが用紙とずれている場合は、用紙ガイドを用紙サイズに合わせ直します。
- 非定形サイズの用紙をセットした場合は、用紙サイズに合うように、用紙ガイドの位置を微調整します。

- 4.** 操作パネルに用紙設定画面が表示されたら、[ドライバーの設定を使用する] のチェックマークを外します。



#### 💡**補足**

- 工場出荷時は、用紙設定画面が表示される設定になっています。用紙設定画面が表示されなくなった場合は、[機器設定] > [トレイ設定] で、トレイ5（手差し）の [設定画面を表示する] にチェックマークを付けてください。

- 5.** 画面左下の用紙サイズをタップして、用紙サイズを選びます。

- 6.** 画面右下の用紙種類をタップして、用紙種類を選びます。

- 7.** [OK] をタップします。

## トレイ5（手差し）にセットした用紙にプリントする

- トレイ5（手差し）に用紙をセットします。
- 操作パネルに表示される [トレイ5(手差し)設定] の画面で、[ドライバーの設定を使用する] にチェックマークを付けます。
- プリンタードライバーの [用紙トレイ選択] で、[トレイ5(手差し)] を選びます。
- プリンタードライバーで、トレイ5（手差し）にセットしたのと同じ用紙サイズと用紙種類を設定します。

## 5. プリントを開始します。

### 補足

- ・プリンタードライバーの【用紙トレイ選択】で、【自動】を選んでプリントすることもできます。この場合は、【トレイ5(手差し)設定】の画面で【ドライバーの設定を使用する】のチェックマークを外して、トレイ5(手差し)にセットしたのと同じ用紙サイズと用紙種類を正しく設定してください。

### 参照

- ・プリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

## トレイ5(手差し)にセットした用紙にコピーする

1. トレイ5(手差し)に用紙をセットします。
2. 操作パネルに表示される【トレイ5(手差し)設定】の画面で、【ドライバーの設定を使用する】のチェックマークを外します。
3. トレイ5(手差し)にセットしたのと同じ用紙サイズと用紙種類を設定します。
4. コピーを開始します。

### 参照

- ・コピーの機能については、「コピー(P.92)」を参照してください。

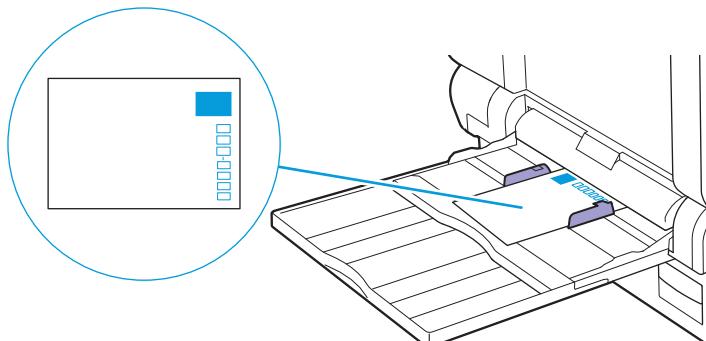
## 3.5.3 はがきをセットする

### 注記

- ・はがきは、トレイ5(手差し)にだけセットできます。
- ・はがきの種類によっては、用紙送りローラーに汚れが付着し、紙詰まりを起こしたり斜めに印字されたりする場合があります。
- ・はがきは、幅が同一のものをセットしてください。幅の異なるはがきが混在すると、斜めに印字される場合があります。

## はがきをセットする

はがきをよくさばいてから、コピーまたはプリントする面を下にして、はがきの上辺が先に本機に入るようセットします。



## 3.5.4 封筒をセットする

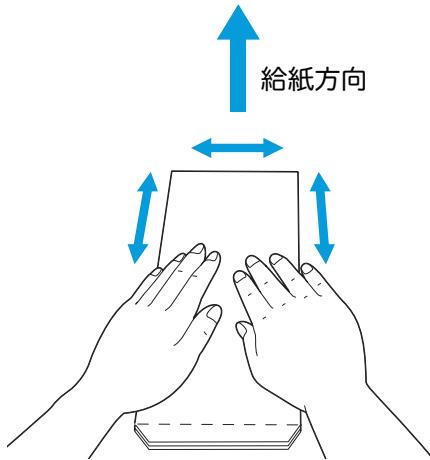
### ! 注記

- 封筒は、トレイ5（手差し）にだけセットできます。

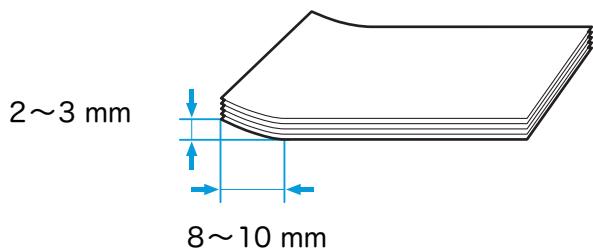
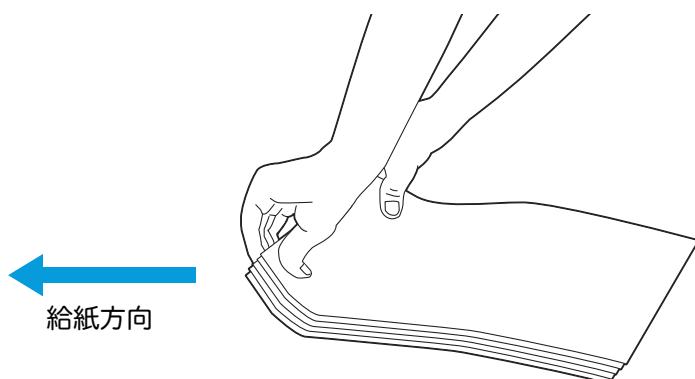
### 💡 捷足

- 開封したての新しい封筒を使用してください。

封筒をパッケージから取り出してすぐにセットしない場合は、封筒が反って（カールして）しまう可能性があります。紙詰まりを防止するため、セットする際には、次のように封筒全体をしっかりと押さえて平らにしてください。

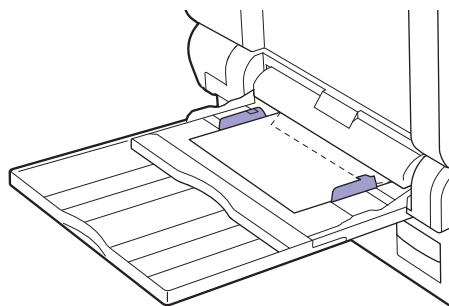


- 異なるサイズの封筒を同時にセットしないでください。
- トレイ5（手差し）にセットできる封筒の高さは約 10 mm です。
- 封筒が正しく給紙されない場合は、封筒の端を図のようにカールさせてください。カール幅は2~3 mmをお勧めします。カールさせる領域は、封筒の先端から8~10 mmです。カールをつけすぎたり、しわをつけたりしないようにしてください。



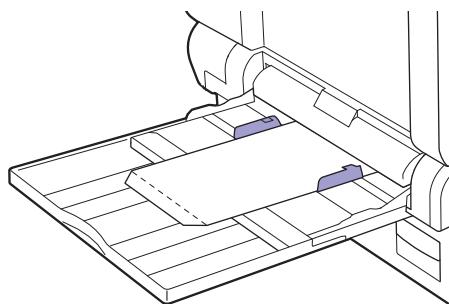
## 長辺にフラップがついている封筒（洋封筒）

コピーまたはプリントする面を下にして封筒のフラップを閉じ、封筒の上辺（フラップがある方）が先に本機に入るようにセットします。



## 短辺にフラップがついている封筒（和封筒）

コピーまたはプリントする面を下にして封筒をセットします。封筒の底辺（フラップではない方）が先に本機に入るようにセットします。



### **補足**

- ・ フラップが開いている封筒の場合、プリンタードライバーのユーザー定義サイズにフラップの部分を含めたサイズを登録します。
- ・ のり付きの封筒は、フラップを閉じ、印字面を下にセットし、封筒の上辺（フラップがある方）が先に本機に入るようにセットします。

# 3.6 原稿をセットする

自動両面原稿送り装置または原稿ガラスに原稿をセットします。

自動両面原稿送り装置にセットできる原稿

- ・ 1枚もの
- ・ 複数枚の原稿

原稿ガラスにセットできる原稿

- ・ 1枚もの
- ・ 本などの冊子

原稿をセットする手順には、次の2つの方法があります。

## 3.6.1 自動両面原稿送り装置にセットする

自動両面原稿送り装置にセットできる原稿は、定形サイズだけです。

自動両面原稿送り装置に原稿をセットすると、自動的に原稿サイズを検知します。検知できる定形サイズは、A3、B4、A4□、A4、B5□、B5<sup>\*</sup>、A5、11×17"、8.5×14"<sup>\*</sup>、8.5×13"<sup>\*</sup>、8.5×11"□、8.5×11"、八開、十六開□、十六開<sup>\*</sup>です。

\* [機器設定] > [一般] > [原稿サイズ検知切替] で、自動的に検知するサイズを設定できます。詳しくは、「[原稿サイズ検知切替] (P.204)」を参照してください。

### ! 注記

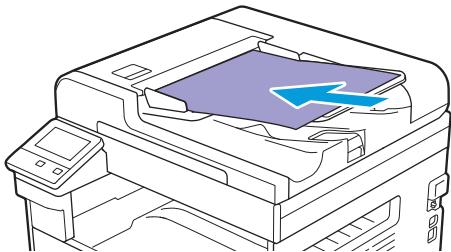
- ・ 折り目、しわのある原稿、切り貼り原稿、カール紙、裏カーボン紙は、紙詰まりの原因になりますので、原稿ガラスにセットしてください。

### 1. 原稿をセットする前に、クリップやホチキスを外します。

- 2. コピーまたはスキャンする面（両面原稿の場合はおもて面）を上に向けて、自動両面原稿送り装置の中央にセットします。**

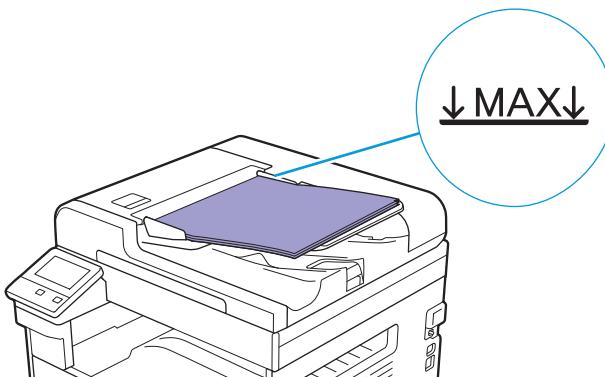
**! 注記**

- 付せん紙、クリップ、ホチキス、セロハンテープなどは、外してからセットしてください。紙詰まりや自動両面原稿送り装置の故障につながることがあります。

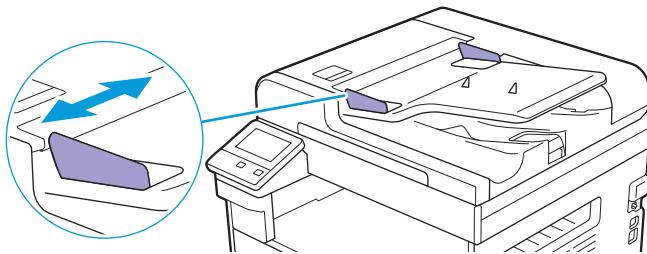


**! 注記**

- 原稿上限線（「MAX」の位置）を超える量の原稿をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

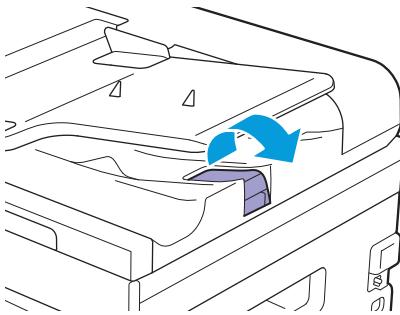


### 3. 原稿ガイドを移動して、セットする用紙のサイズに合わせます。



#### 補足

- 原稿受けストッパーを開くと、原稿の落下を防止できます。



## 3.6.2 原稿ガラスにセットする

### 自動検知できる原稿サイズ

[原稿サイズ] を [自動] に設定すると、自動的に原稿を検知します。

自動検知できる原稿サイズは、A3、B4、A4□、A4、B5□、B5、A5、11×17"、8.5×11"□、八開、十六開□、十六開です。

[機器設定] > [一般] > [原稿サイズ検知切替] で、自動的に検知するサイズを設定できます。詳しくは、「[原稿サイズ検知切替] (P.204)」を参照してください。

### 使用できる原稿サイズ

[原稿サイズ] の [自動] 以外で設定できる原稿サイズは、A3、B4、A4□、A4、B5□、B5、A5、11×17"、8.5×14"、8.5×13"、8.5×11"□、8.5×11"、八開、十六開□、十六開です。

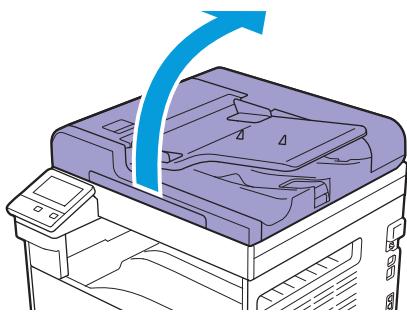
#### 注意

- 書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。

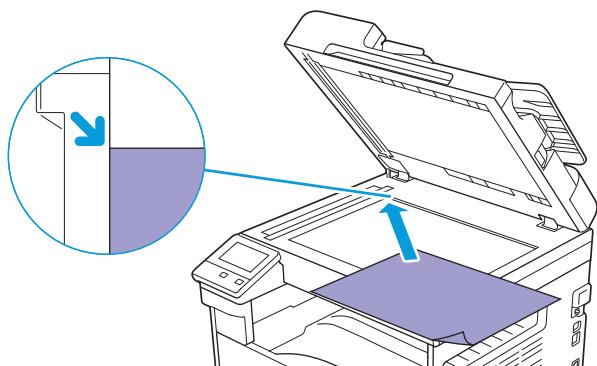
#### 補足

- [原稿サイズ] を [自動] に設定している場合、定形サイズ以外の原稿を原稿ガラスにセットすると、エラー画面が表示されます。この場合は、[自動] 以外の原稿サイズを選んでください。選んだ原稿サイズによっては、原稿が用紙に収まらなかったり、原稿の周りの影が写り込む場合があります。
- 自動両面原稿送り装置に原稿がセットされていないことを確認してください。自動両面原稿送り装置にセットされている原稿は、原稿ガラスの原稿より優先して読み込まれます。

**1.** 原稿カバーを開きます。



**2.** コピーまたはスキャンする面を下に向けて、原稿ガラスの左奥の角に合わせて原稿をセットします。



**3.** 原稿カバーを閉じます。

# 4 プリント

|     |                              |    |
|-----|------------------------------|----|
| 4.1 | コンピューターからプリントする .....        | 79 |
| 4.2 | プリントを中止する .....              | 82 |
| 4.3 | カラープリントジョブを白黒でプリントする .....   | 83 |
| 4.4 | 蓄積プリント機能を使う (Windows®) ..... | 84 |
| 4.5 | はがきや封筒にプリントする .....          | 87 |

# 4.1 コンピューターからプリントする



## 補足

- ・プリンタードライバーの設定内容は、操作パネルの設定より優先されます。プリンタードライバーの機能について、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

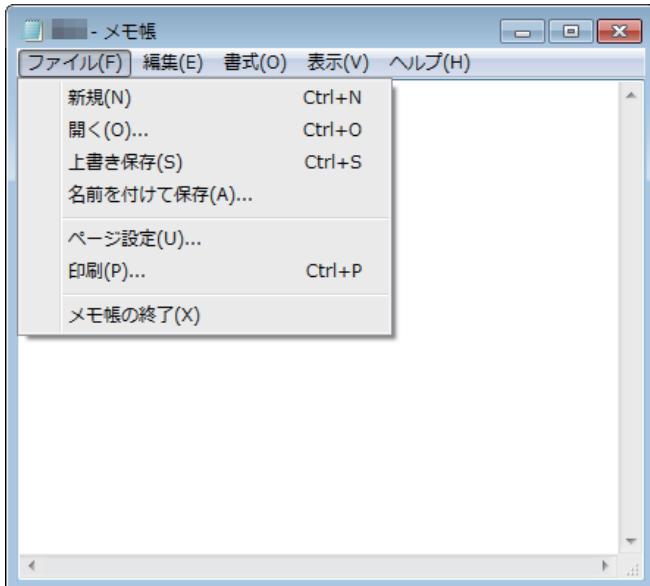
ここでは代表的なプリント手順を説明します。

## 4.1.1 Windows® の場合

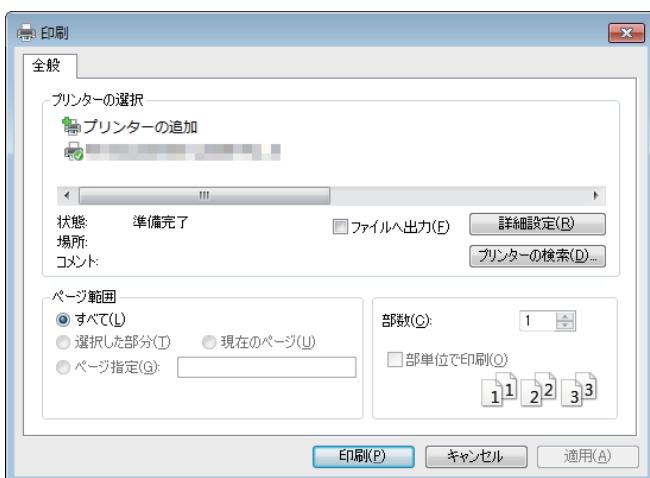
1. プリントするファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。



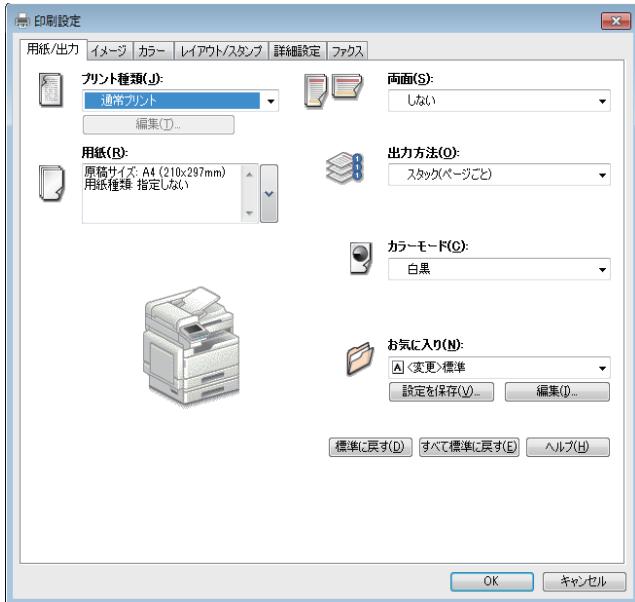
- ・アプリケーションによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。



3. [プリンターの選択] から本機を選び、[詳細設定] をクリックします。



#### 4. 必要に応じて [印刷設定] で設定を変更し、[OK] をクリックします。



#### 5. [印刷] をクリックします。

## 4.1.2 Mac の場合



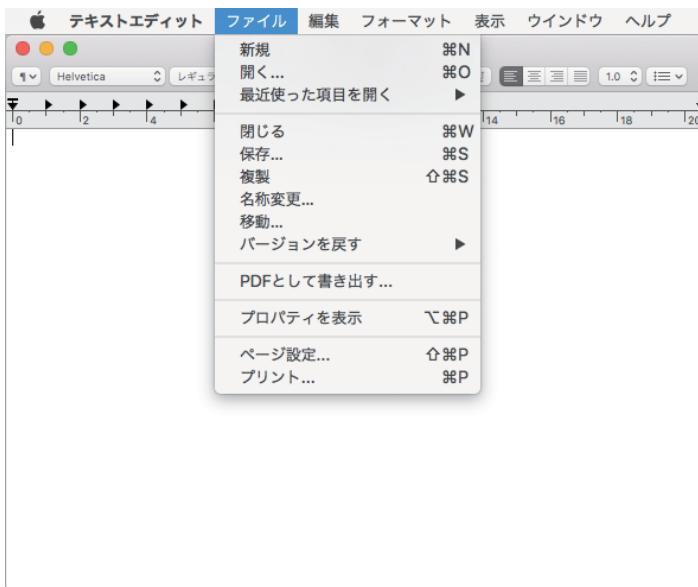
- USB接続でAirPrint機能を使う場合は、CentreWare Internet Servicesの画面左の領域にある [ネットワーク設定] をクリックして、[モバイルプリント] から [AirPrint™] を選び、[USB接続] にチェックマークを付けます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

#### 1. プリントするファイルを開きます。

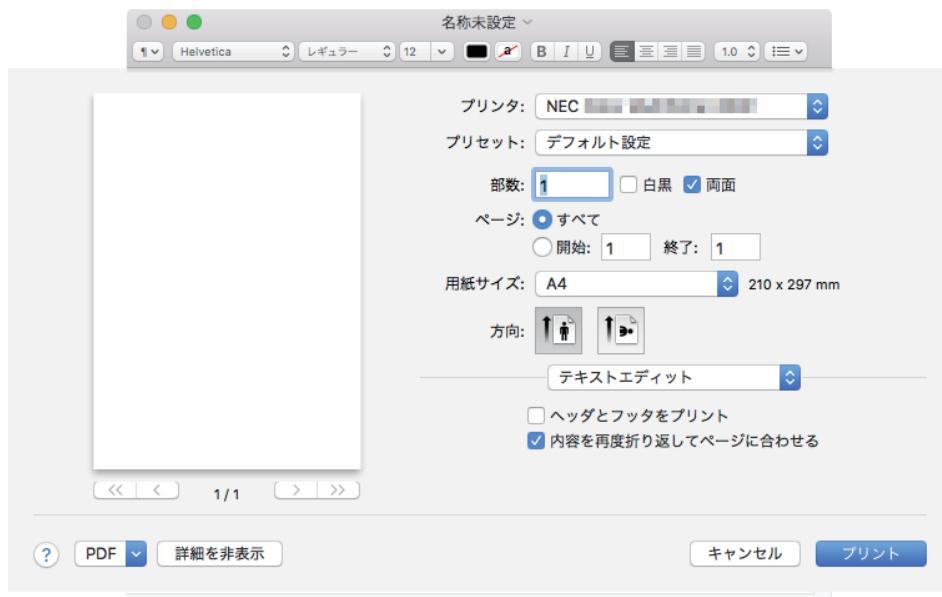
#### 2. [ファイル] メニューから [プリント] を選びます。



- アプリケーションによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。



### 3. [プリンタ] から本機を選び、必要に応じて設定を変更します。



### 4. [プリント] をクリックします。

# 4.2 プリントを中止する

## 4.2.1 操作パネルで中止する

1. ① <ホーム> ボタンを押します。
2. [ジョブ] をタップします。



3. [すべて表示] > [プリント] をタップし、取り消すプリント文書を選択します。
4. [中止] をタップします。

## 4.2.2 コンピューターで中止する

お使いのOS（オペレーティングシステム）やアプリケーションを操作してプリントを中止してください。



・詳しくは、お使いのOS（オペレーティングシステム）やアプリケーションのヘルプを参照してください。

# 4.3 カラープリントジョブを白黒でプリントする

すべてのユーザーのカラープリントジョブを強制的に白黒でプリントします。



補足

- ・プリント集計管理機能を使って、ユーザーごとにカラープリントを制限することもできます。詳しくは、「プリント集計管理機能を使う (P.258)」を参照してください。
- ・Macからのカラープリントジョブは白黒ではプリントできません。

1. ⌂ <ホーム> ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [セキュリティ設定] > [プリント集計管理] をタップします。
4. [プリント集計管理] > [しない] をタップします。
5. [強制白黒プリント] > [する] をタップします。
6. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。
7. プリントを実行します。



参考

- ・プリントの方法については、「コンピューターからプリントする (P.79)」を参照してください。

## 4.4 蓄積プリント機能を使う (Windows®)

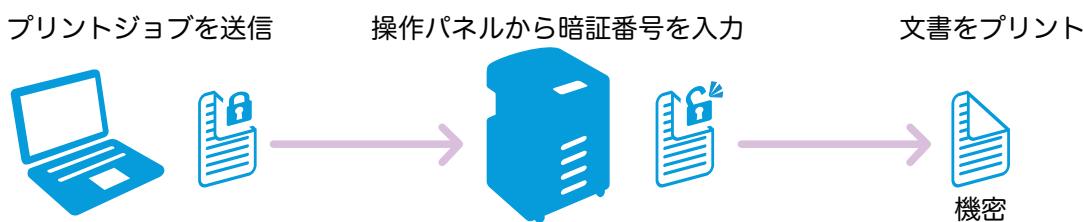
プリント文書を一時的に本機内に蓄積して、操作パネルからプリントを開始します。文書に暗証番号を付けて機密文書などを管理できるセキュリティープリントと、複数部をプリントする場合に便利なサンプルプリントがあります。

### 補足

- ・本機の電源を切ると、本機に蓄積された文書は消去されます。
- ・蓄積プリント機能は、次の条件がすべて満たされている場合に使用できます。
  - [機器設定] で、[RAMディスク] が [有効] に設定されているとき
  - プリンタードライバーで [RAMディスク] が [あり] に設定されているとき
  - 本機のメモリーに、データを蓄積するための十分な空き容量があるとき
  - 蓄積プリント機能は、Windows® からプリントする場合に使用できます。

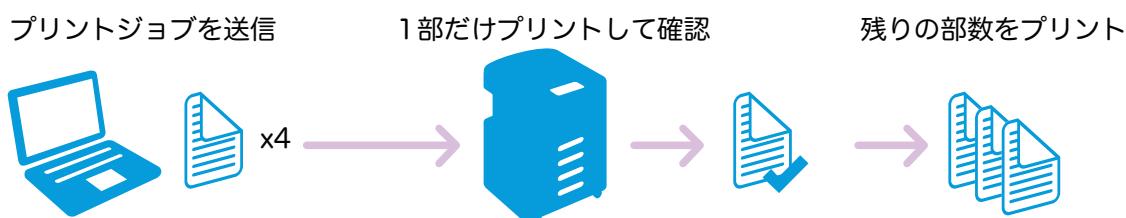
### セキュリティープリント

プリント文書に暗証番号を設定して本機に保存します。操作パネルで暗証番号を入力したときだけプリントできるので、機密文書をプリントする場合に便利です。



### サンプルプリント

複数部をプリントするときに、1部だけ試しにプリントできる機能です。



### 4.4.1 セキュリティープリントする

#### プリンタードライバーで設定する

プリンタードライバーの [用紙/出力] タブで、[プリント種類] から [セキュリティープリント] を選んでジョブを送信します。

### 参照

- ・プリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

### 補足

- ・セキュリティープリントには、暗証番号を設定する必要があります。
- ・本機の電源を切ると、本機に蓄積されたプリント文書は削除されます。

## セキュリティープリントジョブをプリントする

1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [ジョブ] をタップします。



3. [蓄積プリントジョブ] をタップし、目的のフォルダーを選びます。
4. 設定した暗証番号を入力します。
5. プリントする文書を選び、プリント部数を設定します。

**補足**

・プリント後に文書を削除する場合は [プリント後に削除する] をタップしてチェックマークを付けます。

6. [プリント] をタップします。

## セキュリティープリントジョブを削除する

1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [ジョブ] をタップします。



3. [蓄積プリントジョブ] をタップし、目的のフォルダーを選びます。
4. 設定した暗証番号を入力します。
5. 削除する文書の □ をタップします。
6. [はい] をタップします。

## 4.4.2 サンプルプリントする

### プリンタードライバーで設定する

プリンタードライバーの【用紙/出力】タブで、【プリント種類】から【サンプルプリント】を選んでジョブを送信します。

#### 参照

- ・プリンタードライバーの機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

#### 補足

- ・本機の電源を切ると、本機に蓄積されたプリント文書は削除されます。

### サンプルプリントジョブをプリントする

1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [ジョブ] をタップします。



3. [蓄積プリントジョブ] をタップし、目的のフォルダーを選びます。
4. プリントする文書を選び、プリント部数を設定します。
5. [プリント] をタップします。

### サンプルプリントジョブを削除する

1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [ジョブ] をタップします。



3. [蓄積プリントジョブ] をタップし、目的のフォルダーを選びます。
4. 削除する文書の □ をタップします。
5. [はい] をタップします。

# 4.5 はがきや封筒にプリントする

はがきや封筒をトレイ5（手差し）にセットし、PCLドライバーを使ってプリントする方法を説明します。

## 4.5.1 はがきにプリントする

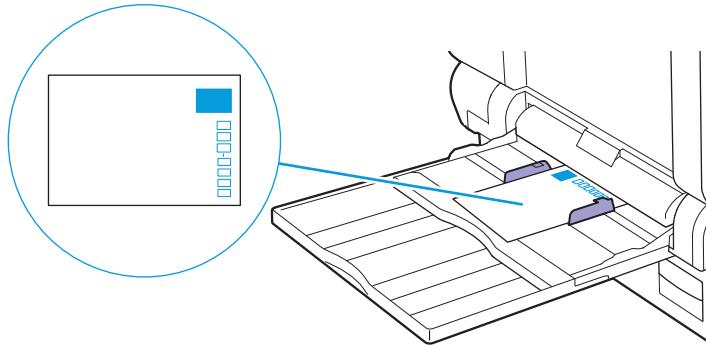
### 1. はがきをトレイ5（手差し）にセットします。



#### 注記

- ・はがきは、トレイ5（手差し）にだけセットできます。
- ・はがきの種類によっては、用紙送りローラーに汚れが付着し、紙詰まりを起こしたり斜めに印字されたりする場合があります。
- ・はがきは、幅が同一のものをセットしてください。幅の異なるはがきが混在すると、斜めに印字される場合があります。

はがきをよくさばいてから、プリントする面を下にして、はがきの上辺が先に本機に入るようセットします。

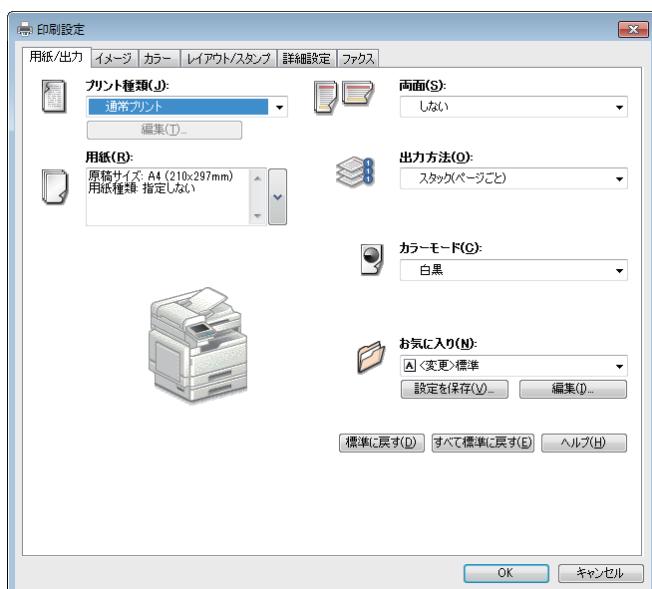


### 2. プリントするファイルを開きます。

### 3. [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。

### 4. [プリンターの選択] から本機を選び、[詳細設定] をクリックします。

### 5. [用紙/出力] タブをクリックします。



## 6. [用紙] の左側にあるアイコンをクリックします。



・[用紙一括設定] 画面で、関連する項目が一括して設定できます。

## 7. [原稿サイズ] で [郵便はがき (100x148mm)] を選びます。

## 8. [用紙の倍率] で [変更しない] を選びます。



・[自動] を選んだ場合は、[出力用紙サイズ] で [郵便はがき (100x148mm)] を選びます。

## 9. [手差し用紙種類] で [郵便はがき] を選びます。



・はがきのうら面にプリントするときは [郵便はがきうら面] を選びます。

## 10. [OK] をクリックします。

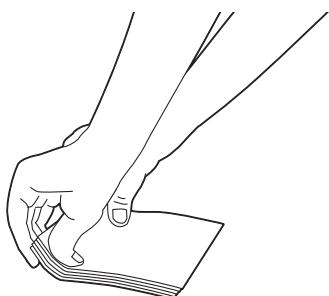
## 11. 必要に応じて、その他の印刷設定をします。

## 12. [OK] をクリックします。

## 13. [印刷] をクリックして、プリントを開始します。

## 両面にプリントするときは

はがきの両面にプリントするときは、片面にプリントしたあと、はがきの端にできた反りを平らにしてからうら面をセットします。反りを直さずにセットすると、はがきが正しく給紙されない場合があります。



## 4.5.2 封筒にプリントする

### 1. 封筒をトレイ5（手差し）にセットします。

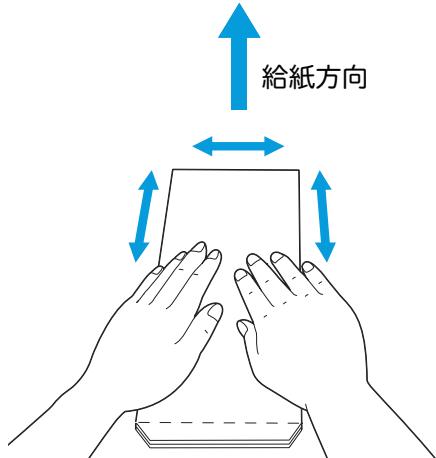
#### ！注記

- ・封筒は、トレイ5（手差し）にだけセットできます。

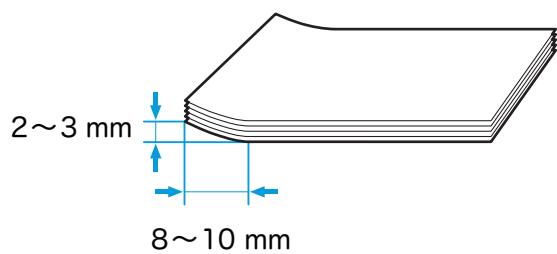
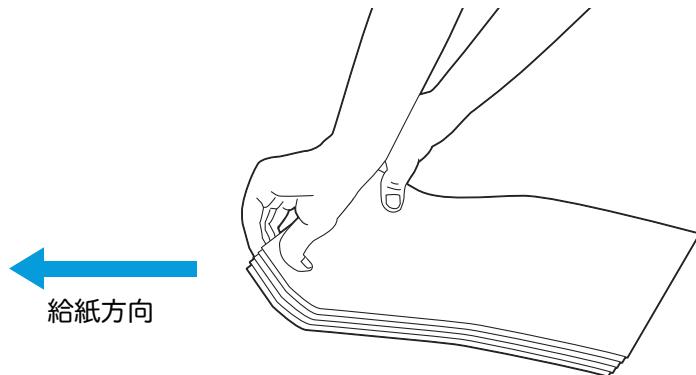
#### 💡補足

- ・開封したての新しい封筒を使用してください。

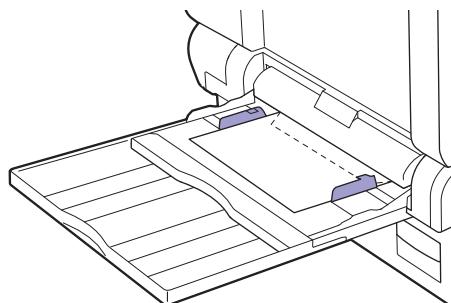
封筒をパッケージから取り出してすぐにセットしない場合は、封筒が反って（カールして）しまう可能性があります。紙詰まりを防止するため、セットする際には、次のように封筒全体をしっかり押さえて平らにしてください。



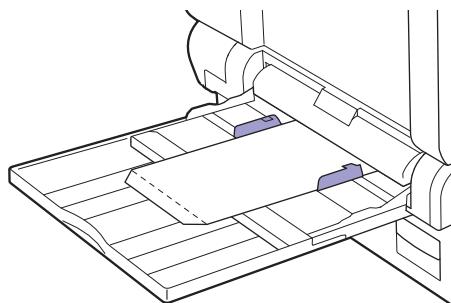
- ・異なるサイズの封筒を同時にセットしないでください。
- ・トレイ5（手差し）にセットできる封筒の高さは約10 mmです。
- ・封筒が正しく給紙されない場合は、封筒の端を図のようにカールさせてください。カール幅は2~3mmをお勧めします。カールさせる領域は、封筒の先端から8~10mmです。カールをつけすぎたり、しわをつけたりしないようにしてください。



- ・ **長辺にフラップがついている封筒（洋封筒）をセットする場合**  
プリントする面を下にして封筒のフラップを閉じ、封筒の上辺（フラップがある方）が先に本機に入るようセットします。



- ・ **短辺にフラップがついている封筒（和封筒）をセットする場合**  
プリントする面を下にして封筒をセットします。封筒の底辺（フラップではない方）が先に本機に入るようセットします。

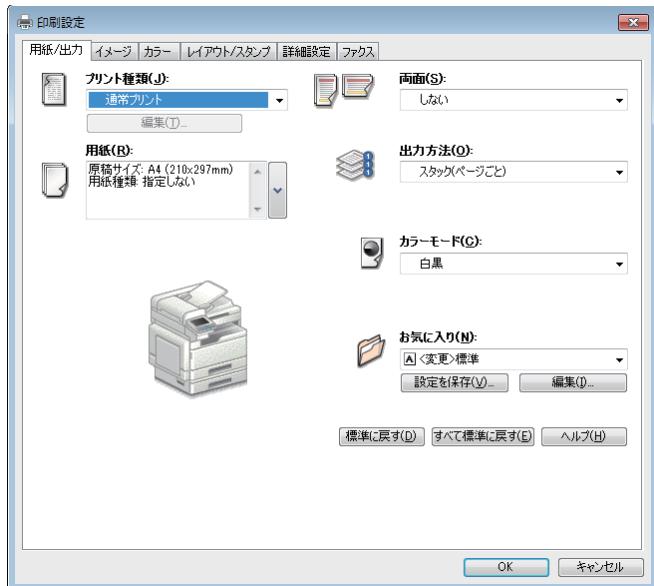


#### **補足**

- ・ フラップが開いている封筒の場合、プリンタードライバーのユーザー定義サイズにフラップの部分を含めたサイズを登録します。
- ・ のり付きの封筒は、フラップを閉じ、印字面を下にセットし、封筒の上辺（フラップがある方）が先に本機に入るようセットします。

- 2. プリントするファイルを開きます。**
- 3. [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。**
- 4. [プリンターの選択] から本機を選び、[詳細設定] をクリックします。**

## 5. [用紙/出力] タブをクリックします。



## 6. [用紙] の左側にあるアイコンをクリックします。



・[用紙一括設定] 画面で、関連する項目が一括して設定できます。

### 7. [原稿サイズ] で原稿のサイズを選びます。

### 8. [用紙の倍率] で [自動] を選びます。

### 9. [出力用紙サイズ] で封筒のサイズを選びます。

### 10. [手差し用紙種類] で [封筒] を選びます。

### 11. [OK] をクリックします。

### 12. 必要に応じて、その他の印刷設定をします。

### 13. [OK] をクリックします。

### 14. [印刷] をクリックして、プリントを開始します。

# 5 コピー

|     |                    |     |
|-----|--------------------|-----|
| 5.1 | コピーする.....         | 93  |
| 5.2 | ID カードをコピーする ..... | 103 |

# 5.1 コピーする

## 5.1.1 コピーの基本操作

### 自動両面原稿送り装置を使う

#### 1. 原稿をセットします。



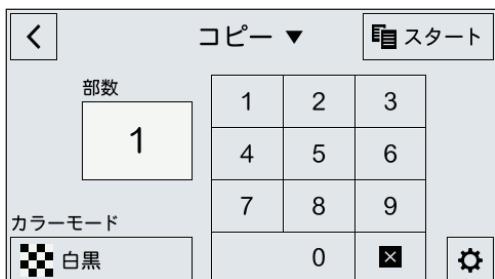
・原稿のセット方法については、「自動両面原稿送り装置にセットする (P.74)」を参照してください。

#### 2. ①〈ホーム〉ボタンを押します。

#### 3. [コピー] をタップします。



#### 4. ⑤をタップし、必要に応じてコピー設定を変更します。



・コピー設定については、「詳細設定をする (P.97)」を参照してください。

#### 5. ④をタップします。



#### 6. [カラー mode] の下のボタンをタップし、カラー mode を設定します。

#### 7. 数字キーで数字をタップし、コピー部数を設定します。

## 8. [スタート] をタップします。



- 原稿を読み込んでいるときに [中止] をタップすると、コピーを中止できます。

# 原稿ガラスを使う



- 書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。



- 原稿ガラスからコピーする場合は、自動両面原稿送り装置の原稿を取り除きます。

### 1. 原稿をセットします。



- 原稿のセット方法については、「原稿ガラスにセットする (P.76)」を参照してください。

### 2. ①〈ホーム〉ボタンを押します。

### 3. [コピー] をタップします。



### 4. ④をタップし、必要に応じてコピー設定を変更します。



- コピー設定については、「詳細設定をする (P.97)」を参照してください。

### 5. ⑤をタップします。



### 6. [カラー モード] の下のボタンをタップし、カラー モードを設定します。

**7. 数字キーで数字をタップし、コピー部数を設定します。**

**8. [スタート] をタップします。**



#### 補足

- 原稿を読み込んでいるときに [中止] をタップすると、コピーを中止できます。

## 5.1.2 いろいろなコピー機能

本機では必要に応じてさまざまなコピー機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

\*は工場出荷時の初期値です。

|          |  |         |   |
|----------|--|---------|---|
| [部数]     | [1] *～[999]  |         |   |
| [カラーモード] | [自動]、[カラー]、[白黒] *  |         |   |
| [コピー濃度]  | [うすく (+3)]、[うすく (+2)]、[うすく (+1)]、[ふつう] *、[こく (+1)]、[こく (+2)]、[こく (+3)]   |         |   |
| [倍率]     | [自動%] *、[100%]、[50%(A3→A5)]、[70%(A3→A4, B4→B5)]、[81%(B4→A4, B5→A5)]、[86%(A3→B4, A4→B5)]、[115%(B4→A3, B5→A4)]、[122%(A4→B4, A5→B5)]、[141%(A4→A3, B5→B4)]、[200%(A5→A3)] |         |   |
| [トレイ選択]  |  補足<br>・任意倍率は25～400%で設定可能   |         |   |
|          | [自動] *   |         |   |
|          | [手差し]  | [用紙サイズ] | [A3(297x420mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[B4(257x364mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[A4(297x210mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[A4(210x297mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[B5(257x182mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[B5(182x257mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[A5(148x210mm) <input type="checkbox"/> ]、[八開<br>(270x390mm) <input type="checkbox"/> ]、[十六開<br>(270x195mm) <input type="checkbox"/> ]、[十六開<br>(195x270mm) <input type="checkbox"/> ]、[11x17" <input type="checkbox"/> ]、<br>[8.5x14"(リーガル) <input type="checkbox"/> ]、<br>[8.5x13" <input type="checkbox"/> ]、[8.5x11"(レター)<br><input type="checkbox"/> ]、[8.5x11"(レター) <input type="checkbox"/> ]、<br>[ユーザ一定義サイズ] |
|          |  | [用紙種類]  | [普通紙(60～90g/m <sup>2</sup> )]、[普通紙(うら面)]、[上質紙(91～105g/m <sup>2</sup> )]、<br>[上質紙(うら面)]、[再生紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[再生紙(うら面)]、[穴あき紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[レーターへッド<br>(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[厚紙1(106～169g/m <sup>2</sup> )]、[厚紙1(うら面)]、[厚紙<br>2(170～256g/m <sup>2</sup> )]、[厚紙2(うら面)]、<br>[コート紙1(106～169g/m <sup>2</sup> )]、[コート紙2(170～<br>256g/m <sup>2</sup> )]、[コート紙2(うら面)]、<br>[ラベル紙(106～256g/m <sup>2</sup> )]、[プレプリント紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[色紙(60<br>～89g/m <sup>2</sup> )]、[郵便はがき]、[郵便は<br>がき(うら面)]、[封筒]   |

|          |   |       |
|----------|---|-------|
| [トレイ選択]  | [トレイ1]  |       |
|          | [トレイ2]  |       |
| [両面]     | [片面→片面] *、[片面→両面]、[両面→片面]、[両面→両面]   |       |
| [2アップ]   | [しない] *、[自動]  |       |
| [シャープネス] | [つよく]、[ふつう] *、[よわく]   |       |
| [原稿サイズ]  | [自動] *、[A3(297x420mm) □]、[B4(257x364mm) □]、<br>[A4(297x210mm) □]、[A4(210x297mm) □]、[B5(257x182mm) □]、<br>[B5(182x257mm) □]、[A5(148x210mm) □]、[八開(270x390mm) □]、<br>[十六開(270x195mm) □]、[十六開(195x270mm) □]、[11x17" □]、<br>[8.5x14"(リーガル) □]、[8.5x13" □]、[8.5x11"(レター) □]、[8.5x11"(レ<br>ター) □] |       |
| [原稿の画質]  | [文字/写真] *、[文字]、[写真]   |       |
| [ソート]    | [自動] *、[ソート(1部ごと)]、[スタック(ページごと)]  |       |
| [彩度]     | [濃く]、[ふつう] *、[淡く]   |       |
| [地色除去]   | オン*、オフ  |       |
| [わく消し]   | [上下わく消し]  | [2] * |
|          | [左右わく消し]  | [2] * |
|          | [中消し]   | [0] * |

設定方法は次のとおりです。

1. ⌂ <ホーム> ボタンを押します。
2. [コピー] をタップします。



3. 任意の項目をタップします。



## 【部数】

数字キーをタップしてコピー部数を設定します。

## [カラー モード]

カラーでコピーするか白黒でコピーするかを設定します。

[自動] を選ぶと、原稿がカラーか白黒かを本機が検知して、カラーでコピーするか白黒でコピーするかを自動的に切り替えます。

## 詳細設定をする

1.  をタップします。
2. 任意の項目を選びます。

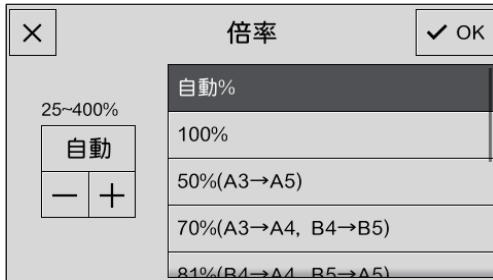


## [コピー濃度]



原稿の色より濃く／薄くします。

## [倍率]



倍率を設定して、拡大コピーや縮小コピーをします。

[自動%] を選ぶと、原稿サイズと用紙サイズから、最適な倍率に設定します。

定形サイズ原稿から定形サイズ用紙に、拡大／縮小コピーをするときのコピー倍率は、次のとおりです。

| 出力サイズ<br>原稿 | A5   | B5   | A4   | B4   | A3   |
|-------------|------|------|------|------|------|
| A5          | 100% | 122% | 141% | 172% | 200% |
| B5          | 81%  | 100% | 115% | 141% | 163% |
| A4          | 70%  | 86%  | 100% | 122% | 141% |
| B4          | 57%  | 70%  | 81%  | 100% | 115% |
| A3          | 50%  | 61%  | 70%  | 86%  | 100% |

## [トレイ選択]



用紙トレイを選びます。

**[自動]** 原稿サイズと倍率から、最適なサイズの用紙がセットされているトレイを選びます。

**[手差し]** [用紙サイズ] 用紙サイズを選びます。

[用紙種類] 用紙種類を選びます。

**[トレイ1]**

**[トレイ2]** \*

\* トレイ2 (1トレイモジュール) (お使いの機種によってはオプション) の装着時に使用できます。

## [両面]



原稿を用紙の両面にコピーするかどうかを設定します。

### [片面→片面]

片面原稿を用紙の片面にコピーします。

### [片面→両面]

片面原稿を用紙の両面にコピーします。長辺をとじるか、短辺をとじるかを設定します。

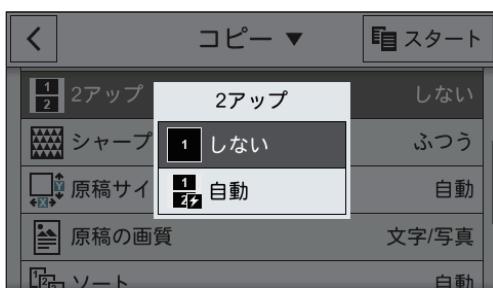
### [両面→片面]

両面原稿を用紙の片面にコピーします。原稿が長辺とじか、短辺とじかを設定します。

### [両面→両面]

両面原稿を用紙の両面にコピーします。長辺をとじるか、短辺をとじるかを設定します。

## [2アップ]



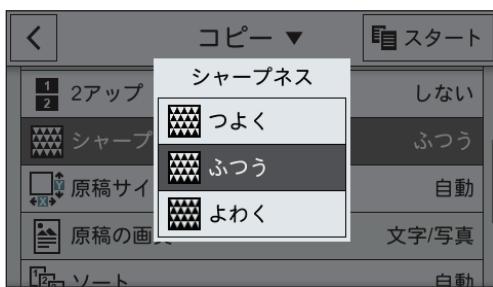
2ページ分の原稿を1枚にまとめてコピーします。

### [しない]

### [自動]

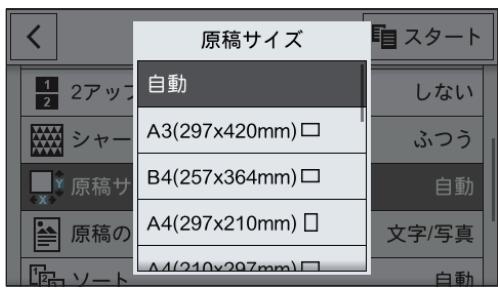
2ページ分の原稿を用紙の片面にコピーします。倍率は自動的に設定されます。

## [シャープネス]



画像の輪郭を鮮明にしたり、ぼかしてなめらかにしたりします。

## [原稿サイズ]

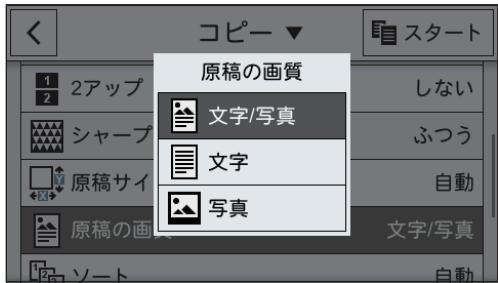


コピーする原稿のサイズを選びます。



- ・[自動] を選ぶと、本機が自動的に原稿サイズを検知して設定します。

## [原稿の画質]



原稿の種類を選びます。原稿の種類に応じた画質でコピーできます。

## [ソート]



複数ページの原稿を複数部コピーする場合に、ページごとまたは1部ごとにまとめて排出します。

|               |                                    |
|---------------|------------------------------------|
| [自動]          | 自動両面原稿送り装置に原稿をセットした場合は、ソートして排出します。 |
| [ソート(1部ごと)]   | コピーした用紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて排出します。   |
| [スタッツ(ページごと)] | コピーした用紙をページごとにまとめて、入力した部数を排出します。   |

## [彩度]



色の鮮やかさを設定します。

## [地色除去]

をタップしてチェックマークを付けると、原稿の地色（用紙色または背景色）を抑えてコピーします。

## [わく消し]

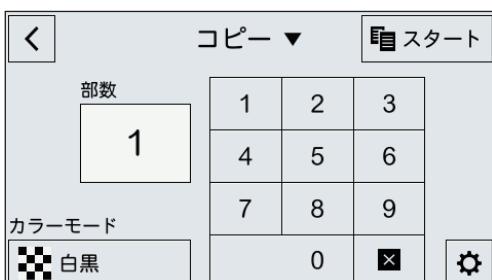


厚い書類や書籍などをコピーするときに、上下左右または中央にできる影を消します。

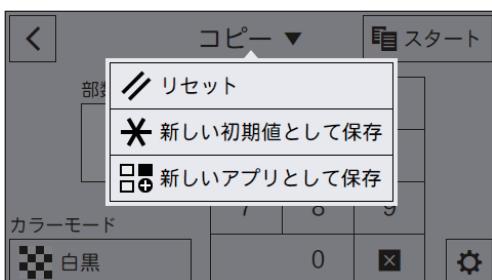
## 設定をリセットまたは保存する

設定した内容は、次の手順でリセットしたり保存したりすることができます。

### 1. [コピー▼] をタップします。



### 2. 任意の項目を選びます。



## [リセット]

本機の [コピー] の設定をリセットします。

## [新しい初期値として保存]

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタン名を変更し、機能ボタンの色とアイコンを選びます。

## [新しいアプリとして保存]

既存の設定をコピーして、新しい機能ボタンとして保存します。機能ボタン名を設定し、機能ボタンの色とアイコンを選びます。



参照

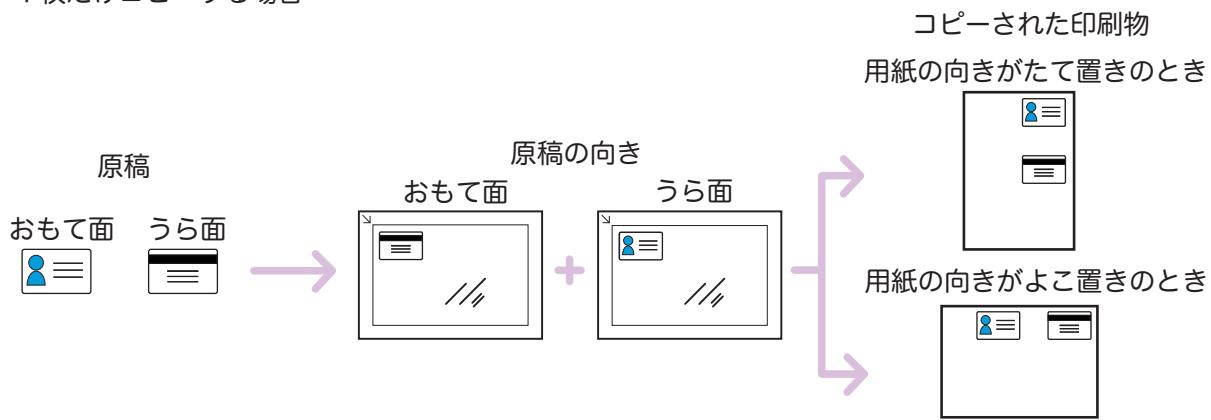
- 新しい機能ボタンを作成する方法については、「新しい機能ボタンを作成する (P.51)」を参照してください。

# 5.2 IDカードをコピーする

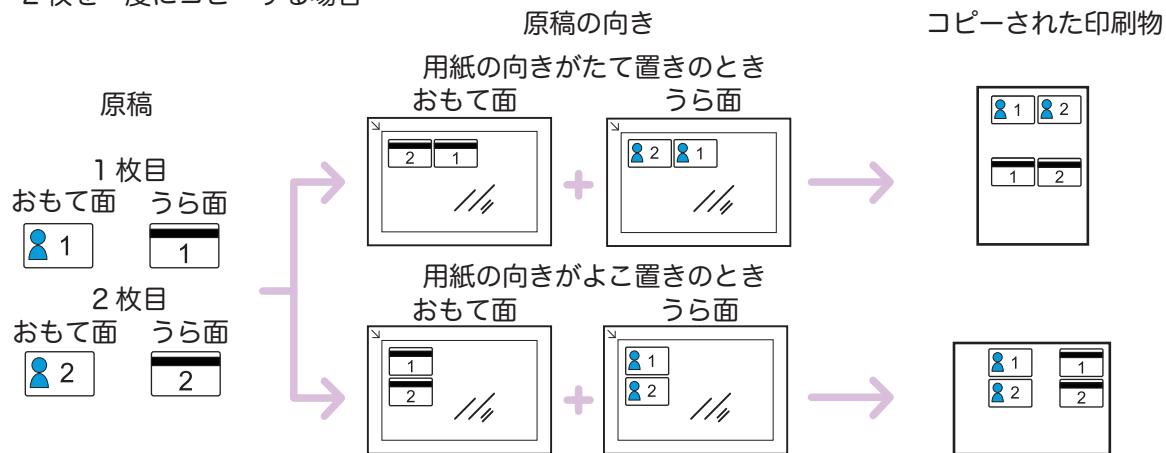
## 5.2.1 IDカードコピーの基本操作

IDカードの両面を、1枚の用紙の片面に原寸大でコピーできます。また、2枚までのIDカードを一度にコピーできます。

- ・1枚だけコピーする場合



- ・2枚を一度にコピーする場合



1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [IDカードコピー] をタップします。



### 3. ⚡ をタップし、必要に応じてコピー設定を変更します。



#### 💡 補足

- ・コピー部数を設定するには、[部数] 横の+または-をタップします。または、[部数] をタップして数字キーで入力します。
- ・コピーするIDカードの枚数を設定するには、[カード枚数] をタップします。

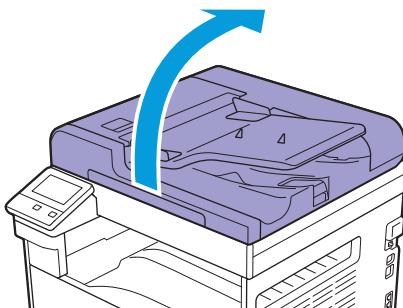
#### 📘 参照

- ・コピー設定については、「いろいろなIDカードコピーの機能 (P.105)」を参照してください。

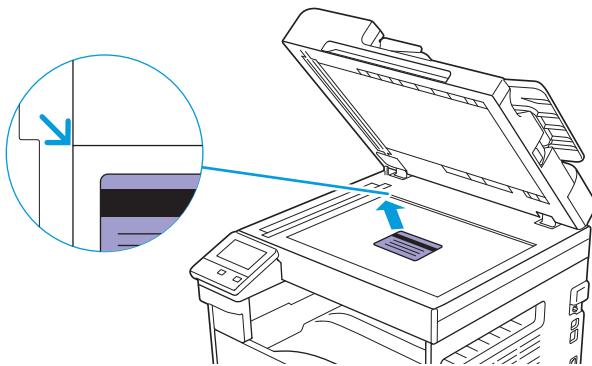
### 4. < をタップします。



### 5. 原稿カバーを開きます。



- 6.** 原稿ガラスの上端および左端から最低5 mm離した位置に、コピーする面を下にしてIDカードをセットします。



#### **補足**

- ・原稿ガラスの上端および左端にIDカードを近づけすぎると、IDカードの端を正しくコピーできないことがあります。
- ・操作パネルに表示されるイラストと同じ向きにIDカードをセットします。

- 7.** 原稿カバーを閉じます。

- 8.** [スタート] をタップします。

IDカードのおもて面の読み込みが完了すると、操作パネルにカードを裏返すように促すメッセージが表示されます。

うら面をコピーするには、操作パネルの指示に従って操作します。

## 5.2.2 いろいろなIDカードコピーの機能

本機では必要に応じてさまざまなIDカードコピーの機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

\*は工場出荷時の初期値です。

|          |  |
|----------|--|
| [部数]     | [1] * ~ [999]  |
| [カラーモード] | [自動]、[カラー]、[白黒] *  |
| [コピー濃度]  | [うすく (+3)]、[うすく (+2)]、[うすく (+1)]、[ふつう] *、[こく (+1)]、[こく (+2)]、[こく (+3)] |

|          |                     |          |   |  |
|----------|---------------------|----------|---|--|
| [トレイ選択]  | [手差し]               | [用紙サイズ]  | [A3(297x420mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[B4(257x364mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[A4(297x210mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[A4(210x297mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[B5(257x182mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[B5(182x257mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[A5(148x210mm) <input type="checkbox"/> ]、[八開<br>(270x390mm) <input type="checkbox"/> ]、[十六開<br>(270x195mm) <input type="checkbox"/> ]、[十六開<br>(195x270mm) <input type="checkbox"/> ]、[11x17" <input type="checkbox"/> ]、<br>[8.5x14"(リーガル) <input type="checkbox"/> ]、<br>[8.5x13" <input type="checkbox"/> ]、[8.5x11"(レター)<br><input type="checkbox"/> ]、[8.5x11"(レター) <input type="checkbox"/> ]、<br>[ユーザー定義サイズ] |  |
|          |                     | [用紙種類]   | [普通紙(60～90g/m <sup>2</sup> )]、[普通紙(う<br>ら面)]、[上質紙(91～105g/m <sup>2</sup> )]<br>、[上質紙(うら面)]、[再生紙(60～<br>89g/m <sup>2</sup> )]、[再生紙(うら面)]、[穴あ<br>き紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[レターヘッド<br>(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[厚紙1(106～<br>169g/m <sup>2</sup> )]、[厚紙1(うら面)]、[厚紙<br>2(170～256g/m <sup>2</sup> )]、[厚紙2(うら面)]、<br>[コート紙1(106～169g/m <sup>2</sup> )]、[コー<br>ト紙1(うら面)]、[コート紙2(170～<br>256g/m <sup>2</sup> )]、[コート紙2(うら面)]、<br>[ラベル紙(106～256g/m <sup>2</sup> )]、[プレブ<br>リント紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[色紙(60<br>～89g/m <sup>2</sup> )]、[郵便はがき]、[郵便は<br>がき(うら面)]、[封筒]   |  |
|          |                     | [トレイ1] * |   |  |
|          | [トレイ2]              |          |   |  |
| [カード枚数]  | [1枚] *、[2枚]         |          |   |  |
| [シャープネス] | [つよく]、[ふつう] *、[よわく] |          |   |  |
| [地色除去]   | オン*、オフ              |          |   |  |
| [彩度]     | [濃く]、[ふつう] *、[淡く]   |          |   |  |

設定方法は次のとおりです。

1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [IDカードコピー] をタップします。



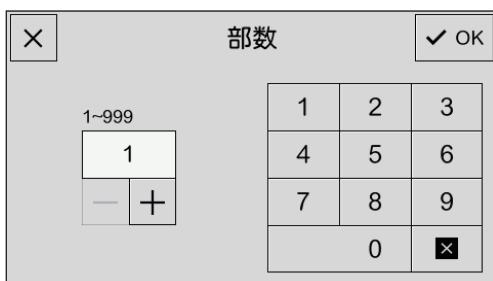
### 3. ⚡ をタップします。



### 4. 任意の項目を選びます。



#### [部数]



+または-をタップするか数字キーをタップしてコピー部数を設定します。

#### [カラー モード]



カラーでコピーするか白黒でコピーするかを設定します。

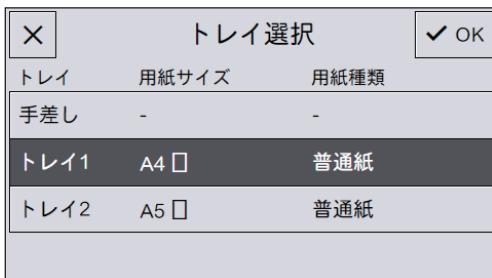
[自動] を選ぶと、原稿がカラーか白黒かを本機が検知して、カラーでコピーするか白黒でコピーするかを自動的に切り替えます。

## [コピー濃度]



原稿の色より濃く／薄くします。

## [トレイ選択]



用紙トレイを選びます。

**[手差し]**

**[用紙サイズ]**

用紙サイズを選びます。

**[用紙種類]**

用紙種類を選びます。

**[トレイ1]**

**[トレイ2] \***

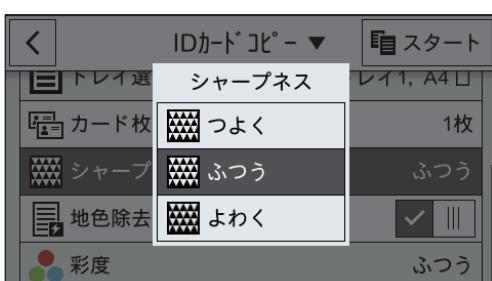
\* トレイ2 (1トレイモジュール) (お使いの機種によってはオプション) の装着時に使用できます。

## [カード枚数]



同時にコピーするカードの枚数を選びます。

## [シャープネス]

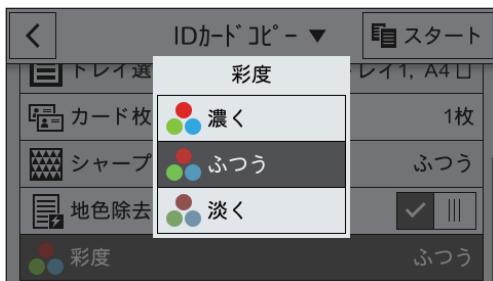


画像の輪郭を鮮明にしたり、ぼかしてなめらかにしたりします。

## [地色除去]

 をタップしてチェックマークを付けると、原稿の地色（用紙色または背景色）を抑えてコピーします。

## [彩度]



色の鮮やかさを設定します。

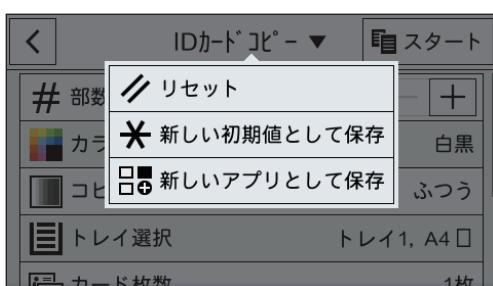
## 設定をリセットまたは保存する

設定した内容は、次の手順でリセットしたり保存したりすることができます。

1. [IDカードコピー▼] をタップします。



2. 任意の項目を選びます。



## [リセット]

本機の [IDカードコピー] の設定をリセットします。

## [新しい初期値として保存]

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタン名を変更し、機能ボタンの色とアイコンを選びます。

## [新しいアプリとして保存]

既存の設定をコピーして、新しい機能ボタンとして保存します。機能ボタン名を設定し、機能ボタンの色とアイコンを選びます。



・新しい機能ボタンを作成する方法については、「新しい機能ボタンを作成する (P.51)」を参照してください。

# 6 スキャン

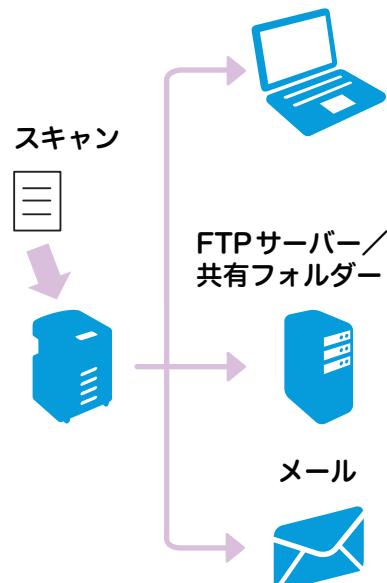
|     |                    |     |
|-----|--------------------|-----|
| 6.1 | 概要                 | 111 |
| 6.2 | 本機の操作パネルを使ってスキャンする | 112 |
| 6.3 | コンピューターからスキャンする    | 138 |

# 6.1 概要

本機ではさまざまな方法を使って原稿をスキャンできます。本機から操作する方法とコンピューターやモバイル機器から操作する方法の、2通りに分けられます。

本機が対応するスキャン方法の概要は次のとおりです。

## コンピューター／モバイル機器



### 本機からの操作

「ネットワーク接続したコンピューターに保存する（スキャナー（WSD））(P.123)」

### コンピューター／モバイル機器からの操作

「コンピューターからスキャンする (P.138)」

「スマートフォン／タブレットからのプリント、スキャン (P.167)」

### 本機からの操作

「FTP/SMB接続したコンピューターまたはサーバーに保存する（スキャナー（ネットワーク））(P.112)」

### 本機からの操作

「スキャンしたデータをメールで送信する（スキャナー（メール送信））(P.128)」

# 6.2 本機の操作パネルを使ってスキャンする

## 6.2.1 スキャンしたデータをコンピューターに保存する

### FTP/SMB接続したコンピューターまたはサーバーに保存する (スキャナー (ネットワーク))

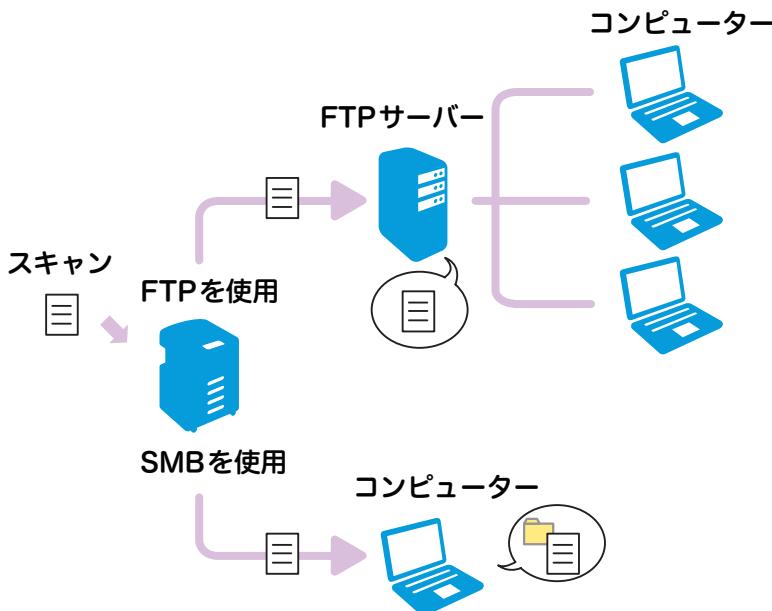
スキャナー (ネットワーク) 機能を使用すると、スキャンしたデータをFTPサーバーやコンピューターの共有フォルダーに保存できます。スキャンしたデータを保存する前に、データを確認することもできます。

スキャンしたデータを保存するには、あらかじめ、サーバーや共有フォルダーのアドレスをアドレス帳に登録しておく必要があります。サーバーや共有フォルダーのアドレスは、宛先表ツールで登録するため、お使いのコンピューターに宛先表ツールをインストールしてください。



補足

- 宛先表ツールは、「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクを使って「[好みインストール]」でインストールします。インストールの方法については、「[好みインストール]」でインストールする(P.34)」を参照してください。



#### ●FTPサーバーに保存する場合

事前準備から保存操作までの作業フローは次のとおりです。

##### FTPサーバーのアドレスをアドレス帳に登録する

宛先表ツールを使って登録します。詳しくは、宛先表ツールのヘルプを参照してください。



補足

- FTPサーバーのアドレスやフォルダーパスは、半角の英数字で入力してください。

## スキャンしたデータをFTPサーバーに保存する

### 1. 原稿をセットします。



- 原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。

### 2. 〈ホーム〉ボタンを押します。

### 3. [スキャナー(ネットワーク)] をタップします。



### 4.宛先をタップします。

### 5. [ファイル形式] の下にあるボタンをタップし、スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。

### 6. ☰ をタップし、必要に応じてスキャン設定をします。



- 設定については、「詳細設定をする (P.119)」を参照してください。

### 7. [スタート] をタップします。



- 次の原稿に関するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って原稿の読み込み操作を完了します。

## ●SMBで共有フォルダーに保存する場合

事前準備から保存操作までの作業フローは次のとおりです。

### ユーザーアカウントを設定する

スキャンしたデータをSMBの共有フォルダーに保存するには、コンピューターに共有フォルダーを作成しておく必要があります。共有フォルダーを作成するには、ユーザーアカウントとパスワードが必要です。



- JIS第一水準漢字および第二水準漢字以外の文字は、ユーザーアカウント、パスワード、共有名に使用できない場合があります。



- ユーザーアカウントとパスワードについては、お使いのコンピューターのヘルプを参照してください。

### 共有フォルダーを作成する

本機からスキャンしたデータの保存先共有フォルダーを作成します。

#### Windows®の場合

ここでは、Windows® 7を例に手順を説明します。

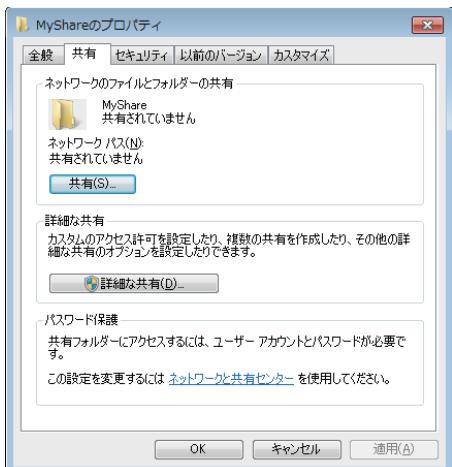


- 宛先表ツールを使って共有フォルダーを作成することもできます。詳しくは、宛先表ツールのヘルプを参照してください。

### 1. コンピューター上の任意の場所にフォルダーを作成します。

### 2. フォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

### 3. [共有] タブ> [詳細な共有] をクリックします。



### 4. [このフォルダーを共有する] にチェックマークを付けます。

### 5. [共有名] を入力します。



- 共有名はこのあとの設定手順で必要になります。

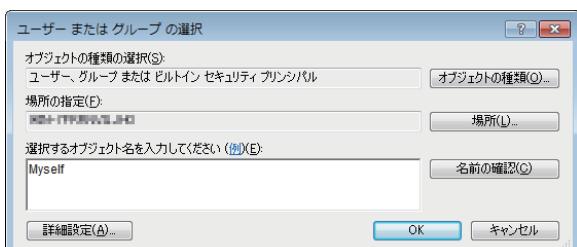


### 6. [アクセス許可] をクリックします。

### 7. [追加] をクリックします。

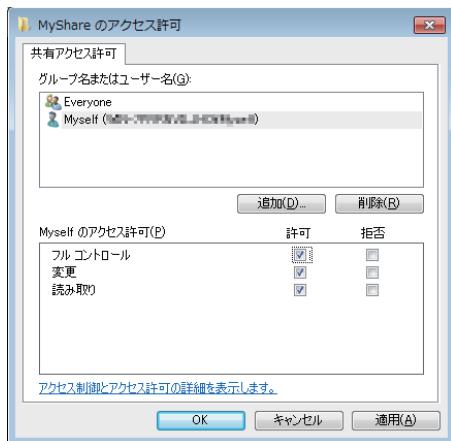
### 8. 次のいずれかの操作をしてユーザー名を選択します。

- [詳細設定] をクリックし、ユーザー名を検索します。
- [選択するオブジェクト名を入力してください (例)(E)] にユーザー名を入力し、[名前の確認] をクリックします。



### 9. [OK] をクリックします。

- 10.** 選んだユーザー名をクリックし、[フルコントロール] の [許可] にチェックマークを付けます。



- 11.** [OK] をクリックします。

共有フォルダーの作成が完了したら、宛先表ツールを使ってアドレス帳に宛先を登録します。詳しくは、宛先表ツールのヘルプを参照してください。

#### Macの場合

ここでは、macOS 10.13を例に手順を説明します。

- 1.** コンピューター上の任意の場所にフォルダーを作成します。
- 2.** [システム環境設定] ウィンドウを開き、[共有] をクリックします。
- 3.** [ファイル共有] にチェックマークを付けます。
- 4.** [共有フォルダ] の下の [+] をクリックします。
- 5.** 手順1で作成したフォルダーを選択し、[追加] をクリックします。
- 6.** [オプション] をクリックします。
- 7.** [SMBを使用してファイルやフォルダを共有] と使用するアカウント名にチェックマークを付けます。
- 8.** [完了] をクリックします。

共有フォルダーの作成が完了したら、宛先表ツールを使ってアドレス帳に宛先を登録します。詳しくは、宛先表ツールのヘルプを参照してください。

#### スキャンしたデータを保存する

- 1.** 原稿をセットします。



・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。

- 2.** ①〈ホーム〉ボタンを押します。

### 3. [スキャナー(ネットワーク)] をタップします。



### 4.宛先をタップします。

5. [ファイル形式] の下にあるボタンをタップし、スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選択します。

6. ☰ をタップし、必要に応じてスキャン設定をします。



・ 設定については、「詳細設定をする (P.119)」を参照してください。

### 7. [スタート] をタップします。



・ 次の原稿に関するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って原稿の読み込み操作を完了します。

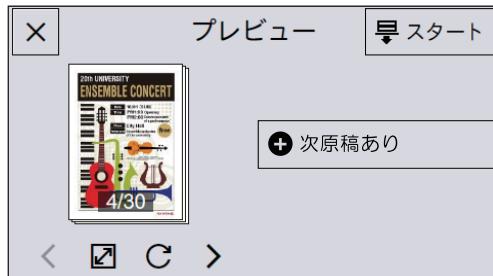
## ●スキャンしたデータを確認する

保存する前に、スキャンしたデータを確認できます。詳細設定で [プレビュー] にチェックマークを付け、画面右上の [プレビュー] をタップします。原稿をスキャンしたあとにプレビュー画面が表示されます。



・ [プレビュー] の設定については、「詳細設定をする (P.119)」を参照してください。

### プレビュー画面



次の操作ができます。

#### [次原稿あり]

原稿を原稿ガラスにセットしてスキャンしたときに表示されます。タップすると次の原稿をスキャンします。



表示するページを切り替えます。



プレビュー詳細画面を開きます。



タップするたびに、すべてのページを時計回りに90°ずつ回転します。出力される画像も、回転した状態になります。



・ファイル形式によっては **C** は表示されません。



プレビューを終了します。

### [スタート]

スキャンしたデータをコンピューターまたはサーバーに保存します。

### プレビュー詳細画面



次の操作ができます。



表示するページを切り替えます。左右にフリックまたはスワイプして切り替えることもできます。



プレビューを拡大／縮小します。



タップするたびに、表示しているページを時計回りに90°ずつ回転します。出力される画像も、回転した状態になります。



・ファイル形式によっては **C** は表示されません。



プレビュー詳細画面を閉じます。

## ●スキャナー（ネットワーク）機能を設定する

スキャナー（ネットワーク）機能で設定できる項目は次のとおりです。

\*は工場出荷時の初期値です。

|          |   |
|----------|---|
| [ファイル形式] | [PDF] <sup>*</sup> 、[マルチページTIFF]、[TIFF]、[JPEG]、[XDW(DocuWorks)] |
| [プレビュー]  | オン、オフ <sup>*</sup>  |
| [カラーモード] | [カラー] <sup>*</sup> 、[白黒]、[グレースケール]                              |
| [解像度]    | [200dpi] <sup>*</sup> 、[300dpi]、[400dpi]、[600dpi]               |
| [両面原稿送り] | [片面] <sup>*</sup> 、[両面(長辺とじ)]、[両面(短辺とじ)]                        |

|           |   |       |
|-----------|---|-------|
| [読み込み濃度]  | [うすく (+3)]、[うすく (+2)]、[うすく (+1)]、[ふつう] *、[こく (+1)]、[こく (+2)]、[こく (+3)]  |       |
| [シャープネス]  | [つよく]、[ふつう] *、[よわく]   |       |
| [コントラスト]  | [つよく]、[ふつう] *、[よわく]   |       |
| [地色除去]    | オン*、オフ  |       |
| [原稿サイズ]   | [自動] *、[A3(297x420mm) □]、[B4(257x364mm) □]、<br>[A4(297x210mm) □]、[A4(210x297mm) □]、<br>[B5(257x182mm) □]、[B5(182x257mm) □]、<br>[A5(148x210mm) □]、[八開(270x390mm) □]、[十六開<br>(270x195mm) □]、[十六開(195x270mm) □]、[11x17" □]、<br>[8.5x14"(リーガル) □]、[8.5x13" □]、[8.5x11"(レター) □]、<br>[8.5x11"(レター) □] |       |
| [フォルダー作成] | オン*、オフ  |       |
| [ファイル名]   | [自動] *、[先頭に文字列を付ける]、[末尾に文字列を付ける]  |       |
| [わく消し]    | [上下わく消し]  | [2] * |
|           | [左右わく消し]  | [2] * |
|           | [中消し]   | [0] * |

設定方法は次のとおりです。

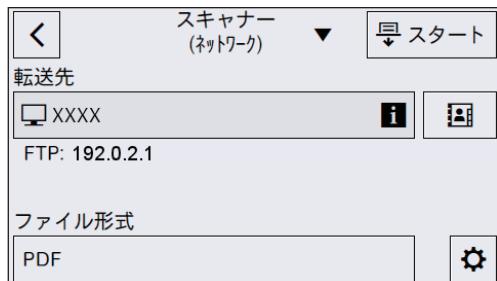
1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [スキャナー(ネットワーク)] をタップします。



- 3.宛先をタップします。



#### 4. 任意の項目を選びます。



FTPまたはSMBサーバーのアドレスを、アドレス帳から選びます。



登録されたネットワークアドレスの情報を表示します。

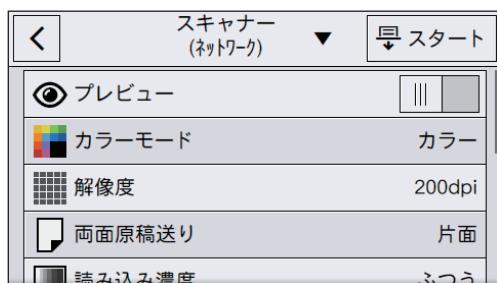
#### [ファイル形式]

スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選びます。

#### ● 詳細設定をする

1. をタップします。

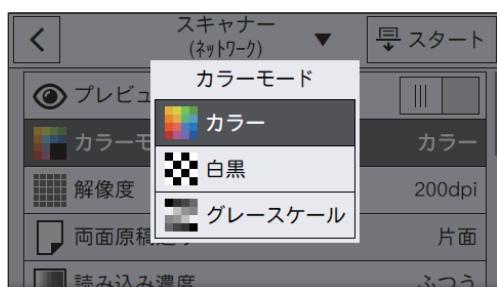
2. 任意の項目を選びます。



#### [プレビュー]

をタップしてチェックマークを付けると、スキャンしたデータを保存する前にプレビューを表示します。

#### [カラーモード]



原稿を読み取るときのカラー モードを設定します。

[白黒] を選ぶと、モノクロ2階調の画像を出力します。[グレースケール] を選ぶと、256階調のグレースケールの画像を出力します。

## [解像度]

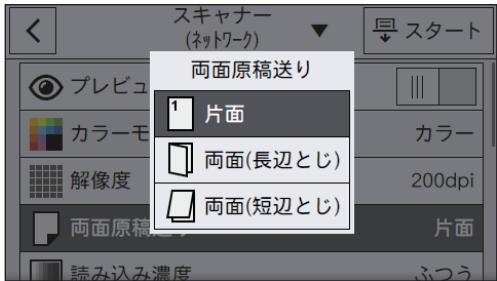


原稿を読み取るときの解像度を選びます。



- ・[カラー モード] が [カラー] に設定されているときは、[600dpi] は選べません。

## [両面原稿送り]



原稿の片面をスキャンするか、両面をスキャンするかを設定します。両面の場合は、原稿が長辺とじか、短辺とじかを選びます。

## [読み込み濃度]



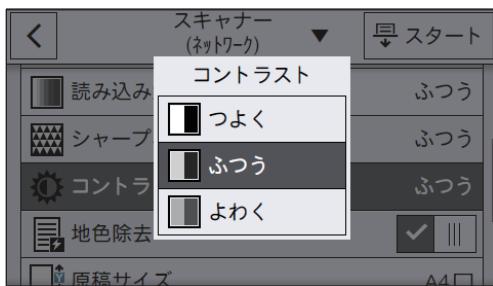
スキャンの濃度を設定して、原稿の色より濃く／薄くします。

## [シャープネス]



画像の輪郭を鮮明にしたり、ぼかしてなめらかにしたりします。

## [コントラスト]



画像の明暗の差を設定します。強くすると明暗の差が大きくなり、弱くすると差が小さくなります。

## [地色除去]

をタップしてチェックマークを付けると、原稿の地色（用紙色または背景色）を抑えてスキャンします。

## [原稿サイズ]



読み取る原稿のサイズを選びます。

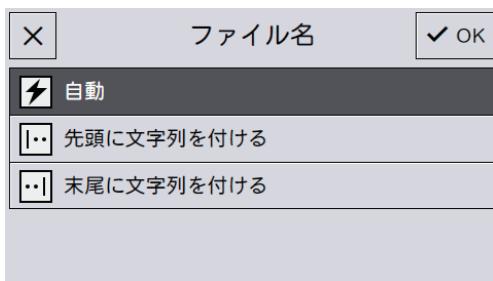


- ・[自動] を選ぶと、本機が自動的に原稿サイズを検知して設定します。

## [フォルダー作成]

をタップしてチェックマークを付けると、スキャンしたデータを保存するときにフォルダーも作成します。

## [ファイル名]



スキャンしたデータのファイル名を設定します。

ファイル名は、次のようなフォーマットで最大50文字まで設定できます。

[自動] : img-YYMMDDHHMMSS.拡張子

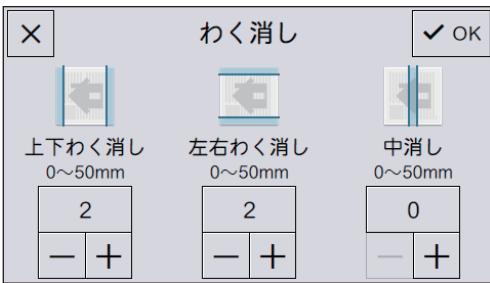
[先頭に文字列を付ける] : 指定した文字列\_YYMMDDHHMMSS.拡張子

[末尾に文字列を付ける] : YYMMDDHHMMSS\_指定した文字列.拡張子



- ・YYMMDDHHMMSSは、西暦年の下二桁、月日各二桁、時分秒各二桁です。
- ・先頭または末尾に付ける文字列は、32文字まで指定できます。
- ・1ファイル1ページのファイル形式の場合や、保存先でファイル名が重複した場合には、ファイル名の後に"-"と4桁の連番(0001~9999)が付きます。
- ・入力画面に表示される文字のうち、次の文字は使えません。  
¥ / : \* ? " < > |

## [わく消し]

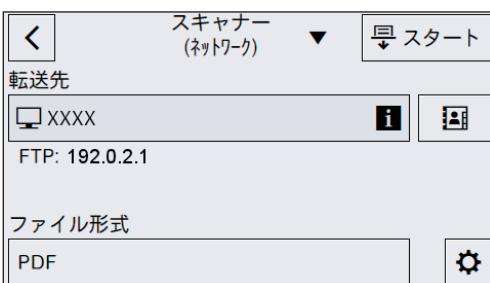


厚い書類や書籍などをスキャンするときに、上下左右または中央にできる影を消します。

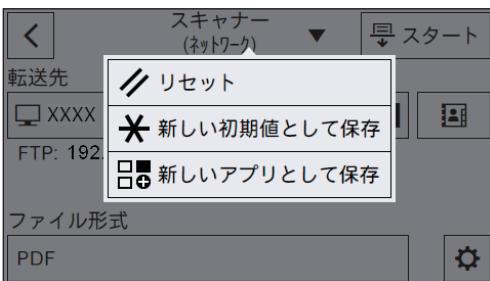
### ●設定をリセットまたは保存する

設定した内容は、次の手順でリセットしたり保存したりすることができます。

#### 1. [スキャナー(ネットワーク) ▼] をタップします。



#### 2. 任意の項目を選びます。



### [リセット]

本機の [スキャナー(ネットワーク)] の設定をリセットします。

### [新しい初期値として保存]

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタン名を変更し、機能ボタンの色とアイコンを選びます。

### [新しいアプリとして保存]

既存の設定をコピーして、新しい機能ボタンとして保存します。機能ボタン名を設定し、機能ボタンの色とアイコンを選びます。



参照

・新しい機能ボタンを作成する方法については、「新しい機能ボタンを作成する (P.51)」を参照してください。

# ネットワーク接続したコンピューターに保存する（スキャナー（WSD））

本機がコンピューターにWeb Services on Devices (WSD)でネットワーク接続されている場合は、スキャンしたデータをコンピューターに送信できます。



この機能は次のOSに対応しています。

- Windows® 7
- Windows® 8.1
- Windows® 10
- Windows Server® 2008
- Windows Server® 2008 R2
- Windows Server® 2012
- Windows Server® 2012 R2
- Windows Server® 2016

## ● Web Services on Devices (WSD)を設定する

### 本機の設定を確認する

スキャナー（WSD）機能を使ってスキャンするには、本機の【WSDスキャン】が有効になっている必要があります。

1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。
2. 【機器設定】をタップします。



3. 【ネットワーク設定】>【プロトコル】をタップします。
4. 【WSDスキャン】にチェックマークが表示されていることを確認します。



## コンピューターを設定する

ここでは、Windows® 7 および Windows® 10 を例に手順を説明します。

### Windows® 7の場合

1. [スタート] > [コントロールパネル] > [デバイスの追加] をクリックします。



2. 本機を選び、[次へ] をクリックします。



3. 画面の指示に従って操作します。

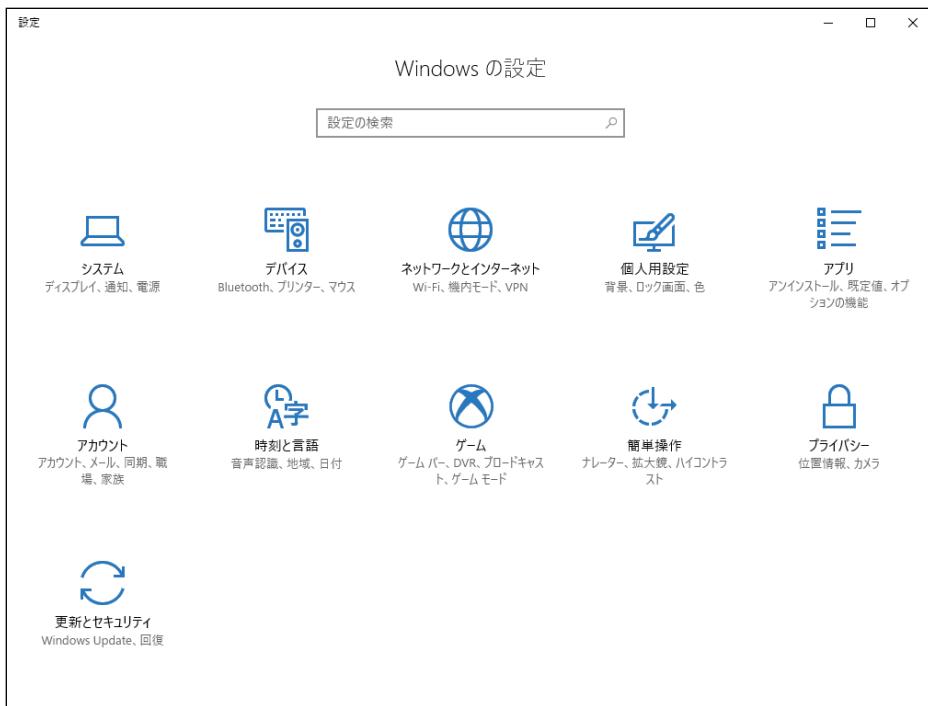
本機とコンピューターが Web Services on Devices (WSD) 接続されます。



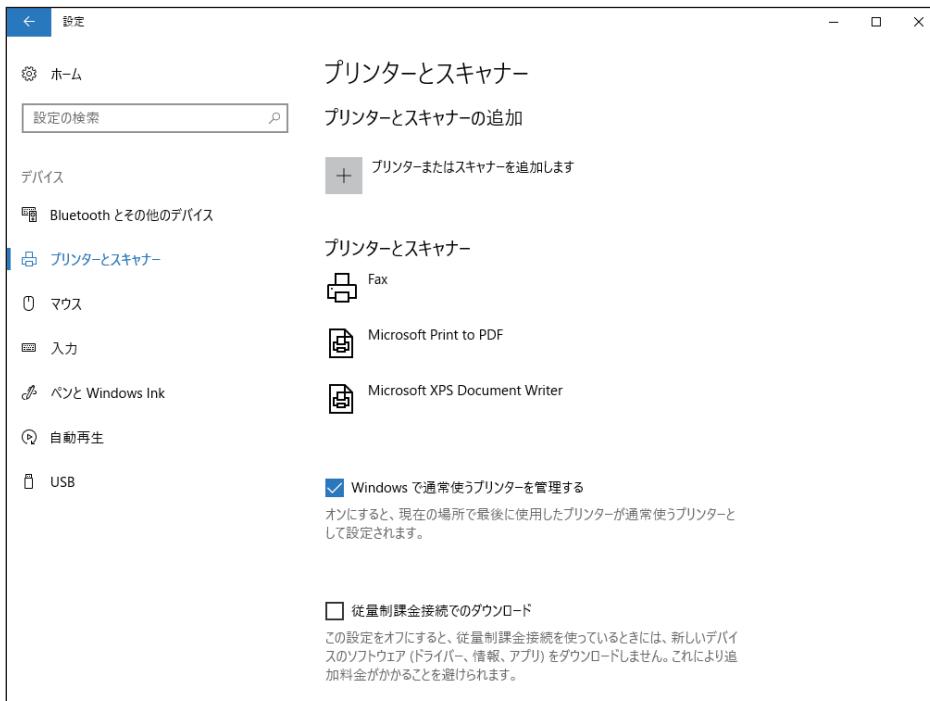
- ・スキャンしたデータをコンピューターで受信するときの動作を設定することができます。お使いのコンピューターで本機の「[スキャンプロパティー]」を開き、「[イベント]」タブにある「[操作]」で、受信時の動作を設定してください。詳しくは、お使いのコンピューターのヘルプを参照してください。

## Windows® 10の場合

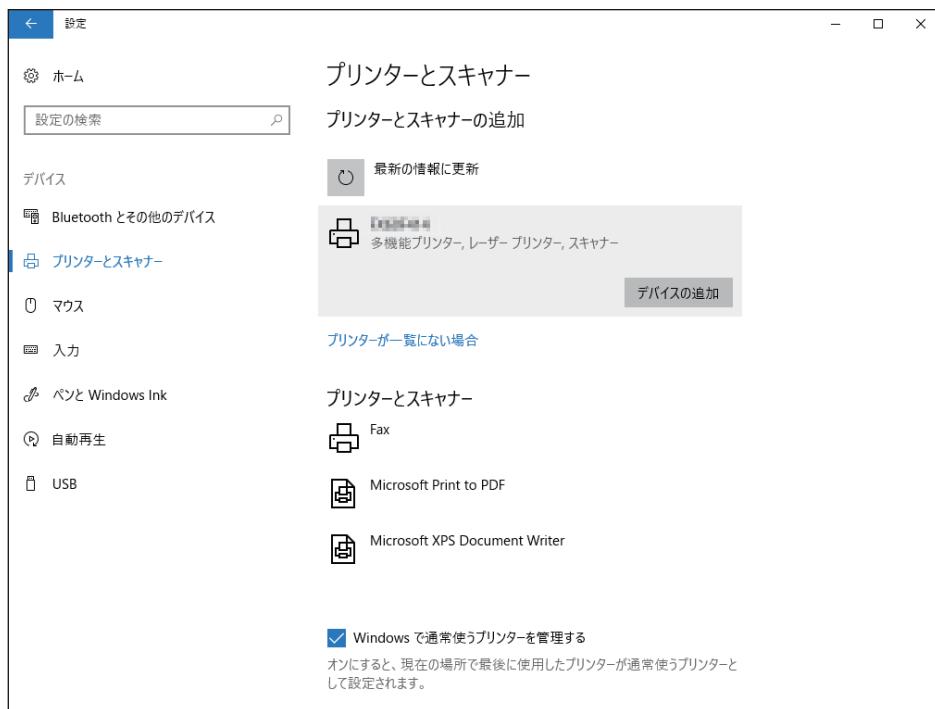
1. スタートボタンをクリックし、[設定] をクリックします。
2. [デバイス] をクリックします。



3. [プリンターとスキャナー] > [プリンターまたはスキャナーを追加します] をクリックします。



#### 4. 本機を選び、[デバイスの追加] をクリックします。



本機とコンピューターがWeb Services on Devices (WSD)接続されます。

##### 補足

- スキャンしたデータをコンピューターで受信するときの動作を設定することができます。お使いのコンピューターで本機の「スキャンプロパティー」を開き、「イベント」タブにある「操作」で、受信時の動作を設定してください。詳しくは、お使いのコンピューターのヘルプを参照してください。

### ●スキャンしたデータをコンピューターに保存する

#### 1. 原稿をセットします。

##### 参照

- 原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。

#### 2. ①〈ホーム〉ボタンを押します。

#### 3. [スキャナー (WSD)] をタップします。



#### 4. [転送先] をタップします。



#### 5. スキャンする原稿の送信先コンピューター名をタップします。

#### 6. [イベント] の下にあるボタンをタップし、スキャン後の処理操作を選びます。

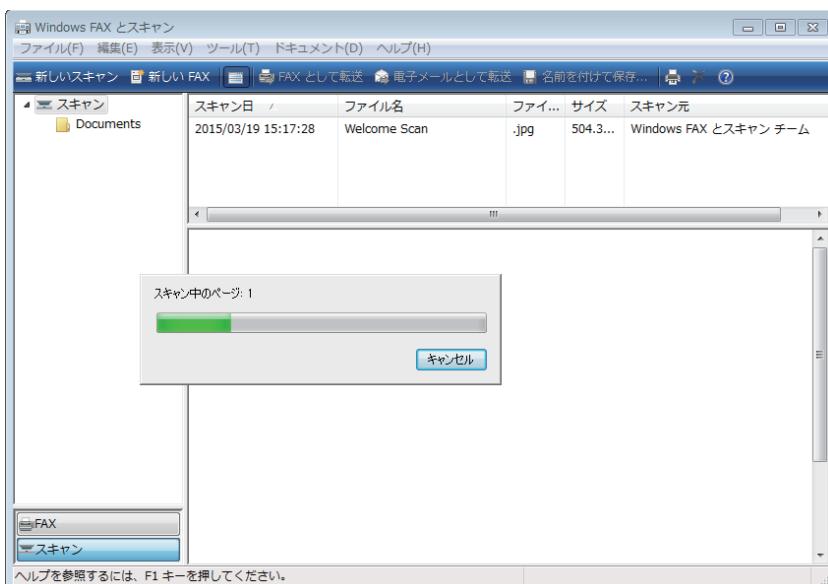
#### 7. [スタート] をタップします。



・次の原稿に関するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って原稿の読み込み操作を完了します。

#### 8. データの送信先のコンピューターに表示される画面で、スキャンしたデータを受信するアプリケーションを選ぶと、選んだアプリケーションでスキャンが始まります。

「Windows® FAX とスキャン」を選んだときは、次のような画面が表示されます。



・お使いのコンピューターの設定によっては、スキャンしたデータを受信するときの動作やアプリケーションが異なります。

## 6.2.2 スキャンしたデータをメールで送信する (スキャナー(メール送信))

スキャナー(メール送信)機能を使用すると、スキャンしたデータをメールの添付ファイルとして送信できます。

### 事前準備をする

本機からメールを送信するには、次の情報が必要です。

- ・メールアカウント(ユーザーアカウント)
- ・メールサーバーの情報

### ● DNSサーバーのアドレスを本機に登録する

1. 本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

#### 補足

- ・本機のIPアドレスを確認するには、操作パネルの「ホーム」ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報]をタップします。

2. 画面右上の【ログイン】をクリックします。



#### 補足

- ・画面右上に「一般ユーザー」と表示されている場合は、手順4に進みます。

3. 機械管理者の【ユーザー名】と【パスワード】を入力し、【ログイン】をクリックします。

#### 参照

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする(P.240)」を参照してください。

4. 画面左の領域にある【ネットワーク設定】をクリックします。

5. 【接続設定】の【Ethernet】をクリックします。

## 6. 次のいずれかの操作をします。

- ・ DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する場合

お使いのネットワーク環境に合わせて、[IPv4 DNS サーバー] の [DHCP からアドレスを取得] にチェックマークを付けるか、[IPv6 DNS サーバー] の [DHCPv6-lite からアドレスを取得] にチェックマークを付けます。

- ・ DNSサーバーのアドレスを手動で設定する場合

お使いのネットワーク環境に合わせて、[IPv4 DNS サーバー] の [DHCP からアドレスを取得] のチェックマークを外して [サーバーアドレス] に入力するか、[IPv6 DNS サーバー] の [DHCPv6-lite からアドレスを取得] のチェックマークを外して [サーバーアドレス] に入力します。

## 7. [OK] をクリックします。

## 8. [今すぐ再起動] をクリックします。

## 9. 本機の再起動が完了したら [更新] をクリックします。

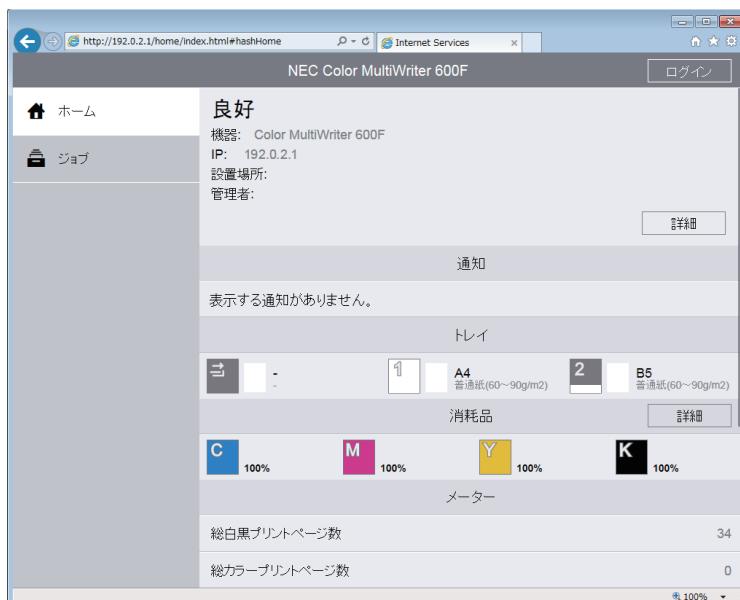
### ●メールサーバーの設定を本機に登録する

#### 1. 本機のIP アドレスをWeb ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。



- ・本機のIP アドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

#### 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

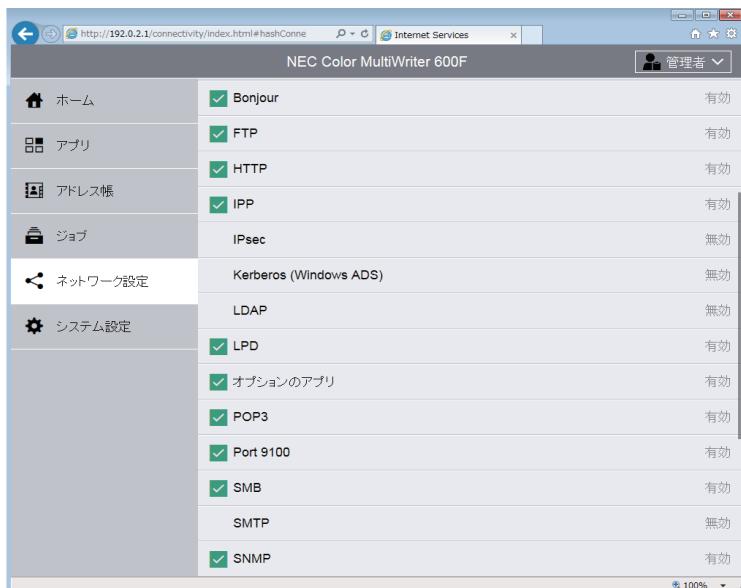
#### 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。



- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

#### 4. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] をクリックします。

## 5. [プロトコル] の [POP3] をクリックします。



## 6. サーバーの設定をして、[OK] をクリックします。



・設定方法については、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

## 7. [今すぐ再起動] をクリックします。

## 8. 本機の再起動が完了したら [更新] をクリックします。

## 9. [プロトコル] の [SMTP] をクリックします。

## 10. サーバーの設定をして、[OK] をクリックします。



・設定方法については、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

## 11. [今すぐ再起動] をクリックします。

## 12. 本機の再起動が完了したら [更新] をクリックします。



・SSL/TLS通信でメールを送信する場合は、本機にSSL/TLS通信の設定をしてください。詳しくは、「暗号化機能を使う (P.303)」を参照してください。

# スキャンしたデータを送信する

## 1. 原稿をセットします。



・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。

## 2. ①〈ホーム〉ボタンを押します。

## 3. [スキャナー(メール送信)] をタップします。



#### 4. 相手先のメールアドレスを入力します。



**補足**

- ・アドレス帳やLDAPサーバーを使用してメールアドレスを指定することもできます。詳しくは、「アドレス帳を使う (P.247)」を参照してください。

#### 5. の横のボタンをタップし、スキャンしたデータを送信するときのファイル形式を選びます。

#### 6. をタップし、必要に応じてスキャン設定をします。



**参照**

- ・設定については、「詳細設定をする (P.134)」を参照してください。

#### 7. [送信] をタップします。



**補足**

- ・次の原稿に関するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って原稿の読み込み操作を完了します。

## スキャンしたデータを確認する

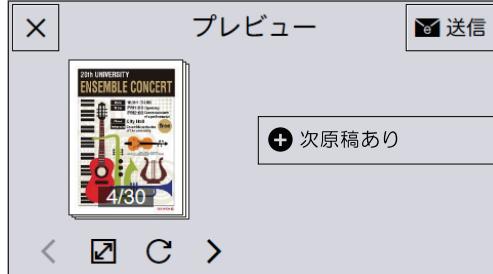
送信する前に、スキャンしたデータを確認できます。詳細設定で [プレビュー] にチェックマークを付け、画面右上の [プレビュー] をタップします。原稿をスキャンしたあとにプレビュー画面が表示されます。



**参照**

- ・[プレビュー] の設定については、「詳細設定をする (P.134)」を参照してください。

### ● プレビュー画面



次の操作ができます。

#### [次原稿あり]

原稿を原稿ガラスにセットしてスキャンしたときに表示されます。タップすると次の原稿をスキャンします。



表示するページを切り替えます。



プレビュー詳細画面を開きます。



タップするたびに、すべてのページを時計回りに90°ずつ回転します。出力される画像も、回転した状態になります。



**補足**

- ・ファイル形式によっては は表示されません。



プレビューを終了します。

## [送信]

スキャンしたデータを送信します。

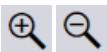
### • プレビュー詳細画面



次の操作ができます。



表示するページを切り替えます。左右にフリックまたはスワイプして切り替えることもできます。



プレビューを拡大／縮小します。



タップするたびに、表示しているページを時計回りに90°ずつ回転します。出力される画像も、回転した状態になります。



・ファイル形式によっては C は表示されません。



プレビュー詳細画面を閉じます。

## スキャナー（メール送信）機能を設定する

スキャナー（メール送信）機能で設定できる項目は次のとおりです。

\*は工場出荷時の初期値です。

|          |  |
|----------|--|
| [ファイル形式] | [PDF] *、[マルチページTIFF]、[TIFF]、[JPEG]、[XDW(DocuWorks)]                    |
| [プレビュー]  | オン、オフ*   |
| [カラーモード] | [カラー] *、[白黒]、[グレースケール]   |
| [解像度]    | [200dpi] *、[300dpi]、[400dpi]、[600dpi]                                  |
| [両面原稿送り] | [片面] *、[両面(長辺とじ)]、[両面(短辺とじ)]   |
| [読み込み濃度] | [うすく (+3)]、[うすく (+2)]、[うすく (+1)]、[ふつう] *、[こく (+1)]、[こく (+2)]、[こく (+3)] |
| [シャープネス] | [つよく]、[ふつう] *、[よわく]  |
| [コントラスト] | [つよく]、[ふつう] *、[よわく]  |
| [地色除去]   | オン*、オフ   |

|           |   |       |
|-----------|---|-------|
| [原稿サイズ]   | [自動] *、[A3(297x420mm) <input type="checkbox"/> ]、[B4(257x364mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[A4(297x210mm) <input type="checkbox"/> ]、[A4(210x297mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[B5(257x182mm) <input type="checkbox"/> ]、[B5(182x257mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[A5(148x210mm) <input type="checkbox"/> ]、[八開(270x390mm) <input type="checkbox"/> ]、[十六開<br>(270x195mm) <input type="checkbox"/> ]、[十六開(195x270mm) <input type="checkbox"/> ]、[11x17" <input type="checkbox"/> ]、<br>[8.5x14"(リーガル) <input type="checkbox"/> ]、[8.5x13" <input type="checkbox"/> ]、[8.5x11"(レター) <input type="checkbox"/> ]、<br>[8.5x11"(レター) <input type="checkbox"/> ] |       |
| [ファイル名]   | [自動] *、[先頭に文字列を付ける]、[末尾に文字列を付ける]  |       |
| [わく消し]    | [上下わく消し]  | [2] * |
|           | [左右わく消し]  | [2] * |
|           | [中消し]   | [0] * |
| [送信者アドレス] | [アドレスを編集]、[アドレス帳から指定]   |       |

設定方法は次のとおりです。

1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [スキャナー(メール送信)] をタップします。



3. 任意の項目を選択します。



## [To:]

相手先のメールアドレスを入力します。



アドレス帳からメールアドレスを選びます。



スキャンしたデータを送信するときのファイル形式を選びます。

## 詳細設定をする

1. をタップします。
2. 任意の項目を選びます。



### [プレビュー]

をタップしてチェックマークを付けると、スキャンしたデータを送信する前にプレビューを表示します。

### [カラー モード]



原稿を読み取るときのカラー モードを設定します。

### [解像度]

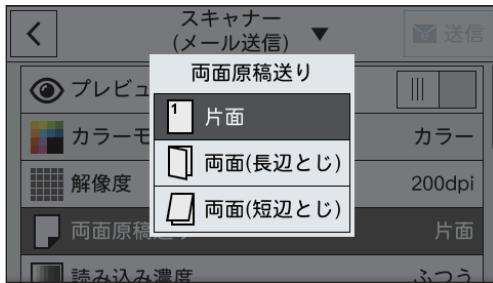


原稿を読み取るときの解像度を選びます。



・[カラー モード] が [カラー] に設定されているときは、[600dpi] は選べません。

## [両面原稿送り]



原稿の片面をスキャンするか、両面をスキャンするかを設定します。両面の場合は、原稿が長辺とじか、短辺とじかを選びます。

## [読み込み濃度]



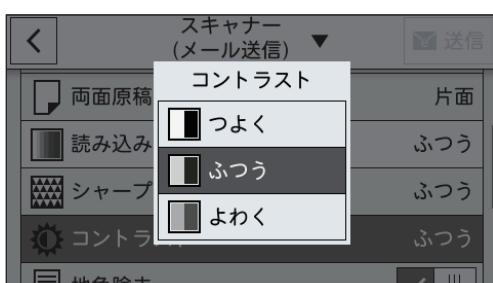
スキャンの濃度を設定して、原稿の色より濃く／薄くします。

## [シャープネス]



画像の輪郭を鮮明にしたり、ぼかしてなめらかにしたりします。

## [コントラスト]



画像の明暗の差を設定します。強くすると明暗の差が大きくなり、弱くすると差が小さくなります。

## [地色除去]

をタップしてチェックマークを付けると、原稿の地色（用紙色または背景色）を抑えてスキャンします。

## [原稿サイズ]

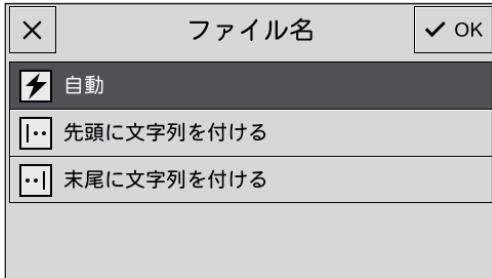


読み取る原稿のサイズを選びます。



- ・[自動] を選ぶと、本機が自動的に原稿サイズを検知して設定します。

## [ファイル名]



スキャンしたデータのファイル名を設定します。

ファイル名は、次のようなフォーマットで最大50文字まで設定できます。

[自動] : img-YYMMDDHHMMSS.拡張子

[先頭に文字列を付ける] : 指定した文字列\_YYMMDDHHMMSS.拡張子

[末尾に文字列を付ける] : YYMMDDHHMMSS\_指定した文字列.拡張子



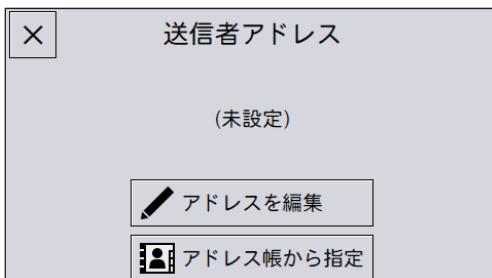
- ・YYMMDDHHMMSSは、西暦年の下二桁、月日各二桁、時分秒各二桁です。
- ・先頭または末尾に付ける文字列は、32文字まで指定できます。
- ・ファイル名の後ろに"-"と4桁の連番（0001～9999）が付きます。
- ・入力画面に表示される文字のうち、次の文字は使えません。  
¥ / : \* ? " < > |

## [わく消し]



厚い書類や書籍などをスキャンするときに、上下左右または中央にできる影を消します。

## [送信者アドレス]

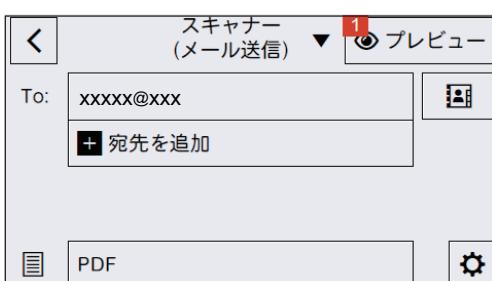


送信者のメールアドレスを設定します。

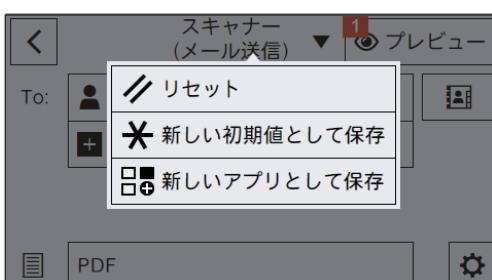
## 設定をリセットまたは保存する

設定した内容は、次の手順でリセットしたり保存したりすることができます。

1. [スキャナー (メール送信) ▼] をタップします。



2. 任意の項目を選択します。



## [リセット]

本機の [スキャナー (メール送信)] の設定をリセットします。

## [新しい初期値として保存]

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタン名を変更し、機能ボタンの色とアイコンを選びます。

## [新しいアプリとして保存]

既存の設定をコピーして、新しい機能ボタンとして保存します。機能ボタン名を設定し、機能ボタンの色とアイコンを選びます。



・新しい機能ボタンを作成する方法については、「新しい機能ボタンを作成する (P.51)」を参照してください。

# 6.3 コンピューターからスキャンする

## ！注記

- ・コンピューターからスキャンする場合、コンピューターを操作するために、原稿をセットしたまま本機から離れるときは、十分に注意してください。他のユーザーが誤って操作した場合、原稿の紛失および情報漏えいのおそれがあります。できるだけ、本機に近い場所でコンピューターの操作をしてください。また、スキャン完了後はすべての原稿が揃っていることを確認してください。

## 6.3.1 Windows® の場合

### Print & Scan Hubでスキャンする

本機のソフトウェアであるPrint & Scan Hubを使って原稿をスキャンできます。

## ！参照

- ・Print & Scan Hubをインストールする必要があります。詳しくは、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.32)」を参照してください。

#### 1. 原稿をセットします。

## ！参照

- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。

#### 2. お使いのコンピューターで、[スタート] > [すべてのプログラム] > [NEC Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。

Windows® 10の場合は、[スタート] > [NEC Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。

#### 3. [機器の一覧] から本機を選択します。



#### 4. [スキャン] をクリックします。

## 5. 必要に応じて [スキャン設定] でスキャン設定をします。



### [カラー モード]

原稿を読み取るときのカラー モードを設定します。

### [スキャナーの種類]

原稿を原稿ガラスにセットするか、自動両面原稿送り装置にセットするかを設定します。

### [解像度]

原稿を読み取るときの解像度を選びます。

### [読み取りサイズ]

読み取る原稿のサイズを選びます。

### [明るさ]

原稿を読み取るときの明るさを設定します。

### [コントラスト]

画像の明暗の差を設定します。[+] をクリックすると明暗の差が大きくなり、[-] をクリックすると差が小さくなります。

## 6. [スキャン] をクリックしてスキャンします。

## 7. 必要に応じて [編集] で、スキャンしたデータを編集します。

### [回転]

画像を回転したり反転したりします。

### [トリミング]

画像を切り取るサイズを設定します。

## 8. [保存設定] で、スキャンしたデータを保存するときのファイル形式、ファイル名、および保存先を設定します。

### [ファイル形式]

スキャンしたデータを保存するときのファイル形式を選びます。

### [ファイル名]

スキャンしたデータのファイル名を設定します。

### [保存先]

スキャンしたデータの保存先を選びます。

### [保存先詳細設定]

スキャンしたデータを保存するフォルダーを指定します。

## 9. [保存] をクリックします。

# Web Services on Devices (WSD)でスキャンする

本機がコンピューターにWeb Services on Devices (WSD)でネットワーク接続されている場合は、コンピューターから原稿をスキャンできます。

## ● Web Services on Devices (WSD)を設定する

### 本機の設定を確認する

スキャナー (WSD)機能を使ってスキャンするには、本機の [WSDスキャン] が有効になっている必要があります。

1. ⌂ <ホーム> ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] > [プロトコル] をタップします。
4. [WSDスキャン] にチェックマークが表示されていることを確認します。



## コンピューターを設定する

ここでは、Windows® 7 および Windows® 10 を例に手順を説明します。

### Windows® 7の場合

1. [スタート] > [コントロールパネル] > [デバイスの追加] をクリックします。



2. 本機を選び、[次へ] をクリックします。

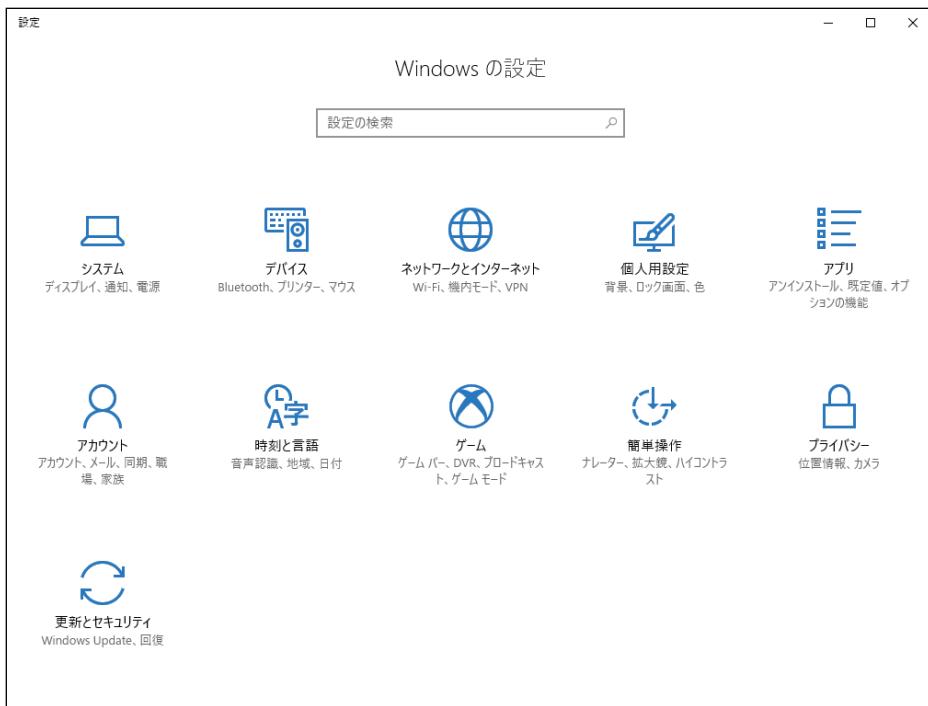


3. 画面の指示に従って操作します。

本機とコンピューターが Web Services on Devices (WSD) 接続されます。

## Windows® 10の場合

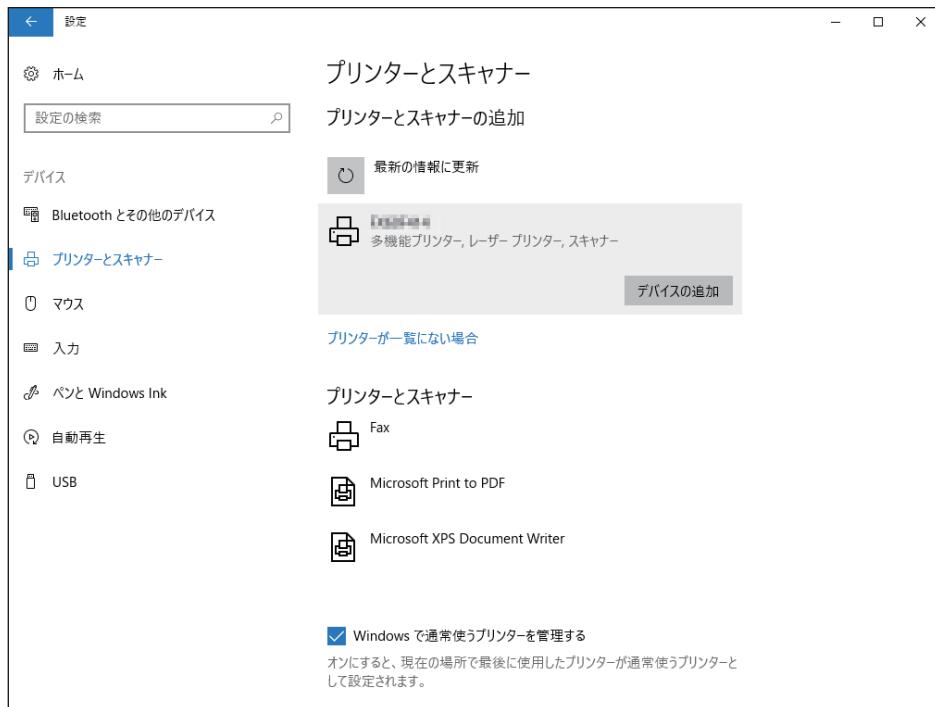
1. スタートボタンをクリックし、[設定] をクリックします。
2. [デバイス] をクリックします。



3. [プリンターとスキャナー] > [プリンターまたはスキャナーを追加します] をクリックします。



#### 4. 本機を選び、[デバイスの追加] をクリックします。



本機とコンピューターがWeb Services on Devices (WSD)接続されます。

#### ●コンピューターからスキャンする

Print & Scan HubやWindows® FAXとスキャンなどのアプリケーションを使ってスキャンできます。ここでは、Windows® 7およびWindows® 10を例に手順を説明します。

##### 1. 原稿をセットします。

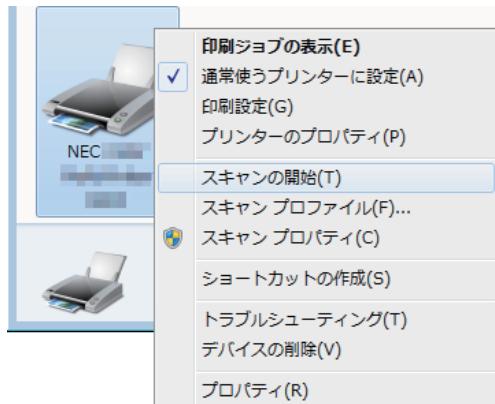


・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。

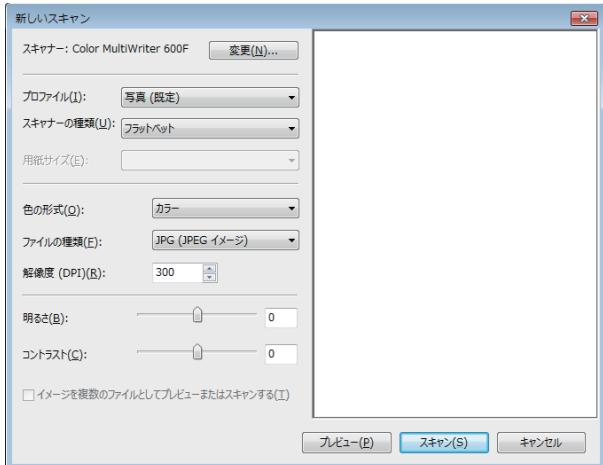
##### 2. お使いのコンピューターで、[スタート] > [デバイスとプリンター] をクリックします。

Windows® 10の場合は、[スタート] > [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター] をクリックします。

##### 3. 本機のアイコンを右クリックし、[スキャンの開始] を選びます。



#### 4. 必要に応じてスキャン設定をし、[スキャン] をクリックします。



#### 5. 画面の指示に従ってスキャンしたデータを保存します。

## Windows® Image Acquisition (WIA) ドライバーでスキャンする

Windows® Image Acquisition (WIA) は、Windows® XP 以降の OS で提供されている標準コンポーネントの 1 つです。Windows® Image Acquisition (WIA) ドライバーがあれば、Windows® FAX とスキャンや Microsoft® ペイントなどの Microsoft® ソフトウェアを使って原稿をスキャンできます。

### 💡 補足

- ・本機がUSBケーブルでコンピューターに接続されているか確認してください。
- ・お使いのコンピューターにスキャナードライバーをインストールする必要があります。ドライバーのインストール方法については、「Windows® 用のソフトウェアをインストールする (P.32)」を参照してください。
- ・アプリケーションによっては、自動両面原稿送り装置を使って複数ページの原稿をスキャンしているときにプリントジョブを受信すると、スキャンが中止される場合があります。そのようなアプリケーションをお使いの場合は、TWAIN ドライバーを使ってスキャンしてください。TWAIN ドライバーについては、「TWAIN ドライバーでスキャンする (P.145)」を参照してください。

ここでは Windows® FAX とスキャンを使った手順を例に説明します。

### 💡 補足

- ・Print & Scan Hub を使ってスキャンすることもできます。

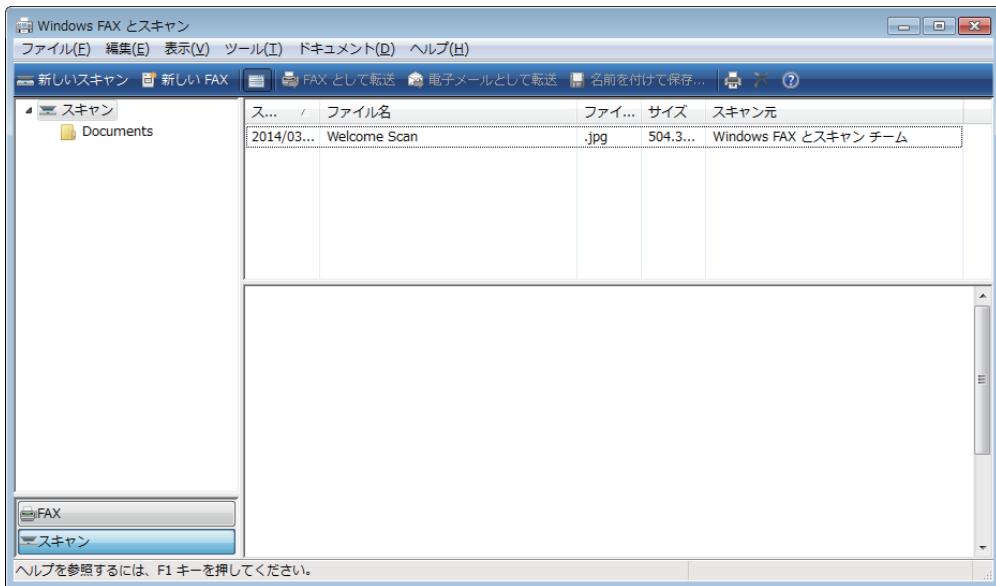
#### 1. 原稿をセットします。

### 📘 参照

- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。

#### 2. お使いのコンピューターで、Windows® FAX とスキャンを起動します。

### 3. [新しいスキャン] をクリックします。



### 4. [スキャナーの種類] で、原稿ガラスにセットした原稿をスキャンするか、自動両面原稿送り装置にセットした原稿をスキャンするかを設定します。

#### 補足

- ・[フィーダー (片面スキャン)] または [フィーダー (両面スキャン)] を選んだ場合は、[用紙サイズ] で保存するサイズを選びます。

### 5. 必要に応じてその他のスキャン設定をします。

### 6. [スキャン] をクリックします。

## TWAIN ドライバーでスキャンする

TWAIN ドライバーを使用すると、スキャンしたデータを Adobe® Photoshop® などのソフトウェアに取り込むことができます。

#### 補足

- ・本機がUSBケーブルでコンピューターに接続されているか確認してください。
- ・お使いのコンピューターにスキャナードライバーをインストールする必要があります。ドライバーのインストール方法については、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.32)」を参照してください。

ここでは、TWAINに対応する代表的なソフトウェアを使った手順を例に説明します。

### 1. 原稿をセットします。

#### 参照

- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。

### 2. お使いのコンピューターで、TWAINに対応する画像用ソフトウェアを起動します。

### 3. ソフトウェアのTWAINメニューから本機を選び、必要な設定をしたあと、スキャン操作を開始します。

#### 参照

- ・TWAIN ドライバーの操作方法については、TWAIN ドライバーのヘルプを参照してください。
- ・ソフトウェアの操作方法については、ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

## 6.3.2 Mac の場合

Macに標準搭載されているアプリケーションのイメージキャプチャを使って原稿をスキャンできます。

### 補足

- ・Macでスキャンする場合は、CentreWare Internet Servicesの画面左の領域にある【ネットワーク設定】をクリックして、【モバイルプリント】から【AirPrint™】を選び、【有効にする】にチェックマークが付いていることを確認してください。また、本機とMacをUSBで接続しているときは、【AirPrint™】の【USB接続】にチェックマークを付けます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

ここでは、macOS 10.13を例に手順を説明します。

### 1. 原稿をセットします。

### 参照

- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。

### 2. お使いのコンピューターで、【移動】メニューから、【アプリケーション】>【イメージキャプチャ】をクリックします。

### 3. 画面左の領域にある【デバイス】または【共有】から本機の名前を選びます。



### 補足

- ・本機の名前が表示されない場合は、【デバイス】または【共有】の右側にポインターを合わせ、【表示】をクリックします。

### 4. 必要に応じてスキャン設定をします。

### 5. 【スキャン】をクリックします。

### 参照

- ・イメージキャプチャの使用方法については、イメージキャプチャのヘルプを参照してください。

# 7 ファクス

|     |   |     |
|-----|---|-----|
| 7.1 | ファクスする .....                            | 148 |
| 7.2 | コンピューターからファクスを送信する<br>(ダイレクトファクス) ..... | 163 |

# 7.1 ファクスする

## 7.1.1 ファクスを送信する

### ! 注記

- ・ファクスの送信時は宛先をご確認のうえ、送信してください。

### ! 参照

- ・ファクスの送信結果は、「ジョブ」画面またはレポートで確認できます。詳しくは、「ジョブを確認する (P.60)」、「[ジョブ履歴レポート] (P.196)」または「[ファクス通信管理レポート] (P.197)」を参照してください。

### ファクス送信の基本操作

#### 1. 原稿をセットします。

### ! 参照

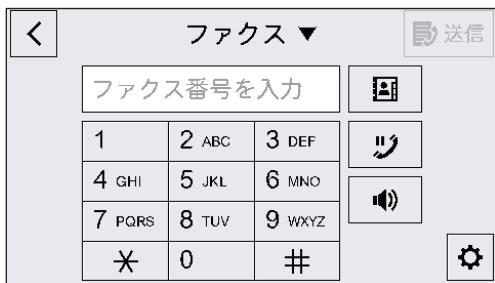
- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。

#### 2. ①〈ホーム〉ボタンを押します。

#### 3. [ファクス] をタップします。



#### 4. ⚙ をタップし、必要に応じてファクス設定をします。



### ! 参照

- ・設定については、「詳細設定をする (P.159)」を参照してください。

## 5. < をタップします。



## 6. 相手先のファックス番号を入力します。



- ・ < をタップすると最後にダイヤルしたファックス番号が表示されます。
- ・ アドレス帳やLDAPサーバーを使用してファックス番号を指定することもできます。詳しくは、「アドレス帳を使う (P.247)」を参照してください。

## 7. [送信] をタップします。



- ・ 次の原稿に関するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って原稿の読み込み操作を完了します。
- ・ ファックスの送信を中止するには、送信中に [中止] をタップします。
- ・ 自動リダイヤル機能が有効な場合は、相手先が話し中のときや送信時に応答がないときに、指定した時間ごとに自動的にリダイヤルします。自動リダイヤルの設定については、「[リダイヤル設定] (P.207)」を参照してください。

# オンフック機能を使って送信する

## 1. 原稿をセットします。



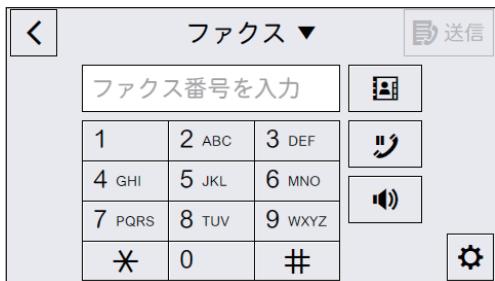
- ・ 原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。

## 2. < ホームボタンを押します。

## 3. [ファックス] をタップします。



#### 4. をタップし、必要に応じてファクス設定をします。



・設定については、「詳細設定をする (P.159)」を参照してください。

#### 5. < をタップします。



#### 6. をタップします。



・[原稿サイズ] が [自動] に設定されているときは、 が無効になり、タップできません。原稿サイズを指定してください。

#### 7. 相手先のファクス番号を入力します。



#### 8. [送信] をタップします。



・ファクスの送信を中止するには、送信中に [中止] をタップします。  
・オンフック機能を使って送信する場合は、自動リダイヤル機能は使用できません。

## 時刻を指定して送信する

ファクスの送信時刻を指定できる機能です。通信料金の安い深夜の時間帯を指定するなど、通信コストを削減するために活用できます。



・ファクス送信が完了すると、メモリー内のデータは消去されます。

## 1. 原稿をセットします。



- ・原稿のセット方法については、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。

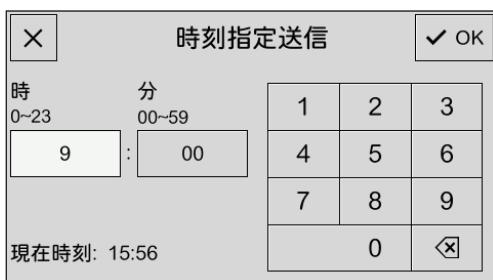
## 2. ホームボタンを押します。

## 3. [ファクス] をタップします。



## 4. ☰ > [時刻指定送信] > [時刻指定] をタップします。

## 5. 送信開始時刻を入力し、[OK] をタップします。



## 6. 必要に応じてその他のファクス設定をします。



- ・設定については、「詳細設定をする (P.159)」を参照してください。

## 7. < をタップします。

## 8. 相手先のファクス番号を入力します。



- ・ ☎ をタップすると最後にダイヤルしたファクス番号が表示されます。
- ・アドレス帳やLDAPサーバーを使用してファクス番号を指定することもできます。詳しくは、「アドレス帳を使う (P.247)」を参照してください。

## 9. [送信] をタップします。



- ・次の原稿に関するメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って原稿の読み込み操作を完了します。

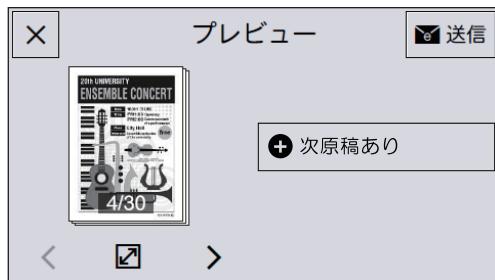
## 送信するファクスを確認する

送信する前に、スキャンしたデータを確認できます。詳細設定で [プレビュー] にチェックマークを付け、画面右上の [プレビュー] をタップします。原稿をスキャンしたあとにプレビュー画面が表示されます。



- ・[プレビュー] の設定については、「詳細設定をする (P.159)」を参照してください。

## ● プレビュー画面



次の操作ができます。

### [次原稿あり]

原稿を原稿ガラスにセットしてファクスするときに表示されます。タップすると次の原稿を読み取ります。



表示するページを切り替えます。



プレビュー詳細画面を開きます。



プレビューを終了します。

### [送信]

ファクスを送信します。

## ● プレビュー詳細画面



次の操作ができます。



表示するページを切り替えます。左右にフリックまたはスワイプして切り替えることもできます。



プレビューを拡大／縮小します。



プレビュー詳細画面を閉じます。

## 7.1.2 ファクスを受信する

### 補足

- メモリーがいっぱいのときは、ファクスを自動受信できません。メモリーから不要なファクス文書を削除してください。
- コピーやプリント中、または用紙切れやトナーアウトの場合にファクスを受信したときは、受信したファクスはいったんメモリーに保存されます。コピーとプリントが終了、または消耗品を補充すると、メモリー内のファクスは自動的に出力されます。

### 自動で受信する

ファクスを自動受信するには、ファクス受信モードを【自動受信 ファクス】、【自動受信 電話/ファクス】、または【自動受信 留守電/ファクス】に設定します。工場出荷時は【自動受信 ファクス】に設定されています。

### 参照

- ファクス受信モードについては、「[受信モード] (P.206)」を参照してください。

### 補足

- 【自動受信 電話/ファクス】または【自動受信 留守電/ファクス】を使用するには、本機右側面のTELコネクターに外付け電話機または留守番電話機を接続します。

### 手動で受信する

外付け電話機やタッチパネルディスプレイを操作してファクスを受信するには、ファクス受信モードを【手動受信】に設定します。

### 参照

- ファクス受信モードについては、「[受信モード] (P.206)」を参照してください。

### 補足

- 【手動受信】を使用するには、本機右側面のTELコネクターに外付け電話機を接続します。

### ●リモート受信を使用する

外付け電話機を接続しているときに、外付け電話機側の操作だけでファクスを受信できます。

### 補足

- この機能を使用するには、【リモート受信】を【する】に設定し、【リモート受信トーン】として2桁の番号を登録する必要があります。詳しくは、「[リモート受信] (P.207)」を参照してください。
- お使いになる外付け電話機のダイヤル方式をプッシュ信号に設定してください。

**1. 外付け電話機が鳴ったら、受話器を取ります。**

**2. ファクス音が聞こえたら、電話機からリモート受信番号を入力します。**

### 補足

- リモート受信番号を入力するときはゆっくりと押してください。番号を入力しても相手機のファクス音がまだ聞こえる場合は、2桁の番号をもう一度入力してください。

**3. 受話器を元に戻します。**

### ●オフフック機能を使って受信する

**1. 外付け電話機が鳴ったら、受話器を取ります。**

**2. ファクス音が聞こえたら、**△**〈ホーム〉ボタンを押します。**

### 3. [ファクス] をタップします。



### 4. [受信] をタップします。

### 5. 受話器を元に戻します。

## ● オンフック機能を使って受信する

1. 外付け電話機が鳴ったら、△〈ホーム〉ボタンを押します。

2. [ファクス] をタップします。



3. ☎ をタップします。



・[原稿サイズ] が [自動] に設定されているときは、☎ が無効になり、タップできません。原稿サイズを指定してください。

4. [受信] をタップします。

## セキュリティー受信モードを使う

受信したファクスを第三者から閲覧されないように設定する機能です。セキュリティー受信モードを起動すると、受信するファクスはすぐには出力されず、本機のメモリーにいったん保存されます。前もって設定した暗証番号を入力することで、保存されているファクスを出力できます。



・保存されているファクスは受信モードを解除するとすべて出力されます。

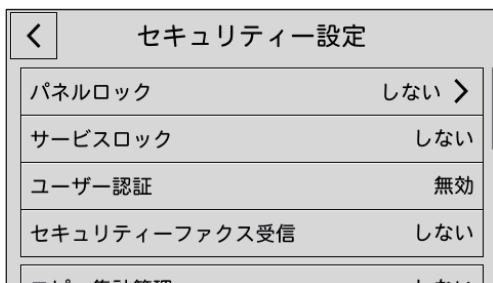
## ● セキュリティー受信モードを設定する

1. △〈ホーム〉ボタンを押します。

2. [機器設定] をタップします。

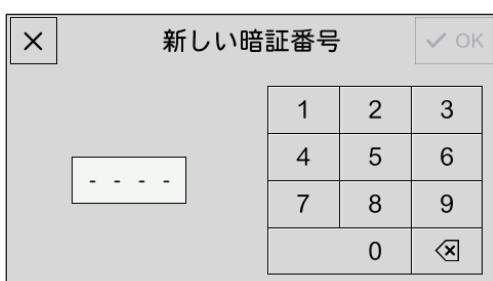


3. [セキュリティー設定] > [パネルロック] をタップします。



4. [パネルロック設定] の [ ] をタップしてチェックマークを表示します。

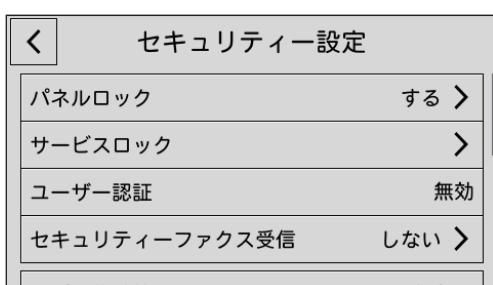
5. 4桁の暗証番号を入力し、[OK] をタップします。



6. 暗証番号を再度入力し、[OK] をタップします。

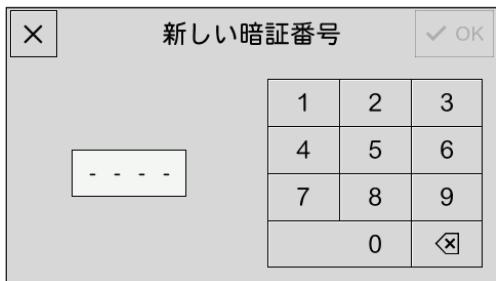
7. [ ] をタップします。

8. [セキュリティーファクス受信] をタップします。



9. [ ] をタップしてチェックマークを表示します。

## 10. 4 行の暗証番号を入力し、[OK] をタップします。



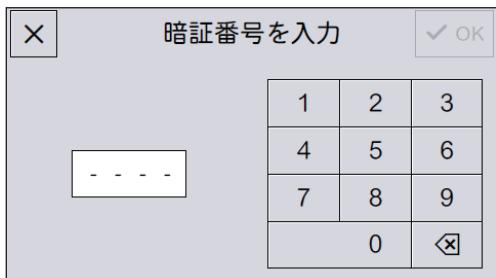
セキュリティ受信モードでファクスを受信すると、受信したファクスはメモリーに保存されます。このとき、[ジョブ] 画面の [セキュリティファクスをプリント] には、メモリー内にファクスが保存されていることを示す  が表示されます。

### ●受信したファクスを出力する

1.  〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [ジョブ] をタップします。



3. [セキュリティファクスをプリント] をタップします。
4. 4 行の暗証番号を入力し、[OK] をタップします。



## ポーリング受信をする

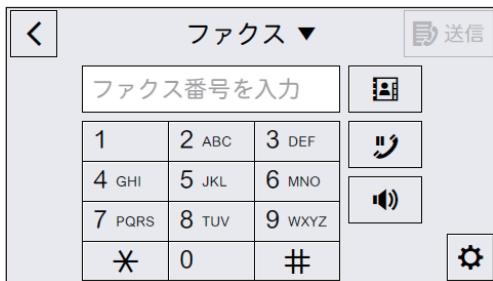
相手機に蓄積されているファクス文書を本機からの操作でいつでも好きなときに受信できます。

1.  〈ホーム〉ボタンを押します。

## 2. [ファクス] をタップします。



## 3. ☰ をタップします。



## 4. [ポーリング受信] の III をタップしてチェックマークを表示します。



## 5. < をタップします。

## 6. 相手先のファクス番号を入力します。

## 7. [スタート] をタップします。

### 7.1.3 いろいろなファクス機能

本機では必要に応じてさまざまなファクス機能を設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

\*は工場出荷時の初期値です。

|          |   |
|----------|---|
| [プレビュー]  | オン、オフ*  |
| [同報送信]   | オン、オフ*  |
| [送信濃度]   | [うすく (+3)]、[うすく (+2)]、[うすく (+1)]、[ふつう]*、[こく (+1)]、[こく (+2)]、[こく (+3)] |
| [両面原稿送り] | [片面]*、[両面(長辺とじ)]、[両面(短辺とじ)]   |
| [送信画質]   | [標準画質]*、[高画質]、[超高画質]、[写真]   |

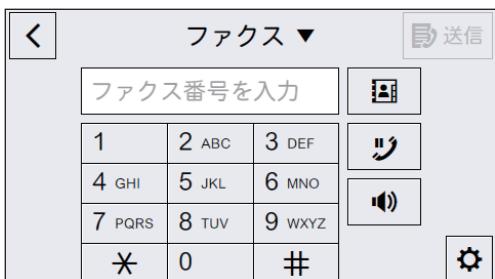
|           |  |
|-----------|--|
| [原稿サイズ]   | [自動] *、[A3(297x420mm) □]、[B4(257x364mm) □]、<br>[A4(210x297mm) □] *、[B5(182x257mm) □]、<br>[A5(148x210mm) □]、[八開(270x390mm) □]、[11x17" □]、<br>[8.5x14"(リーガル) □]、[8.5x13" □]、[8.5x11"(レター) □] |
|           |  <b>補足</b><br>・初期値は、オフフックの場合は [A4(210x297mm) □]、それ以外の場合は [自動] です。   |
| [送信シート]   | オン、オフ*   |
| [ポーリング受信] | オン、オフ*   |
|           | [しない]*<br>[時刻指定]   |

設定方法は次のとおりです。

1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [ファクス] をタップします。



3. 任意の項目をタップします。



## [ファクス番号を入力]

相手先のファクス番号を入力します。



アドレス帳からファクス番号を選びます。



最後にダイヤルしたファクス番号を、ファクス番号として設定します。



ファクス番号にポーズ記号「-」を追加します。

ツを長押しすると、ファクス番号にダイヤルトーン検知記号「=」を追加します。ダイヤルトーン検知記号「=」を追加すると、本機は発信音が聞こえてから送信を始めます。



オンフック機能で、ファクスを手動で送受信します。

## 詳細設定をする

1. ツをタップします。
2. 任意の項目を選びます。



### [プレビュー]

IIIをタップしてチェックマークを付けると、スキャンしたデータを送信する前にプレビューを表示します。

### [同報送信]

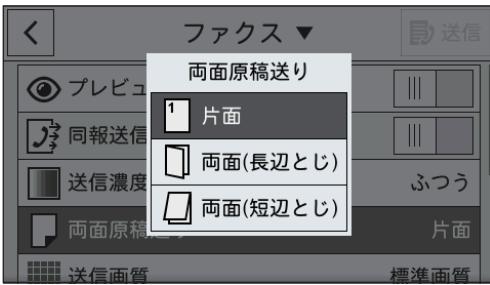
IIIをタップしてチェックマークを付けると、複数の宛先にファクスをします。

### [送信濃度]



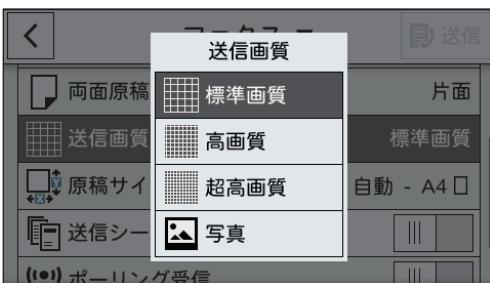
ファクスの濃度を調整し、原稿の色より濃く／薄くします。

## [両面原稿送り]



原稿の片面を読み取るか、両面を読み取るかを設定します。両面の場合は、原稿が長辺とじか、短辺とじかを選びます。

## [送信画質]



原稿を読み取るときの画質を設定します。

### [標準画質]

標準サイズの文字を含む文書に適しています。

### [高画質]

小さい文字や細い線を含む文書に適しています。

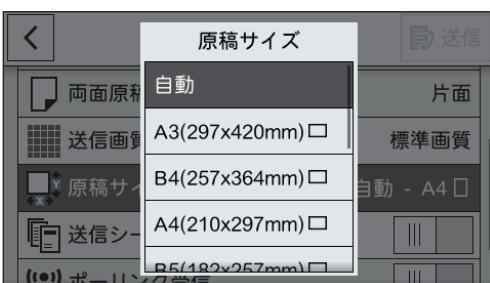
### [超高画質]

非常に細かい線などを含む文書に適しています。相手機が対応しているときにだけ使用できます。

### [写真]

写真を含む文書に適しています。

## [原稿サイズ]



送信する原稿のサイズを選びます。

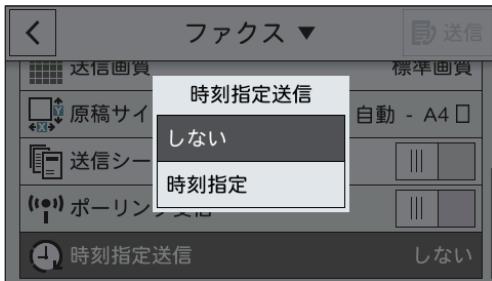
## [送信シート]

をタップしてチェックマークを付けると、ファクスに送信シートを付けて送信します。

## [ポーリング受信]

をタップしてチェックマークを付けると、ポーリング受信モードになります。相手機に蓄積されているファクス文書を、本機からの操作で受信します。

## [時刻指定送信]



指定した時刻にファクスを送信します。[時刻指定] を選ぶと、送信する時刻を設定できます。

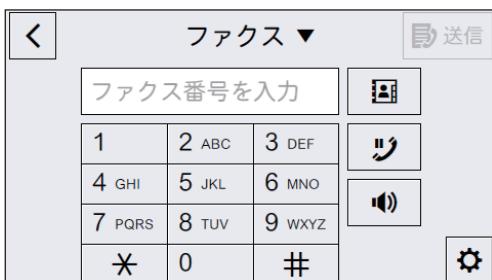


- ・最大19件のファクス送信を予約できます。

## 設定をリセットまたは保存する

設定した内容は、次の手順でリセットしたり保存したりすることができます。

### 1. [Fax ▾] をタップします。



### 2. 任意の項目を選びます。



## [リセット]

本機の [Fax] の設定をリセットします。

## [新しい初期値として保存]

新しい設定を初期値として保存します。必要に応じて機能ボタン名を変更し、機能ボタンの色とアイコンを選びます。



- ・登録されたファクスの宛先が31件以上の場合、[新しい初期値として保存] は表示されません。

## [新しいアプリとして保存]

既存の設定をコピーして、新しい機能ボタンとして保存します。機能ボタン名を設定し、機能ボタンの色とアイコンを選びます。

### **補足**

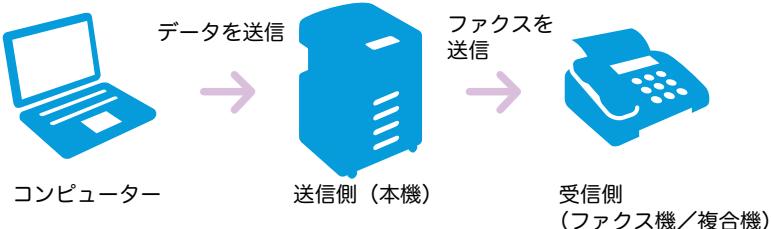
- 登録されたファックスの宛先が31件以上の場合、[新しいアプリとして保存] は表示されません。

### **参照**

- 新しい機能ボタンを作成する方法については、「新しい機能ボタンを作成する (P.51)」を参照してください。

# 7.2 コンピューターからファクスを送信する（ダイレクトファクス）

アプリケーションソフトウェアで作成した文書を、プリントする場合と同じ操作で、コンピューターから直接ファクス送信できます。この機能を「ダイレクトファクス」といいます。



- ・ダイレクトファクスではモノクロファクスだけ送信できます。

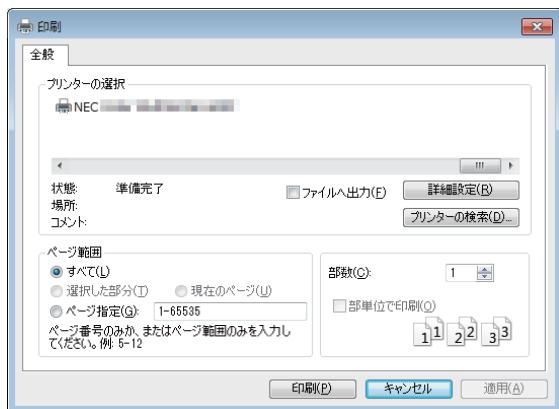
## 7.2.1 Windows® の場合

PCLドライバーを使って、コンピューターからファクスを送信できます。



- ・ドライバーのインストールについては、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.32)」を参照してください。

1. ファクスするファイルを開きます。
2. [ファイル] メニューから [印刷] を選びます。
3. 本機選び、[詳細設定] をクリックします。



4. [プリント種類] から、[ファクス] を選びます。
5. [ファクス] タブをクリックします。

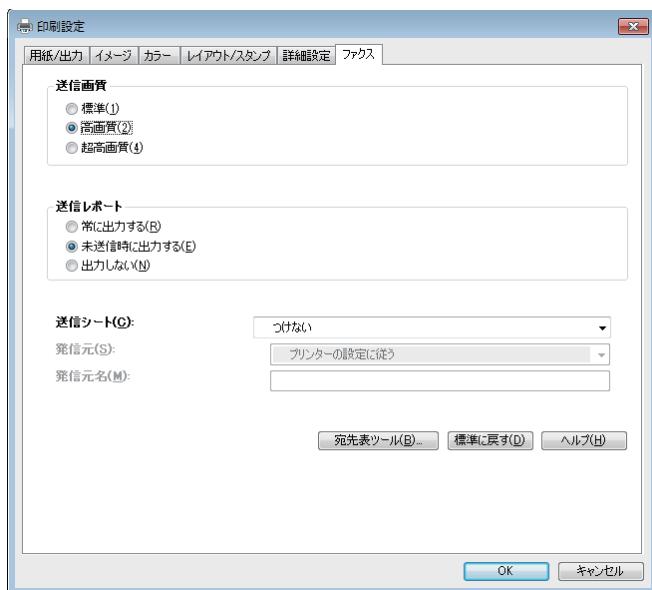


- ・[ファクス] タブが表示されていない場合は、お使いのコンピューターで [デバイスとプリンター] を開き、本機のアイコンを右クリックして [プリンターのプロパティ] を選び、[プリンター構成] タブの [オプションの設定] ダイアログボックスで、[設定項目] の [ファクスキット] を [あり] に設定してください。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

## 6. ファクスの送信設定をします。



- ・設定方法については、PCL ドライバーのヘルプを参照してください。

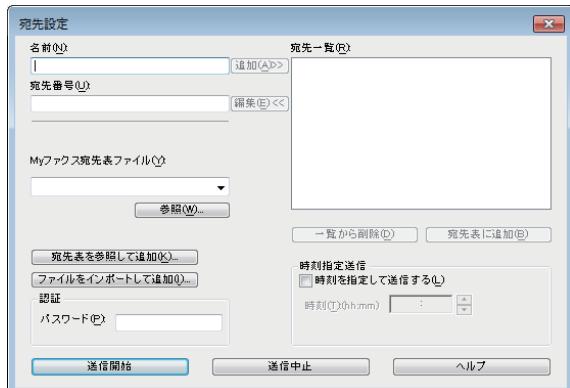


## 7. [OK] をクリックして [印刷設定] ダイアログボックスを閉じ、[印刷] をクリックします。

### 8.宛先を指定します。



- ・宛先の指定方法については、PCL ドライバーのヘルプを参照してください。



### 9. [送信開始] をクリックします。

## 7.2.2 Mac の場合

AirPrint機能を使って、コンピューターからファクスを送信できます。



### 補足

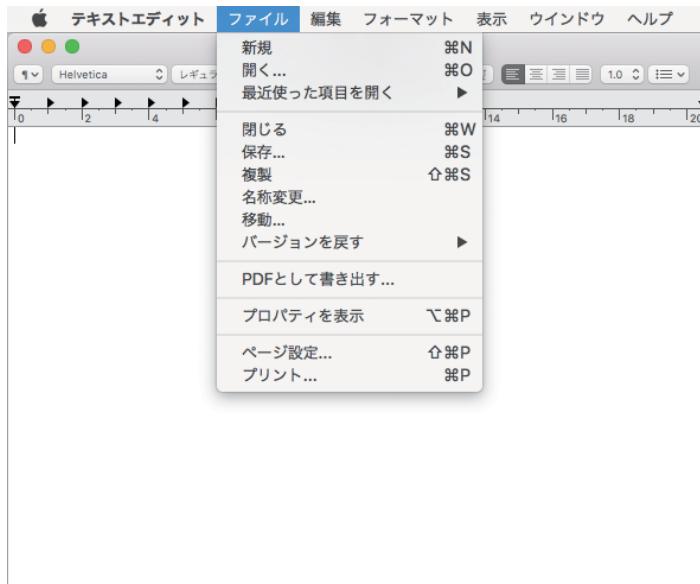
- ・Macでファクスする場合は、CentreWare Internet Servicesの画面左の領域にある〔ネットワーク設定〕をクリックして、「モバイルプリント」から「AirPrint™」を選び、「有効にする」にチェックマークが付いていることを確認してください。また、本機とMacをUSBで接続しているときは、「AirPrint™」の〔USB接続〕にチェックマークを付けます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。ここでは、macOS 10.13を例に手順を説明します。

### 1. [Apple] メニューから〔システム環境設定〕を開き、〔プリンタとスキャナ〕をクリックします。

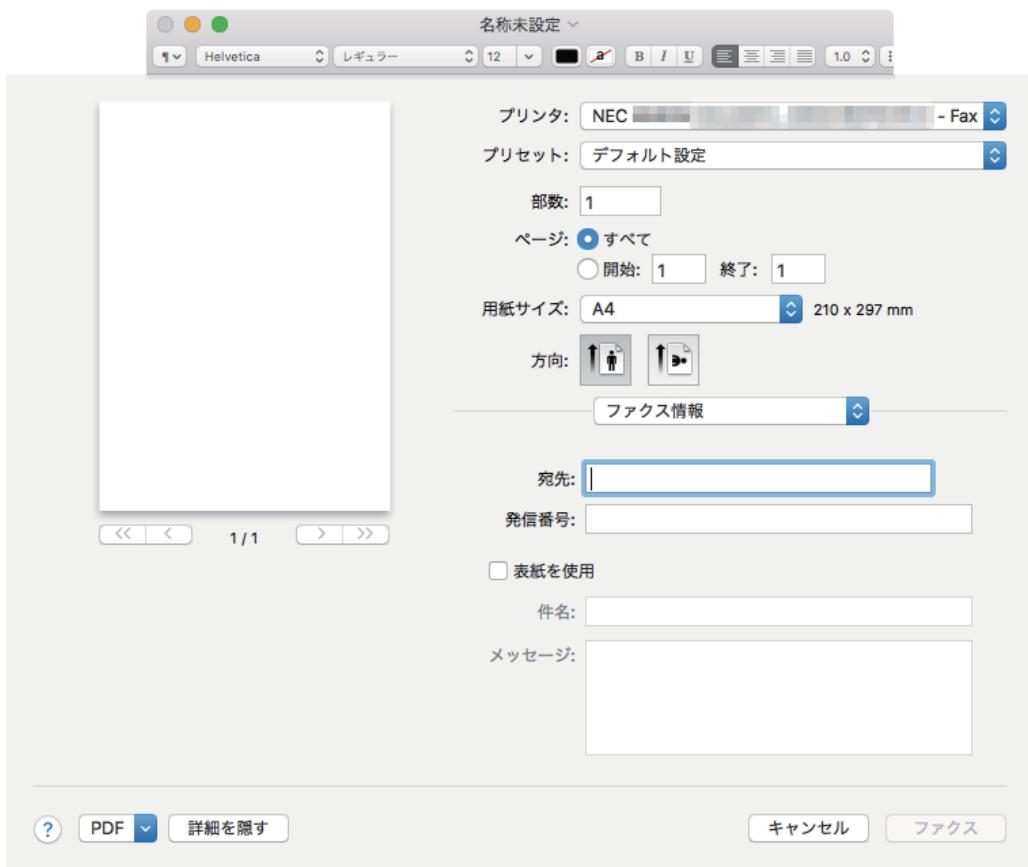
- 2.** 本機と Mac を有線 LAN または無線 LAN で接続している場合は、[+] をクリックして、[プリンタまたはスキャナを追加] をクリックします。  
本機と Mac を USB で接続している場合は、[ファクス] に本機が表示されていることを確認し、手順 5 に進みます。
- 3.** 本機を選び、[ドライバ] から [AirPrint] を選びます。
- 4.** [追加] をクリックします。
- 5.** ファクスするファイルを開きます。
- 6.** [ファイル] メニューから [プリント] を選びます。



・アプリケーションによっては、メニューの呼びかたが異なることがあります。



**7. [プリンタ] から本機を選び、[宛先] に相手先のファックス番号を入力します。**



**8. [ファックス] をクリックします。**

# 8 スマートフォン／タブレットからのプリント、スキャン

|     |                                     |     |
|-----|-------------------------------------|-----|
| 8.1 | 本機をスマートフォン／タブレットと接続する .....         | 168 |
| 8.2 | Print Utility を使ってプリント、スキャンする ..... | 173 |
| 8.3 | その他のサービスを利用する .....                 | 174 |

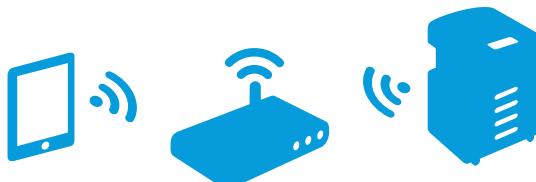
# 8.1 本機をスマートフォン／タブレットと接続する

スマートフォン／タブレットなどのモバイル機器を本機に接続し、文書、写真、ウェブページやメールなどを素早く簡単にプリントまたはスキャンできます。

次のいずれかの方法で、本機をモバイル機器と接続します。

- Wi-Fi接続

本機とモバイル機器を無線LANアクセスポイント経由で接続します。



- Wi-Fi Direct接続

無線LANアクセスポイントを経由せず、本機とモバイル機器を直接接続します。



## 8.1.1 Wi-Fi で接続する

### 本機の設定

- 本機が無線LANに接続されていることを確認します。



接続方法については、「無線LANで接続する (P.25)」を参照してください。

### モバイル機器の設定



操作方法はモバイル機器の機種によって異なります。詳しくは、お使いのモバイル機器の取扱説明書を参照してください。

- モバイル機器のWi-Fi機能を有効にします。
- 本機が接続しているネットワーク（SSID）を選びます。
- 暗号化キーを入力し、接続を完了します。



暗号化キーは無線LANアクセスポイント本体に記載されている場合があります。詳しくは、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。

## 8.1.2 Wi-Fi Direct で接続する



・モバイル機器は同時に3台まで接続できます。

### Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Directを使用するには、はじめに本機の操作パネルでWi-Fi Directを設定します。次に本機のSSIDをモバイル機器上の画面で選び、該当するパスフレーズを入力すると、Wi-Fi Direct経由で本機に接続できます。

#### ●本機の設定をする

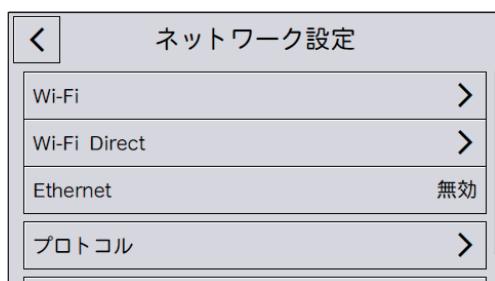


- ・CentreWare Internet Servicesを使って設定することもできます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。
- ・Wi-Fi DirectはIPv6やアドホック環境では使用できません。

1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi Direct] をタップします。



4. [Wi-Fi Direct] の ②をタップしてチェックマークを表示します。



5. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

- 6.** 本機の再起動後に、[機器設定] > [ネットワーク設定] > [Wi-Fi Direct] > [グループ設定] > [グループオーナー] をタップします。



- 7.** [接続中の機器] をタップします。  
**8.** 画面に表示されているモバイル機器数が2台以下であることを確認し、**×** をタップします。

 **補足**

- 接続しているモバイル機器数が3台のときは、Wi-Fi Directネットワークに追加接続できません。現在接続しているすべてのモバイル機器をネットワークから切断してください。詳しくは、「Wi-Fi Directネットワークからモバイル機器を切断する (P.170)」を参照してください。

- 9.** [SSID] をタップします。  
**10.** 必要に応じてSSIDを変更し、[OK] をタップします。

 **補足**

- SSIDを変更すると、手順8で表示されたモバイル機器の接続は切断されます。

- 11.** [パスフレーズ] をタップします。  
**12.** パスフレーズを確認し、**×** をタップします。

 **補足**

- [パスフレーズ] メニューの下にある [パスフレーズをプリント] をタップすると、本機のSSIDとパスフレーズが記載されたシートをプリントできます。

## ●本機とモバイル機器を接続する

 **参照**

- 詳しくは、モバイル機器の取扱説明書を参照してください。

- 1.** モバイル機器の無線LAN機能を有効にします。  
**2.** 本機のSSIDを選択します。  
**3.** パスフレーズを入力します。

## Wi-Fi Directネットワークからモバイル機器を切断する

- 1.** ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。  
**2.** [機器設定] をタップします。



### 3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi Direct] > [接続中の機器] をタップします。



・[接続中の機器] は、モバイル機器が本機にWi-Fi Directで接続されているときに表示されます。

### 4. [すべて切断] をタップします。

### 5. [今すぐ切断] または [切断してパスフレーズをリセット] をタップします。

### 6. 実行確認のメッセージが表示されるので、[はい] をタップします。

## パスフレーズを初期化する



・パスフレーズを初期化するとモバイル機器は切断されます。

### 1. 亂数〈ホーム〉ボタンを押します。

### 2. [機器設定] をタップします。

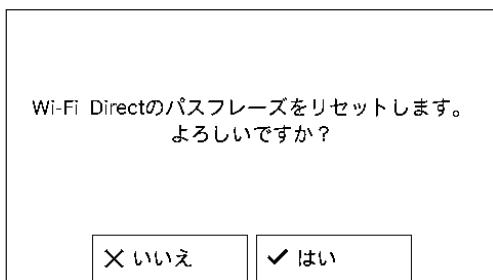


### 3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi Direct] をタップします。

### 4. [パスフレーズ] をタップします。



- 5. [パスフレーズをリセット] > [はい] をタップします。**



モバイル機器の接続が切断され、新しいパスフレーズが表示されます。

## PINコードを初期化する

- 1. ⌂<ホーム>ボタンを押します。**
- 2. [機器設定] をタップします。**



- 3. [ネットワーク設定] > [Wi-Fi Direct] > [WPSの設定] をタップします。**

| Wi-Fi Direct |              |
|--------------|--------------|
| 機器名          | Device Name  |
| 接続中の機器       | 3/3          |
| SSID         | DIRECT-XYABC |
| パスフレーズ       | 12345678     |
| WPSの設定       | PINコード方式     |

- 4. [PINコード方式] > [PINコードをリセット] をタップします。**

## 8.2 Print Utilityを使ってプリント、 スキャンする

Print Utilityはスマートフォン／タブレット用の無料アプリケーションです。スマートフォン／タブレットからプリントしたり、原稿をスキャンしたりできます。NFC機能を搭載する機器をお使いの場合は、本機のNFCタッチエリアに機器をかざすだけでプリントやスキャンを開始できます。

詳しくは、次のURLを参照してください。

- ・ iOSの場合：[https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility\\_ios/](https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility_ios/)
- ・ Androidの場合：[https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility\\_and/](https://www.fujixerox.co.jp/product/software/printutility_and/)

# 8.3 その他のサービスを利用する

## 8.3.1 AirPrint



AirPrintは、Apple Inc.が提供するプリントサービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad/iPhoneなどのiOS搭載機器やMacのコンピューターから指示した文書を、お使いの機械でプリントできます。



### 補足

- ・[プリント集計管理] が有効のとき、この機能を使用するには「未認証ユーザーのプリント」を有効にする必要があります。詳しくは、「[未認証ユーザーのプリント] (P.225)」を参照してください。

## AirPrintの設定を有効にする

1. 本機のIP アドレスをWeb ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。



### 補足

- ・本機のIP アドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

2. 画面右上の【ログイン】をクリックします。



### 補足

- ・画面右上に「一般ユーザー」と表示されている場合は、手順4に進みます。

3. 機械管理者の【ユーザー名】と【パスワード】を入力し、【ログイン】をクリックします。



### 参照

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

4. 画面左の領域にある【ネットワーク設定】をクリックします。

## 5. [モバイルプリント] の [AirPrint™] をクリックします。



## 6. [有効にする] にチェックマークを付けます。



・USBで接続しているときは、[AirPrint™] の [USB接続] にもチェックマークを付けます。

## 7. [OK] をクリックします。

## 8. [今すぐ再起動] をクリックします。

## 9. 本機の再起動が完了したら [更新] をクリックします。

# AirPrintでプリントする

ここでは、iOS 9を使った手順を例に説明します。

1. プリントするメール、写真、ウェブページ、または文書を開きます。
2. のアイコンをタップします。
3. [プリント] をタップします。
4. 本機を選び、プリント設定をします。
5. [プリント] をタップします。

## 8.3.2 Google クラウド プリント

Google クラウド プリントは、Google Inc.が提供するプリントサービスです。本機をGoogle クラウド プリントに登録すると、Google クラウド プリントに対応したアプリケーションからプリントできます。

### 補足

- ・ Google クラウド プリントはIPv4接続にだけ対応しています。
- ・ 本機をプロキシサーバー経由でネットワークに接続している場合は、CentreWare Internet Servicesから [プロキシサーバー] を設定する必要があります。詳しくは、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。
- ・ [プリント集計管理] が有効のとき、この機能を使用するには [未認証ユーザーのプリント] を有効にする必要があります。詳しくは、「[未認証ユーザーのプリント] (P.225)」を参照してください。

### 参照

- ・ Google クラウド プリントについては、「<https://www.google.com/cloudprint/learn/>」を参照してください。

## 本機でGoogle クラウド プリントを使うために必要な作業

Google クラウド プリントを使用するには、次の準備をする必要があります。

- ・ Googleアカウントを取得する
- ・ 本機の操作パネルからGoogle クラウド プリントを有効にする
  - a  〈ホーム〉ボタンを押します。
  - b [機器設定] をタップします。



- c [ネットワーク設定] > [プロトコル] をタップします。
- d [Google Cloud Print] の  をタップしてチェックマークを表示します。
- e 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

## Google クラウド プリントに本機を登録する

CentreWare Internet ServicesまたはGoogle Chromeを使ってGoogle クラウド プリントに本機を登録します。

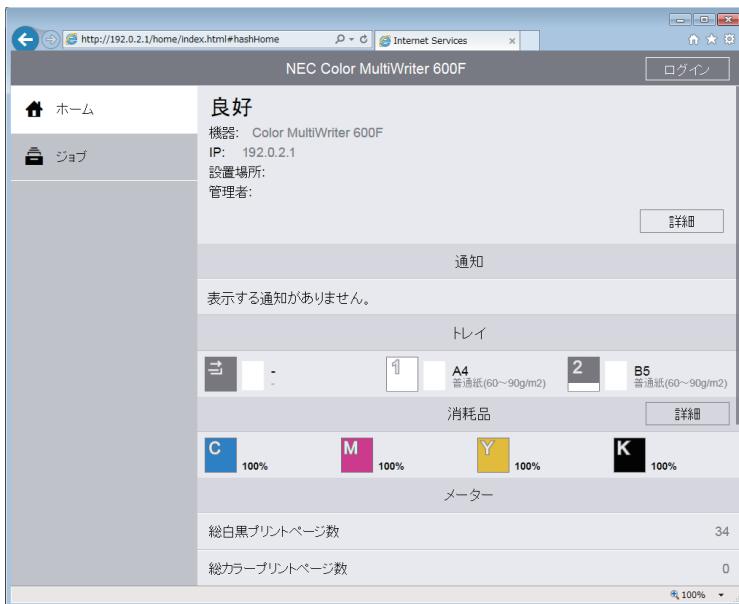
### ● CentreWare Internet Servicesを使って登録する場合

1. 本機のIP アドレスをWeb ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

### 補足

- ・ 本機の IP アドレスを確認するには、操作パネルの  〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

## 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



### 補足

- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

## 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

### 参照

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

## 4. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] をクリックします。

## 5. [モバイルプリント] の [Google Cloud Print] をクリックします。



## 6. [プリンター登録] > [登録] > [開始] をクリックします。

Google クラウド プリント登録サイトの URL が記載された用紙がプリントされます。

## 7. 用紙に記載されたURLをWebブラウザに入力し、Google クラウド プリントの登録サイトにアクセスします。

### 補足

- ・用紙に記載されたQRコードを読み取って登録サイトにアクセスすることもできます。

- 8.** ログイン画面で、お使いのGoogleアカウントを入力してログインします。
- 9.** [プリンタ登録を完了] > [プリンタの管理] をクリックします。  
本機が [プリンタ] リストに表示され、Google クラウド プリントサービスが利用可能になります。

## ●Google Chromeを使って登録する場合



**補足**

- ・[Bonjour(mDNS)] が有効になっていることを確認します。設定については、「[プロトコル] (P.214)」を参照してください。

- 1.** Google Chromeを起動します。
- 2.** 画面右上にある をクリックし、[設定] を選びます。
- 3.** ページ下部にある [詳細設定を表示] をクリックします。
- 4.** [Googleクラウドプリント] > [管理] をクリックします。



**補足**

- ・[新しいデバイス] の下にChromeへのログインを促すメッセージが表示されたら、[ログイン] をクリックしてChromeにログインします。

- 5.** 登録するプリンターの [登録] をクリックします。
- 6.** 登録の確認ウインドウが表示されたら、[登録] をクリックします。
- 7.** 本機の画面の指示に従って操作します。
- 8.** Google Chromeの [マイデバイス] に本機の名前が表示されることを確認します。



**補足**

- ・[マイデバイス] に本機の名前が表示されるまで5分以上かかることがあります。

## Google クラウド プリントへの登録を解除する

- 1.** 本機のIP アドレスをWeb ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。



**補足**

- ・本機のIP アドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

## 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



### 補足

- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

## 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

### 参照

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

## 4. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] をクリックします。

## 5. [モバイルプリント] の [Google Cloud Print] をクリックします。

## 6. [プリンター登録] > [登録を解除] をクリックします。

# Google クラウド プリントでプリントする

### 参照

- ・Google クラウド プリントを使ってプリントできるアプリケーションや、プリントの手順については、「<https://www.google.com/cloudprint/learn/>」を参照してください。

# 9 本体設定を変更する

|      |                     |     |
|------|---------------------|-----|
| 9.1  | 本機の設定メニューについて ..... | 181 |
| 9.2  | [言語設定] .....        | 194 |
| 9.3  | [機器情報] .....        | 195 |
| 9.4  | [レポート / リスト] .....  | 196 |
| 9.5  | [トレイ設定] .....       | 198 |
| 9.6  | [消耗品] .....         | 200 |
| 9.7  | [メーター] .....        | 201 |
| 9.8  | [一般] .....          | 202 |
| 9.9  | [ネットワーク設定] .....    | 210 |
| 9.10 | [アプリの初期値] .....     | 216 |
| 9.11 | [セキュリティー設定] .....   | 221 |
| 9.12 | [メンテナンス] .....      | 227 |
| 9.13 | [高度な設定] .....       | 230 |

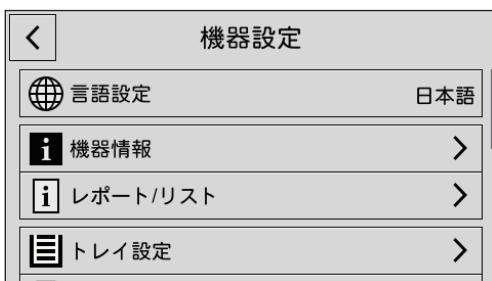
# 9.1 本機の設定メニューについて

ここでは、[ホーム] 画面の [機器設定] をタップすると表示される設定項目について説明します。

1. ① <ホーム> ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. 任意の項目をタップします。



|            |  |
|------------|--|
| [言語設定]     | 本機で使用する言語を設定できます。  |
| [機器情報]     | 本機の型名、IP アドレス、シリアル番号、ファクス番号などの情報を確認できます。                                     |
| [レポート/リスト] | さまざまなレポートやリストを出力できます。  |
| [トレイ設定]    | トレイ1、トレイ5（手差し）、またはトレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション）にセットする用紙のサイズや種類などを設定できます。 |
| [消耗品]      | 消耗品の状態を確認できます。   |
| [メーター]     | これまでに出力した総ページ数を確認できます。   |
| [一般]       | 時刻や日付、音量など、本機全般の設定ができます。   |
| [ネットワーク設定] | ネットワークに関する設定ができます。   |
| [アプリの初期値]  | コピー／ファクス／スキャンで使用する各設定の初期値を指定できます。  |
| [セキュリティ設定] | 設定メニュー や機能にアクセス制限をかけるなど、セキュリティに関する設定ができます。                                   |
| [メンテナンス]   | 転写ユニットの調整や不揮発性メモリー (NVM) の初期化など、メンテナンスに関する設定ができます。                           |
| [高度な設定]    | 使用環境や好みに応じて各設定を変更できます。   |

設定できる項目は次のとおりです。

\* は工場出荷時の初期値です。

|                    |  |  |        |
|--------------------|--|--|--------|
| [言語設定]<br>(P.194)  | [日本語]*、[English]   |  |        |
| [機器情報] (P.195)     |  |  |        |
| [レポート/リスト] (P.196) | [システム設定リスト]、[パネル設定リスト]、[PCLフォントリスト]、[PCLマクロリスト]、[PDFフォントリスト]、[ジョブ履歴レポート]、[エラー履歴レポート]、[集計管理レポート]、[プロトコルモニターレポート]、[アドレス帳]、[サーバーアドレスリスト]、[ファックス通信管理レポート]、[ファックス蓄積文書リスト]、[蓄積文書リスト] |  |        |
| [トレイ設定]<br>(P.198) | [手差しトレイ]   | [ドライバーの設定を使用する]  | オン*、オフ |
|                    | [用紙サイズ]  | [A3(297x420mm) <input type="checkbox"/> ]、[B4(257x364mm) <input type="checkbox"/> ]、[A4(297x210mm) <input type="checkbox"/> ]、[A4(210x297mm) <input type="checkbox"/> ]、[B5(257x182mm) <input type="checkbox"/> ]、[B5(182x257mm) <input type="checkbox"/> ]、[A5(148x210mm) <input type="checkbox"/> ]、[八開(270x390mm) <input type="checkbox"/> ]、[十六開(270x195mm) <input type="checkbox"/> ]、[十六開(195x270mm) <input type="checkbox"/> ]、[11x17" <input type="checkbox"/> ]、[8.5x14"(リーガル) <input type="checkbox"/> ]、[8.5x13" <input type="checkbox"/> ]、[8.5x11"(レター) <input type="checkbox"/> ]、[8.5x11"(レター) <input type="checkbox"/> ]、[ユーザー定義サイズ] |        |
|                    | [用紙種類]   | [普通紙(60～90g/m <sup>2</sup> )]、[普通紙(うら面)]、[上質紙(91～105g/m <sup>2</sup> )]、[上質紙(うら面)]、[再生紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[再生紙(うら面)]、[穴あき紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[レターヘッド(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[厚紙1(106～169g/m <sup>2</sup> )]、[厚紙1(うら面)]、[厚紙2(170～256g/m <sup>2</sup> )]、[厚紙2(うら面)]、[コート紙1(106～169g/m <sup>2</sup> )]、[コート紙1(うら面)]、[コート紙2(170～256g/m <sup>2</sup> )]、[コート紙2(うら面)]、[ラベル紙(106～256g/m <sup>2</sup> )]、[プレプリント紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[色紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[郵便はがき]、[郵便はがき(うら面)]、[封筒]  |        |
|                    | [設定画面を表示する]  | オン*、オフ   |        |
| [トレイ1]             | [用紙サイズ]  |  |        |
|                    | [用紙種類]   | [普通紙(60～90g/m <sup>2</sup> )]、[普通紙(うら面)]、[再生紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[再生紙(うら面)]、[穴あき紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[レターヘッド(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[プレプリント紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]、[色紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]   |        |
|                    | [設定画面を表示する]  | オン、オフ*   |        |
| [トレイ2]             | [自動サイズ検知]  | オン*、オフ   |        |
|                    | [用紙サイズ] / [ユーザー定義サイズ]  |  |        |

|                   |            |   |   |                  |                  |  |  |  |
|-------------------|------------|---|---|------------------|------------------|--|--|--|
| [トレイ設定]           | [トレイ 2]    | [用紙種類]                                    | [普通紙(60~90g/m <sup>2</sup> )]、[普通紙(うら面)]、[上質紙(91~105g/m <sup>2</sup> )]、[上質紙(うら面)]、[再生紙(60~89g/m <sup>2</sup> )]、[再生紙(うら面)]、[穴あき紙(60~89g/m <sup>2</sup> )]、[レターヘッド(60~89g/m <sup>2</sup> )]、[厚紙1(106~169g/m <sup>2</sup> )]、[厚紙1(うら面)]、[厚紙2(170~256g/m <sup>2</sup> )]、[厚紙2(うら面)]、[コート紙1(106~169g/m <sup>2</sup> )]、[コート紙1(うら面)]、[コート紙2(170~256g/m <sup>2</sup> )]、[コート紙2(うら面)]、[ラベル紙(106~256g/m <sup>2</sup> )]、[プレプリント紙(60~89g/m <sup>2</sup> )]、[色紙(60~89g/m <sup>2</sup> )] |                  |                  |  |  |  |
|                   |            | [設定画面を表示する]                               | オン、オフ*  |                  |                  |  |  |  |
|                   | [トレイの優先順位] | [1番目]                                     | [トレイ5(手差し)]*、[トレイ1]、[トレイ2]  |                  |                  |  |  |  |
|                   |            | [2番目]                                     | [トレイ5(手差し)]、[トレイ1]*、[トレイ2]  |                  |                  |  |  |  |
|                   |            | [3番目]                                     | [トレイ5(手差し)]、[トレイ1]、[トレイ2]*  |                  |                  |  |  |  |
| [消耗品] (P.200)     |            |   |   |                  |                  |  |  |  |
| [メーター]<br>(P.201) | [メーター1]    |   |   |                  |                  |  |  |  |
|                   | [メーター2]    |   |   |                  |                  |  |  |  |
|                   | [メーター3]    |   |   |                  |                  |  |  |  |
| [一般] (P.202)      | [日付と時刻の設定] | [タイムゾーン]                                  | [アフリカ]、[南北アメリカ]、[南極]、[アジア]、[大西洋]、[オーストラリア]、[ヨーロッパ]、[インド洋]、[太平洋]   |                  |                  |  |  |  |
|                   |            |   |  <b>補足</b><br>・初期値は [(UTC +09:00)東京] です。   |                  |                  |  |  |  |
|                   |            |   | [日付]  |                  |                  |  |  |  |
|                   | [画面の明るさ]   | [時刻]                                      |   |                  |                  |  |  |  |
|                   |            | [1]、[2]、[3]、[4]、[5]*、[6]、[7]、[8]、[9]、[10] |   |                  |                  |  |  |  |
|                   | [サウンド]     | [使用する]                                    | オン*   | [正常入力]           | [0]、[1]*、[2]、[3] |  |  |  |
|                   |            |   |   | [異常入力]           | [0]、[1]*、[2]、[3] |  |  |  |
|                   |            |   |   | [プリントジョブ完了]      | [0]、[1]、[2]*、[3] |  |  |  |
|                   |            |   |   | [ファクスプリント完了]     | [0]、[1]、[2]*、[3] |  |  |  |
|                   |            |   |   | [ファクス送信完了]       | [0]、[1]、[2]*、[3] |  |  |  |
|                   |            |   |   | [蓄積プリントジョブの受付完了] | [0]、[1]、[2]*、[3] |  |  |  |
|                   |            |   |   | [ログイン/ログアウト]     | [0]、[1]*、[2]、[3] |  |  |  |
|                   |            |   |   | [異常警告]           | [0]、[1]、[2]*、[3] |  |  |  |

|      |               |                                 |                            |                   |                  |
|------|---------------|---------------------------------|----------------------------|-------------------|------------------|
| [一般] | [サウンド]        | [使用する]                          | オン*                        | [用紙切れ]            | [0]、[1]、[2]*、[3] |
|      |               |                                 |                            | [消耗品系警告]          | [0]、[1]、[2]*、[3] |
|      |               |                                 |                            | [自動リセット事前通知]      | [0]*、[1]、[2]、[3] |
|      |               |                                 |                            | [準備完了]            | [0]、[1]、[2]*、[3] |
|      |               |                                 |                            | [エラー解除]           | [0]、[1]、[2]*、[3] |
|      |               |                                 |                            | [電源オフ]            | [0]、[1]、[2]*、[3] |
|      |               |                                 | オフ                         |                   |                  |
|      | [NFC]         | [有効]*、[無効]                      |                            |                   |                  |
|      | [状態表示ランプ(青)]  | [有効]*、[無効]                      |                            |                   |                  |
|      | [節電設定]        | [低電力モード移行時間]                    | [1]*                       |                   |                  |
|      |               | [スリープモード移行時間]                   | [0]*                       |                   |                  |
|      | [タイマー]        | [オートクリア移行時間]                    | [45秒]*、[1分]、[2分]、[3分]、[4分] |                   |                  |
|      |               | [エラージョブの自動解除]                   | [しない]                      |                   |                  |
|      |               | [する]                            | [60]*                      |                   |                  |
|      | [ミリ/インチ切替]    | [ミリメートル(mm)]*、[インチ(")]          |                            |                   |                  |
|      | [原稿サイズ検知切替]   | [原稿サイズ設定]                       | [AB系(八開/十六開)]*、[インチ系]      |                   |                  |
|      |               | [原稿サイズ切り替え1]                    | [8.5×13"]、[8.5×14"]*       |                   |                  |
|      |               | [原稿サイズ切り替え2]                    | [B5]*、[十六開]                |                   |                  |
|      | [原稿ガイド位置の確認]  | [する]*、[しない]                     |                            |                   |                  |
|      | [出力用紙サイズの初期値] | [A4(210x297mm)]*、[8.5x11"(レター)] |                            |                   |                  |
|      | [ファックス設定]     | [ファックス番号]                       |                            |                   |                  |
|      |               | [発信元名]                          |                            |                   |                  |
|      |               | [ファックス回線設定]                     | [回線の種類]                    | [PSTN]*、[PBX]     |                  |
|      |               |                                 | [ラインモニターチューン]              | [なし]、[小]*、[中]、[大] |                  |
|      |               |                                 | [外付け電話 FCC 検出レベル]          | [低]、[中]*、[高]      |                  |

|      |          |               |                                |   |
|------|----------|---------------|--------------------------------|---|
| [一般] | [ファクス設定] | [ファクス回線設定]    | [オフックでの節電解除]                   | [しない] *、[する]  |
|      |          | [受信設定]        | [受信モード]                        | [手動受信]、[自動受信 ファクス] *、[自動受信 電話/ファクス]、[自動受信 留守電/ファクス] |
|      |          |               | [着信信号の検出方法]                    | [一般] *、[SIR/TIR対応]                                  |
|      |          |               | [呼び出し音]                        | [なし]、[小]、[中] *、[大]                                  |
|      |          | [自動受信設定]      | [自動受信 ファクス]                    | [0] *   |
|      |          |               | [自動受信 電話/ファクス]                 | [6] *   |
|      |          |               | [自動受信 留守電/ファクス]                | [21] *  |
|      |          | [受信制限]        | [しない] *、[する]                   |   |
|      |          | [ファクス受信転送設定]  | [転送しない]                        | *   |
|      |          |               | [ファクス転送]                       | [転送先番号]   |
|      |          |               | [プリント+ファクス転送]                  | [転送先番号]   |
|      |          |               | [メール転送]                        |   |
|      |          |               | [プリント+メール転送]                   |   |
|      |          |               | [サーバー転送]                       |   |
|      |          |               | [プリント+サーバー転送]                  |   |
|      | [送信設定]   | [リダイヤル設定]     | [受信時の最大用紙サイズ]                  | [自動] *、[A4]、[A4/B4]、[A4/B4/A3]                      |
|      |          |               | [両面プリント]                       | [しない] *、[する]  |
|      |          |               | [リモート受信]                       | [しない] *   |
|      |          |               | [する]                           | [リモート受信トーン]   |
|      |          | [自動縮小受信]      | [しない(改ページ)] *、[しない(切り捨て)]、[する] |   |
|      |          | [リダイヤル設定]     | [リダイヤル回数]                      | [3] *   |
|      |          |               | [リダイヤル間隔]                      | [1] *   |
|      |          |               | [通信間隔]                         | [8] *   |
|      |          | [ダイヤルの種類]     | [PB] *、[DP(1OPPS)]、[DP(2OPPS)] |   |
|      |          | [プレフィックスダイヤル] | [付けない] *、[付ける]                 |   |
|      |          | [送信シート]       | [付けない] *、[付ける]                 |   |
|      |          | [発信元記録]       | [付けない]、[付ける] *                 |   |

|                |                |                    |                             |   |
|----------------|----------------|--------------------|-----------------------------|---|
| [一般]           | [ファクス設定]       | [送信設定]             | [ECM]                       | [しない]、[する] *  |
|                |                |                    | [モデムスピード]                   | [2.4Kbps]、[4.8Kbps]、[9.6Kbps]、[14.4Kbps]、[33.6Kbps] *                         |
|                |                |                    | [手動送信時の番号表示]                | [しない]、[する] *  |
|                |                |                    | [ファクス通信管理レポート設定]            | [ファクス通信用理レポート]、[自動プリント] *、[手動でプリント]   |
|                |                |                    | [モニターレポート]                  | [常にプリント]、[エラー時にプリント] *、[プリントしない]  |
|                |                |                    | [同報レポート]                    | [常にプリント] *、[エラー時にプリント]、[プリントしない]  |
|                |                |                    | [プロトコルモニターレポート]             | [常にプリント]、[エラー時にプリント]、[プリントしない] *  |
|                |                |                    | [メール設定]                     | [送信メールの最大サイズ]<br>[2048] *   |
|                |                | [Wi-Fi 設定] (P.210) | [Wi-Fi 設定 ウィザード]            | [SSIDを入力]<br>[インフラストラクチャー]<br>[暗号化なし] *、[Mixed mode PSK]、[WPA2-PSK-AES]、[WEP] |
|                |                |                    |                             | [アドホック]<br>[暗号化なし]、[WEP]  |
|                |                |                    | [WPS]                       | [PINコードで接続]   |
|                |                |                    | [IP動作モード]                   | [デュアルスタック] *、[IPv4]、[IPv6]  |
|                |                |                    | [TCP/IP]                    | [IPアドレスの取得方法]<br>[DHCP/AutoIP] *、[BOOTP]、[RARP]、[DHCP]、[直接入力]                 |
|                |                |                    |                             | [IPアドレス]  |
|                |                |                    |                             | [サブネットマスク]  |
|                |                |                    |                             | [ゲートウェイアドレス]  |
|                |                |                    |                             | [IPsecを無効にする]   |
|                |                |                    |                             | [Wi-Fi設定の初期化]   |
| [Wi-Fi Direct] | [Wi-Fi Direct] | [Wi-Fi Direct]     | オフ *、オン                     |   |
|                |                | [グループ設定]           | [自動]、[グループオーナー] *           |   |
|                |                | [機器名]              |                             |   |
|                |                | [接続中の機器]           | [すべて切断]                     | [今すぐ切断]、[切断してパスフレーズをリセット]   |
|                |                | [SSID]             |                             |   |
|                |                | [パスフレーズ]           | [パスフレーズをリセット]、[パスフレーズをプリント] |   |
|                |                | [WPSの設定]           | [プッシュボタン方式]                 |   |
|                |                |                    | [PINコード方式]                  | [PINコードをリセット]、[PINコードをプリント]   |

|                   |            |                      |   |  |
|-------------------|------------|----------------------|---|--|
| [ネットワーク設定]        | [Ethernet] | [IP動作モード]            | [デュアルスタック] *、[IPv4]、[IPv6]  |  |
|                   |            | [TCP/IP]             | [IPアドレスの取得方法]   | [DHCP/AutoIP] *、[BOOTP]、[RARP]、[DHCP]、[直接入力] |
|                   |            |                      | [IPアドレス]  |  |
|                   |            |                      | [サブネットマスク]  |  |
|                   |            |                      | [ゲートウェイアドレス]  |  |
|                   |            | [通信速度]               | [自動] *、[10BASE-T(半二重)]、[10BASE-T(全二重)]、[100BASE-TX(半二重)]、[100BASE-TX(全二重)]、[1000BASE-TX(全二重)] |  |
|                   |            | [IPsecを無効にする]        |   |  |
|                   |            | [プロトコル]              |   |  |
|                   |            | [LPD]                | オフ、オン*  |  |
|                   |            | [Port9100]           | オフ、オン*  |  |
|                   |            | [FTP]                | オフ*、オン  |  |
|                   |            | [IPP]                | オフ、オン*  |  |
|                   |            | [WSDプリント]            | オフ、オン*  |  |
|                   |            | [WSDスキャン]            | オフ、オン*  |  |
|                   |            | [SNMP UDP]           | オフ、オン*  |  |
|                   |            | [StatusMessenger]    | オフ、オン*  |  |
|                   |            | [Internet Services]  | オフ、オン*  |  |
|                   |            | [Bonjour(mDNS)]      | オフ、オン*  |  |
|                   |            | [Telnet]             | オフ*、オン  |  |
|                   |            | [アドレス帳の更新]           | オフ、オン*  |  |
|                   |            | [HTTP - SSL/TLS]     | オフ*、オン  |  |
|                   |            | [Google Cloud Print] | オフ、オン*  |  |
|                   |            | [その他]                |   |  |
|                   |            | [IPv4 フィルター]         | [無効] *、[有効]   |  |
|                   |            | [IPv6 フィルター]         | [無効] *、[有効]   |  |
|                   |            | [IEEE 802.1xを無効にする]  |   |  |
|                   |            | [ネットワーク設定の初期化]       |   |  |
|                   |            | [証明書をすべて削除]          |   |  |
| [アプリの初期値] (P.216) | [コピー設定]    | [カラーモード]             | [自動]、[カラー]、[白黒] *   |  |
|                   |            | [トレイ選択]              | [自動] *、[手差し]、[トレイ1]、[トレイ2]  |  |
|                   |            | [ソート]                | [自動] *、[ソート(1部ごと)]、[スタック(ページごと)]  |  |

|           |           |          |   |
|-----------|-----------|----------|---|
| [アプリの初期値] | [コピー設定]   | [倍率]     | [自動%] *、[100%]、[50%(A3→A5)]、[70%(A3→A4, B4→B5)]、[81%(B4→A4, B5→A5)]、[86%(A3→B4, A4→B5)]、[115%(B4→A3, B5→A4)]、[122%(A4→B4, A5→B5)]、[141%(A4→A3, B5→B4)]、[200%(A5→A3)]  |
|           |           |          |  <b>補足</b><br>・任意倍率は25～400%で設定可能   |
|           | [原稿サイズ]   |          | [自動] *、[A3(297x420mm) <input type="checkbox"/> ]、[B4(257x364mm) <input type="checkbox"/> ]、[A4(297x210mm) <input type="checkbox"/> ]、[A4(210x297mm) <input type="checkbox"/> ]、[B5(257x182mm) <input type="checkbox"/> ]、[B5(182x257mm) <input type="checkbox"/> ]、[A5(148x210mm) <input type="checkbox"/> ]、[八開(270x390mm) <input type="checkbox"/> ]、[十六開(270x195mm) <input type="checkbox"/> ]、[十六開(195x270mm) <input type="checkbox"/> ]、[11x17" <input type="checkbox"/> ]、[8.5x14"(リーガル) <input type="checkbox"/> ]、[8.5x13" <input type="checkbox"/> ]、[8.5x11"(レター) <input type="checkbox"/> ]、[8.5x11"(レター) <input type="checkbox"/> ] |
|           | [原稿の画質]   |          | [文字/写真] *、[文字]、[写真]   |
|           | [コピー濃度]   |          | [うすく (+3)]、[うすく (+2)]、[うすく (+1)]、[ふつう] *、[こく (+1)]、[こく (+2)]、[こく (+3)]  |
|           | [シャープネス]  |          | [つよく]、[ふつう] *、[よわく]   |
|           | [彩度]      |          | [濃く]、[ふつう] *、[淡く]   |
|           | [地色除去]    |          | オン*、オフ  |
|           | [カラーバランス] | [イエロー]   | [低濃度] [0] *   |
|           |           |          | [中濃度] [0] *   |
|           |           |          | [高濃度] [0] *   |
|           |           | [マゼンタ]   | [低濃度] [0] *   |
|           |           |          | [中濃度] [0] *   |
|           |           |          | [高濃度] [0] *   |
|           |           | [シアン]    | [低濃度] [0] *   |
|           |           |          | [中濃度] [0] *   |
|           |           |          | [高濃度] [0] *   |
|           |           | [ブラック]   | [低濃度] [0] *   |
|           |           |          | [中濃度] [0] *   |
|           |           |          | [高濃度] [0] *   |
|           | [両面]      |          | [片面→片面] *   |
|           |           |          | [片面→両面] [長辺とじ]、[短辺とじ]   |
|           |           |          | [両面→片面] [長辺とじ]、[短辺とじ]   |
|           |           |          | [両面→両面] [長辺とじ]、[短辺とじ]   |
|           | [2アップ]    |          | [しない] *、[自動]  |
|           | [わく消し]    | [上下わく消し] | [2] *   |
|           |           | [左右わく消し] | [2] *   |
|           |           | [中消し]    | [0] *   |

|            |          |   |   |
|------------|----------|---|---|
| [アプリの初期値]  | [コピー設定]  | [カード枚数]   | [1枚] <sup>*</sup> 、[2枚]   |
|            | [ファクス設定] | [プレビュー]   | オン、オフ <sup>*</sup>  |
|            |          | [送信画質]  | [標準画質] <sup>*</sup> 、[高画質]、[超高画質]、[写真]  |
|            |          | [両面原稿送り]  | [片面] <sup>*</sup> 、[両面(長辺とじ)]、[両面(短辺とじ)]  |
|            |          | [送信濃度]  | [うすく(+3)]、[うすく(+2)]、[うすく(+1)]、[ふつう] <sup>*</sup> 、[こく(+1)]、[こく(+2)]、[こく(+3)]  |
|            |          | [原稿サイズ]   | [自動] <sup>*</sup> 、[A3(297x420mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[B4(257x364mm) <input type="checkbox"/> ]、[A4(210x297mm) <input type="checkbox"/> ] <sup>*</sup> 、<br>[B5(182x257mm) <input type="checkbox"/> ]、[A5(148x210mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[八開(270x390mm) <input type="checkbox"/> ]、[11x17" <input type="checkbox"/> ]、<br>[8.5x14"(リーガル) <input type="checkbox"/> ]、[8.5x13" <input type="checkbox"/> ]、<br>[8.5x11"(レター) <input type="checkbox"/> ]  |
|            |          |  <b>補足</b> |   |
|            |          | <p>・初期値は、オフックの場合は<br/>[A4(210x297mm)<input type="checkbox"/>]、それ以外の場合は<br/>[自動]です。</p>      |   |
|            | [時刻指定送信] | 21:00 <sup>*</sup>  |   |
|            | [スキャン設定] | [ファイル形式]  | [PDF] <sup>*</sup> 、[マルチページTIFF]、[TIFF]、[JPEG]、<br>[XDW(DocuWorks)]   |
| [スキャナーモード] |          | [プレビュー]   | オン、オフ <sup>*</sup>  |
|            |          | [カラーモード]  | [カラー] <sup>*</sup> 、[白黒]、[グレースケール]  |
|            |          | [解像度]   | [200dpi] <sup>*</sup> 、[300dpi]、[400dpi]、[600dpi]   |
|            |          | [原稿サイズ]   | [自動] <sup>*</sup> 、[A3(297x420mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[B4(257x364mm) <input type="checkbox"/> ]、[A4(297x210mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[A4(210x297mm) <input type="checkbox"/> ]、[B5(257x182mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[B5(182x257mm) <input type="checkbox"/> ]、[A5(148x210mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[八開(270x390mm) <input type="checkbox"/> ]、[十六開<br>(270x195mm) <input type="checkbox"/> ]、[十六開(195x270mm) <input type="checkbox"/> ]、<br>[11x17" <input type="checkbox"/> ]、[8.5x14"(リーガル) <input type="checkbox"/> ]、<br>[8.5x13" <input type="checkbox"/> ]、[8.5x11"(レター) <input type="checkbox"/> ]、[8.5x11"(レター) <input type="checkbox"/> ] |
|            |          | [両面原稿送り]  | [片面] <sup>*</sup> 、[両面(長辺とじ)]、[両面(短辺とじ)]  |
|            |          | [読み込み濃度]  | [うすく(+3)]、[うすく(+2)]、[うすく(+1)]、[ふつう] <sup>*</sup> 、[こく(+1)]、[こく(+2)]、[こく(+3)]  |
|            |          | [シャープネス]  | [つよく]、[ふつう] <sup>*</sup> 、[よわく]   |
|            |          | [コントラスト]  | [つよく]、[ふつう] <sup>*</sup> 、[よわく]   |
|            |          | [地色除去]  | オン <sup>*</sup> 、オフ   |
|            | [わく消し]   | [上下わく消し]  | [2] <sup>*</sup>  |
|            |          | [左右わく消し]  | [2] <sup>*</sup>  |
|            |          | [中消し]   | [0] <sup>*</sup>  |
| [ファイル名]    |          | [ファイル名]   | [自動] <sup>*</sup> 、[先頭に文字列を付ける]、[末尾に文字列を付ける]  |
|            |          | [フォルダー作成]   | オン <sup>*</sup> 、オフ   |

|                        |                 |                  |                                       |
|------------------------|-----------------|------------------|---------------------------------------|
| [セキュリティー設定]<br>(P.221) | [パネルロック]        | [パネルロック設定]       | [しない] *、[する]                          |
|                        |                 | [暗証番号の変更]        |                                       |
|                        | [サービスロック]       | [ホームとアプリのカスタマイズ] | [ロックしない] *、[ロック (サービスを無効)]            |
|                        |                 | [コピー]            | [ロックしない] *、[カラー無効]、[ロック (サービスを無効)]    |
|                        |                 | [スキャナー(メール送信)]   | [ロックしない] *、[ロック (サービスを無効)]            |
|                        |                 | [ファクス]           | [ロックしない] *、[ロック (サービスを無効)]            |
|                        |                 | [スキャナー(ネットワーク)]  | [ロックしない] *、[ロック (サービスを無効)]            |
|                        |                 | [スキャナー(WSD)]     | [ロックしない] *、[ロック (サービスを無効)]            |
|                        |                 | [PCスキャン]         | [ロックしない] *、[暗証番号でロック]、[ロック (サービスを無効)] |
|                        |                 | [ダイレクトファクス]      | [ロックしない] *、[暗証番号でロック]、[ロック (サービスを無効)] |
|                        | [ユーザー認証]        | [無効] *、[本体認証]    |                                       |
|                        | [セキュリティーファクス受信] | [セキュリティーファクス受信]  | [しない] *、[する]                          |
|                        |                 | [暗証番号の変更]        |                                       |
|                        | [コピー集計管理]       | [しない] *、[する]     |                                       |
|                        | [プリント集計管理]      | [プリント集計管理]       | [しない] *、[する]                          |
|                        |                 | [未認証ユーザーのプリント]   | [禁止] *、[許可]                           |
|                        |                 | [強制白黒プリント]       | [しない] *、[する]                          |
|                        | [メール送信者の編集]     | [許可] *、[禁止]      |                                       |
|                        | [送信時の宛先確認]      | [しない] *、[する]     |                                       |
|                        | [メール送信宛先制限]     | [する]、[しない] *     |                                       |
|                        | [ソフトウェアダウンロード]  | [許可] *、[禁止]      |                                       |
|                        | [認証失敗アクセス拒否]    | [設定しない] *、[設定する] |                                       |
|                        | [セキュリティ警告の有無]   | [警告する] *、[警告しない] |                                       |
| [メンテナンス] (P.227)       | [用紙種類調整]        | [普通紙]            | [薄め] *、[厚め]                           |
|                        |                 | [ラベル紙]           | [薄め] *、[厚め]                           |

|                  |   |                                   |         |       |  |  |
|------------------|---|-----------------------------------|---------|-------|--|--|
| [メンテナンス]         | [1 次転写電圧オフセット調整]                                    | [0] *                             |         |       |  |  |
|                  | [2 次転写電圧オフセット調整]                                    | [普通紙(60～90g/m <sup>2</sup> )]     | [0] *   |       |  |  |
|                  |   | [上質紙(91～105g/m <sup>2</sup> )]    | [0] *   |       |  |  |
|                  |   | [再生紙(60～89g/m <sup>2</sup> )]     | [0] *   |       |  |  |
|                  |   | [厚紙1(106～169g/m <sup>2</sup> )]   | [0] *   |       |  |  |
|                  |   | [厚紙2(170～256g/m <sup>2</sup> )]   | [0] *   |       |  |  |
|                  |   | [コート紙1(106～169g/m <sup>2</sup> )] | [0] *   |       |  |  |
|                  |   | [コート紙2(170～256g/m <sup>2</sup> )] | [0] *   |       |  |  |
|                  |   | [ラベル紙(106～256g/m <sup>2</sup> )]  | [0] *   |       |  |  |
|                  |   | [郵便はがき]                           | [0] *   |       |  |  |
|                  | [封筒]  | [0] *                             |         |       |  |  |
| [印字位置指定]         | [リードレジ/サイドレジ]                                       | [トレイ5(手差し)]                       | [リードレジ] | [0] * |  |  |
|                  |   |                                   | [サイドレジ] | [0] * |  |  |
|                  |   | [トレイ1]                            | [リードレジ] | [0] * |  |  |
|                  |   |                                   | [サイドレジ] | [0] * |  |  |
|                  |   | [トレイ2]                            | [リードレジ] | [0] * |  |  |
|                  |   |                                   | [サイドレジ] | [0] * |  |  |
|                  |   | [両面ユニット]                          | [リードレジ] | [0] * |  |  |
|                  |   |                                   | [サイドレジ] | [0] * |  |  |
|                  | [リードレジ/サイドレジ]                                       | [直角度]                             | [0] *   |       |  |  |
|                  |   |                                   |         |       |  |  |
| [カラーレジ調整]        | [自動調整]  |                                   |         |       |  |  |
| [濃度補正]           |   |                                   |         |       |  |  |
| [自動階調補正]         |   |                                   |         |       |  |  |
| [NVMの初期化]        | [ファクス設定]、[スキャン設定]、[ユーザー情報]、[アプリ情報]、[システム設定]、[アドレス帳] |                                   |         |       |  |  |
| [プリント用カウンターの初期化] |   |                                   |         |       |  |  |
| [蓄積ジョブの削除]       | [すべての文書]、[セキュリティープリント]、[サンプルプリント]                   |                                   |         |       |  |  |
| [トナーカートリッジ]      | [カスタムトナーモード]  | [無効] *、[有効]                       |         |       |  |  |
| [高地使用設定]         | [0m] *、[1000m]、[2000m]、[3000m]、[4000m]、[5000m]      |                                   |         |       |  |  |

|                    |                |                   |  |
|--------------------|----------------|-------------------|--|
| [メンテナンス]           | [ジョブ履歴の削除]     |                   |  |
| [高度な設定]<br>(P.230) | [PCL設定]        | [トレイ選択]           | [自動] *、[手差し]、[トレイ1]、[トレイ2]   |
|                    |                | [出力用紙サイズ]         | [A3(297x420mm)]、[B4(257x364mm)]、<br>[A4(210x297mm)] *、[B5(182x257mm)]、<br>[A5(148x210mm)]、[八開(270 x 390mm)]、[十六開<br>(195 x 270mm)]、[11x17"]、[8.5x14"(リーガル)]、<br>[8.5x13"]、[8.5x11"(レター)]、[ユーザー定義サイ<br>ズ] |
|                    |                | [原稿の向き]           | [たて原稿] *、[よこ原稿]  |
|                    |                | [両面]              | [片面] *、[両面(長辺とじ)]、[両面(短辺とじ)]   |
|                    |                | [フォント設定]          | [Courier] *  |
|                    |                | [シンボル設定]          | [ROMAN-8] *  |
|                    |                | [フォントサイズ]         | [12.00] *  |
|                    |                | [フォントピッチ]         | [10.00] *  |
|                    |                | [フォーム行数]          | [64] *   |
|                    |                | [部数]              | [1] *  |
|                    |                | [イメージエンハ<br>ンス]   | [しない]、[する] *   |
|                    |                | [Hex Dump]        | [無効] *、[有効]  |
|                    |                | [トナー節約]           | [しない] *、[する]   |
| [PDF設定]            | [PDF設定]        | [行末処理]            | [しない] *、[LFを追加]、[CRを追加]、[CR-XX]  |
|                    |                | [カラーモード]          | [白黒] *、[カラー]   |
|                    |                | [白紙節約]            | [しない] *、[する]   |
|                    |                | [部数]              | [1] *  |
|                    |                | [両面]              | [片面] *、[両面(長辺とじ)]、[両面(短辺とじ)]   |
|                    |                | [プリントモー<br>ド]     | [標準] *、[高画質]、[高速]  |
|                    |                | [PDFパスワード]        |  |
| [USBポート設<br>定]     | [USBポート設<br>定] | [ソート]             | [ソート(1部ごと)]、[スタック(ページごと)] *  |
|                    |                | [出力用紙サイ<br>ズ]     | [A4] *、[自動]  |
|                    |                | [レイアウト]           | [用紙サイズに合わせる] *、[等倍]、[製本]、[2アッ<br>プ]、[4アップ]   |
|                    |                | [PDFデフォル<br>トカラー] | [カラー(自動)] *、[白黒]   |
|                    |                | [ジョブ区切りの<br>検出]   | [しない]、[する] *   |
|                    |                | [ポート設定]           | [無効]、[有効] *  |
|                    |                | [ポート固定]           | [しない] *、[する]   |

|                   |   |   |   |
|-------------------|---|---|---|
| [高度な設定]           | [USBポート設定]  | [自動排出時間設定]  | [しない]                                   |
|                   |   |   | [する] [30] <sup>*</sup>                  |
| [コピー設定]           | [地色除去レベル]   | [よわく]、[ふつう] <sup>*</sup> 、[つよく(+1)]、[つよく(+2)]、[つよく(+3)] |   |
|                   | [白黒/カラー分離レベル]   | [白黒より]、[やや白黒より]、[ふつう] <sup>*</sup> 、[ややカラーより]、[カラーより]   |   |
| [スキャン設定]          | [地色除去レベル]   | [ふつう] <sup>*</sup> 、[ややつよく]、[つよく]                       |   |
|                   | [TIFF形式]  | [TIFF V6]、[TTN2] <sup>*</sup>                           |   |
|                   | [画質/ファイルサイズ]  | [低画質/小さく]、[標準画質/ふつう] <sup>*</sup> 、[高画質/大きく]            |   |
| [出力設定]            | [RAMディスク]   | [無効]  |   |
|                   |   | [有効] 100 MB <sup>*</sup>                                |   |
|                   | [IDプリント]  | [しない] <sup>*</sup> 、[左上]、[右上]、[左下]、[右下]                 |   |
|                   | [テキストプリント]  | [しない]、[する] <sup>*</sup>                                 |   |
|                   | [用紙の置き換え]   | [しない] <sup>*</sup> 、[より大きいサイズ]、[最も近いサイズ]、[トレイ5(手差し)を選択] |   |
|                   | [A4/レター出力用紙切り替え]  | [自動]、[しない] <sup>*</sup>                                 |   |
|                   | [バナーシート出力設定]  | [挿入位置]  | [挿入しない] <sup>*</sup> 、[先頭]、[最終]、[先頭と最終] |
|                   |   | [トレイ選択]   | [手差し]、[トレイ1] <sup>*</sup> 、[トレイ2]       |
|                   | [レポート両面プリント]  | [片面] <sup>*</sup> 、[両面]                                 |   |
|                   | [レターへッド両面プリント]  | [しない] <sup>*</sup> 、[する]                                |   |
| [トナー残量警告メッセージ]    | [表示しない]、[表示する] <sup>*</sup>                               |   |   |
| [ドラムカートリッジ寿命時の動作] | [停止する] <sup>*</sup> 、[継続する]                               |   |   |
| [ジョブ履歴レポート]       | [自動出力しない] <sup>*</sup> 、[自動出力する]                          |   |   |
| [LDAPアドレス帳]       | [利用しない] <sup>*</sup> 、[利用する]、[利用する(ファクスのみ)]、[利用する(メールのみ)] |   |   |
| [オプションのアpri]      | [無効]、[有効] <sup>*</sup>                                    |   |   |

## 9.2 [言語設定]



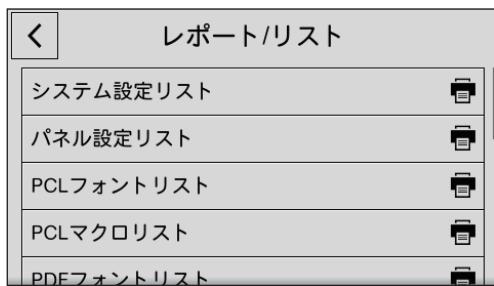
タッチパネルディスプレイの表示言語を設定できます。

## 9.3 [機器情報]

| 機器情報        |                          |
|-------------|--------------------------|
| 一般          |                          |
| 型名          | Color Multifunction 500P |
| シリアル番号      | XXXXXX                   |
| ソフトウェアバージョン | 2012/09/09               |
| ファックス番号     |                          |

本機の型名、IPアドレス、シリアル番号、ファックス番号などの情報を確認できます。

# 9.4 [レポート/リスト]



次のレポートやリストを出力できます。

出力するレポートまたはリスト名の をタップします。

## [システム設定リスト]

ネットワーク設定や搭載オプションなど、本機の設定情報や構成情報の一覧を出力します。

## [パネル設定リスト]

本機の設定内容を出力します。

## [PCL フォントリスト]

本機で使用できるPrinter Control Language (PCL) フォントの一覧を出力します。

## [PCL マクロリスト]

ダウンロードしたPCLマクロの情報を出力します。

## [PDF フォントリスト]

本機で使用できるPDFフォントの一覧を出力します。

## [ジョブ履歴レポート]

本機で実行されたプリント／コピー／スキャン／ファクスのジョブ履歴を出力します。リストには最新の20件のジョブが記載されます。

## [エラー履歴レポート]

紙詰まりや重大なエラーなどの詳細なリストを出力します。

## [集計管理レポート]

プリントしたページ数の合計レポートを出力します。

## [プロトコルモニター レポート]

最新のファクスのプロトコル情報を出力します。

## [アドレス帳]

アドレス帳に登録されているすべての宛先を出力します。

## [サーバーアドレスリスト]

アドレス帳に登録されているサーバーの宛先を出力します。

## [ファクス通信管理レポート]

ファクスの送受信履歴を出力します。

## [ファクス蓄積文書リスト]

待機中になっているファクスジョブの一覧を出力します。

## [蓄積文書リスト]

サンプルプリント機能を使用して保存しているプリントジョブの一覧を出力します。



補足

- この設定は、[RAMディスク] を有効にしたときに使用できます。詳しくは、「[RAMディスク] (P.234)」を参照してください。

## 9.4.1 レポート/リストを出力する

1. 〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [レポート/リスト] をタップします。
4. 出力するレポートまたはリスト名の横の □ をタップします。

# 9.5 [トレイ設定]



トレイ1、トレイ5（手差し）、またはトレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション）にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

|                  |     |
|------------------|-----|
| [手差しトレイ] .....   | 198 |
| [トレイ1].....      | 198 |
| [トレイ2].....      | 199 |
| [トレイの優先順位] ..... | 199 |



・使用できる用紙サイズと用紙種類については、「各トレイで使用できる用紙 (P.63)」を参照してください。

## 9.5.1 [手差しトレイ]

トレイ5（手差し）にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

### [ドライバーの設定を使用する]

プリンタードライバーで設定した用紙サイズと用紙種類を使用するかどうかを設定します。

#### [用紙サイズ] \*

用紙サイズを設定します。

定形サイズ以外の用紙を使用する場合は、[ユーザー定義サイズ] を選んで表示される [ユーザー定義サイズ] の画面で用紙の長さと幅を入力します。



・使用できる用紙については、「各トレイで使用できる用紙 (P.63)」を参照してください。

#### [用紙種類] \*

用紙種類を設定します。

### [設定画面を表示する]

トレイ5（手差し）に用紙をセットしたときに、用紙サイズと用紙種類の設定画面を表示するかどうかを設定します。

\* この設定は、[ドライバーの設定を使用する] を無効にしたときに使用できます。

## 9.5.2 [トレイ1]

トレイ1にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

## **[用紙サイズ]**

用紙サイズを表示します。

## **[用紙種類]**

用紙種類を設定します。

## **[設定画面を表示する]**

トレイ1に用紙をセットしたときに、用紙サイズと用紙種類の設定画面を表示するかどうかを設定します。

## **9.5.3 [トレイ 2]**



**補足**

- トレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション）の装着時に使用できます。

トレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション）にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

## **[自動サイズ検知]**

定形サイズの用紙を使用する場合は、をタップしてチェックマークを付けます。自動的に用紙サイズを検知します。

定形サイズ以外の用紙を使用する場合は、をタップしてチェックマークを外し、[ユーザー定義サイズ]の画面で用紙の長さと幅を入力します。

## **[用紙サイズ]**

[自動サイズ検知]にチェックマークを付けて定形サイズの用紙を使用する場合は、本機が自動的に検知した用紙サイズを表示します。

定形サイズ以外の用紙サイズを設定した場合は、この項目の名前が[ユーザー定義サイズ]に変わり、設定した用紙サイズを表示します。



**参照**

- 使用できる用紙については、「各トレイで使用できる用紙 (P.63)」を参照してください。

## **[用紙種類]**

トレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション）にセットした用紙の種類を設定します。

## **[設定画面を表示する]**

トレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション）に用紙をセットしたときに、用紙サイズと用紙種類の設定画面を表示するかどうかを設定します。

## **9.5.4 [トレイの優先順位]**

使用する用紙トレイの優先順位を設定します。同じサイズと種類の用紙がセットされている用紙トレイがある場合は、ここで設定した優先順位に従って使用するトレイが自動的に選ばれます。

## 9.6 [消耗品]



消耗品の状態を確認できます。



- ・純正品以外のトナーカートリッジを使用すると、トナー残量をパーセント表示で確認できません。残量が空の場合は、[要交換]、それ以外の場合は残量の多少に関わらず、[良好] と表示されます。

## 9.7 [メーター]

| メーター  |    |
|-------|----|
| メーター1 | 27 |
| メーター2 | 0  |
| メーター3 | 10 |

これまでに出力した総ページ数を確認できます。

### [メーター 1]

白黒出力の総数が表示されます。

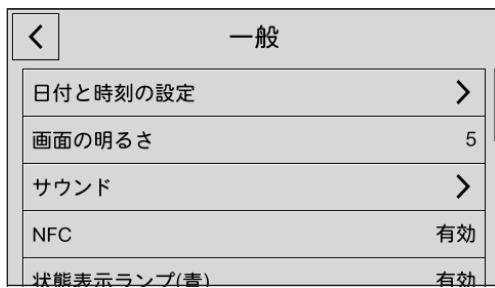
### [メーター 2]

通常は使用しません。

### [メーター 3]

カラー出力の総数が表示されます。

# 9.8 [一般]



時刻や日付、音量など、本機全般の設定ができます。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| [日付と時刻の設定] .....    | 202 |
| [画面の明るさ] .....      | 202 |
| [サウンド] .....        | 202 |
| [NFC] .....         | 203 |
| [状態表示ランプ(青)] .....  | 204 |
| [節電設定] .....        | 204 |
| [タイマー] .....        | 204 |
| [ミリ/インチ切替] .....    | 204 |
| [原稿サイズ検知切替] .....   | 204 |
| [原稿ガイド位置の確認] .....  | 205 |
| [出力用紙サイズの初期値] ..... | 205 |
| [ファクス設定] .....      | 205 |
| [メール設定] .....       | 209 |

## 9.8.1 [日付と時刻の設定]

日付や時刻、タイムゾーンを設定します。

## 9.8.2 [画面の明るさ]

タッチパネルディスプレイの明るさを調整します。

## 9.8.3 [サウンド]

通知音の音量を設定します。

### [使用する]

音量の調整を有効にするかどうかを設定します。この設定を有効にすると、各通知音の音量を設定できます。

### [正常入力]

操作パネルの入力が正しいときの通知音の音量を設定します。

## **[異常入力]**

操作パネルの入力が正しくないときの通知音の音量を設定します。

## **[プリントジョブ完了]**

コピーやプリントが終わったときの通知音の音量を設定します。

## **[ファクスプリント完了]**

ファクス出力が終わったときの通知音の音量を設定します。

## **[ファクス送信完了]**

ファクス送信が終わったときの通知音の音量を設定します。

## **[蓄積プリントジョブの受付完了]**

本機に蓄積プリントをしたときの通知音の音量を設定します。

## **[ログイン/ログアウト]**

ユーザー認証機能が有効な場合に、ログインしたときとログアウトしたときの通知音の音量を設定します。

## **[異常警告]**

ジョブが異常終了したときやエラーが発生したときの通知音の音量を設定します。

## **[用紙切れ]**

用紙が切れたときの通知音の音量を設定します。

## **[消耗品系警告]**

トナーが少なくなったときの通知音の音量を設定します。

## **[自動リセット事前通知]**

自動的に [ホーム] 画面に戻る前の通知音の音量を設定します。

## **[準備完了]**

本機が操作可能になったときの通知音の音量を設定します。

## **[エラー解除]**

エラーがクリアされたときの通知音の音量を設定します。

## **[電源オフ]**

本機の電源を切るときの通知音の音量を設定します。

## **9.8.4 [NFC]**

タブレットやスマートフォンなどのモバイル機器を、本機にNFC通信で接続できるようにするかどうかを設定します。

## 9.8.5 [状態表示ランプ(青)]

操作パネルの状態表示ランプの青色点滅をさせるかどうかを設定します。



参照

- ・状態表示ランプについては、「操作パネル (P.20)」を参照してください。

## 9.8.6 [節電設定]

節電状態に移行するまでの時間を設定します。



参照

- ・節電機能については、「節電機能について (P.58)」を参照してください。

### [低電力モード移行時間]

低電力モードに移行するまでの時間を設定します。

### [スリープモード移行時間]

低電力モードからスリープモードに移行するまでの時間を設定します。

## 9.8.7 [タイマー]

タイマー機能に関する設定をします。

### [オートクリア移行時間]

本機を何も操作しない状態で、一定の時間が経過したとき、自動的にホーム画面に戻るまでの時間を設定します。

### [エラージョブの自動解除]

ユーザーによる解除を必要としないエラーの発生時に、エラー画面からホーム画面に戻る時間を設定します。

## 9.8.8 [ミリ / インチ切替]

操作パネルに表示される数値の単位を設定します。

## 9.8.9 [原稿サイズ検知切替]

本機が原稿サイズを検知するよう設定されている場合に、自動検知される原稿サイズを設定します。

### [原稿サイズ設定]

自動検知される原稿サイズの種類を設定します。

### [AB系(八開/十六開)]

AB系（八開／十六開）の原稿が自動検知されます。

### [インチ系]

インチ系の原稿が自動検知されます。

## [原稿サイズ切り替え1]

### [8.5x13"]

8.5×13"を、自動検知される原稿サイズとして設定します。

### [8.5x14"]

8.5×14"を、自動検知される原稿サイズとして設定します。

## [原稿サイズ切り替え2]

### [B5]

B5を、自動検知される原稿サイズとして設定します。

### [十六開]

十六開を、自動検知される原稿サイズとして設定します。

## 9.8.10 [原稿ガイド位置の確認]

自動両面原稿送り装置の原稿ガイドが正しい位置に設定されていることを確認する必要がある場合に、メッセージを表示するかどうかを設定します。

## 9.8.11 [出力用紙サイズの初期値]

レポートなど、サイズ指定のないデータをプリントする用紙サイズをA4またはレターから選びます。

## 9.8.12 [ファクス設定]

ファクス機能に関する設定をします。

### [ファクス番号]

本機のファクス番号を設定します。設定した番号はファクスのヘッダーに印字されます。

### [発信元名]

送信者名を設定します。設定した名前はファクスのヘッダーに印字されます。23文字まで入力できます。



・JIS第一水準漢字および第二水準漢字以外の文字は、表示や印字されない場合があります。

### [ファクス回線設定]

ファクスで使用する回線の設定をします。

### [回線の種類]

回線種別を設定します。

### [ラインモニター音]

相手機との接続が確立するまでの間、内部スピーカーからの音量を設定します。

### [外付け電話フック検出レベル]

外付け電話機のオフフック検出感度（電圧）を調整します。

### [オフフックでの節電解除]

外付け電話機の受話器を取ったときに節電状態から復帰するかどうかを設定します。

## [受信設定]

ファクスを受信するときの設定をします。

### [受信モード]

ファクス受信モードを設定します。

#### [手動受信]

外付け電話機やタッチパネルディスプレイを操作して受信します。呼び出し音が鳴ったあと、外付け電話機の受話器を取りリモート受信番号を押すか、タッチパネルディスプレイの【受信】をタップするとファクスを受信できます。

#### [自動受信 ファクス]

ファクスを自動受信します。

#### [自動受信 電話/ファクス]

相手先から着信があると、外付け電話機が【自動受信設定】の【自動受信 電話/ファクス】で設定された時間鳴ったあと、ファクス受信を開始します。相手が電話のときは、本機内部のスピーカーから呼び出し音が鳴ります。

#### [自動受信 留守電/ファクス]

留守番電話機を使用することを想定した設定です。相手先から着信があると、ファクスか電話かを判断します。相手がファクスのときはファクスを自動受信し、電話のときは留守番電話で相手の伝言を録音します。留守番電話機の電源が切れている場合は、呼び出し音があらかじめ設定した時間鳴ったあと、本機の受信モードが【自動受信 ファクス】に自動的に切り替わります。

## [着信信号の検出方法]

着信信号の検出方法を設定します。着信音鳴り分け機能などの利用時にファクスが受信できない場合は、検出方法を切り替えます。

### [呼び出し音]

呼び出し音の音量を設定します。【受信モード】が【自動受信 電話/ファクス】のときに有効な設定で、相手先が電話のときに本機内部のスピーカーから呼び出し音が鳴ります。

### [自動受信設定]

自動ファクス受信の設定をします。

#### [自動受信 ファクス]

電話の着信からファクス受信モードに本機が移行するまでの時間を設定します。

#### [自動受信 電話/ファクス]

外付け電話機の着信からファクス受信モードに本機が移行するまでの時間を設定します。

#### [自動受信 留守電/ファクス]

留守番電話機の着信からファクス受信モードに本機が移行するまでの時間を設定します。

## [受信制限]

本機のアドレス帳に登録されていないファクス番号からのファクス受信を拒否するかどうかを設定します。

## [ファクス受信転送設定]

受信したファクスを指定した宛先に転送するかどうかを設定します。

### [転送しない]

受信したファクスを本機で出力します。

### [ファクス転送]

受信したファクスを指定した宛先に転送します。

#### [転送先番号]

転送先のファクス番号を設定します。

### [プリント+ファクス転送]

ファクスを受信したときに本機で出力し、指定したファクス番号に転送します。

#### [転送先番号]

転送先のファクス番号を設定します。

### [メール転送] \*1,2,3,4,5

受信したファクスを指定したメールアドレスに転送します。

### [プリント+メール転送] \*1,2,3,4,5

ファクスを受信したときに本機で出力し、指定したメールアドレスに転送します。

### [サーバー転送] \*3,5,6

受信したファクスを指定したサーバーの宛先に転送します。

### [プリント+サーバー転送] \*3,5,6

ファクスを受信したときに本機で出力し、指定したサーバーに転送します。

\*1 メールサーバーの設定によっては、本機は転送中のエラーを表示しないことがあります。必要に応じて、指定した転送先アドレスにファクスが正しく転送されたことを確認してください。

\*2 メールサーバーの設定が必要です。詳しくは、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

\*3 転送先アドレスの登録が必要です。詳しくは、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

\*4 メール転送では、CentreWare Internet ServicesのSMTPサーバーの設定で入力したメールの件名と本文は使用されません。

\*5 CentreWare Internet Servicesで、ファクスを転送するときのファイル形式を設定できます。ファイル形式にXDWを選んだ場合、長尺原稿を受信すると情報が複数ページに分割される場合があります。

\*6 ファイルサーバーの設定が必要です。詳しくは、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

## [受信時の最大用紙サイズ]

受信したファクスを出力する際の最大用紙サイズを設定します。

## [両面プリント]

受信したファクスを用紙の両面に印刷するかどうかを設定します。



・この設定は、受信ファクスの用紙サイズや用紙トレイの設定などにより使用できない場合があります。

## [リモート受信]

本機に接続された外付け電話機の操作でファクスを受信できるようにするかどうかを設定します。この機能を使用するには、[する] を選び [リモート受信トーン] に2桁の番号を設定します。ファクスの着信があったときは、外付け電話機で [リモート受信トーン] に設定した2桁の番号を入力するとファクスを受信できます。

## [自動縮小受信]

受信したファクス文書の長さがプリントする用紙の長さを超える場合の動作を設定します。

## [送信設定]

ファクスを送信するときの設定をします。

### [リダイヤル設定]

自動リダイヤルの設定をします。

#### [リダイヤル回数]

リダイヤルする回数を設定します。0を指定した場合は、リダイヤルされません。

#### [リダイヤル間隔]

リダイヤルする間隔を設定します。

#### [通信間隔]

通信間隔を設定します。

## [ダイヤルの種類]

ダイヤル種別を設定します。

### [PB]

プッシュ回線を使用します。

## [DP(10PPS)]

ダイヤル回線（10pps）を使用します。

## [DP(20PPS)]

ダイヤル回線（20pps）を使用します。

## [プレフィックスダイヤル]

外線発信番号を設定します。外線発信時は登録した番号が先頭に付加されてダイヤルされます。構内交換機（PBX）を利用している環境で設定しておくと便利な機能です。

## [送信シート]

送信シートを付けるかどうかを設定します。送信シートとは、原稿の先頭ページに付く表紙のことです。送信シートには、送信先、発信元名、本機のファクス番号、送信枚数、および送信日時が記載されます。

## [発信元記録]

発信元記録を付けるかどうかを設定します。発信元記録とは、送信文書の上部に日付、通信開始時刻、発信元名、宛先名、自局ID、および枚数を付けて送信する機能です。

## [ECM]

ECM機能を有効にするかどうかを設定します。ECM機能を使用するには、相手機もECM機能に対応している必要があります。ECMは「Error Correction Mode（誤り再送方式）」の略です。G3通信の一種で、データが相手に正しく送られたかどうかをチェックし、正しく送られていない場合はそのデータを再送信する方式です。

## [モデムスピード]

ファクスの送受信でエラーが発生したとき、ファクスのモデム速度を調整します。

## [手動送信時の番号表示]

ファクスの手動送信時に、相手先のファクス番号を操作パネルの画面に表示するかどうかを設定します。

## [ファクスレポート設定]

ファクスレポートの設定をします。

## [ファクス通信管理レポート]

通信結果の合計が50件になったときに、履歴を自動的に出力するかどうかを設定します。

## [モニターレポート]

ファクス送信後に送信結果を出力するかどうかを設定します。

### [常にプリント]

送信時ごとに出力します。

### [エラー時にプリント]

送信エラーが発生したときだけ出力します。

### [プリントしない]

モニターレポートを出力しません。

## [同報レポート]

複数の宛先にファクスを送信したときに、送信結果を出力するかどうかを設定します。

### [常にプリント]

送信時ごとに出力します。

### [エラー時にプリント]

送信エラーが発生したときだけ出力します。

### [プリントしない]

同報レポートを出力しません。

## [プロトコルモニターレポート]

通信障害が発生した場合に原因を確認するためのプロトコルモニターを出力するかどうかを設定します。

### [常にプリント]

送信時ごとに出力します。

### [エラー時にプリント]

送信エラーが発生したときだけ出力します。

### [プリントしない]

プロトコルモニターレポートを出力しません。

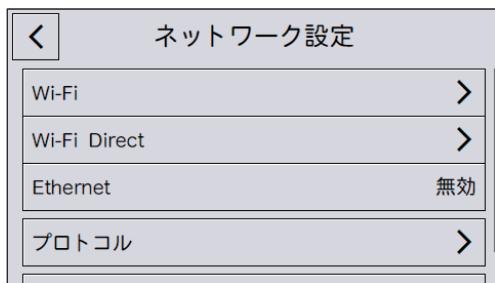
## 9.8.13 [メール設定]

メールに関する設定をします。

### [送信メールの最大サイズ]

メール送信時の最大データサイズを設定します。

# 9.9 [ネットワーク設定]



ネットワークに関する仕様を設定します。

|                      |     |
|----------------------|-----|
| [Wi-Fi] .....        | 210 |
| [Wi-Fi Direct] ..... | 212 |
| [Ethernet] .....     | 213 |
| [プロトコル] .....        | 214 |
| [その他] .....          | 215 |

## 9.9.1 [Wi-Fi]



この設定は、本機にLANケーブルが接続されていない状態で、無線LANアダプタ（オプション）が接続されているときに使用できます。

無線LANの設定をします。

### [Wi-Fi設定ウィザード]

表示される画面から接続先の無線LANアクセスポイントを選ぶか、[SSIDを入力] または [WPS] をタップして、無線LANの設定をします。

#### [SSIDを入力]

無線LANアクセスポイントの識別名称を設定します。

##### [インフラストラクチャー]

インフラストラクチャーモードでの暗号化方式を設定します。

###### [暗号化なし]

暗号化を設定しません。

###### [Mixed mode PSK]

暗号化方式としてWPA-PSK (AES/TKIP) またはWPA2-PSK (AES) のどちらかを自動的に使用します。

###### [パスフレーズを入力してください。]

パスフレーズを入力します。

###### [WPA2-PSK-AES]

暗号化方式としてWPA2-PSK (AES) を使用します。

###### [パスフレーズを入力してください。]

パスフレーズを入力します。

###### [WEP]

暗号化方式としてWEPを使用します。

###### [10桁または26桁で入力]

WEPキーを入力します。

## [アドホック]

アドホックモードでの暗号化方式を設定します。

### [暗号化なし]

暗号化を設定しません。

### [WEP]

暗号化方式としてWEPを使用します。

#### [10桁または26桁で入力]

WEPキーを入力します。



- ・[アドホック] の設定は、[Wi-Fi Direct] を無効にしたときに使用できます。

## [WPS]

WPSを使用して無線LANの設定をします。

### [PINコードで接続]

本機に割り当てられるPINコードを使用して無線LANの設定をします。

## [IP動作モード]

IPモードを設定します。



- ・[IPv6] モードに設定されている場合は、Wi-Fi Directを使用できません。

### [デュアルスタック]

IPv4とIPv6の両方を使用してIPアドレスを設定します。

### [IPv4]

IPv4を使用してIPアドレスを設定します。

### [IPv6]

IPv6を使用してIPアドレスを設定します。

## [TCP/IP]

TCP/IPを設定します。

### [IPアドレスの取得方法]

#### [DHCP/AutoIP]

IPアドレスを自動的に設定します。

#### [BOOTP]

BOOTPを使用してIPアドレスを設定します。

#### [RARP]

RARPを使用してIPアドレスを設定します。

#### [DHCP]

DHCPを使用してIPアドレスを設定します。

#### [直接入力]

IPアドレスを手動で設定します。

### [IPアドレス]

本機に割り当てられたIPアドレスを表示します。[IPアドレスの取得方法] が [直接入力] に設定されているときは、IPアドレスを入力します。

### [サブネットマスク]

本機に割り当てられたサブネットマスクを表示します。[IPアドレスの取得方法] が [直接入力] に設定されているときは、サブネットマスクを入力します。

## [ゲートウェイアドレス]

本機に割り当てられたゲートウェイアドレスを表示します。[IPアドレスの取得方法] が [直接入力] に設定されているときは、ゲートウェイアドレスを入力します。

## [IPsecを無効にする]

IPsec通信を無効にします。



### 補足

- この設定は、CentreWare Internet Servicesで [IPsec] が有効になっているときに使用できます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

## [Wi-Fi設定の初期化]

無線LANの設定を初期化します。初期化後に本機を再起動すると、すべての無線LAN設定が工場出荷時の設定値に戻ります。

## 9.9.2 [Wi-Fi Direct]



### 補足

- この設定は、本機にLANケーブルが接続されていない状態で、無線LANアダプタ（オプション）が接続されているときに使用できます。
- この設定は、IPv6やアドホック環境では使用できません。

Wi-Fi Directネットワークの設定をします。

## [Wi-Fi Direct]

Wi-Fi Directネットワークの設定を有効または無効にします。

## [グループ設定]

### [自動]

本機のグループプロールを自動的に設定します。

### [グループオーナー]

本機をWi-Fi Directネットワークのグループオーナーに設定します。グループオーナーに設定すると、無線LANアクセスポイントとして機能します。

### [機器名]

Wi-Fi Directネットワークで識別する本機の名称を、32文字以内の英数字で入力します。  
モバイル機器から接続先のプリンター名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。

## [接続中の機器]

Wi-Fi Directの接続状況を確認します。

### [すべて切断] > [今すぐ切断]

Wi-Fi Directの接続を切断します。

### [すべて切断] > [切断してパスフレーズをリセット]

Wi-Fi Directの接続を切断し、パスフレーズを変更します。

### [SSID]

Wi-Fi Directで識別するネットワークの名称を表示します。「DIRECT-XX」に続く部分については23文字以内の英数字で入力できます。モバイル機器から接続先のネットワーク名を選ぶときは、ここで指定した名称が表示されます。

## [パスフレーズ]

パスフレーズを表示します。モバイル機器からWi-Fi Directネットワークに接続するときは、ここに表示されるパスフレーズを入力します。

### [パスフレーズをリセット]

Wi-Fi Directの接続を切断し、パスフレーズを変更します。

### [パスフレーズをプリント]

パスフレーズを出力します。

## [WPSの設定]

WPSを使用してWi-Fi Directネットワークを設定します。

### [プッシュボタン方式]

WPS（プッシュボタン方式）を使用してWi-Fi Directネットワークを設定します。

### [PINコード方式]

本機に割り当てられるPINコードを使用してWi-Fi Directネットワークを設定します。

#### [PINコードをリセット]

PINコードを変更します。

#### [PINコードをプリント]

PINコードを出力します。

## 9.9.3 [Ethernet]



・この設定は、本機が有線LANに接続されているときに使用できます。

有線LANの設定をします。

## [IP動作モード]

IPモードを設定します。

### [デュアルスタック]

IPv4とIPv6の両方を使用してIPアドレスを設定します。

### [IPv4]

IPv4を使用してIPアドレスを設定します。

### [IPv6]

IPv6を使用してIPアドレスを設定します。

## [TCP/IP]

TCP/IPを設定します。

### [IPアドレスの取得方法]

#### [DHCP/AutoIP]

IPアドレスを自動的に設定します。

#### [BOOTP]

BOOTPを使用してIPアドレスを設定します。

#### [RARP]

RARPを使用してIPアドレスを設定します。

#### [DHCP]

DHCPを使用してIPアドレスを設定します。

### [直接入力]

IPアドレスを手動で設定します。

### [IPアドレス]

本機に割り当てられたIPアドレスを表示します。[IPアドレスの取得方法] が [直接入力] に設定されているときは、IPアドレスを入力します。

### [サブネットマスク]

本機に割り当てられたサブネットマスクを表示します。[IPアドレスの取得方法] が [直接入力] に設定されているときは、サブネットマスクを入力します。

### [ゲートウェイアドレス]

本機に割り当てられたゲートウェイアドレスを表示します。[IPアドレスの取得方法] が [直接入力] に設定されているときは、ゲートウェイアドレスを入力します。

### [通信速度]

イーサネットの通信速度および通信方式を設定します。

- ・ [自動]
- ・ [10BASE-T(半二重)]
- ・ [10BASE-T(全二重)]
- ・ [100BASE-TX(半二重)]
- ・ [100BASE-TX(全二重)]
- ・ [1000BASE-TX(全二重)]

### [IPsecを無効にする]

IPsec通信を無効にします。



#### 補足

- ・ この設定は、CentreWare Internet Servicesで [IPsec] が有効になっているときに使用できます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

## 9.9.4 [プロトコル]

各プロトコルを有効または無効にします。

- ・ [LPD]
- ・ [Port9100]
- ・ [FTP]
- ・ [IPP]
- ・ [WSDプリント]<sup>\*1</sup>
- ・ [WSDスキャン]<sup>\*1</sup>
- ・ [SNMP UDP]<sup>\*2</sup>
- ・ [StatusMessenger]
- ・ [Internet Services]
- ・ [Bonjour(mDNS)]
- ・ [Telnet]
- ・ [アドレス帳の更新]
- ・ [HTTP - SSL/TLS]
- ・ [Google Cloud Print]

<sup>\*1</sup> WSDはWeb Services on Devicesの略称です。

<sup>\*2</sup> SNMPはSimple Network Management Protocolの略称です。

## 9.9.5 [その他]

ネットワーク関連の応用設定をします。

### [IPv4 フィルター]

本機と通信できる機器を制限するかどうかを設定します。本機との通信を許可するIPv4アドレスの範囲は、CentreWare Internet Servicesで登録します。



- Wi-Fi Direct経由の通信には適用されません。

### [IPv6 フィルター]

本機と通信できる機器を制限するかどうかを設定します。本機との通信を許可するIPv6アドレスの範囲は、CentreWare Internet Servicesで登録します。



- Wi-Fi Direct経由の通信には適用されません。

### [IEEE 802.1xを無効にする]

IEEE 802.1x認証を無効にします。



- この設定は、本機がLANケーブルで接続され、CentreWare Internet ServicesでIEEE 802.1x認証が設定されているときに使用できます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

### [ネットワーク設定の初期化]

不揮発性メモリー (NVM) に保存されている有線LAN設定と無線LAN設定を初期化します。初期化後に本機を再起動すると、すべての有線LAN設定と無線LAN設定が工場出荷時の設定値に戻ります。

### [証明書をすべて削除]

本機に登録されている証明書をすべて削除します。

# 9.10[アプリの初期値]



コピー／ファクス／スキャンで使用する各設定の初期値を指定できます。

|                |     |
|----------------|-----|
| [コピー設定] .....  | 216 |
| [ファクス設定] ..... | 218 |
| [スキャン設定] ..... | 218 |

## 9.10.1 [コピー設定]

コピー機能で使用する設定の初期値を指定します。

### [カラーモード]

カラー モードの初期値を指定します。

[自動] を選ぶと、原稿がカラーか白黒かを本機が検知して、カラーでコピーするか白黒でコピーするかを自動的に切り替えます。

### [トレイ選択]

選択する用紙トレイの初期値を指定します。

[自動] を選ぶと、原稿サイズと倍率から、本機が自動的に最適なサイズの用紙がセットされているトレイを選びます。

### [ソート]

ページごとにまとめて排出するか1部ごとにまとめて排出するかの初期値を指定します。

#### [自動]

自動両面原稿送り装置に原稿をセットした場合は、1部ごとにまとめて、ページ順に並べて排出します。原稿ガラスに原稿をセットした場合は、ページごとにまとめて、入力した部数を排出します。

#### [ソート(1部ごと)]

コピーした用紙を1部ごとにまとめて、ページ順に並べて排出します。

#### [スタッツ(ページごと)]

コピーした用紙をページごとにまとめて、入力した部数を排出します。

## **[倍率]**

コピーの倍率の初期値を指定します。

[自動%] を選ぶと、原稿サイズと用紙サイズから、本機が自動的に最適な倍率に設定します。

## **[原稿サイズ]**

コピーする原稿のサイズの初期値を指定します。

[自動] を選ぶと、本機が自動的に原稿サイズを検知して設定します。

## **[原稿の画質]**

原稿の種類の初期値を指定します。

## **[コピー濃度]**

コピー濃度の初期値を指定します。

## **[シャープネス]**

画像の鮮明さの初期値を指定します。

[つよく] を選ぶと画像の輪郭が鮮明になり、[よわく] を選ぶと画像の輪郭がなめらかになります。

## **[彩度]**

色の鮮やかさの初期値を指定します。

## **[地色除去]**

原稿の地色（用紙色または背景色）を抑えるかどうかの初期値を指定します。

をタップしてチェックマークを付けると、原稿の地色（用紙色または背景色）を抑えてスキャンします。

## **[カラーバランス]**

イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック各色で、低／中／高の濃度域別にカラーバランスの初期値を指定します。

## **[両面]**

原稿を用紙の片面にコピーするか両面にコピーするかの初期値を指定します。

## **[片面→片面]**

片面原稿を用紙の片面にコピーします。

## **[片面→両面]**

片面原稿を用紙の両面にコピーします。長辺をとじるか、短辺をとじるかを設定します。

## **[両面→片面]**

両面原稿を用紙の片面にコピーします。原稿が長辺とじか、短辺とじかを設定します。

## **[両面→両面]**

両面原稿を用紙の両面にコピーします。長辺をとじるか、短辺をとじるかを設定します。

## **[2アップ]**

2ページ分の原稿を1枚にまとめてコピーするかどうかの初期値を指定します。

## **[しない]**

## **[自動]**

2ページ分の原稿を用紙の片面にコピーします。倍率は自動的に設定されます。

## [わく消し]

厚い書類や書籍などをコピーするときにできる影を消すための、余白の初期値を指定します。

### [上下わく消し]

上下の余白を設定します。

### [左右わく消し]

左右の余白を設定します。

### [中消し]

中央の余白を設定します。

## [カード枚数]

IDカードコピーで、同時にコピーするカード枚数の初期値を指定します。

## 9.10.2 [ファクス設定]

ファクス機能で使用する設定の初期値を指定します。

### [プレビュー]

ファクスを送信する前にプレビューを表示するかどうかの初期値を指定します。

をタップしてチェックマークを付けると、プレビューを表示します。

### [送信画質]

原稿を読み取るときの画質の初期値を指定します。

### [両面原稿送り]

原稿の片面を読み取るか両面を読み取るかの初期値を指定します。両面の場合は、原稿が長辺とじか、短辺とじかを選びます。

### [送信濃度]

ファクスの送信濃度の初期値を指定します。

### [原稿サイズ]

送信する原稿のサイズの初期値を指定します。

[自動] を選ぶと、本機が自動的に原稿サイズを検知して設定します。

### [時刻指定送信]

[時刻指定送信] を設定する場合に、送信を開始する時刻の初期値を指定します。

## 9.10.3 [スキャン設定]

スキャン機能で使用する設定の初期値を指定します。

### [ファイル形式]

スキャンしたデータを保存するときのファイル形式の初期値を指定します。

## [レビュー]

スキャンしたデータを保存したり送信したりする前にレビューを表示するかどうかの初期値を指定します。

 をタップしてチェックマークを付けると、レビューを表示します。

## [カラー モード]

原稿を読み取るときのカラー モードの初期値を指定します。

## [解像度]

原稿を読み取るときの解像度の初期値を指定します。

## [原稿 サイズ]

読み取る原稿のサイズの初期値を指定します。

[自動] を選ぶと、本機が自動的に原稿サイズを検知して設定します。

## [両面 原稿 送り]

原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするかの初期値を指定します。両面の場合は、原稿が長辺とじか、短辺とじかを選びます。

## [読み込み 濃度]

スキャンの濃度の初期値を指定します。

## [シャープネス]

画像の鮮明さの初期値を指定します。

[つよく] を選ぶと画像の輪郭が鮮明になり、[よわく] を選ぶと画像の輪郭がなめらかになります。

## [コントラスト]

画像の明暗の差の初期値を指定します。

[つよく] を選ぶと明暗の差が大きくなり、[よわく] を選ぶと明暗の差が小さくなります。

## [地色 除去]

原稿の地色（用紙色または背景色）を抑えてスキャンするかどうかの初期値を指定します。

 をタップしてチェックマークを付けると、原稿の地色（用紙色または背景色）を抑えてスキャンします。

## [わく 消し]

厚い書類や書籍などをスキャンするときにできる影を消すための、余白の初期値を指定します。

### [上下わく 消し]

上下の余白を設定します。

### [左右わく 消し]

左右の余白を設定します。

### [中 消し]

中央の余白を設定します。

## [ファイル名]

スキャンしたデータに対するファイル名の付けかたの初期値を指定します。

ファイル名は、次のようなフォーマットで最大50文字まで設定できます。

[自動] : img-YYMMDDHHMMSS.拡張子

[先頭に文字列を付ける] : 指定した文字列\_YYMMDDHHMMSS.拡張子

[末尾に文字列を付ける] : YYMMDDHHMMSS\_指定した文字列.拡張子

### 補足

- ・ YYMMDDHHMMSS は、西暦年の下二桁、月日各二桁、時分秒各二桁です。
- ・ 先頭または末尾に付ける文字列は、32文字まで指定できます。
- ・ 1ファイル1ページのファイル形式の場合や、保存先でファイル名が重複した場合、スキャナー（メール送信）の場合には、ファイル名の後ろに"-"と4桁の連番（0001～9999）が付きます。
- ・ 入力画面に表示される文字のうち、次の文字は使えません。

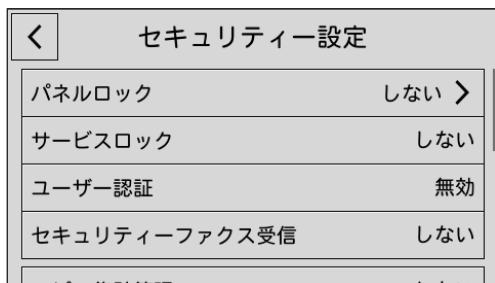
¥ / : \* ? " < > |

## [フォルダー作成]

スキャンしたデータを保存するときに、フォルダーも同時に作成するかどうかの初期値を指定します。

 をタップしてチェックマークを付けると、スキャンしたデータを保存するときにフォルダーも作成します。

# 9.11 [セキュリティー設定]



設定メニュー や機能にアクセス制限をかけるなど、セキュリティー関連の設定ができます。

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| [パネルロック] .....        | 221 |
| [サービスロック] .....       | 222 |
| [ユーザー認証] .....        | 222 |
| [セキュリティーファクス受信] ..... | 223 |
| [コピー集計管理] .....       | 223 |
| [プリント集計管理] .....      | 224 |
| [メール送信者の編集] .....     | 225 |
| [送信時の宛先確認] .....      | 225 |
| [メール送信宛先制限] .....     | 225 |
| [ソフトウェアダウンロード] .....  | 226 |
| [認証失敗アクセス拒否] .....    | 226 |
| [セキュリティ警告の有無] .....   | 226 |

## 9.11.1 [パネルロック]

暗証番号を使用して各設定にアクセス制限をかけたり、使用する暗証番号を変更したりします。

### [パネルロック設定]

暗証番号によるアクセス制限を有効にするかどうかを設定します。アクセス制限の対象となる設定メニューは次のとおりです。

- ・ [アドレス帳]
- ・ [レポート/リスト]
- ・ [一般]
- ・ [ネットワーク設定]
- ・ [アプリの初期値]
- ・ [セキュリティー設定]
- ・ [メンテナンス]
- ・ [高度な設定]

### [暗証番号の変更]

使用する暗証番号を変更します。



- ・ この設定は、[パネルロック設定] を有効にしたときに使用できます。

## 9.11.2 [サービスロック]



### 補足

- この設定は、[パネルロック設定] を有効にしたときに使用できます。この設定については、「[パネルロック] (P.221)」を参照してください。

本機の各機能を有効または無効にしたり、暗証番号を使用して機能の使用制限をかけたりします。[コピー] では、カラーコピーやカラー印刷の制限をかけることができます。

### [ホームとアプリのカスタマイズ]

[ホーム] 画面の機能ボタンを並べ替えたり、新しい機能ボタンを追加したりする機能を使える状態にするかどうかを設定します。

### [コピー]

コピー機能を使える状態にするかどうかを設定します。[カラー無効] を選ぶと、カラーコピーができなくなります。

### [スキャナー(メール送信)]

スキャナー(メール送信)機能を使える状態にするかどうかを設定します。

### [ファクス]

ファクス機能を使える状態にするかどうかを設定します。

### [スキャナー(ネットワーク)]

スキャナー(ネットワーク)機能を使える状態にするかどうかを設定します。

### [スキャナー(WSD)]

スキャナー(WSD)機能を使える状態にするかどうかを設定します。

### [PCスキャン]

コンピューターからスキャンする機能を使える状態にするかどうかを設定します。[暗証番号でロック] を選ぶと、コンピューターからスキャンするときに暗証番号の入力が必要になります。

### [ダイレクトファクス]

ダイレクトファクス機能を使える状態にするかどうかを設定します。[暗証番号でロック] を選ぶと、ダイレクトファクス機能を使うときに暗証番号の入力が必要になります。

### [暗証番号の変更]

[PCスキャン] や [ダイレクトファクス] の暗証番号を変更します。



### 補足

- この設定は、[PCスキャン] や [ダイレクトファクス] で [暗証番号でロック] を有効にしたときに表示されます。

## 9.11.3 [ユーザー認証]



### 補足

- この設定は、[パネルロック設定] を有効にし、[コピー集計管理] を無効にしたときに使用できます。設定については、「[パネルロック] (P.221)」および「[コピー集計管理] (P.223)」を参照してください。

ユーザーごとに本機で利用できる機能を制限するかどうかを設定します。

## [無効]

ユーザー認証機能を無効にします。

## [本体認証]

ユーザーごとに本機で利用できる機能を制限します。

制限できる機能は次のとおりです。

- ・ ホーム画面と機能ボタンのカスタマイズ
- ・ コピー
- ・ スキャン ([スキャナー(メール送信)] / [スキャナー(ネットワーク)] / [スキャナー(WSD)])
- ・ ファクス送信\*

\* ダイレクトファクス機能は制限されません。ファクス受信モードが「手動受信」に設定されている場合、ファクスの受信も制限されます。

### 補足

- ・ [サービスロック] で制限されている機能は、ユーザー認証機能で利用が許可されていても使用できません。  
[サービスロック] の設定については、「[サービスロック] (P.222)」を参照してください。

### 参照

- ・ 本機へのユーザー登録や各機能の利用制限の方法については、「ユーザー認証機能を使う (P.294)」を参照してください。

## 9.11.4 [セキュリティーファクス受信]

### 補足

- ・ この設定は、[パネルロック設定] を有効にしたときに使用できます。この設定については、「[パネルロック] (P.221)」を参照してください。
- ・ この設定が有効の場合でも、[ファクス受信転送設定] が「メール転送」、「プリント+メール転送」、「サーバー転送」、または「プリント+サーバー転送」に設定されているときは、受信したファクスは本機のメモリーに蓄積され、指定された宛先に転送されます。ファクスを本機で出力する場合や指定したファクス番号に転送する場合には、暗証番号が必要になります。指定したアドレスやサーバーに転送するときには暗証番号は不要です。[ファクス受信転送設定] については、「[ファクス受信転送設定] (P.206)」を参照してください。

受信したファクスを出力するときに暗証番号を要求する設定にしたり、暗証番号を変更したりします。

## [セキュリティーファクス受信]

受信したファクスを出力するときに暗証番号を要求するかどうかを設定します。

## [暗証番号の変更]

使用する暗証番号を変更します。

### 補足

- ・ この設定は、[セキュリティーファクス受信] を有効にしたときに使用できます。

## 9.11.5 [コピー集計管理]

コピーの制限に関する設定をします。

コピー集計管理機能を有効にすると、本機に登録されたユーザー（登録ユーザー）だけがコピーできるようになります。登録ユーザーごとにコピーの利用を制限したり、コピーの利用量を集計したりすることもできます。

 **補足**

- ・本機へのユーザー登録やコピーの利用制限の方法については、「登録ユーザーだけにコピーを許可する (P.280)」または「登録ユーザーごとにコピーの利用を制限する (P.283)」を参照してください。

## 9.11.6 [プリント集計管理]

プリントの制限に関する設定をします。

### [プリント集計管理]

ユーザーごとにプリントの利用を制限したり、プリントの利用量を集計したりします。

 **補足**

- ・本機へのユーザー登録やプリントの利用制限の方法については、「登録ユーザーだけにプリントを許可する (P.259)」または「登録ユーザーごとにプリントの利用を制限する (P.264)」を参照してください。

## [未認証ユーザーのプリント]

[プリント集計管理] を有効にすると、アカウント情報（ユーザー名とパスワード）を持たないジョブはプリントできません。アカウント情報を持たないジョブのプリントを許可する場合は、本機能を有効にします。

アカウント情報を持たないジョブとは、次のとおりです。

- ・他社製のプリンタードライバーやユーティリティーで作成されたジョブ
- ・次の機能を使って送信されたジョブ
  - AirPrint
  - Google クラウド プリント



- ・弊社のプリンタードライバーやアプリケーションを使用した場合でも、プリンタードライバーやアプリケーションの認証情報の設定を無効にすると、アカウント情報を持たないジョブになります。

## [強制白黒プリント]

- ・[プリント集計管理] が有効の場合

カラープリントを制限されたユーザーのカラープリントジョブを強制的に白黒でプリントします。

[未認証ユーザーのプリント] が有効のときは、アカウント情報を持たないカラープリントジョブも強制的に白黒でプリントします。



- ・カラープリントを制限されたユーザーとは、CentreWare Internet Services の [集計管理] でカラープリントの利用を禁止されたユーザーです。[強制白黒プリント] を無効にした場合、カラープリントを制限されたユーザーのカラープリントジョブはキャンセルされます。詳しくは、「白黒プリントだけを許可する (P.264)」を参照してください。

- ・[プリント集計管理] が無効の場合

すべてのユーザーのカラープリントジョブを強制的に白黒でプリントします。

## 9.11.7 [メール送信者の編集]

スキャナー（メール送信）機能でメールを送信するときに、送信者アドレスの編集を許可するかどうかを設定します。



- ・送信者アドレスについては、「[送信者アドレス] (P.137)」を参照してください。

## 9.11.8 [送信時の宛先確認]

メール送信時やファクス送信時に宛先の確認画面を表示させるかどうかを設定します。



- ・[する] に設定すると、指定できる宛先はアドレス帳の宛先に制限されます。メールアドレスやファクス番号を直接入力して指定することはできません。

## 9.11.9 [メール送信宛先制限]

メールの送信先を、指定したドメインのアドレスに限定するかどうかを設定します。



- ・送信先ドメインはCentreWare Internet Services の [ドメイン制限] から設定します。詳しくは、CentreWare Internet Services ヘルプを参照してください。

## 9.11.10 [ソフトウェアダウンロード]

ファームウェア更新ファイルのダウンロード機能を有効にするかどうかを設定します。

## 9.11.11 [認証失敗アクセス拒否]



補足

- この設定は、[パネルロック設定] を有効にしたときに使用できます。この設定については、「[パネルロック]」(P.221) を参照してください。

ログインの試行回数を設定します。対象となるログイン先メニューは、[パネルロック]、[サービスロック]、および [セキュリティーファクス受信] です。

## 9.11.12 [セキュリティ警告の有無]

グローバルIPアドレスが設定された機器のCentreWare Internet Servicesをユーザーが機器管理者として利用する場合にセキュリティに関する警告を表示するかどうかを設定します。

# 9.12[メンテナンス]



転写ユニットの調整や不揮発性メモリー (NVM) の初期化など、メンテナンスに関する設定ができます。

|                        |     |
|------------------------|-----|
| [用紙種類調整] .....         | 227 |
| [1次転写電圧オフセット調整] .....  | 227 |
| [2次転写電圧オフセット調整] .....  | 227 |
| [印字位置指定] .....         | 227 |
| [カラーレジ調整] .....        | 228 |
| [濃度補正] .....           | 228 |
| [自動階調補正] .....         | 228 |
| [NVMの初期化] .....        | 228 |
| [プリント用カウンターの初期化] ..... | 229 |
| [蓄積ジョブの削除] .....       | 229 |
| [トナーカートリッジ] .....      | 229 |
| [高地使用設定] .....         | 229 |
| [ジョブ履歴の削除] .....       | 229 |

## 9.12.1 [用紙種類調整]

用紙種類を設定します。

## 9.12.2 [1次転写電圧オフセット調整]

出力結果に文字や画像の残像（ゴースト）が現れたときに転写電圧を調整します。

## 9.12.3 [2次転写電圧オフセット調整]

用紙種類ごとに転写ロール（BTR）の転写電圧を調整します。出力結果の色がまだらになる場合は、電圧を上げます。白く抜けてしまう場合は、電圧を下げます。

## 9.12.4 [印字位置指定]

印字位置を調整します。

## [リードレジ/サイドレジ]

トレイごとに用紙の長さ方向（リードレジ（L））と幅方向（サイドレジ（S））の印字位置を調整します。

### [直角度]

画像の直角度を調整します。

## 9.12.5 [カラー レジ調整]

カラーレジストレーションを調整します。本機の設置時や移動時などに実施します。

## 9.12.6 [濃度補正]

トナーの濃度を自動的に補正します。トナーの濃度が気になるときやより正確なプリントが必要なときに実施します。

## 9.12.7 [自動階調補正]

階調を自動的に補正します。コピーやプリントの濃度や色味の再現性が悪くなった場合に、対象とする機能を指定して階調補正を実施します。

## 9.12.8 [NVM の初期化]

不揮発性メモリー（NVM）を初期化します。初期化後に本機を再起動すると、メニューの値が工場出荷時の設定値に戻ります。

### [ファクス設定]

本機に登録されているファクス番号、発信元名、および受信したファクスを転送するときの転送先番号／転送先メールアドレス／転送先サーバーアドレスを削除します。

### [スキャン設定]

本機に登録されているサーバーアドレスを削除します。

### [ユーザー情報]

[ホーム] 画面と機能ボタンの状態を工場出荷時の状態に戻します。

### [アプリ情報]

追加したアプリを削除します。

### [システム設定]

システム設定を工場出荷時の状態に戻します。

### [アドレス帳]

アドレス帳に登録されている宛先を削除します。



・サーバーアドレスを削除する場合は [スキャン設定] を選択してください。

## 9.12.9 [プリント用カウンターの初期化]

集計したプリント数を初期化します。

## 9.12.10 [蓄積ジョブの削除]



- ・この設定は、[RAMディスク] を有効にしたときに使用できます。詳しくは、「[RAMディスク] (P.234)」を参照してください。

蓄積プリント機能により保存されているプリントジョブを削除します。

### [すべての文書]

蓄積プリント機能により保存されているプリントジョブをすべて削除します。

### [セキュリティープリント]

セキュリティープリント機能により保存されているプリントジョブを削除します。

### [サンプルプリント]

サンプルプリント機能により保存されているプリントジョブを削除します。

## 9.12.11 [トナーカートリッジ]

使用するトナーカートリッジを設定します。

### [カスタムトナーモード]

非純正トナーカートリッジを使用するかどうかを設定します。



#### 注記

- ・非純正トナーカートリッジを使用すると、本機の機能を十分に利用できないことがあります。非純正トナーカートリッジを使用して発生した不具合については、弊社品質保証の対象外となります。

## 9.12.12 [高地使用設定]

本機の設置場所の高度を設定します。

高度を正しく設定することで印字品質が維持され、トナー残量が正しく表示されます。

## 9.12.13 [ジョブ履歴の削除]

本機で処理されたジョブの履歴データをすべて削除します。

# 9.13[高度な設定]



使用環境や好みに応じて各設定を変更できます。

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| [PCL設定] .....           | 230 |
| [PDF設定] .....           | 232 |
| [USBポート設定] .....        | 233 |
| [コピー設定] .....           | 233 |
| [スキャン設定] .....          | 233 |
| [出力設定] .....            | 234 |
| [トナー残量警告メッセージ] .....    | 235 |
| [ドラムカートリッジ寿命時の動作] ..... | 235 |
| [ジョブ履歴レポート] .....       | 235 |
| [LDAPアドレス帳] .....       | 236 |
| [オプションのアプリ] .....       | 236 |

## 9.13.1 [PCL 設定]

Printer Control Language (PCL)に関する設定をします。

### [トレイ選択]

用紙トレイを設定します。

### [出力用紙サイズ]

用紙サイズを設定します。

### [原稿の向き]

原稿の向きを設定します。

### [両面]

用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。両面プリントする場合は、長辺とじまたは短辺とじを設定します。

### [フォント設定]

本機の常駐フォントからデフォルトのフォントを設定します。

### [シンボル設定]

指定フォントのシンボルセットを設定します。

## [フォントサイズ]

プロポーショナルフォントのフォントサイズを設定します。

## [フォントピッチ]

等幅フォントのフォントピッチを設定します。フォントピッチは横1インチ内にプリントされる文字数を表します。

## [フォーム行数]

1ページあたりのプリント行数を設定します。行間のスペースは、[出力用紙サイズ] および [原稿の向き] に基づいて設定されます。あらかじめ用紙サイズと原稿の向きを設定してください。

## [部数]

プリント部数を設定します。



- 特定のプリントジョブに対して部数を設定する場合は、プリンタードライバーから値を設定してください。  
プリンタードライバーで設定した値は操作パネルで設定した値よりも常に優先されます。

## [イメージエンハンス]

画像処理機能を有効にするかどうかを設定します。設定を有効にすると、黒と白の境界線が滑らかになります、縁のギザギザが低減して見た目が向上します。

## [Hex Dump]

トラブルの原因を特定しやすくなります。本機に送られたすべてのデータが、16進数と文字でプリントされます。制御コードは実行されません。

## [トナー節約]

プリント時にトナーを節約するかどうかを設定します。通常のプリントに比べて印字品質は低下します。

## [行末処理]

制御文字コマンドを追加します。

### [しない]

制御文字コマンドは追加されません。

CR=CR、LF=LF、FF=FF

### [LFを追加]

LFコマンドが追加されます。

CR=CR-LF、LF=LF、FF=FF

### [CRを追加]

CRコマンドが追加されます。

CR=CR、LF=CR-LF、FF=CR-FF

### [CR-XX]

CRコマンドとLFコマンドが追加されます。

CR=CR-LF、LF=CR-LF、FF=CR-FF

## [カラー モード]

カラーモードを設定します。

## **[白紙節約]**

何もイメージがない白紙ページはプリントせず、イメージがあるページだけプリントするかどうかを設定します。

## **9.13.2 [PDF 設定]**

PDFファイルのプリント設定をします。

### **[部数]**

プリント部数を設定します。

### **[両面]**

用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。両面プリントする場合は、長辺とじまたは短辺とじを設定します。

### **[プリントモード]**

プリントモードを設定します。

#### **[標準]**

標準サイズの文字を含む文書に使用します。

#### **[高画質]**

小さい文字や細い線を含む文書、ドットインパクトプリンターを使った文書をプリントする場合に使用します。

#### **[高速]**

[標準] より速くプリントできますが、印字品質は低下します。

### **[PDFパスワード]**

パスワードで保護されたPDFをプリントするためのパスワードを設定します。

### **[ソート]**

PDFファイルを複数部数プリントするとき、部単位に（1部ごとに）仕分け（ソート）してプリントするかどうかを設定します。

### **[出力用紙サイズ]**

用紙サイズを設定します。

### **[レイアウト]**

レイアウトを設定します。

#### **[用紙サイズに合わせる]**

本機で設定した用紙サイズに合わせてプリントします。

#### **[等倍]**

文書と同じサイズでプリントします。

#### **[製本]**

向きを合わせて、両面にプリントします。

#### **[2アップ]**

1枚の用紙に2ページ分を割り当ててプリントします。

## [4アップ]

1枚の用紙に4ページ分を割り当ててプリントします。

## [PDFデフォルトカラー]

カラー モードを設定します。

## [ジョブ区切りの検出]

PDFファイルのプリントが正常に終了したことを検知するかどうかを設定します。

### 9.13.3 [USBポート設定]

USBインターフェイスコネクターに関する設定をします。

#### [ポート設定]

USBインターフェイスコネクターの使用を有効にするかどうかを設定します。

#### [ポート固定]

ソフトウェアインストール時に指定したポートを固定して使用するかどうかを設定します。

#### [自動排出時間設定]

コンピューターからデータを受信するまでのプリンターが待機する時間を設定します。設定した時間内にプリントされなかった場合、プリントジョブは中止されます。

### 9.13.4 [コピー設定]

コピー機能の応用設定をします。

#### [地色除去レベル]

原稿の背景にある色の濃度を調整します。

#### [白黒/カラー分離レベル]

カラー原稿と判別するか白黒原稿と判別するかの境界レベルを設定します。

### 9.13.5 [スキャン設定]

スキャン機能の応用設定をします。

#### [地色除去レベル]

原稿の背景にある色の濃度を調整します。

#### [TIFF形式]

TIFFのファイル形式を設定します。

#### [画質/ファイルサイズ]

ファイルの圧縮率を設定します。

## 9.13.6 [出力設定]

本機からの出力に関する設定をします。

### [RAMディスク]

蓄積プリント機能を利用する場合に、本機能を有効にし、データ格納のためのディスクサイズを決定します。

### [IDプリント]

ユーザー IDをプリントするかどうかと、プリントする場合の位置を設定します。

### [テキストプリント]

本機でサポートされていないページ記述言語（PDL）データをテキストとしてプリントするかどうかを設定します。

### [用紙の置き換え]

指定したトレイにセットされている用紙が現在のジョブの用紙サイズの設定と一致しない場合に、異なるサイズの用紙を使用するかどうかを設定します。

#### [しない]

異なるサイズの用紙は使用しません。

#### [より大きいサイズ]

大きいサイズの用紙で代用します。大きいサイズの用紙が無い場合は、近いサイズの用紙で代用します。

#### [最も近いサイズ]

近いサイズの用紙で代用します。

### [トレイ5(手差し)を選択]

トレイ5（手差し）の用紙を使用します。トレイ5（手差し）に、ジョブで指定されているサイズの用紙をセットしてください。



トレイ5（手差し）にセットされている用紙がジョブで指定されているサイズと異なると、印刷できません。

### [A4/レター出力用紙切り替え]

A4サイズの用紙が使用できなかったときにレターサイズの用紙で代用してプリントするかどうか、反対にレターサイズをA4サイズで代用してプリントするかどうかを設定します。

### [バナーシート出力設定]

バナーシートの挿入先と給紙先トレイを設定します。

#### [挿入位置]

##### [挿入しない]

バナーシートを挿入しません。

##### [先頭]

バナーシートを出力紙の最初に挿入します。

##### [最終]

バナーシートを出力紙の最後に挿入します。

##### [先頭と最終]

バナーシートを出力紙の最初と最後にそれぞれ挿入します。

## [トレイ選択]

### [手差し]

バナーシートをトレイ5（手差し）から給紙します。

### [トレイ1]

バナーシートをトレイ1から給紙します。

### [トレイ2] \*

バナーシートをトレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション）から給紙します。

\* トレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション）の装着時に使用できます。

## [レポート両面プリント]

レポートを出力するときに用紙の両面に出力するかどうかを設定します。

## [レターへッド両面プリント]

レターへッドの両面にプリントするかどうかを設定します。

## 9.13.7 [トナー残量警告メッセージ]

トナー残量が少なくなったときに警告メッセージを表示するかどうかを設定します。

### 補足

- トナーカートリッジの交換時期になると、新しいトナーカートリッジに交換するまで印刷できません。

## 9.13.8 [ドラムカートリッジ寿命時の動作]

ドラムカートリッジが交換時期になったときに、印刷を停止するかどうかを設定します。

### 補足

- ドラム交換のメッセージが表示される前にあらかじめ設定しておく必要があります。ドラム交換のメッセージが表示されたあとに設定は変更できません。

## [停止する]

ドラムカートリッジの交換時期になると、本機は停止します。

## [継続する]

ドラムカートリッジの交換時期になっても、本機は停止しません。

### 補足

- 印字品質の保証外となるため、[ホーム]画面の  をタップして [通知] に「ドラムカートリッジ[R1]の予備を用意」とメッセージが表示されたら、新しいドラムカートリッジに交換することをおすすめします。
- 「ドラムカートリッジ[R1]を今すぐ交換してください。」とメッセージが表示されると、新しいドラムカートリッジに交換するまで印刷できません。

\* メッセージは、ドラムカートリッジ[R1]の場合を例にしています。

- ドラムカートリッジの交換については、「ドラムカートリッジを交換する (P.319)」を参照してください。

## 9.13.9 [ジョブ履歴レポート]

ジョブの処理が20件終了するごとに履歴レポートを出力するかどうかを設定します。

### 補足

- レポートは [レポート/リスト] メニューから出力することもできます。

## 9.13.10 [LDAP アドレス帳]

LDAPサーバー内に登録されているメールアドレスとファクス番号を、本機から検索できるようにするかどうかを設定します。



- ・本機からLDAPサーバーにアクセスするには、CentreWare Internet Servicesの設定が必要です。詳しくは、「LDAPサーバーのアドレス帳を使用する (P.252)」を参照してください。

### [利用しない]

メールアドレスとファクス番号のいずれも検索できません。

### [利用する]

メールアドレスとファクス番号の両方を検索できます。

### [利用する(ファクスのみ)]

ファクス番号だけを検索できます。

### [利用する(メールのみ)]

メールアドレスだけを検索できます。

## 9.13.11 [オプションのアプリ]

オプションのアプリを追加したときに、その機能を使えるようにするかどうかを設定します。

# 10 便利な使いかた

|      |  |     |
|------|--|-----|
| 10.1 | CentreWare Internet Services を使う ..... | 238 |
| 10.2 | 本機に付属するソフトウェアを使う .....                 | 242 |
| 10.3 | アドレス帳を使う .....                         | 247 |
| 10.4 | プリント集計管理機能を使う .....                    | 258 |
| 10.5 | コピー集計管理機能を使う .....                     | 279 |
| 10.6 | ユーザー認証機能を使う .....                      | 294 |
| 10.7 | 暗号化機能を使う .....                         | 303 |

# 10.1 CentreWare Internet Services を使う

CentreWare Internet Servicesは、Webブラウザーを使用して、本機の状態やジョブの履歴を表示したり、本機の設定を変更したりするためのサービスです。

TCP/IP環境で、本機とネットワーク接続されたコンピューターで使用できます。



CentreWare Internet Servicesで使用できる主な機能は、次のとおりです。

| メニュー名                  | 主な機能  |
|------------------------|---|
| ホーム                    | 用紙トレイ、排出トレイ、および消耗品の状態、サポート情報、通知などを確認できます。         |
| アプリ <sup>*1</sup>      | ファクスやメールの設定ができます。                                 |
| アドレス帳 <sup>*1</sup>    | 宛先の追加、編集、削除ができます。                                 |
| ジョブ                    | ジョブ一覧やジョブ履歴を確認できます。                               |
| ネットワーク設定 <sup>*1</sup> | ネットワーク通信に必要な設定ができます。                              |
| 権限設定 <sup>*1, *2</sup> | ユーザーごとに、本機で利用できる機能を制限できます。                        |
| 集計管理 <sup>*1, *3</sup> | ユーザーごとに、コピー／プリントの利用量を集計したり、コピー／プリントの利用を制限したりできます。 |
| システム設定 <sup>*1</sup>   | セキュリティーと機械管理者の設定ができます。                            |

<sup>\*1</sup> CentreWare Internet Servicesの管理者モードが有効の場合は機械管理者としてログインすると、メニューが表示されます。機械管理者としてログインする方法については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

<sup>\*2</sup> ユーザー認証機能が有効の場合に表示されます。

<sup>\*3</sup> プリント集計管理機能、またはコピー集計管理機能が有効の場合に表示されます。



### 補足

- ・一部の設定は、本機をCentreWare Internet Servicesから再起動するか、または手動で電源を入れなおすと有効になります。
- ・JIS第一水準漢字および第二水準漢字以外の文字は使用できない場合があります。使用した場合は操作パネルでの編集はできません。



### 参照

- ・CentreWare Internet Servicesから設定できる項目については、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

## 10.1.1 Web ブラウザーの設定

CentreWare Internet Servicesを使用する前に、Webブラウザーで次の設定をしてください。  
Internet Explorer 11を例に説明します。

### インターネット一時ファイルの設定をする

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。  
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [全般] タブで、[閲覧の履歴] の [設定] をクリックします。  
[Webサイトデータの設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [インターネット一時ファイル] タブで、[保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認] から [Webサイトを表示するたびに確認する] または [Internet Explorerを開始するたびに確認する] を選びます。
4. [OK] をクリックします。  
[Webサイトデータの設定] ダイアログボックスが閉じます。
5. [OK] をクリックします。  
[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

### 本機のIPアドレスについて、プロキシサーバーを使用しないように設定する

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。  
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。
2. [接続] タブで、[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] の [LANの設定] をクリックします。  
[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ダイアログボックスが表示されます。
3. [プロキシサーバー] を、次のどちらかに設定します。
  - ・ [LANにプロキシサーバーを使用する] のチェックマークを外す。
  - ・ [詳細設定] をクリックし、[例外] に本機のIPアドレスを入力して [OK] をクリックする。
4. [OK] をクリックします。  
[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ダイアログボックスが閉じます。
5. [OK] をクリックします。  
[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

### JavaScriptを有効にする

1. [ツール] > [インターネットオプション] をクリックします。  
[インターネットオプション] ダイアログボックスが表示されます。

- 2.** [セキュリティ] タブで、[ローカル イントラネット] をクリックして、[レベルのカスタマイズ] をクリックします。  
[セキュリティ設定 - ローカル イントラネット ゾーン] ダイアログボックスが表示されます。
- 3.** [スクリプト] までスクロールし、[アクティブ スクリプト] が有効化されていることを確認します。
- 4.** [OK] をクリックします。  
[セキュリティ設定 - ローカル イントラネット ゾーン] ダイアログボックスが閉じます。
- 5.** [インターネット オプション] 画面で [OK] をクリックします。  
[インターネットオプション] ダイアログボックスが閉じます。

## 10.1.2 CentreWare Internet Services を起動する

CentreWare Internet Servicesを起動するには、本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力します。



本機のIPアドレスがわからない場合は、操作パネルでIPアドレスを確認するか、システム設定リストを出力して確認してください。IPアドレスの確認方法については、「IPアドレスを確認する (P.31)」を参照してください。

## 10.1.3 CentreWare Internet Services のセキュリティについて

CentreWare Internet Servicesを使用するときに、機械管理者用のメニューを表示させたり、「証明書」が必要になったりすることがあります。

### 機械管理者としてログインする

[管理者モード] が有効の場合は、管理者としてログインしたときだけ本機の設定を変更できます。



・[管理者モード] を無効にすると、全てのユーザーが設定を変更できるようになります。

#### ●ログインする

- 1.** 本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。  
 本機のIPアドレスを確認するには、操作パネルの **ホーム** ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。
- 2.** 画面右上の [ログイン] をクリックします。
- 3.** ユーザー名とパスワードを入力します。

**4. [ログイン] をクリックします。**

#### ●ログアウトする

- 1. 画面右上の [管理者] をクリックします。**
- 2. [ログアウト] をクリックします。**

## 送信を暗号化する

[システム設定] の [セキュリティ] で証明書を作成して [HTTP-SSL/TLS通信] を有効にした場合は、本機とWebブラウザの間で送信するデータが暗号化されます。また、CentreWare Internet Servicesを使用するときに、証明書が必要になることがあります。

# 10.2 本機に付属するソフトウェアを使う

## 10.2.1 概要

付属の「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクを使って、次のソフトウェアをインストールできます。

### Print & Scan Hub (Windows®)

Print & Scan Hubは、次の機能を提供するソフトウェアです。

- ・「本機／ジョブ／消耗品の状態の確認 (P.242)」
- ・「印刷完了／エラーの通知 (P.244)」
- ・「スキャンおよびスキャンした画像の簡易編集 (P.244)」



#### ●本機／ジョブ／消耗品の状態の確認



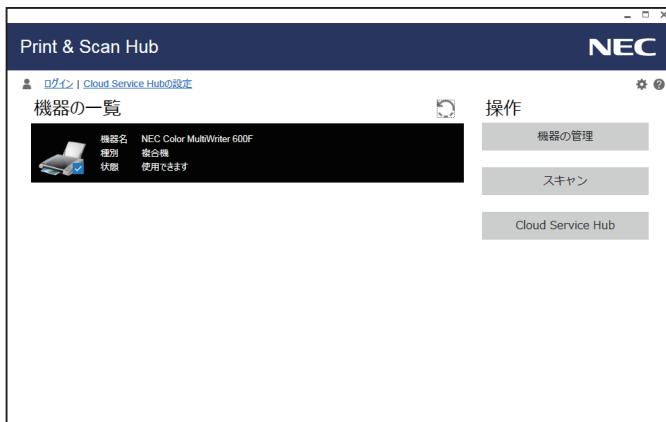
- ・この機能は、本機がネットワークに接続されているときに使用できます。

本機にエラーが発生しているかどうかを確認したり、ジョブの状態を確認したりできます。また、Print & Scan HubからCentreWare Internet Servicesを起動して、トナーカートリッジ／ドラムカートリッジ／トナー回収ボトルの状態や用紙トレイにセットされている用紙の残量を確認できます。

1. [スタート] > [すべてのプログラム] > [NEC Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。

Windows® 10の場合は、[スタート] > [NEC Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。

## 2. [機器の一覧] から本機を選び、[機器の管理] をクリックします。

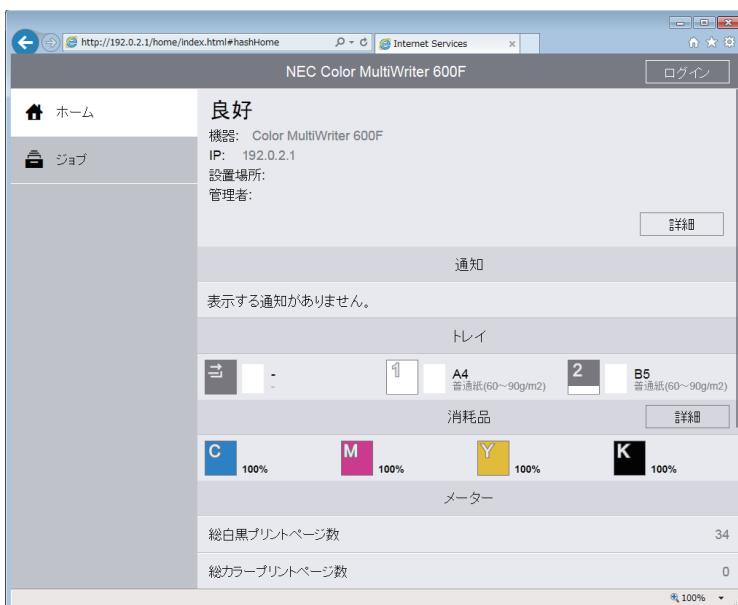


## 3. 本機とジョブの状態を確認します。



## 4. 消耗品の状態を確認するには、[機器の情報] をクリックします。

CentreWare Internet Servicesが起動して、消耗品の状態が確認できます。



## ●印刷完了／エラーの通知



・この機能は、本機がネットワークに接続されているときに使用できます。

プリントが完了したときやエラーが発生したときに、コンピューターのタスクバーに通知します。



この機能を使用するには、次の手順に従って自動更新機能を有効にします。

1. [スタート] > [すべてのプログラム] > [NEC Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。  
Windows® 10 の場合は、[スタート] > [NEC Print & Scan Hub] > [Print & Scan Hub] をクリックします。
2. 画面右上の をクリックします。



3. [自動更新する] にチェックマークを付けます。



4. 必要に応じて [更新間隔] を設定し、[OK] をクリックします。

## ●スキャンおよびスキャンした画像の簡易編集

Print & Scan Hubを使って原稿をスキャンして、スキャンした画像の回転／トリミングができます。スキャンした画像は、JPEG／PNG／PDF 形式で保存できます。



- ・Print & Scan Hubを使ったスキャンの方法については、「Print & Scan Hubでスキャンする (P.138)」を参照してください。

# 宛先表ツール (Windows®)

宛先表ツールは、主に次の機能を提供するソフトウェアです。

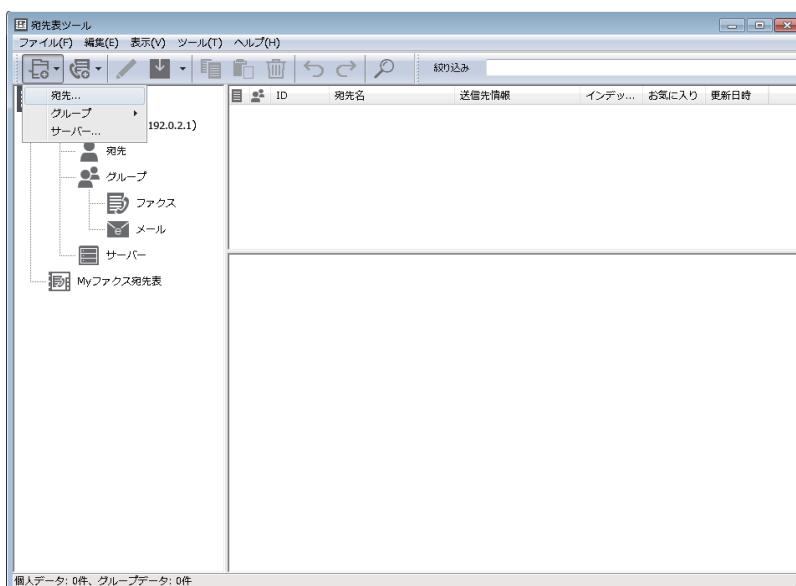
- ・本機に登録されている宛先（ファクス番号／メールアドレス／サーバーアドレス）の取得／登録／編集／削除
- ・コンピューターに登録されているダイレクトファクス用の宛先表の編集
- ・本製品や本製品以外の一部の製品の宛先表ツールでエクスポートしたCSVファイルをインポート
- ・本機に登録されている宛先のデータのエクスポート
- ・本機からスキャンした原稿をメールで送信する場合のメールの件名と本文の編集

宛先表ツールを起動するには、[スタート] > [すべてのプログラム] > [NEC Color MultiWriter 600F] > [宛先表ツール] をクリックします。

Windows®10の場合は、[スタート] > [NEC Color MultiWriter 600F] > [宛先表ツール] をクリックします。

## ●宛先表ツールから宛先を登録する

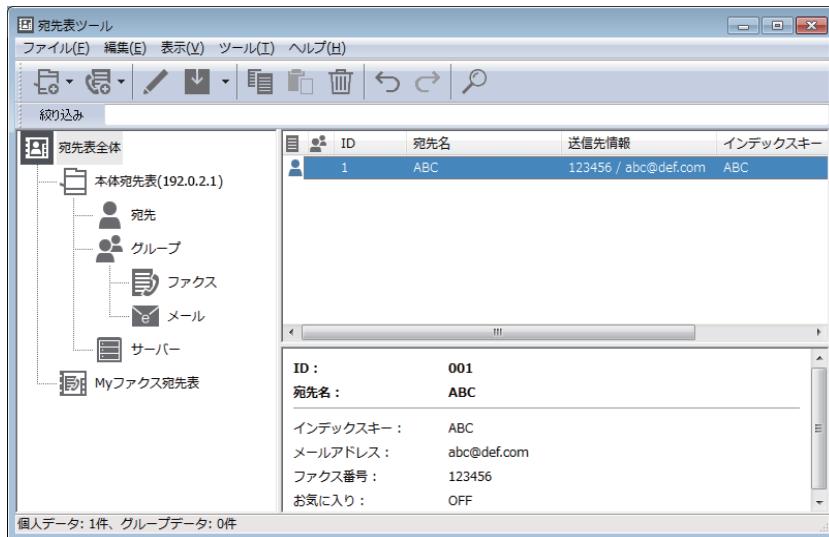
1. ファクス番号／メールアドレスの場合は、 [新規登録 (本体宛先)] > [宛先] をクリックします。  
サーバーアドレスの場合は、 [新規登録 (本体宛先)] > [サーバー] をクリックします。



2. 各項目を入力し、[OK] をクリックします。

宛先表ツールに宛先が登録されます。

### 3. [すべて保存] をクリックします。



登録した宛先が本機に保存されます。



・JIS第一水準漢字および第二水準漢字以外の文字は使用できない場合があります。使用した場合は操作パネルでの編集はできません。



#### 参照

・宛先表ツールの詳しい使い方については、宛先表ツールのヘルプを参照してください。

## ContentsBridge Utility (Windows®)

PC上のファイルを直接プリンターに送って印刷するためのソフトウェアです。PDFファイルを印刷することができます。

ContentsBridge Utilityを起動するには、デスクトップにある [ContentsBridge] のショートカットをダブルクリックします。

## 10.2.2 ソフトウェアをアップデートする

最新版のソフトウェアは、弊社公式サイトから入手できます。なお、通信費用はお客様の負担になりますので、ご了承ください。

次のURLにアクセスして、ダウンロードしてください。

<http://jpn.nec.com/printer/laser/download/>

# 10.3 アドレス帳を使う

アドレス帳は宛先を登録しておくための機能です。ファクス番号やメールアドレスのほか、SMBやFTPサーバーのアドレスを登録できます。宛先を登録／編集／削除する方法は、宛先の種類により異なります。

- ・ ファクス番号／メールアドレス  
本機の操作パネル、CentreWare Internet Services、および宛先表ツールから登録／編集／削除できます。
- ・ サーバーのアドレス  
宛先表ツールから登録／編集／削除できます。

## 10.3.1 アドレス帳に宛先／グループを登録する

アドレス帳には宛先とグループを登録できます。



- ・ JIS第一水準漢字および第二水準漢字以外の文字は使用できない場合があります。使用した場合は操作パネルでの編集はできません。

- ・ 宛先

ファクス番号、メールアドレス、サーバーのアドレスを登録できます。ファクス番号とメールアドレスは1つの宛先に登録できます。



- ・ サーバーアドレスの宛先は最大32件登録できます。ファクス番号とメールアドレスの宛先は最大120件登録できます。

- ・ グループ

アドレス帳に登録された複数の宛先を、1つのグループとしてまとめることができます。同一の原稿を一度に複数の宛先に送信するときに使うと便利な機能です。



- ・ 最大6件のグループが登録できます。一つのグループに、最大120件の宛先が登録できます。
- ・ サーバーのアドレスはグループに登録できません。

### ファクス番号／メールアドレスを登録する



- ・ サーバーのアドレスは、宛先表ツールを使って登録してください。



- ・ CentreWare Internet Servicesを使う場合は、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。
- ・ 宛先表ツールを使う場合は、宛先表ツールのヘルプを参照してください。

#### ● 宛先を登録する

1. ⌂ <ホーム> ボタンを押します。

## 2. [アドレス帳] をタップします。



## 3. + > [宛先を登録] をタップします。

## 4. [名前] をタップします。

## 5. 宛先名を入力し、[確定] > [OK] をタップします。

### 補足

- ・[名前] を入力すると、下の [インデックスキー] 欄に索引名が自動的に入力されます。索引名を変更する場合は、この入力欄をタップします。
- ・宛先は、[インデックスキー] 欄に入力された索引名順に表示されます。

## 6. [メールアドレスを入力してください。] をタップします。

メールアドレスを登録しない場合は、手順8に進みます。

## 7. メールアドレスを入力し、[OK] をタップします。

## 8. [ファクス番号を入力してください。] をタップします。

ファクス番号を登録しない場合は、手順10に進みます。

## 9. ファクス番号を入力し、[OK] をタップします。

## 10. 宛先をお気に入りとして登録する場合は、★ をタップします。登録しない場合は、次の手順に進みます。

### 補足

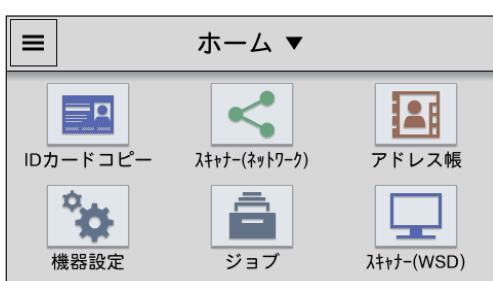
- ・宛先をお気に入りに登録すると、アドレス帳のお気に入りリストから素早く簡単に探せます。

## 11. [OK] をタップします。

### ● グループに登録する

## 1. ⌂ (ホーム) ボタンを押します。

## 2. [アドレス帳] をタップします。



## 3. + > [グループを登録] をタップします。

## 4. [メール] または [ファクス] をタップして登録する宛先の種類を選択します。

## 5. [グループ名を入力してください。] をタップします。

## 6. グループ名を入力し、[OK] をタップします。

### 💡 補足

- ・アドレス帳には登録したグループが索引名順に表示されます。
- ・[名前] を入力すると、下の [インデックスキー] 欄に索引名が自動的に入力されます。索引名を変更する場合は、この入力欄をタップします。

## 7. [メンバーを追加] をタップします。

## 8. グループに登録するすべての宛先をタップし、[OK] をタップします。

## 9. グループをお気に入りとして登録する場合は、★ をタップします。登録しない場合は、次の手順に進みます。

### 💡 補足

- ・グループをお気に入りに登録すると、アドレス帳のお気に入りリストから素早く簡単に探せます。

## 10. [OK] をタップします。

## 10.3.2 アドレス帳から宛先を指定する

アドレス帳からファクスやメールの宛先を指定する方法を説明します。

### 💡 補足

- ・宛先の登録方法については、「アドレス帳に宛先／グループを登録する (P.247)」を参照してください。

## 1. ▶ 〈ホーム〉ボタンを押します。

## 2. [ファクス] または [スキャナー(メール送信)] をタップします。



## 3. 国 をタップします。

## 4. 宛先をタップします。

### 💡 補足

- ・ は宛先、 はグループです。
- ・次のキーを使用すると宛先の検索がしやすくなります。
  - ★ :お気に入りとして登録した宛先だけを表示します。
  - 🔎 :検索文字列を入力して宛先を検索できます。

## 5. [送信] または [OK] をタップします。

## 10.3.3 アドレス帳の宛先を編集／削除する

アドレス帳に登録されている宛先を編集または削除する方法を説明します。

# ファクス番号／メールアドレスを編集／削除する



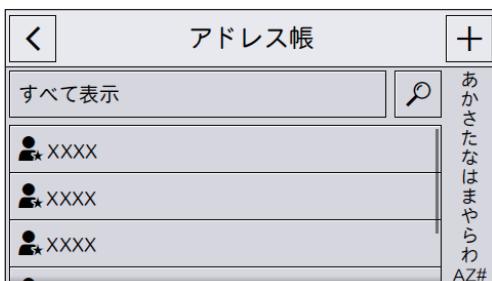
・サーバーのアドレスは、宛先表ツールを使って編集／削除してください。

## ●宛先を編集／削除する

1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [アドレス帳] をタップします。



3. 編集または削除する宛先をタップします。



・は宛先、はグループです。

4. 宛先を編集する場合は [編集] をタップします。  
宛先を削除する場合は [宛先を削除] をタップし、手順6に進みます。



5. 任意の項目をタップして編集します。



・宛先をお気に入りとして登録する場合は、★をタップします。  
・メールアドレスまたはファクス番号を削除する場合は、刪をタップします。

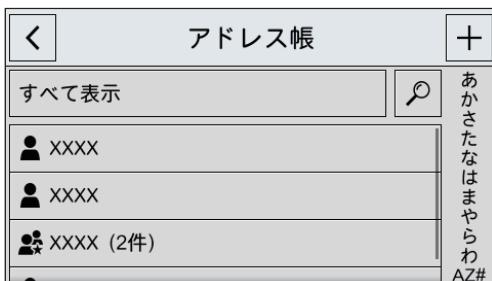
6. [OK] をタップします。

## ●グループを編集／削除する

1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [アドレス帳] をタップします。



3. 編集または削除するグループをタップします。



### 補足

- ・ は宛先、 はグループです。

4. グループを編集する場合は [編集] をタップします。  
グループを削除する場合は [グループを削除] をタップし、手順6に進みます。



5. 任意の項目をタップして編集します。

### 補足

- ・宛先をお気に入りとして登録する場合は、 をタップします。
- ・メールアドレスまたはファックス番号を削除する場合は、 をタップします。
- ・グループに宛先を追加する場合は、次の手順を実行します。
  - 1 [メンバーを追加] をタップします。
  - 2 追加する宛先をタップしてチェックマークを付けます。
  - 3 [OK] をタップします。

6. [OK] をタップします。

## 10.3.4 LDAP サーバーのアドレス帳を使用する

LDAPサーバーに登録されているファックス番号やメールアドレスを検索して宛先に指定できます。本機からLDAPサーバーにアクセスするには、CentreWare Internet Servicesからサーバーの設定を本機に登録する必要があります。



- LDAPサーバーの設定を登録するときは、システム管理者にお問い合わせください。

### LDAPサーバーにアクセスするために必要な作業

CentreWare Internet Servicesを使用して次の項目を設定します。

- 認証方式
- LDAPサーバーのアドレス
- LDAPサーバーの属性名



- CentreWare Internet Servicesの起動方法については、「CentreWare Internet Servicesを起動する(P.240)」を参照してください。

#### ●認証方式を設定する

##### 1. 本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。



- 本機のIPアドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

##### 2. 画面右上の【ログイン】をクリックします。



- 画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

##### 3. 機械管理者の【ユーザー名】と【パスワード】を入力し、【ログイン】をクリックします。



- ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする(P.240)」を参照してください。

##### 4. 画面左の領域にある【システム設定】をクリックします。

## 5. [セキュリティ] をクリックします。



## 6. [認証システム] をクリックします。

## 7. [認証プロトコル] から認証方式として [LDAP] を選び、[OK] をクリックします。

### 補足

- ・アクセス先のサーバーがKerberos認証を使用している場合は、認証方式として [Kerberos (Windows ADS)] を選んでください。また、Kerberosサーバーに関する設定情報を、[プロトコル] の [Kerberos (Windows ADS)] に入力してください。詳しくは、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

## 8. [今すぐ再起動] をクリックします。

## 9. 本機の再起動が完了したら、[更新] をクリックします。

### ● LDAPサーバーのアドレスを設定する

### 補足

- ・アクセス先のサーバーがSSL/TLS通信で運用されている場合は、本機にSSL/TLS通信の設定をしてください。詳しくは、「暗号化機能を使う (P.303)」を参照してください。

## 1. 本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

### 補足

- ・本機のIPアドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

## 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



### 補足

- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

## 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

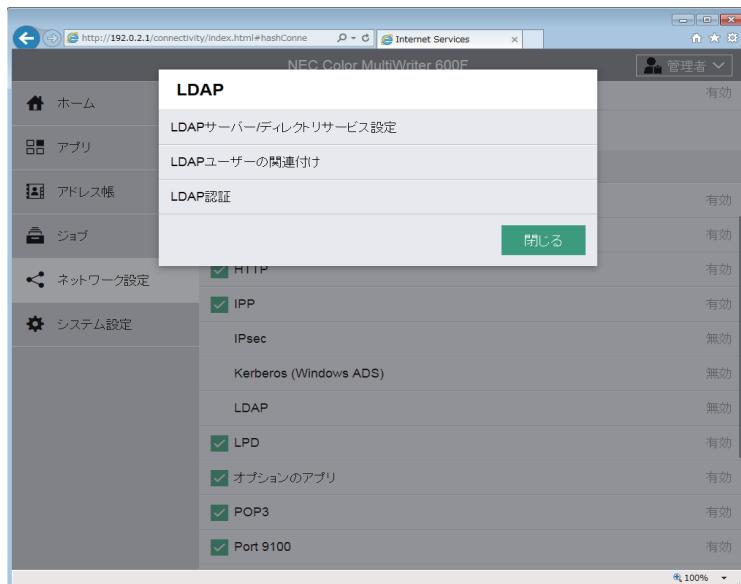
### 参照

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

## 4. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] をクリックします。

## 5. [プロトコル] の [LDAP] をクリックします。

## 6. [LDAPサーバー / ディレクトリサービス設定] をクリックします。



## 7. サーバーの設定をします。

### 参照

- ・設定方法については、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

## 8. [OK] をクリックします。

**9.** [今すぐ再起動] をクリックします。

**10.** 本機の再起動が完了したら、[更新] をクリックします。

## ● LDAP サーバーの属性名を設定する

**1.** 本機の IP アドレスを Web ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。



・本機の IP アドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉 ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

**2.** 画面右上の [ログイン] をクリックします。



・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

**3.** 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

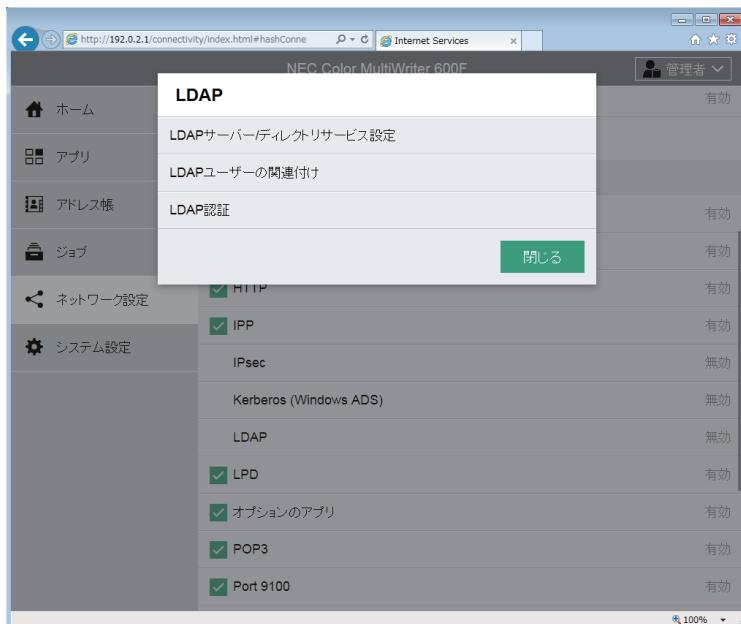


・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

**4.** 画面左の領域にある [ネットワーク設定] をクリックします。

**5.** [プロトコル] の [LDAP] をクリックします。

## 6. [LDAPユーザーの関連付け] をクリックします。



## 7. LDAPサーバーで使用されている属性名を設定します。



・サーバー側で属性名に変更を加えていない場合は、あらかじめ入力されている設定を使用してください。

## 8. [OK] をクリックします。

## 9. [今すぐ再起動] をクリックします。

## 10. 本機の再起動が完了したら、[更新] をクリックします。

# LDAPサーバーのアドレス帳を使用する



・LDAPサーバーから宛先を指定するには、[LDAPアドレス帳] を有効にする必要があります。詳しくは、「[LDAPアドレス帳]」(P.236)を参照してください。

## 1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。

## 2. [ファクス] または [スキャナー(メール送信)] をタップします。



## 3. 国をタップし、○をタップします。



・[アドレス帳の選択] 画面が表示された場合は、[LDAPアドレス帳] をタップします。

## 4. 検索文字列を入力し、[確定] をタップします。

## 5. [検索] をタップします。

## 6. 宛先をタップします。

## 7. [ファクス] の場合

[送信] をタップします。

[スキャナー (メール送信)] の場合

[OK] > [送信] をタップします。

# 10.4 プリント集計管理機能を使う

## 10.4.1 概要

プリント集計管理機能を有効にすると、本機に登録されたユーザー（登録ユーザー）だけがプリントできるようになります。登録ユーザーごとにプリントの利用を制限したり、プリントの利用量を集計したりすることもできます。

登録ユーザーは、アカウント情報が設定された弊社のプリンタードライバーまたはアプリケーションからプリントする必要があります。



- 最大で50ユーザーまで登録できます。

次の図は、プリント集計管理の機能概要を示しています。

ユーザーごとの制限を設定

| アカウント情報 |       | プリント利用制限の例                |                    |                   |
|---------|-------|---------------------------|--------------------|-------------------|
| ユーザー名   | パスワード | カラープリント<br>○: 許可<br>×: 禁止 | カラープリント<br>の上限ページ数 | 白黒プリント<br>の上限ページ数 |
| A       | xxxx  | ○                         | 5,000              | 5,000             |
| B       | yyyy  | ×                         |                    | 3,000             |
| C       | zzzz  | ○                         | 9,000              | 7,000             |

本機に登録されたユーザー



アカウント情報が付与されたジョブを送信

| アカウント情報 |       |
|---------|-------|
| ユーザー名   | パスワード |
| A       | xxxx  |

ジョブをプリント

ユーザー認証

本機に登録されていないユーザー



プリント禁止



出力ページ数を  
集計

レポートを出力して利用  
状況を確認

プリント集計管理には、次の機能があります。

- 「登録ユーザーだけにプリントを許可する (P.259)」
- 「登録ユーザーごとにプリントの利用を制限する (P.264)」
  - 「白黒プリントだけを許可する (P.264)」
  - 「カラー／白黒プリントの上限ページ数を設定する (P.270)」
- 「アカウント情報を持たないジョブのプリントを許可する (P.277)」
  - 「カラー／白黒プリントを許可する (P.277)」
  - 「白黒プリントだけを許可する (P.277)」

## 10.4.2 登録ユーザーだけにプリントを許可する

この機能を使うには、プリンタードライバー／アプリケーション、操作パネル、およびCentreWare Internet Servicesでの設定が必要です。

### プリンタードライバー／アプリケーションに認証情報を設定する

弊社のプリンタードライバーまたはアプリケーションに、プリント時の認証に必要なアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を設定します。

ここでは、Windows® 7およびWindows® 10のPCLドライバーを例に手順を説明します。

1. [スタート] > [デバイスとプリンター] をクリックします。

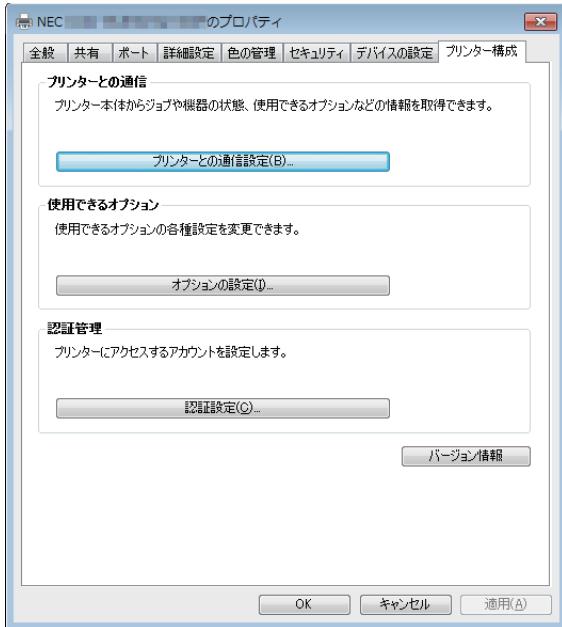
Windows® 10の場合は、[スタート] > [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター] をクリックします。

2. 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。

3. [プリンター構成] タブをクリックします。



#### 4. [認証設定] をクリックします。



#### 5. [認証管理方法の設定] で [認証管理する] を選びます。



#### 6. [認証管理モード] を設定します。



・ 設定項目については、PCL ドライバーのヘルプを参照してください。

## 7. アカウント（ユーザー名とパスワード）を設定します。

- ジョブを送信するたびにアカウントの入力画面を表示する場合  
**a**[ジョブごとに認証の入力画面を表示する] を選びます。  
**b**必要に応じて、[前回入力した情報を表示する] および [User IDをアスタリスク(\*\*\*))で表示する] にチェックマークを付けます。
- ユーザー名にWindows®のログイン名を使用して、常に同じアカウントを使用する場合  
**a**[常に同じ認証情報を使用する] を選びます。  
**b**[User IDの指定] で [ログイン名を使用する] を選びます。  
**c**[パスワード] を設定します。
- ユーザー名を手動で設定して、常に同じアカウントを使用する場合  
**a**[常に同じ認証情報を使用する] を選びます。  
**b**[User IDの指定] で [IDを入力する] を選びます。  
**c**[User ID] および [パスワード] を設定します。

## 8. [OK] をクリックします。

## 9. [OK] をクリックします。

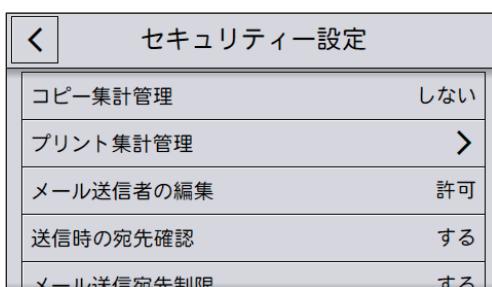
# 操作パネルでプリント集計管理機能を有効にする

## 1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。

## 2. [機器設定] をタップします。



## 3. [セキュリティ設定] > [プリント集計管理] をタップします。



## 4. [プリント集計管理] > [する] をタップします。

## 5. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

# CentreWare Internet Servicesでユーザーを登録する

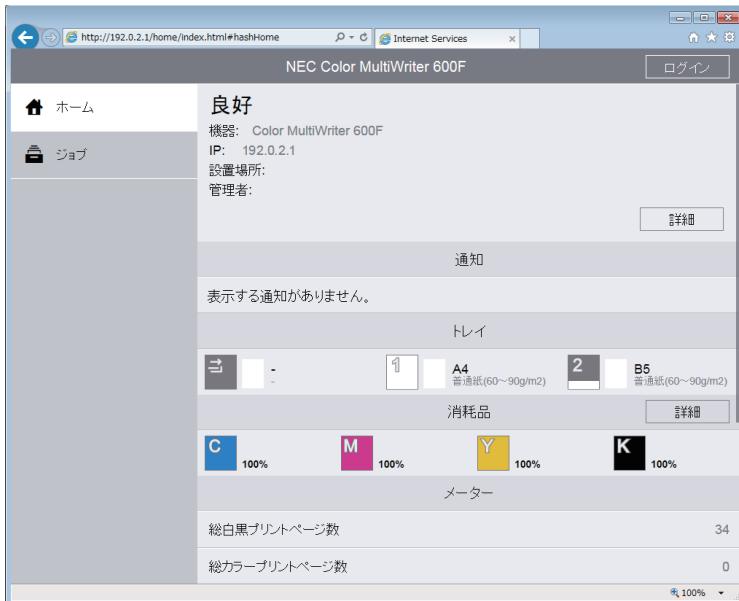
プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したユーザーのアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を本機に登録します。設定を行うには、CentreWare Internet Servicesに機械管理者としてログインする必要があります。

# 1. 本機のIP アドレスをWeb ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。



・本機のIP アドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

## 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

## 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。



・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

## 4. 画面左の領域にある [集計管理] をクリックします。



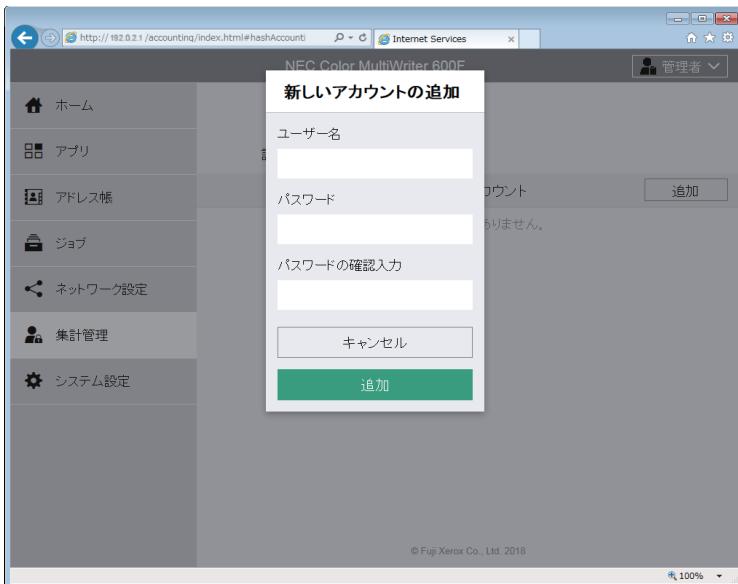
## 5. [追加] をクリックします。



## 6. [ユーザー名]、[パスワード]、および [パスワードの確認入力] を設定し、[追加] をクリックします。



- ・ユーザー名とパスワードに入力できる文字数は以下になります。  
ユーザー名：1～32（半角英数字、記号）  
パスワード：4～12（半角英数字、記号）
- ・ユーザー名に次の記号は使用できません。  
"+ ; < > ?[ ] ` { } |



## 10.4.3 登録ユーザーごとにプリントの利用を制限する

この機能を使うには、プリンタードライバー／アプリケーション、操作パネル、およびCentreWare Internet Servicesでの設定が必要です。

設定できる制限は次のとおりです。

- ・「白黒プリントだけを許可する (P.264)」
- ・「カラー／白黒プリントの上限ページ数を設定する (P.270)」

### 白黒プリントだけを許可する

#### ●プリンタードライバー／アプリケーションに認証情報を設定する

弊社のプリンタードライバーまたはアプリケーションに、プリント時の認証に必要なアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を設定します。

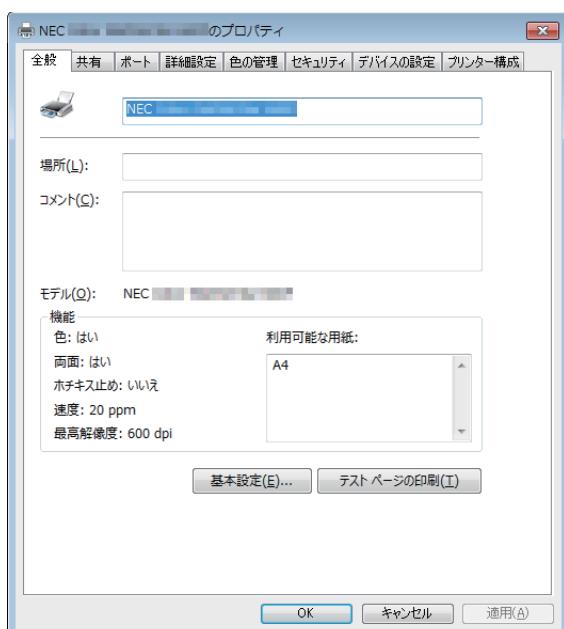
ここでは、Windows® 7およびWindows® 10のPCLドライバーを例に手順を説明します。

##### 1. [スタート] > [デバイスとプリンター] をクリックします。

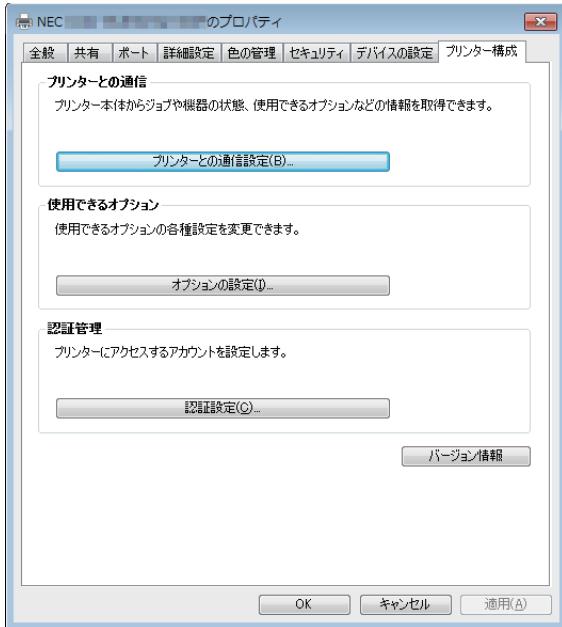
Windows® 10の場合は、[スタート] > [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター] をクリックします。

##### 2. 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。

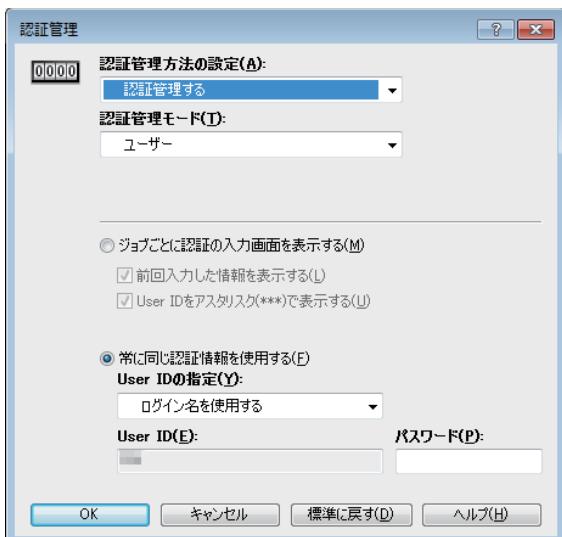
##### 3. [プリンター構成] タブをクリックします。



#### 4. [認証設定] をクリックします。



#### 5. [認証管理方法の設定] で [認証管理する] を選びます。



#### 6. [認証管理モード] を設定します。



・ 設定項目については、PCL ドライバーのヘルプを参照してください。

## 7. アカウント（ユーザー名とパスワード）を設定します。

- ジョブを送信するたびにアカウントの入力画面を表示する場合  
**a**[ジョブごとに認証の入力画面を表示する] を選びます。  
**b**必要に応じて、[前回入力した情報を表示する] および [User IDをアスタリスク(\*\*\*)で表示する] にチェックマークを付けます。
- ユーザー名にWindows®のログイン名を使用して、常に同じアカウントを使用する場合  
**a**[常に同じ認証情報を使用する] を選びます。  
**b**[User IDの指定] で [ログイン名を使用する] を選びます。  
**c**[パスワード] を設定します。
- ユーザー名を手動で設定して、常に同じアカウントを使用する場合  
**a**[常に同じ認証情報を使用する] を選びます。  
**b**[User IDの指定] で [IDを入力する] を選びます。  
**c**[User ID] および [パスワード] を設定します。

## 8. [OK] をクリックします。

## 9. [OK] をクリックします。

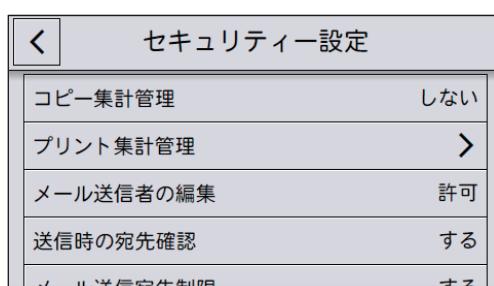
### ●操作パネルでプリント集計管理機能を有効にする

#### 1. ▲〈ホーム〉ボタンを押します。

#### 2. [機器設定] をタップします。



#### 3. [セキュリティ設定] > [プリント集計管理] をタップします。



#### 4. [プリント集計管理] > [する] をタップします。

#### 5. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

### ●CentreWare Internet Servicesでユーザー登録と利用制限の設定をする

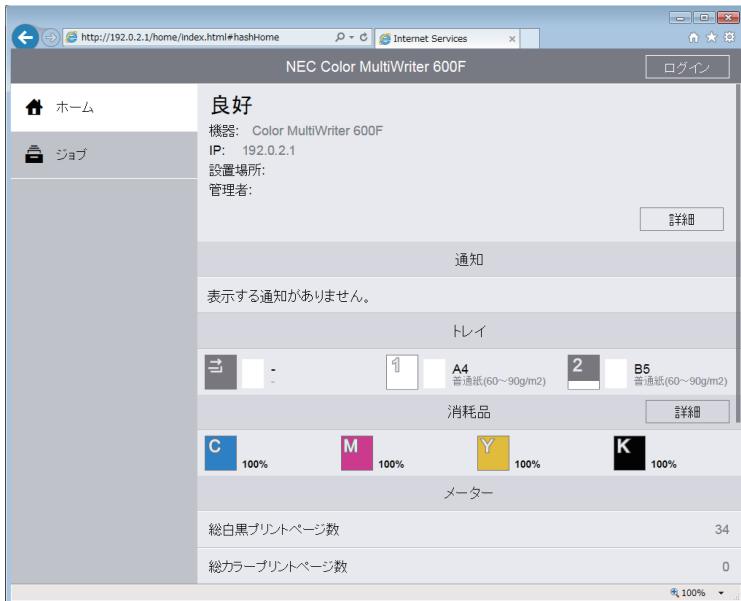
プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したユーザーのアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を本機に登録し、プリントの利用制限を設定します。設定を行うには、CentreWare Internet Servicesに機械管理者としてログインする必要があります。

# 1. 本機のIP アドレスをWeb ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Services を起動します。



・本機のIP アドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

## 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

## 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。



・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

## 4. 画面左の領域にある [集計管理] をクリックします。



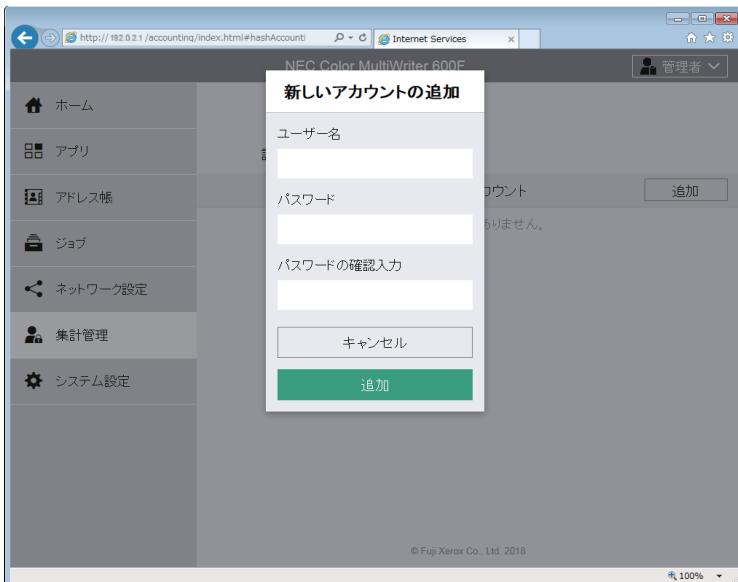
## 5. [追加] をクリックします。



## 6. [ユーザー名]、[パスワード]、および [パスワードの確認入力] を設定し、[追加] をクリックします。

### 補足

- ・ユーザー名とパスワードに入力できる文字数は以下になります。  
ユーザー名：1～32（半角英数字、記号）  
パスワード：4～12（半角英数字、記号）
- ・ユーザー名に次の記号は使用できません。  
"+ ; < > ?[ ] ` { } |



ユーザーアカウントが追加されます。

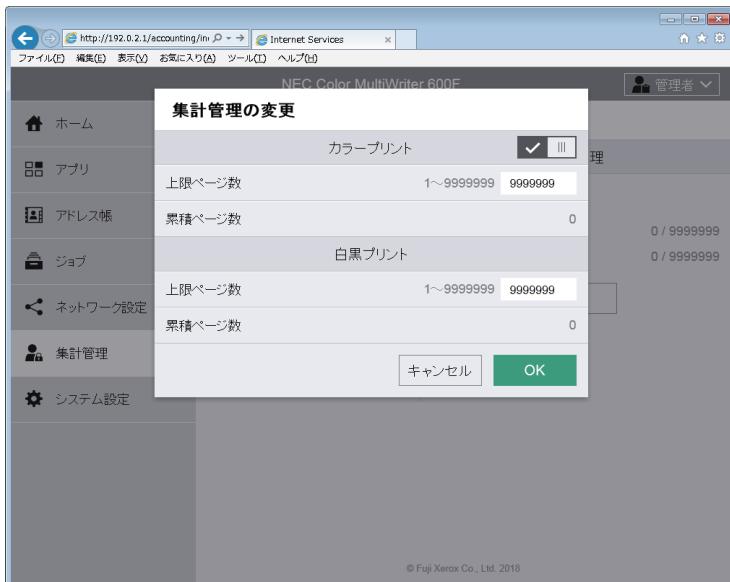


7. 追加されたユーザーアカウントをクリックします。

8. [編集] をクリックします。



## 9. [カラープリント] の横の をクリックし、チェックマークを非表示にします。



## 10. [OK] をクリックします。



### 補足

- ・カラープリントの利用を制限されたユーザーのカラープリントジョブはキャンセルされます。ジョブをキャンセルせずに白黒でプリントする場合は、次の手順に従って [強制白黒プリント] を有効にします。
- 1 ① 〈ホーム〉ボタンを押します。
  - 2 [機器設定] をタップします。
  - 3 [セキュリティー設定] > [プリント集計管理] をタップします。
  - 4 [強制白黒プリント] > [する] をタップします。
  - 5 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

## カラー／白黒プリントの上限ページ数を設定する

カラーまたは白黒でプリントできるページ数の上限を設定します。

### ●プリンタードライバー／アプリケーションに認証情報を設定する

弊社のプリンタードライバーまたはアプリケーションに、プリント時の認証に必要なアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を設定します。

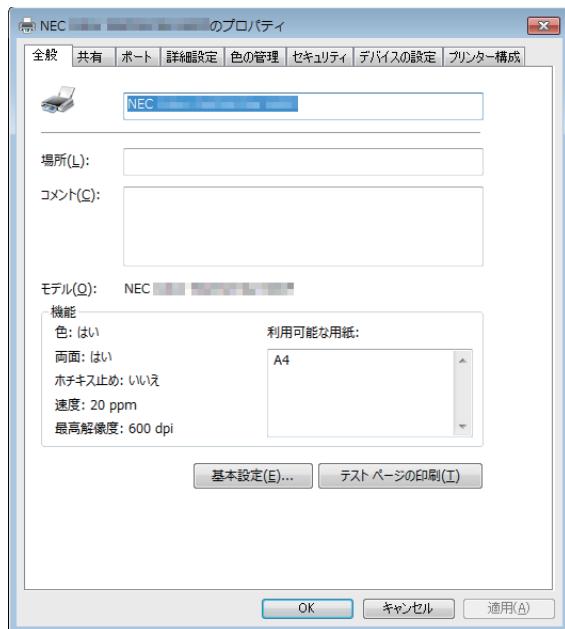
ここでは、Windows® 7およびWindows® 10のPCLドライバーを例に手順を説明します。

#### 1. [スタート] > [デバイスとプリンター] をクリックします。

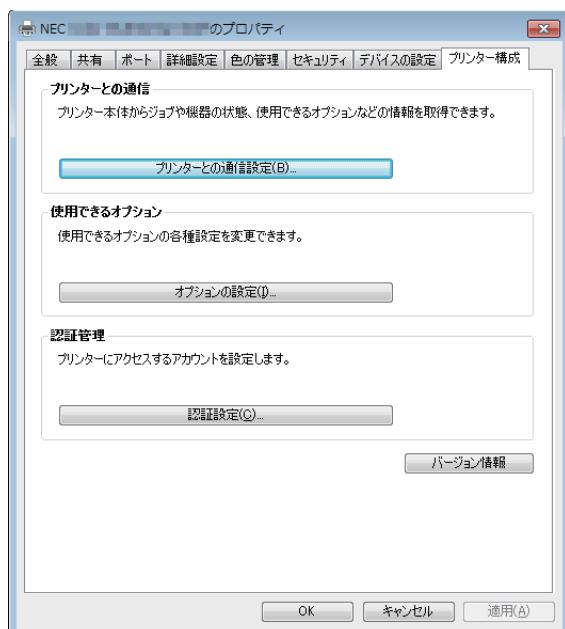
Windows® 10の場合は、[スタート] > [Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [デバイスとプリンター] をクリックします。

#### 2. 本機のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選びます。

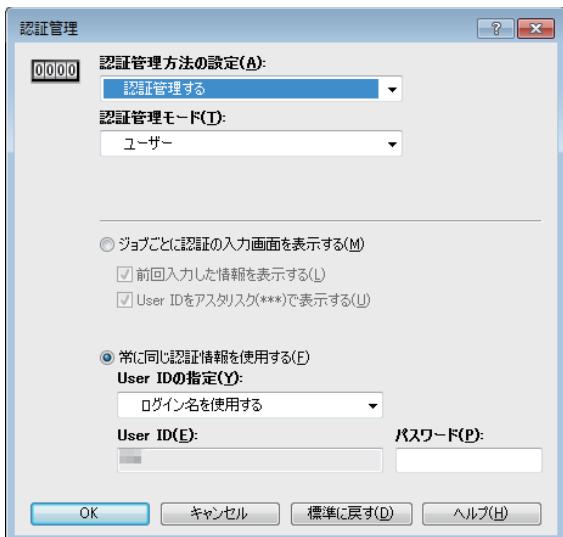
### 3. [プリンター構成] タブをクリックします。



### 4. [認証設定] をクリックします。



## 5. [認証管理方法の設定] で [認証管理する] を選びます。



## 6. [認証管理モード] を設定します。



- ・ 設定項目については、PCL ドライバーのヘルプを参照してください。

## 7. アカウント（ユーザー名とパスワード）を設定します。

- ・ ジョブを送信するたびにアカウントの入力画面を表示する場合
  - a [ジョブごとに認証の入力画面を表示する] を選びます。
  - b 必要に応じて、[前回入力した情報を表示する] および [User IDをアスタリスク(\*\*\*)で表示する] にチェックマークを付けます。
- ・ ユーザー名に Windows® のログイン名を使用して、常に同じアカウントを使用する場合
  - a [常に同じ認証情報を使用する] を選びます。
  - b [User IDの指定] で [ログイン名を使用する] を選びます。
  - c [パスワード] を設定します。
- ・ ユーザー名を手動で設定して、常に同じアカウントを使用する場合
  - a [常に同じ認証情報を使用する] を選びます。
  - b [User IDの指定] で [IDを入力する] を選びます。
  - c [User ID] および [パスワード] を設定します。

## 8. [OK] をクリックします。

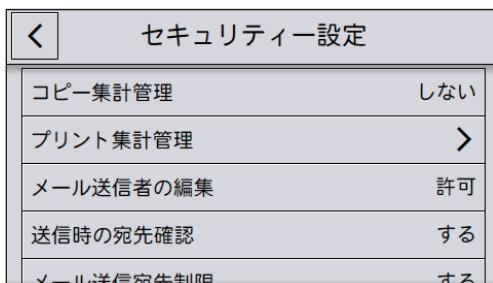
## 9. [OK] をクリックします。

### ●操作パネルでプリント集計管理機能を有効にする

1. ① <ホーム> ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



### 3. [セキュリティ設定] > [プリント集計管理] をタップします。



### 4. [プリント集計管理] > [する] をタップします。

### 5. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

## ●CentreWare Internet Servicesでユーザー登録と利用制限の設定をする

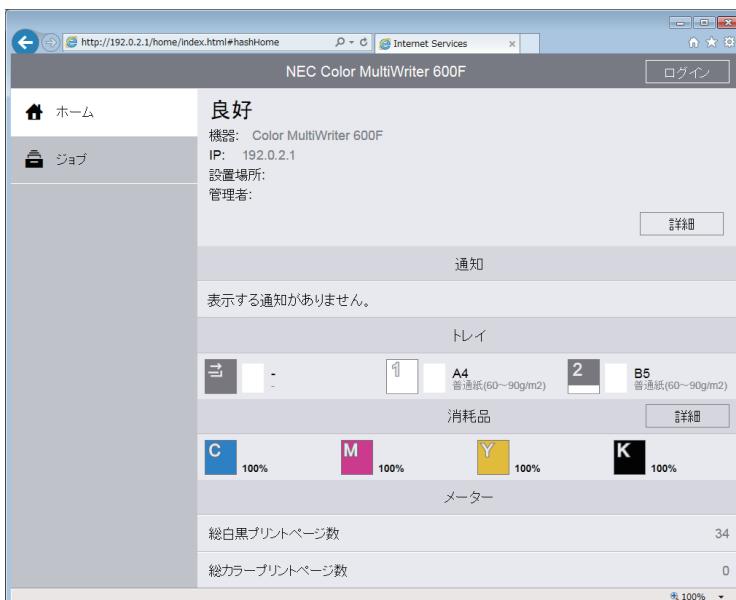
プリンタードライバーまたはアプリケーションで設定したユーザーのアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を本機に登録し、プリントの利用制限を設定します。設定を行うには、CentreWare Internet Servicesに機械管理者としてログインする必要があります。

### 1. 本機のIP アドレスをWeb ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

#### 補足

- ・本機のIP アドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

### 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



#### 補足

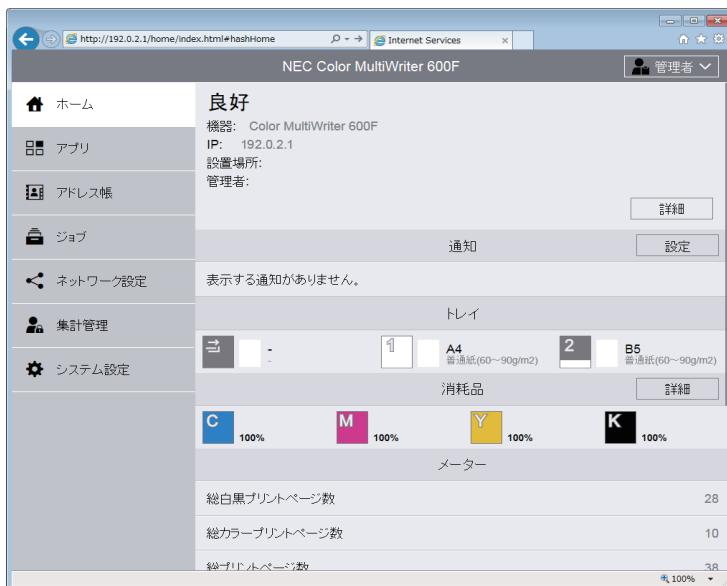
- ・画面右上に「一般ユーザー」と表示されている場合は、手順4に進みます。

### 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

#### 参照

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

#### 4. 画面左の領域にある [集計管理] をクリックします。



#### 5. [追加] をクリックします。



## 6. [ユーザー名]、[パスワード]、および [パスワードの確認入力] を設定し、[追加] をクリックします。



- ・ユーザー名とパスワードに入力できる文字数は以下になります。  
ユーザー名：1～32（半角英数字、記号）  
パスワード：4～12（半角英数字、記号）
- ・ユーザー名に次の記号は使用できません。  
"+ ; < > ?[ ] ` { } |

The screenshot shows a web-based management interface for an NEC Color MultiWriter 600F. A modal dialog box titled '新しいアカウントの追加' (New Account Addition) is open. Inside the dialog, there are input fields for 'ユーザー名' (User Name) containing 'ABC', 'パスワード' (Password), and 'パスワードの確認入力' (Confirm Password). Below the fields are 'キャンセル' (Cancel) and a large green '追加' (Add) button. The background shows a sidebar with various management options like Home, Applications, Address Book, Jobs, Network Settings, Accounting Management, and System Settings.

ユーザー アカウントが追加されます。

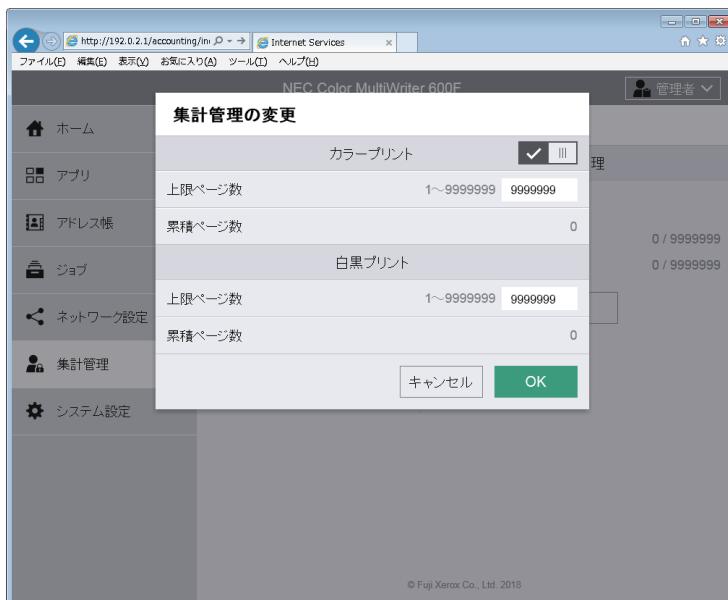
The screenshot shows the main user interface after account addition. On the left is a sidebar with icons for Home, Applications, Address Book, Jobs, Network Settings, Accounting Management, and System Settings. The main content area is titled 'ユーザー アカウント' (User Accounts) and shows a single entry for 'ABC'. The entry includes a small user icon and the name 'ABC'. There is also a '追加' (Add) button. The bottom of the screen displays copyright information for Fuji Xerox Co., Ltd. 2018 and a zoom level indicator of 100%.

## 7. 追加されたユーザー アカウントをクリックします。

## 8. [編集] をクリックします。



## 9. [カラープリント] の下の [上限ページ数] に任意の数値を入力します。



## 10. [白黒プリント] の下の [上限ページ数] に任意の数値を入力します。

## 11. [OK] をクリックします。

## 10.4.4 アカウント情報を持たないジョブのプリントを許可する

[プリント集計管理] が有効のとき、アカウント情報（ユーザー名とパスワード）を持たないジョブはプリントできません。プリントを許可したい場合は、[未認証ユーザーのプリント] を有効にします。白黒プリントだけを許可することもできます。

アカウント情報を持たないジョブとは、次のとおりです。

- ・他社製のプリンタードライバーやユーティリティーで作成されたジョブ
- ・次の機能を使って送信されたジョブ
  - AirPrint
  - Google クラウド プリント



補足

- ・弊社のプリンタードライバーやアプリケーションを使用した場合でも、プリンタードライバーやアプリケーションの認証情報の設定を無効にすると、アカウント情報を持たないジョブになります。

### カラー／白黒プリントを許可する

1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [セキュリティ設定] をタップします。
4. [プリント集計管理] をタップします。
5. [未認証ユーザーのプリント] > [許可] をタップします。
6. [強制白黒プリント] > [しない] をタップします。
7. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

### 白黒プリントだけを許可する

1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



- 3.** [セキュリティ設定] をタップします。
- 4.** [プリント集計管理] をタップします。
- 5.** [未認証ユーザーのプリント] > [許可] をタップします。
- 6.** [強制白黒プリント] > [する] をタップします。
- 7.** 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

## 10.4.5 プリントの利用状況を確認する

集計管理レポートを出力して、プリントの利用制限の設定状況と出力したページ数の合計を確認できます。



### 参照

- ・集計管理レポートの出力方法については、「ユーザー別、用紙サイズ別に確認する (P.335)」を参照してください。

# 10.5 コピー集計管理機能を使う

## 10.5.1 概要

コピー集計管理機能を有効にすると、本機に登録されたユーザー（登録ユーザー）だけがコピーできるようになります。登録ユーザーごとにコピーの利用を制限したり、コピーの利用量を集計したりすることもできます。登録ユーザーがコピーを利用するときは、操作パネルから登録ユーザーのアカウントにログインします。

### 補足

- ・最大で50ユーザーまで登録できます。

### 参照

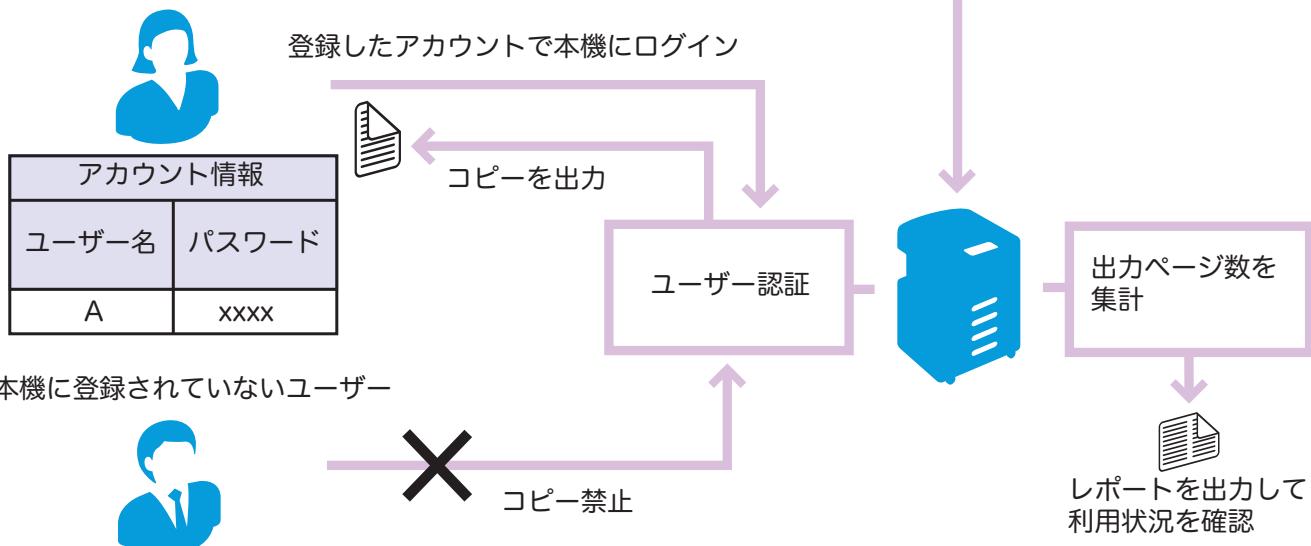
- ・本機能は、「[サービスロック]」および「[ユーザー認証]」が無効になっているときに使用できます。設定については、「[サービスロック]」(P.222)および「[ユーザー認証]」(P.222)を参照してください。

次の図は、コピー集計管理の機能概要を示しています。

ユーザーごとの制限を設定

| アカウント情報 |       | 利用制限の例                 |                   |                  |
|---------|-------|------------------------|-------------------|------------------|
| ユーザー名   | パスワード | カラーコピー<br>○：許可<br>×：禁止 | カラーコピー<br>の上限ページ数 | 白黒コピー<br>の上限ページ数 |
| A       | xxxx  | ○                      | 5,000             | 5,000            |
| B       | yyyy  | ×                      | 3,000             |                  |
| C       | zzzz  | ○                      | 9,000             | 7,000            |

本機に登録されたユーザー



コピー集計管理には、次の機能があります。

- ・「登録ユーザーだけにコピーを許可する (P.280)」
- ・「登録ユーザーごとにコピーの利用を制限する (P.283)」
  - ・「白黒コピーだけを許可する (P.283)」
  - ・「カラー／白黒コピーの上限ページ数を設定する (P.287)」

## 10.5.2 登録ユーザーだけにコピーを許可する

この機能を使うには、操作パネルおよびCentreWare Internet Servicesでの設定が必要です。

### 補足

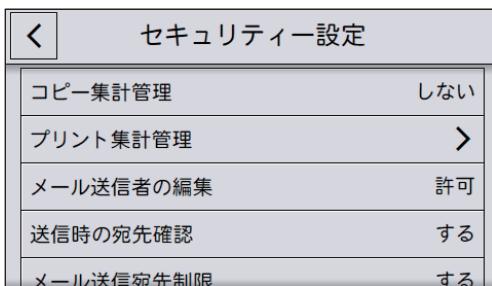
- ・ユーザー認証機能を使用して、コピーの利用を管理することもできます。詳しくは、「ユーザー認証機能を使う (P.294)」を参照してください。

### 操作パネルでコピー集計管理機能を有効にする

1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [セキュリティ設定] > [コピー集計管理] をタップします。



4. [する] をタップします。
5. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

### CentreWare Internet Servicesでユーザーを登録する

コピーの利用を許可するユーザーのアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を本機に登録します。設定を行うには、CentreWare Internet Servicesに機械管理者としてログインする必要があります。

1. 本機のIP アドレスをWeb ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

### 補足

- ・本機のIP アドレスを確認するには、操作パネルの ⌂〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

## 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



### 補足

- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

## 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

### 参考

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

## 4. 画面左の領域にある [集計管理] をクリックします。



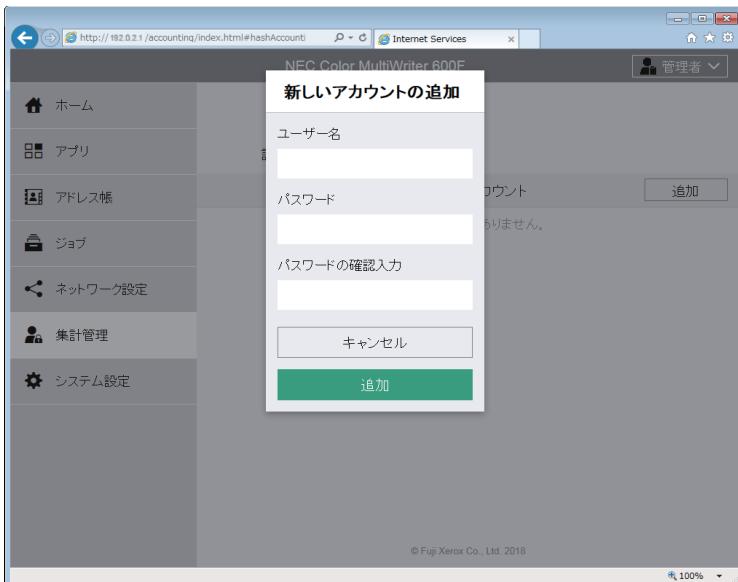
## 5. [追加] をクリックします。



## 6. [ユーザー名]、[パスワード]、および [パスワードの確認入力] を設定し、[追加] をクリックします。

### 補足

- ・ユーザー名とパスワードに入力できる文字数は以下になります。  
ユーザー名：1～32（半角英数字、記号）  
パスワード：4～12（半角英数字、記号）
- ・ユーザー名に次の記号は使用できません。  
"+ ; < > ?[ ] ` { } |



## 10.5.3 登録ユーザーごとにコピーの利用を制限する

この機能を使うには、操作パネルおよびCentreWare Internet Servicesでの設定が必要です。設定できる制限は次のとおりです。

- ・「白黒コピーだけを許可する (P.283)」
- ・「カラー／白黒コピーの上限ページ数を設定する (P.287)」

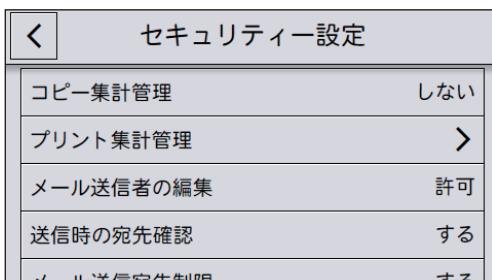
### 白黒コピーだけを許可する

#### ●操作パネルでコピー集計管理機能を有効にする

1. ⌂〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [セキュリティ設定] > [コピー集計管理] をタップします。



4. [する] をタップします。
5. 本機の電源を切り、再度電源を入れます。

#### ●CentreWare Internet Servicesでユーザー登録と利用制限の設定をする

ユーザーのアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を本機に登録し、コピーの利用制限を設定します。設定を行うには、CentreWare Internet Servicesに機械管理者としてログインする必要があります。

1. 本機のIP アドレスをWeb ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

##### 補足

- ・本機のIP アドレスを確認するには、操作パネルの ⌂〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

## 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



### 補足

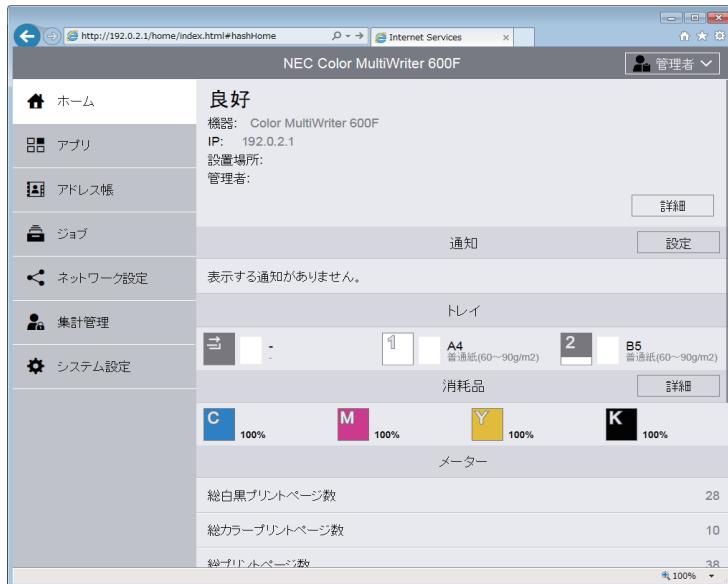
- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

## 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

### 参考

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

## 4. 画面左の領域にある [集計管理] をクリックします。



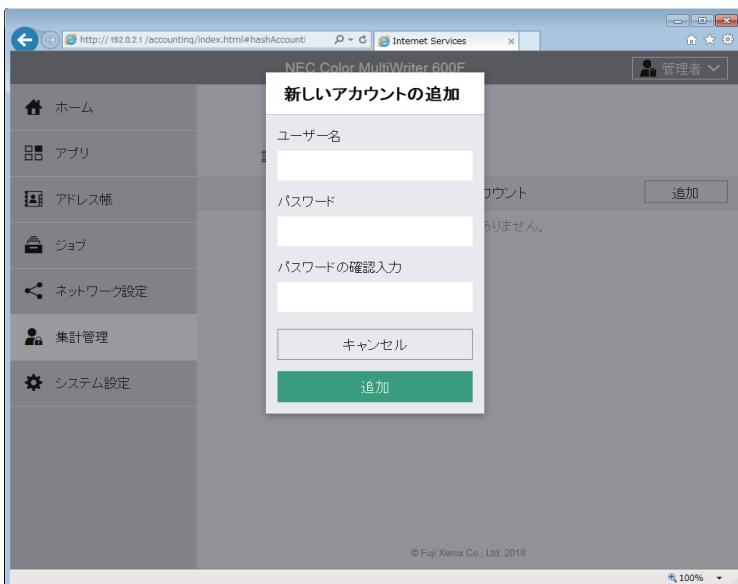
## 5. [追加] をクリックします。



## 6. [ユーザー名]、[パスワード]、および [パスワードの確認入力] を設定し、[追加] をクリックします。



- ・ユーザー名とパスワードに入力できる文字数は以下になります。  
ユーザー名：1～32（半角英数字、記号）  
パスワード：4～12（半角英数字、記号）
- ・ユーザー名に次の記号は使用できません。  
" + ; < > ? [ ] ` { } |



ユーザーアカウントが追加されます。

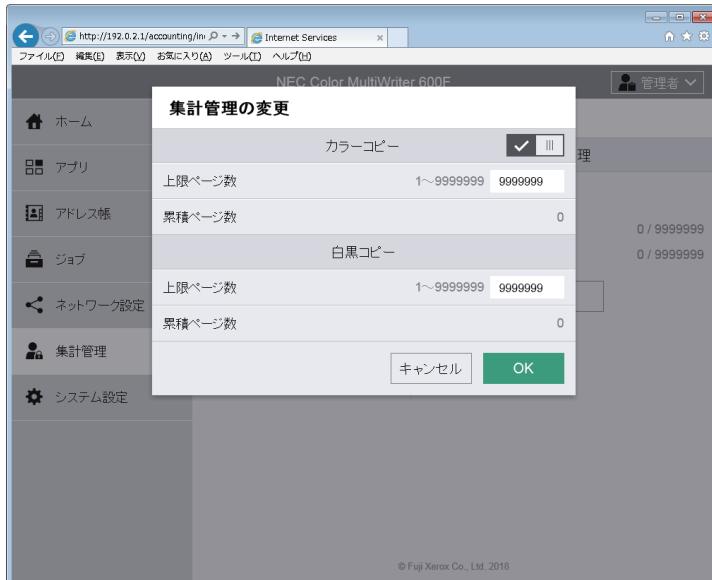


7. 追加されたユーザーアカウントをクリックします。

8. [編集] をクリックします。



**9. [カラーコピー] の横の  をクリックし、チェックマークを非表示にします。**



**10. [OK] をクリックします。**

## カラー／白黒コピーの上限ページ数を設定する

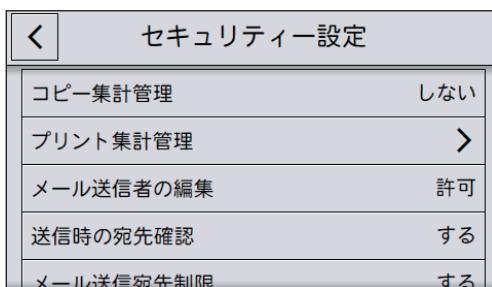
カラーまたは白黒でコピーできるページ数の上限を設定します。

### ●操作パネルでコピー集計管理機能を有効にする

1.  〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [セキュリティ設定] > [コピー集計管理] をタップします。



4. [する] をタップします。

## ●CentreWare Internet Servicesでユーザー登録と利用制限の設定をする

ユーザーのアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を本機に登録し、コピーの利用制限を設定します。設定を行うには、CentreWare Internet Servicesに機械管理者としてログインする必要があります。

1. 本機のIP アドレスをWeb ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。



- ・本機のIP アドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。



- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

#### 4. 画面左の領域にある [集計管理] をクリックします。



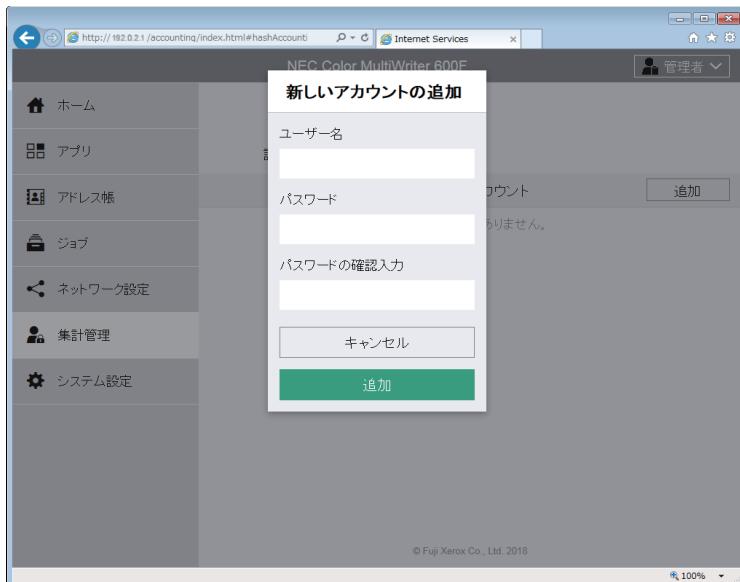
#### 5. [追加] をクリックします。



## 6. [ユーザー名]、[パスワード]、および [パスワードの確認入力] を設定し、[追加] をクリックします。



- ・ユーザー名とパスワードに入力できる文字数は以下になります。  
ユーザー名：1～32（半角英数字、記号）  
パスワード：4～12（半角英数字、記号）
- ・ユーザー名に次の記号は使用できません。  
"+ ; < > ?[ ] ` { } |



ユーザー アカウントが追加されます。

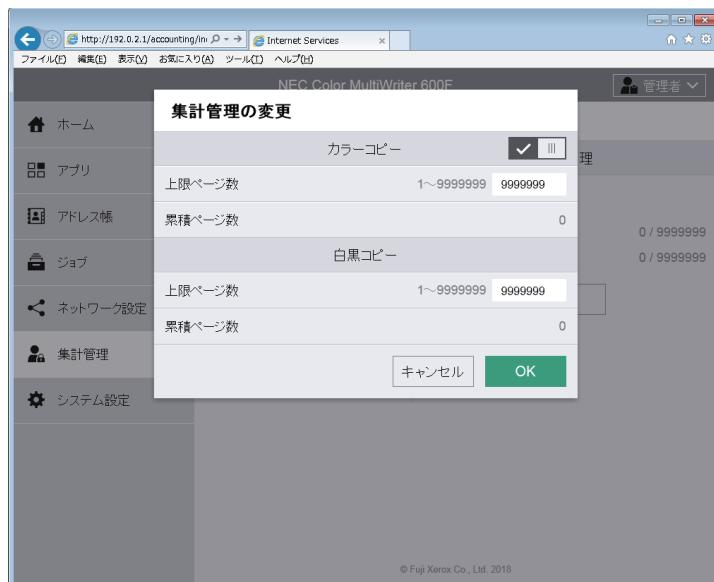


## 7. 追加されたユーザー アカウントをクリックします。

## 8. [編集] をクリックします。



## 9. [カラーコピー] の下の [上限ページ数] に任意の数値を入力します。



## 10. [白黒コピー] の下の [上限ページ数] に任意の数値を入力します。

### 11. [OK] をクリックします。

## 10.5.4 コピー集計管理機能を使う

コピー集計管理機能が有効の場合、登録ユーザーがコピー機能を利用するときは、本機に登録されているユーザーアカウントにログインします。

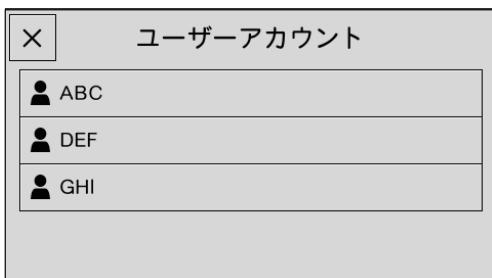
### ●ログインする

#### 1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。

## 2. [コピー] または [ID カードコピー] をタップします。



## 3. ログインするユーザーアカウントをタップします。



## 4. パスワードを入力し、[OK] をタップします。

ログインすると、画面右上にユーザー名が表示されます。



### 補足

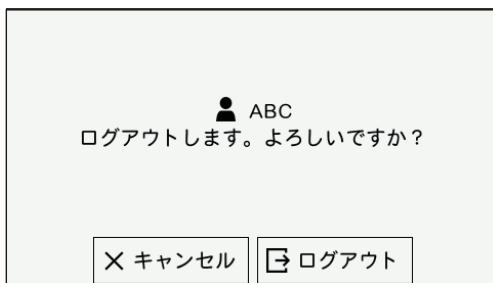
- ・本機は次の場合、自動的にログアウトします。
  - スリープモードに移行したとき
  - 本機を何も操作しない状態で、[オートクリア移行時間] で設定した時間が経過したとき

## ●ログアウトする

1. 亂 **ホーム** ボタンを押します。
2. 亂 画面右上のユーザー名をタップします。



### 3. [ログアウト] をタップします。



## 10.5.5 コピーの利用状況を確認する

集計管理レポートを出力して、コピーの利用制限の設定状況と出力したページ数の合計を確認できます。



- ・集計管理レポートの出力方法については、「ユーザー別、用紙サイズ別に確認する (P.335)」を参照してください。

# 10.6 ユーザー認証機能を使う

## 10.6.1 概要

ユーザー認証機能を有効にすると、本機に登録されたユーザー（登録ユーザー）に各機能の利用を許可し、登録されていないユーザー（ゲストユーザー）に対して利用できる機能を制限できます。さらに、登録ユーザーごとに利用できる機能を制限することもできます。

登録ユーザーが本機を利用するときは、操作パネルから登録ユーザーのアカウントにログインします。ログインせずに本機を利用する場合、ゲストユーザーとして扱われます。

制限できる機能は次のとおりです。

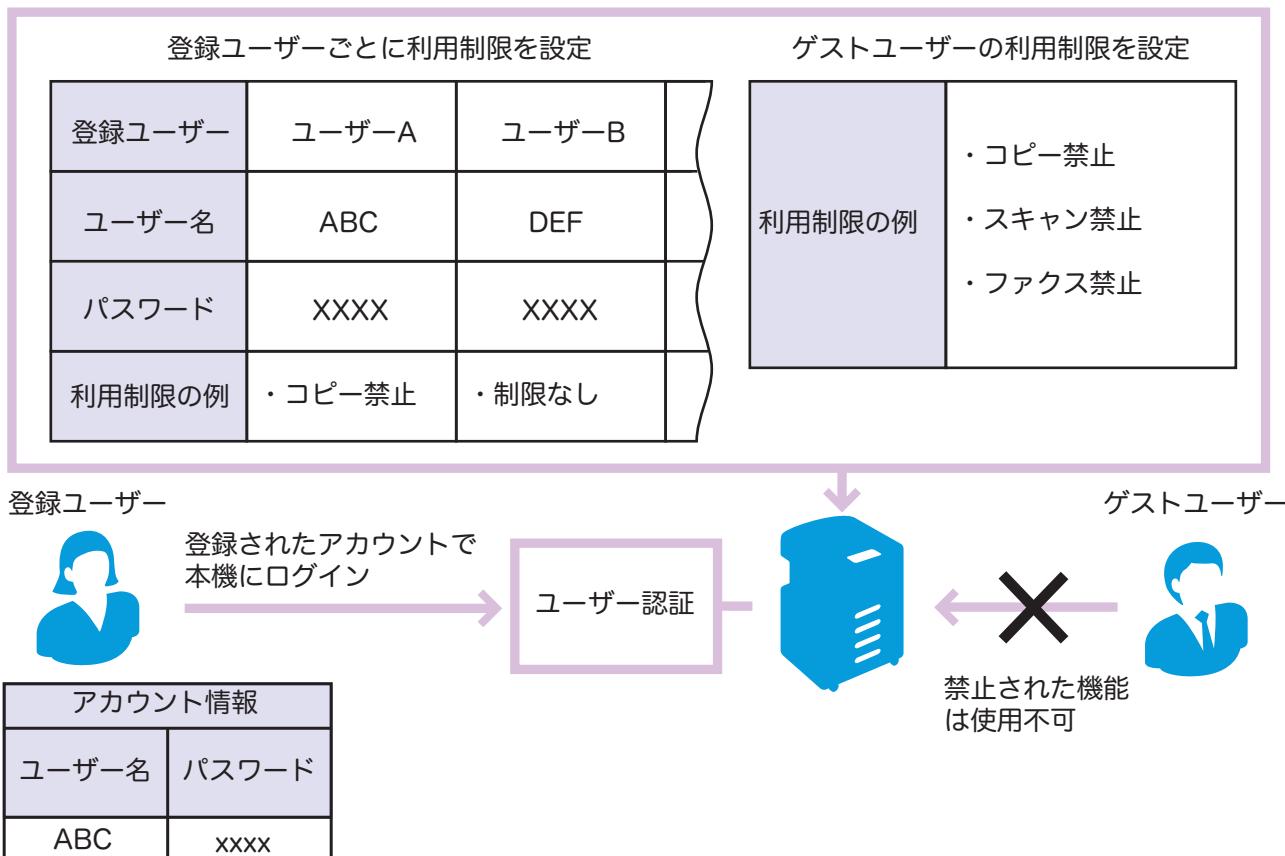
- ・ ホーム画面と機能ボタンのカスタマイズ
- ・ コピー
- ・ スキャン（[スキャナー（メール送信）] / [スキャナー（ネットワーク）] / [スキャナー（WSD）]
- ・ ファクス送信\*

\* ダイレクトファクス機能は制限されません。ファクス受信モードが「手動受信」に設定されている場合は、ファクスの受信も制限されます。

### 補足

- ・ ユーザー認証機能は、「パネルロック設定」を有効にし、「コピー集計管理」を無効にしたときに使用できます。設定については、「[パネルロック] (P.221)」および「[コピー集計管理] (P.223)」を参照してください。
- ・ 「サービスロック」で制限されている機能は、ユーザー認証機能で利用が許可されていても使用できません。「サービスロック」の設定については、「[サービスロック] (P.222)」を参照してください。
- ・ 最大で50ユーザーまで登録できます。

次の図は、ユーザー認証の機能概要を示しています。



ユーザー認証機能の設定から利用までの作業フローは、次のとおりです。

「操作パネルでパネル操作制限とユーザー認証機能を有効にする (P.295)」



「CentreWare Internet Services でユーザー登録と利用制限の設定をする (P.296)」



「ユーザー認証機能を使う (P.301)」

## 10.6.2 ユーザー認証機能を設定する

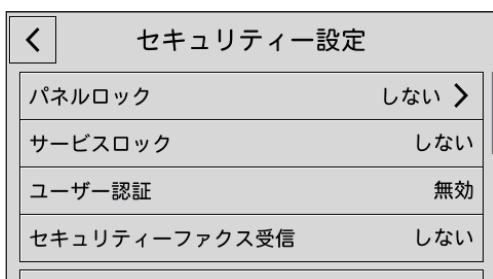
ユーザー認証機能を使うには、操作パネルおよびCentreWare Internet Servicesでの設定が必要です。

### 操作パネルでパネル操作制限とユーザー認証機能を有効にする

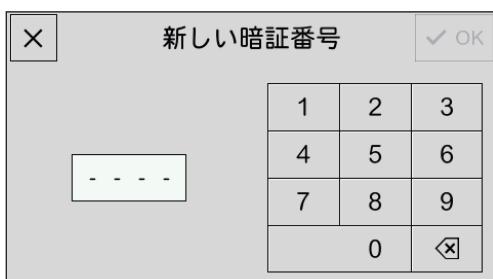
1. ①〈ホーム〉ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



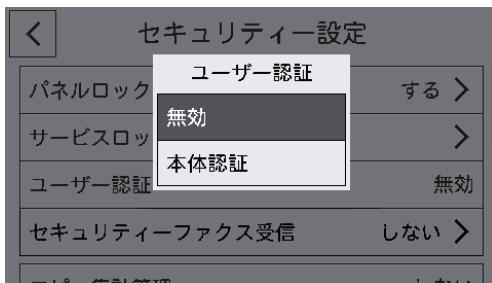
3. [セキュリティ設定] > [パネルロック] をタップします。



4. [パネルロック設定] の ② をタップしてチェックマークを表示します。
5. 4 行の暗証番号を入力し、[OK] をタップします。



6. 暗証番号を再度入力し、[OK] をタップします。
7. [ ] をタップします。
8. [ユーザー認証] > [本体認証] をタップします。



9. [OK] をタップします。

## CentreWare Internet Servicesでユーザー登録と利用制限の設定をする

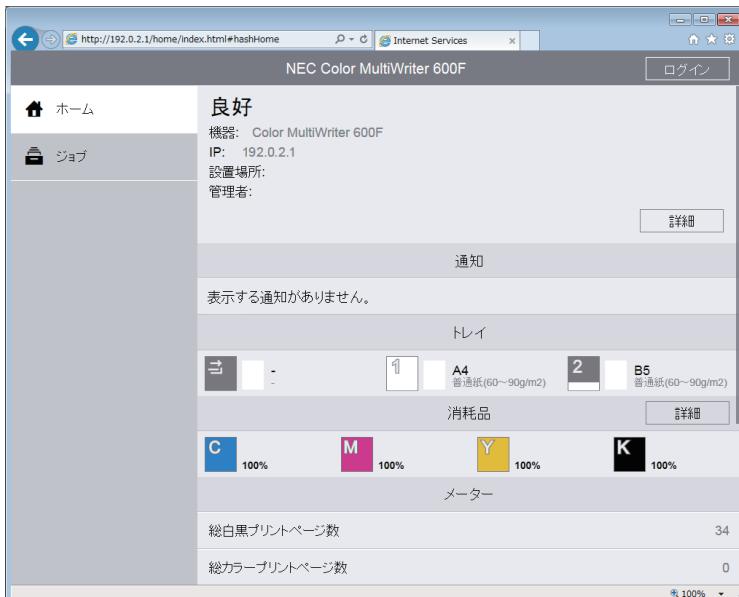
ユーザーのアカウント情報（ユーザー名とパスワード）を登録し、ゲストユーザーに対して各機能の利用制限を設定します。さらに、必要に応じて登録ユーザーに対して各機能の利用制限を設定します。設定を行うには、CentreWare Internet Servicesに機械管理者としてログインする必要があります。

1. 本機のIP アドレスをWeb ブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。



・本機の IP アドレスを確認するには、操作パネルの [ ] 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



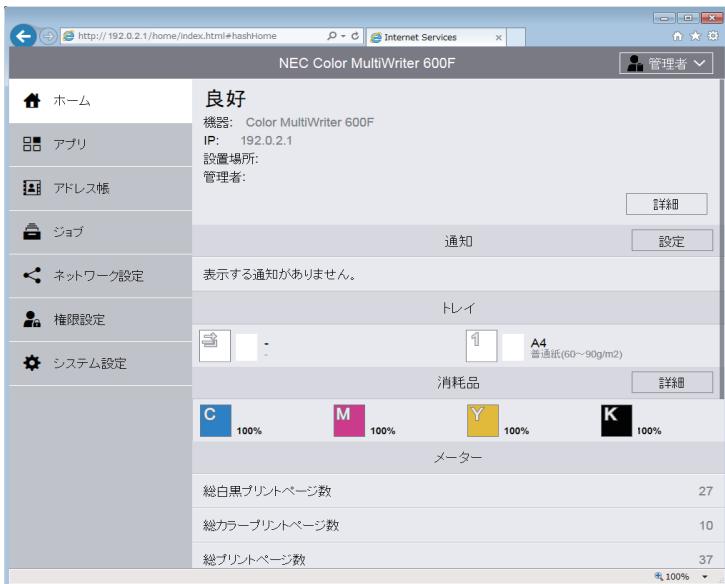
・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

### 3. 機械管理者の【ユーザー名】と【パスワード】を入力し、【ログイン】をクリックします。

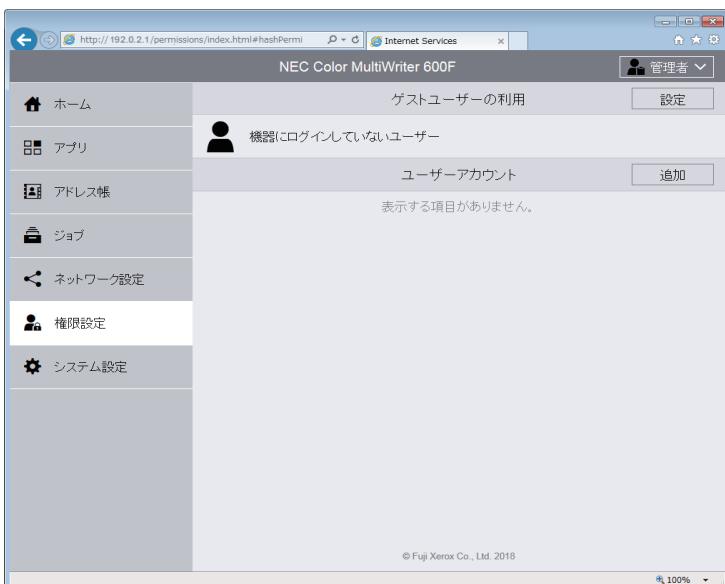


・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

### 4. 画面左の領域にある【権限設定】をクリックします。



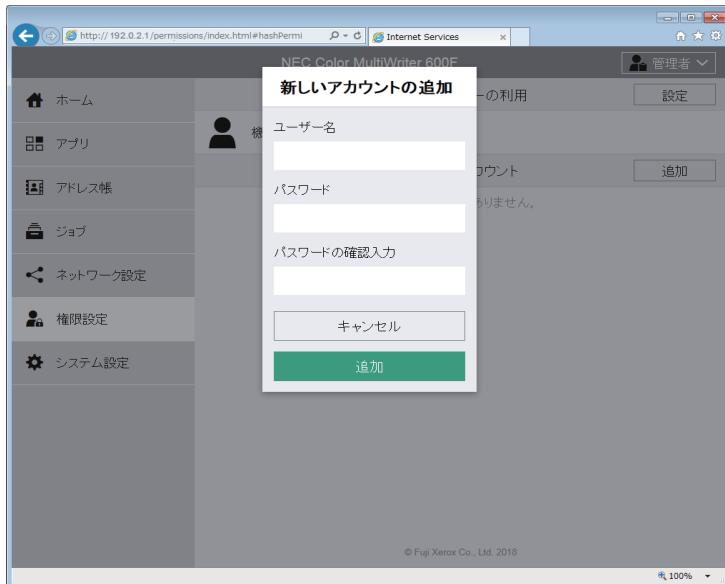
### 5. 【追加】をクリックします。



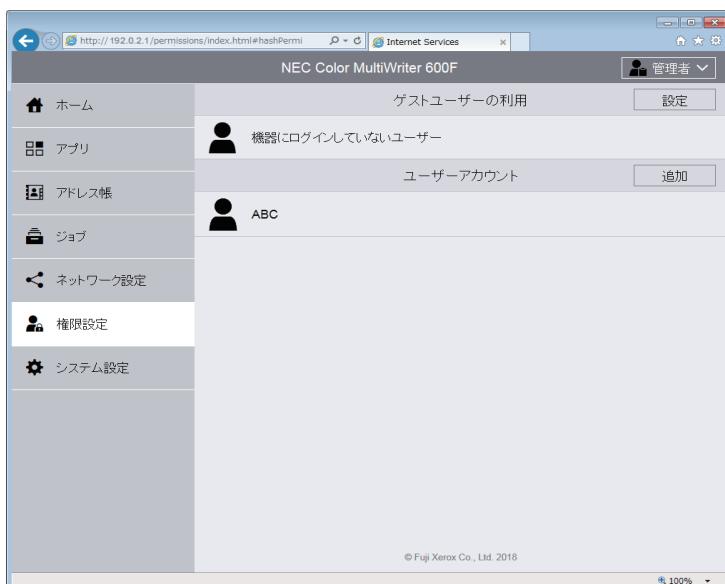
## 6. [ユーザー名]、[パスワード]、および [パスワードの確認入力] を設定し、[追加] をクリックします。



- ・ユーザー名とパスワードに入力できる文字数は以下になります。  
ユーザー名：1～32（半角英数字、記号。日本語の場合は最大10文字。）  
パスワード：4～128（半角英数字、記号）



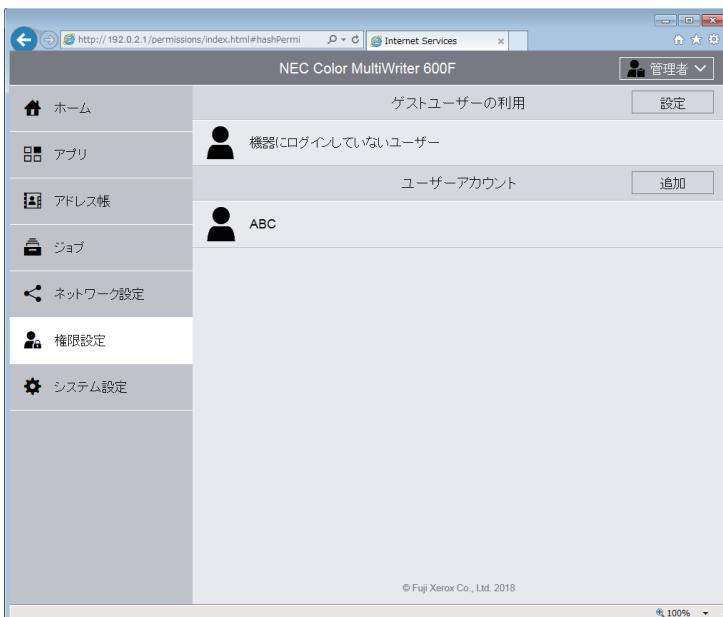
ユーザー アカウントが追加されます。



## 7. 必要に応じて手順 5 から 6 を繰り返し、ユーザー アカウントを追加します。

## 8. 各機能の利用制限を設定します。

- ゲストユーザーの利用を制限する場合  
a[設定] をクリックします。



b任意の項目をクリックし、設定を変更します。

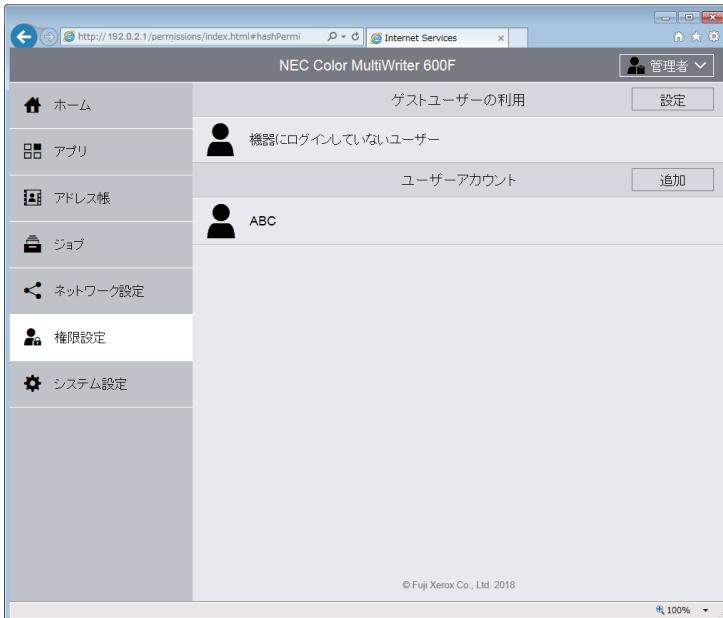


・設定項目については、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。



c[OK] をクリックします。

- ・登録ユーザーの利用を制限する場合  
**a**追加されたユーザーアカウントをクリックします。



**b**[編集] をクリックします。



**C**任意の項目をクリックし、設定を変更します。



### 参照

- ・設定項目については、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。



**d**[OK] をクリックします。

## 10.6.3 ユーザー認証機能を使う

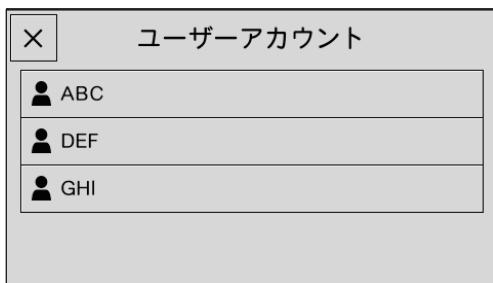
ユーザー認証機能が有効の場合、登録ユーザーが本機を利用するときは、本機に登録されているユーザー アカウントにログインします。ログインせずに本機を利用する場合、ゲストユーザーとして扱われます。

### ●ログインする

1. 亂 **〈ホーム〉** ボタンを押します。
2. 亂 画面右上の [ログイン] をクリックします。



### 3. ログインするユーザーアカウントをタップします。



### 4. パスワードを入力し、[OK] をタップします。

ログインすると、画面右上にユーザー名が表示されます。



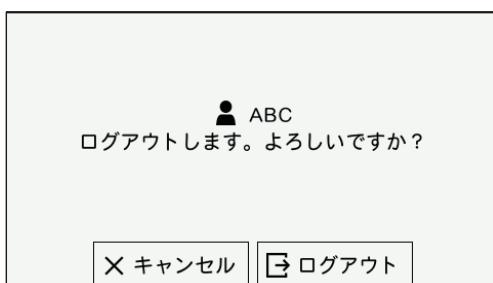
- ・本機は次の場合、自動的にログアウトします。
  - スリープモードに移行したとき
  - 本機を何も操作しない状態で、[オートクリア移行時間] で設定した時間が経過したとき

## ●ログアウトする

1. ① <ホーム> ボタンを押します。
2. 画面右上のユーザー名をタップします。



### 3. [ログアウト] をタップします。



# 10.7 暗号化機能を使う

暗号化機能を使うと、データを暗号化して通信できるようになります。データの盗聴や改ざんを防止できます。本機で暗号化機能を使うには、電子証明書が必要になります。

## 💡 補足

- ・本機で使用できる電子証明書は次のとおりです。
  - CentreWare Internet Servicesを使って作成した自己証明書
  - 認証局（CA）によって署名された証明書
- ・本機にインポートできる電子証明書の規格は次のとおりです。
  - PKCS#12（DER形式）
  - PKCS#7（DER形式）（CSR用）

暗号化機能の設定にはCentreWare Internet Servicesを使います。

## 10.7.1 事前準備をする

### SSL/TLSサーバー通信を有効にする

電子証明書を使った暗号化機能を使う前に、SSL/TLSサーバー通信を有効にします。

1. 本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

## 💡 補足

- ・本機のIPアドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

2. 画面右上の【ログイン】をクリックします。



## 💡 補足

- ・画面右上に【一般ユーザー】と表示されている場合は、手順4に進みます。

3. 機械管理者の【ユーザー名】と【パスワード】を入力し、【ログイン】をクリックします。

## 💡 補足

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

4. 画面左の領域にある【システム設定】をクリックします。

- 5.** [セキュリティ] をクリックします。
- 6.** [SSL/TLS設定] をクリックします。
- 7.** [HTTP-SSL/TLS通信] の  をクリックしてチェックマークを表示します。



- 8.** [OK] をクリックします。
- 9.** [今すぐ再起動] をクリックします。
- 10.** 本機の再起動が完了したら、[更新] をクリックします。

## 電子証明書を設定する

CentreWare Internet Servicesを使って作成した自己証明書と認証局（CA）によって署名された証明書で設定手順が異なります。

### ●自己証明書を作成して使う場合

- 1.** 本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

#### **補足**

- ・本機のIPアドレスを確認するには、操作パネルの  「ホーム」ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

## 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



### 補足

- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

## 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

### 補足

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

## 4. 画面左の領域にある [システム設定] をクリックします。

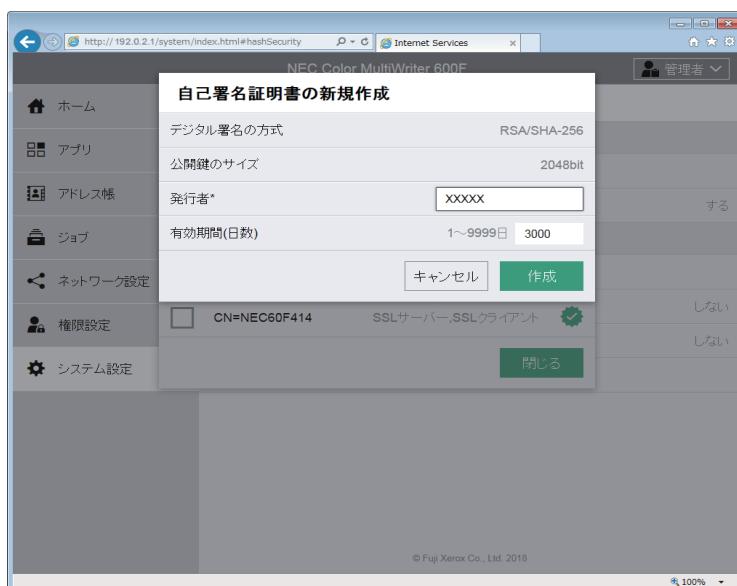
## 5. [セキュリティー] をクリックします。

## 6. [証明書設定] をクリックします。

## 7. [機器の証明書] が選択されていることを確認し、[作成] をクリックします。

## 8. [自己署名証明書の作成] をクリックします。

## 9. [デジタル署名の方式] からデジタル署名の方式を選びます。



## 10. [公開鍵のサイズ] から公開鍵のサイズを選びます。

**11.** [有効期間(日数)] に証明書の有効期間を設定します。

**12.** [作成] をクリックします。

**13.** [閉じる] をクリックします。

## ●認証局 (CA) によって署名された証明書を使う場合

認証局 (CA) によって署名された証明書を使う場合は、証明書署名要求 (CSR) を作成し、認証局 (CA) から証明書を受け取ります。

### 証明書署名要求 (CSR) を作成する

**1.** 本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

#### 補足

- ・本機のIPアドレスを確認するには、操作パネルの  〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

**2.** 画面右上の [ログイン] をクリックします。



#### 補足

- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

**3.** 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

#### 補足

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

**4.** 画面左の領域にある [システム設定] をクリックします。

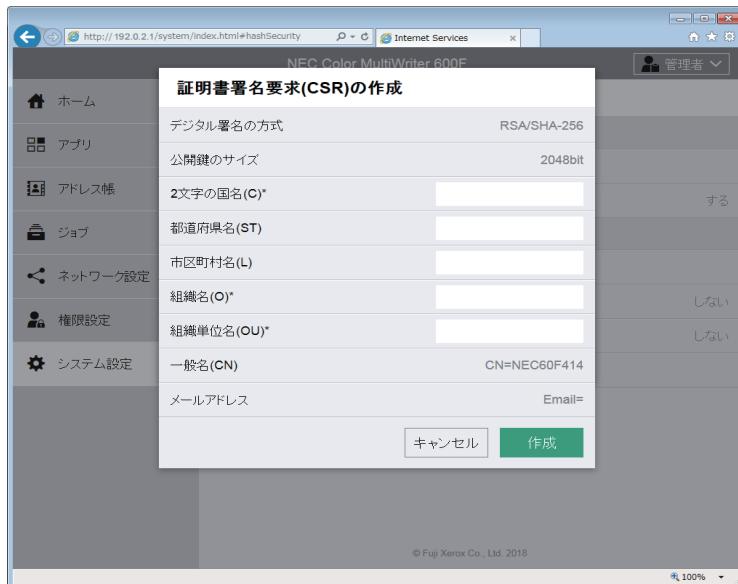
**5.** [セキュリティー] をクリックします。

**6.** [証明書設定] をクリックします。

**7.** [機器の証明書] が選択されていることを確認し、[作成] をクリックします。

**8.** [証明書署名要求(CSR)の作成] をクリックします。

## 9. 各項目を設定します。



## 10. [作成] をクリックします。

CSRがコンピューターに保存されます。

### ! 注記

- CSRをエクスポートしたあと、証明書のインポートが終わるまでの間に、新しくCSRをエクスポートしないでください。CSRに対応した秘密鍵が本機に保存されているため、新しくCSRを再生成すると証明書との整合がとれなくなり、正しくインポートできなくなります。

## 11. CSRを認証局（CA）に送付して、CA署名証明書を受け取ります。

### ! 補足

- CSRの送付方法については、ご利用の認証局（CA）に従ってください。

## 認証局（CA）によって署名された証明書をインポートする

### ! 注記

- 電子証明書ファイルをインポートする前に、電子証明書ファイルのバックアップをとってください。

### ! 補足

- 電子証明書は必ずInternet Explorerでインポートしてください。
- PKCS#12形式の証明書のインポート後、エクスポートを実行しても秘密鍵はエクスポートされません。

## 1. 本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

### ! 補足

- 本機のIPアドレスを確認するには、操作パネルの ホームボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

## 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



### 補足

- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

## 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

### 補足

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

## 4. 画面左の領域にある [システム設定] をクリックします。

## 5. [セキュリティ] をクリックします。

## 6. [証明書設定] をクリックします。

## 7. [機器の証明書] をクリックして、[信頼する認証局の証明書]、または [中間認証局の証明書] を選びます。

## 8. [インポート] をクリックします。

## 9. [参照] をクリックして、インポートするファイルを選びます。

## 10. インポートする証明書ファイルに対応するパスワードを入力します。

### 補足

- ・PKCS#7形式（ファイル名の拡張子がp7bになっているもの）の証明書をインポートするときはパスワードの入力は不要です。

## 11. 確認用のパスワードを再入力します。

## 12. [インポート] をクリックします。

## 利用する証明書を選ぶ

## 1. 本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

### 補足

- ・本機のIPアドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉 ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

## 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



### 補足

- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

## 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

### 補足

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

## 4. 画面左の領域にある [システム設定] をクリックします。

## 5. [セキュリティ] をクリックします。

## 6. [証明書設定] をクリックします。

## 7. [機器の証明書] をクリックして、[信頼する認証局の証明書]、[中間認証局の証明書]、または [その他の証明書] を選びます。

## 8. 使用する証明書をクリックします。

## 9. 内容を確認します。

### 補足

- ・選んだ証明書の [証明書の状態] 列に [有効] が表示されていることを確認します。

## 10. [閉じる] をクリックします。

## 11. [SSL/TLS設定] をクリックします。

## 12. [機器の証明書-サーバー] をクリックし、使用する証明書を選択します。



## 13. [OK] をクリックします。

## 14. [今すぐ再起動] をクリックします。

## 15. 本機の再起動が完了したら、[更新] をクリックします。



・電子証明書の削除やエクスポートについては、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

## 10.7.2 暗号化機能を設定する

次の暗号化機能を利用できます。

- ・ HTTP通信/IPP印刷の暗号化
- ・ SMTP通信の暗号化
- ・ LDAP通信の暗号化
- ・ WPA-Enterpriseでの無線LAN接続

### HTTP通信/IPP印刷の暗号化

Webブラウザーと本機の通信を暗号化した場合は、Webブラウザーのアドレス欄には「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

- ・ IPアドレスの入力例  
https://192.0.2.1/ (IPv4の場合)  
https://[2001:DB8::1234]/ (IPv6の場合)
- ・ インターネットアドレスの入力例  
https://myhost.example.com/

IPPの通信（インターネット印刷）を暗号化する場合は、お使いのコンピューターに本機を追加するときに、本機のURLとして、「http」ではなく「https」から始まるアドレスを入力します。

## SMTP通信の暗号化

1. 本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

### 補足

・本機のIPアドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



### 補足

・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

### 補足

・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

4. 画面左の領域にある [システム設定] をクリックします。
5. [セキュリティ] をクリックします。
6. [SSL/TLS設定] をクリックします。
7. [SMTP - SSL/TLS通信] をクリックして、接続方法を選択します。
8. [OK] をクリックします。

## LDAP通信の暗号化

1. 本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

### 補足

・本機のIPアドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

## 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



### 補足

- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

## 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

### 補足

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

## 4. 画面左の領域にある [システム設定] をクリックします。

## 5. [セキュリティ] をクリックします。

## 6. [SSL/TLS設定] をクリックします。

## 7. [LDAP - SSL/TLS通信] の をクリックしてチェックマークを表示します。

## 8. [OK] をクリックします。

## 9. [今すぐ再起動] をクリックします。

## 10. 本機の再起動が完了したら、[更新] をクリックします。

# WPA-Enterpriseでの無線LAN接続

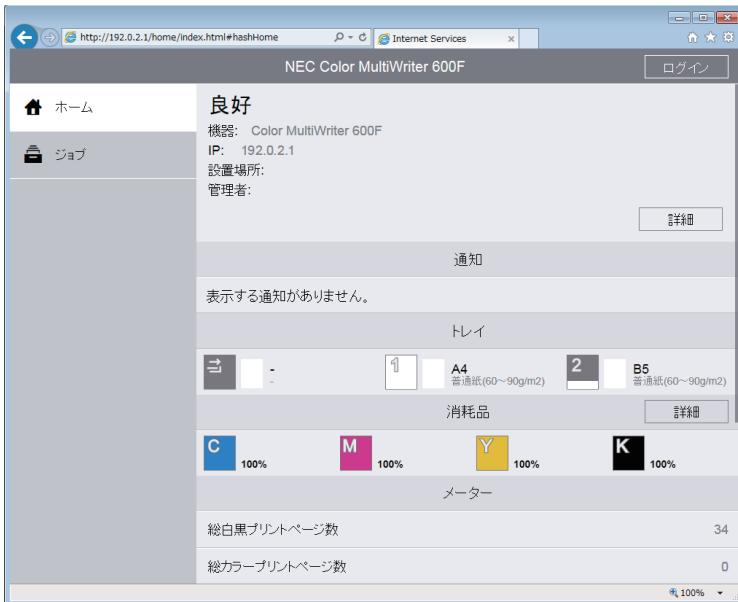
## ●EAP-TLSの場合

### 1. 本機のIPアドレスをWebブラウザに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

### 補足

- ・本機のIPアドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉 ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

## 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



### 補足

- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

## 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

### 補足

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

## 4. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] をクリックします。

## 5. [接続設定] の [Wi-Fi] をクリックします。

## 6. [セキュリティー設定] の [暗号化方式] から、[WPA2 Enterprise] を選びます。

### 補足

- ・[ネットワークの種類] で [インフラストラクチャーモード] が設定されているときに使用できます。

## 7. [認証方式] から、[EAP-TLS] を選びます。

## 8. [ルート証明書] をクリックし、ルート証明書を選びます。

## 9. [クライアント証明書] をクリックし、クライアント証明書を選びます。

## 10. [EAP-Identity] を設定します。

## 11. [OK] をクリックします。

## 12. [今すぐ再起動] をクリックします。

## 13. 本機の再起動が完了したら、[更新] をクリックします。

## ●PEAPv0 MS-CHAPv2／EAP-TTLS/PAP／EAP-TTLS/CHAPの場合

## 1. 本機のIPアドレスをWebブラウザーに入力して、CentreWare Internet Servicesを起動します。

### 補足

- ・本機のIPアドレスを確認するには、操作パネルの 〈ホーム〉 ボタンを押し、[機器設定] > [機器情報] をタップします。

## 2. 画面右上の [ログイン] をクリックします。



### 補足

- ・画面右上に [一般ユーザー] と表示されている場合は、手順4に進みます。

## 3. 機械管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

### 補足

- ・ユーザー名およびパスワードの初期値については、「機械管理者としてログインする (P.240)」を参照してください。

## 4. 画面左の領域にある [ネットワーク設定] をクリックします。

## 5. [接続設定] の [Wi-Fi] をクリックします。

## 6. [セキュリティー設定] の [暗号化方式] から、[WPA2 Enterprise] を選びます。

### 補足

- ・[ネットワークの種類] で [インフラストラクチャーモード] が設定されているときに使用できます。

## 7. [認証方式] で、[PEAPv0 MS-CHAPv2]、[EAP-TTLS/PAP]、または [EAP-TTLS/CHAP] を選びます。

## 8. [ルート証明書] をクリックし、ルート証明書を選択します。

## 9. [EAP-Identity]、[ログイン名]、[パスワード]、および [パスワードの確認入力] を設定します。

## 10. [OK] をクリックします。

## 11. [今すぐ再起動] をクリックします。

## 12. 本機の再起動が完了したら、[更新] をクリックします。

# 11 日常管理

|      |                     |     |
|------|---------------------|-----|
| 11.1 | 消耗品を交換する.....       | 316 |
| 11.2 | 清掃する .....          | 328 |
| 11.3 | 出力したページ数を確認する ..... | 335 |

# 11.1 消耗品を交換する

## ⚠️ 警告

- ・こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。  
本製品内およびトナーカートリッジ、トナーリサイクルボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。  
掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。  
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。  
大量にこぼれた場合、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
- ・トナーカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ずお買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。
- ・トナーリサイクルボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーリサイクルボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ずお買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

## ⚠️ 注意

- ・ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- ・ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。  
また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- ・次の事項に従って、応急処置をしてください。
  - ・トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
  - ・トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで15分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
  - ・トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
  - ・トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

## 💡 注記

- ・電源スイッチを切って作業する場合は、データランプが消えていることを確認してから行ってください。本機の電源を切ると、メモリー内の印刷データや蓄積データは消去されます。

## 消耗品/有寿命部品（定期交換部品、有償）の取り扱いについて

- ・消耗品/有寿命部品（定期交換部品、有償）の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- ・消耗品/有寿命部品（定期交換部品、有償）は、使用するまでは開封しないで、次のような場所を避けて保管してください。
  - 高温多湿の場所
  - 火気がある場所
  - 直射日光が当たる場所
  - ほこりが多い場所
- ・消耗品/有寿命部品（定期交換部品、有償）を使用するときは、取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。取り扱い上の注意は、消耗品/有寿命部品（定期交換部品、有償）に同梱されているか、消耗品/有寿命部品（定期交換部品、有償）の箱や容器に記載されています。
- ・消耗品/有寿命部品（定期交換部品、有償）は、予備を用意することをお勧めします。
- ・消耗品/有寿命部品（定期交換部品、有償）を発注するときは、商品コードを確認のうえ、弊社の商品センターまたは販売店にご注文ください。
- ・弊社が推奨していない消耗品/有寿命部品（定期交換部品、有償）を使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨する消耗品/有寿命部品（定期交換部品、有償）をご使用ください。

## 11.1.1 トナーカートリッジを交換する

### 概要

トナーの残量によって、次のようなメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。メッセージは、イエロートナーカートリッジの場合を例にしています。

| メッセージ                      | 残り印字可能ページ数*                     | 本機の状態および処置                                |
|----------------------------|---------------------------------|---|
| 「トナーカートリッジイエロー [Y] の予備を用意」 | 2,000 ページ (K)、1,600 ページ (C/M/Y) | トナー残量が少なくなっています。新しいトナーカートリッジを用意してください。    |
| 「トナー [Y] 交換」               | -                               | トナーカートリッジが空になっています。新しいトナーカートリッジに交換してください。 |

\* 印字可能ページ数は、A4□の用紙を使用した場合の枚数です。印字できる残りのページ数は、印字条件、文書の内容、および本機の電源を入れる／切る頻度によって異なります。

#### ! 注記

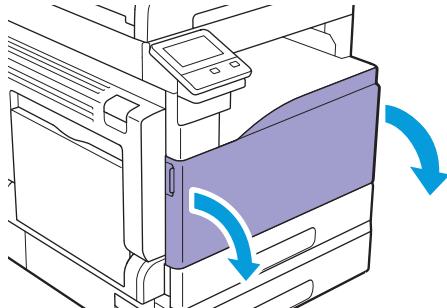
- トナーがこぼれるおそれがありますので、使用済みトナーカートリッジを床やテーブルに置く場合は、トナーカートリッジの下に紙を敷いてください。
- 本機から取り外した古いトナーカートリッジは、再度使用しないでください。印字品質が低下する場合があります。
- 使用済みトナーカートリッジは、振ったり衝撃を与えたいためください。残っているトナーがこぼれるおそれがあります。
- トナーカートリッジの交換時期になると、新しいトナーカートリッジに交換するまで印刷できません。
- トナーカートリッジは、パッケージから取り出してから1年以内に使い切ることをおすすめします。
- 弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジをご使用ください。

## トナーカートリッジを交換する

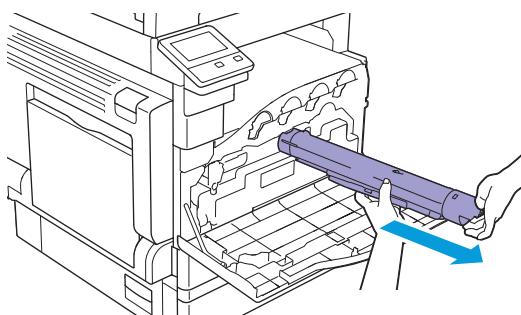
### 1. 本機が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

#### 💡 補足

- トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源は入れたままの状態にしておいてください。



## 2. トナーカートリッジの取っ手を持ち、引き出します。



### 注記

- トナーカートリッジはゆっくりと取り出してください。トナーが飛び散ることがあります。

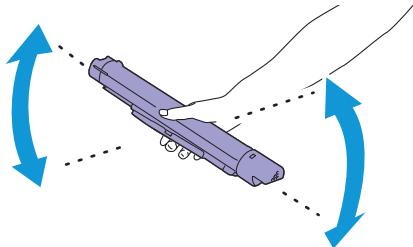


### 補足

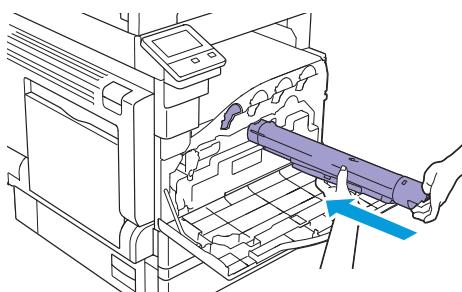
- 使用済みのトナーカートリッジは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお渡しください。

## 3. 取り出したトナーカートリッジと同じ色の、新しいトナーカートリッジを用意します。

## 4. トナーが均等になるように、新しいトナーカートリッジを軽く10回上下左右に振ります。



## 5. トナーカートリッジの矢印（↑）部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込みます。



## 6. フロントカバーを閉じます。

## 11.1.2 ドラムカートリッジを交換する

### 概要

ドラムカートリッジの交換時期になると、次のようなメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。

| メッセージ                       | 残り印字可能ページ数* | 本機の状態および処置   |
|-----------------------------|-------------|--|
| 「ドラムカートリッジ [R1] を準備してください。」 | 約500ページ     | ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。ドラムカートリッジを準備してください。           |
| 「ドラムカートリッジ [R1] の予備を用意」     | 約100ページ     | ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。ドラムカートリッジの予備を用意してください。        |
| 「ドラムカートリッジ [R1] 交換」         | -           | ドラムカートリッジの交換時期になりました。本機が停止します。新しいドラムカートリッジに交換してください。 |

\* 印字可能ページ数は、A4□の用紙を使用した場合の枚数です。印字できる残りのページ数は、印字条件、文書の内容、および本機の電源を入れる／切る頻度によって異なります。

#### ! 注記

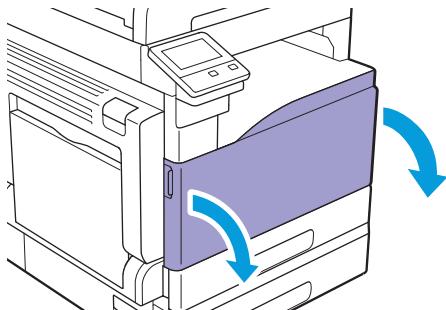
- 事前に【ドラムカートリッジ寿命時の動作】を【継続する】に設定しておくことで、ドラムカートリッジの交換時期になっても本機を停止させずに操作を続けることができます。ただし、印字品質の保証外となるため、新しいドラムカートリッジに交換することをおすすめします。設定については、「【ドラムカートリッジ寿命時の動作】(P.235)」を参照してください。

## ドラムカートリッジを交換する

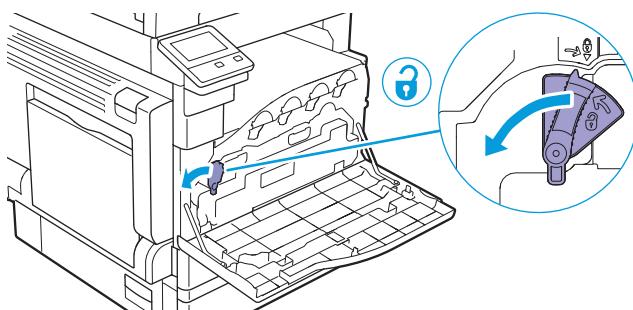
### 1. 本機が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

#### 💡 補足

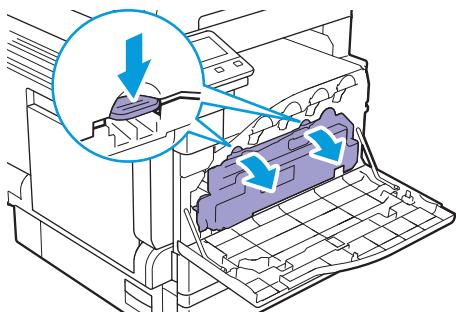
- ドラムカートリッジを交換するときは、本機の電源は入れたままの状態にしておいてください。



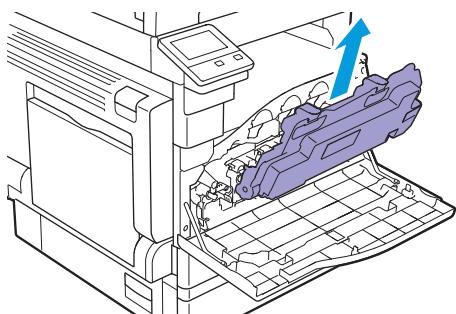
### 2. トナー回収ボトルのロックレバーを反時計回りに回します。



### 3. トナー回収ボトルのロックを解除します。

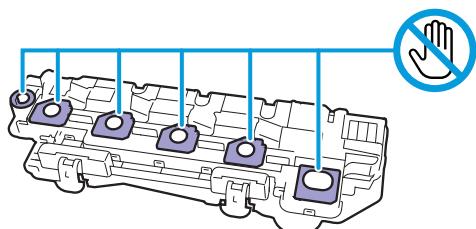


### 4. トナー回収ボトルをゆっくりと取り出し、トナーがこぼれないように、本機に接していた面を上に向けます。

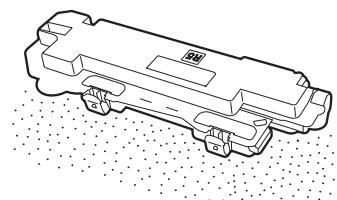


#### ! 注記

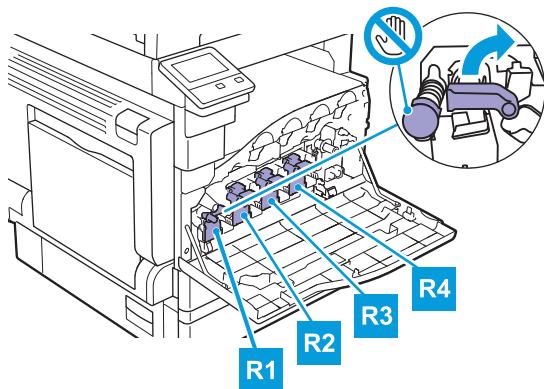
- トナー回収ボトルを取り出す際に、落とさないように注意してください。
- トナー回収ボトルの図に示した箇所を触らないようにしてください。トナーで手が汚れるおそれがあります。



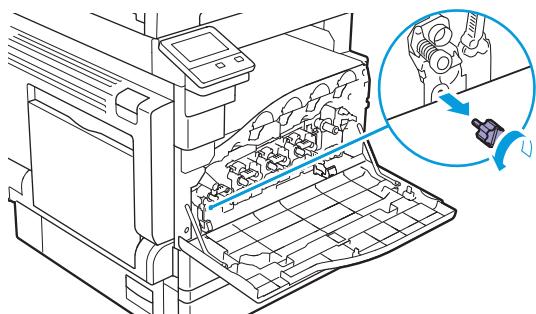
- トナー回収ボトルを図のように置かないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。



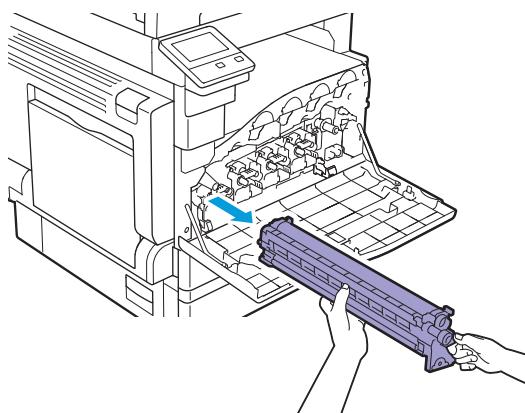
**5.** ドラムカートリッジのロックレバーを時計回りに回します。



**6.** ドラムカートリッジのねじを外します。



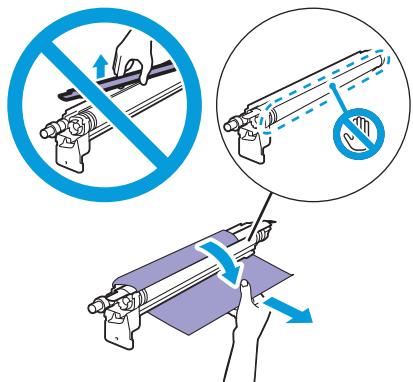
**7.** ドラムカートリッジを取り外します。



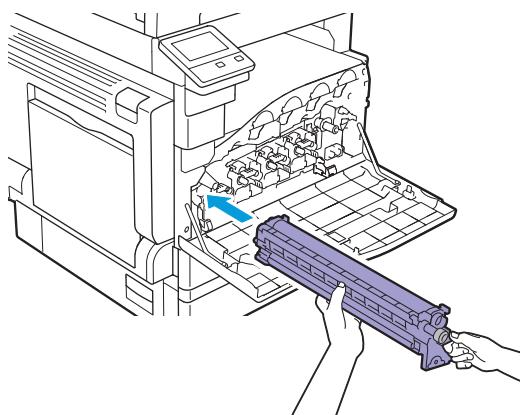
**8.** ドラムカートリッジに付属しているビニール袋に、使い終わったドラムカートリッジを入れます。

**9.** 新しいドラムカートリッジを用意します。

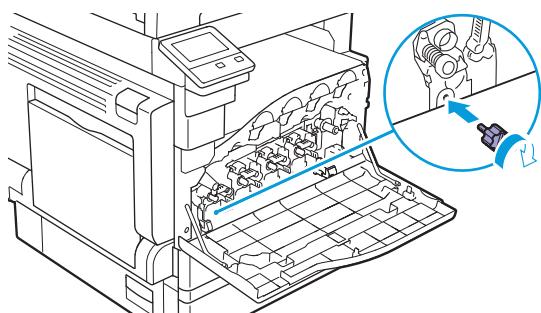
**10.** 保護カバーは取り外さず、ドラムカートリッジの保護シートだけを取り外します。



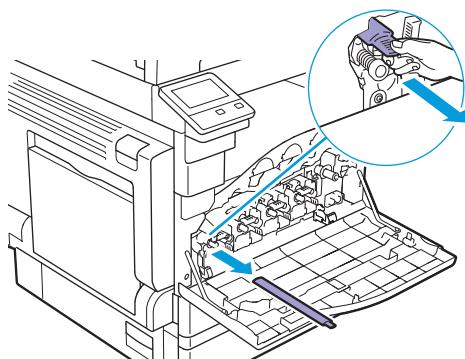
**11.** ドラムカートリッジを奥に突き当たるまで差し込みます。



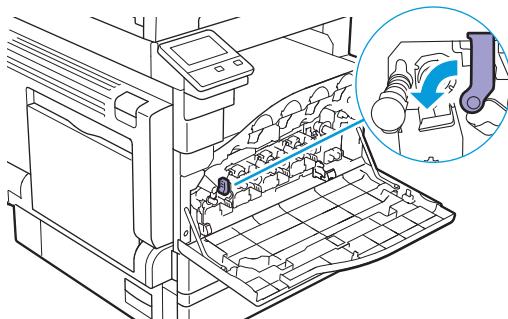
**12.** ドラムカートリッジのねじを締めます。



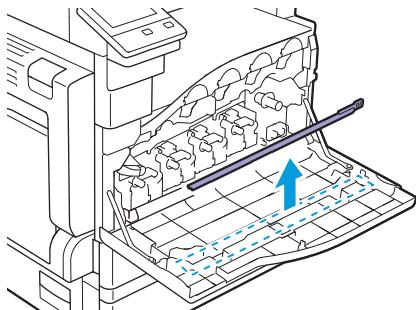
**13.** 保護カバーを取り外します。



**14.** ドラムカートリッジのロックレバーを反時計回りに回します。



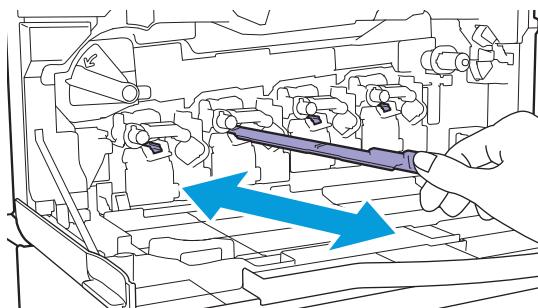
**15.** フロントカバー裏側から清掃棒を取り外します。



**16.** 交換したドラムカートリッジの清掃孔に、清掃棒を止まるまで差し込んでから、引き抜きます。

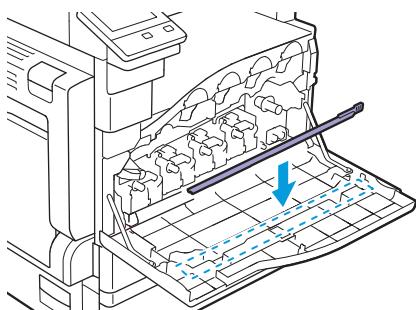
**補足**

- ・パッドの付いた面を上にして、清掃棒を差し込んでください。
- ・清掃棒を何度も出し入れする必要はありません。

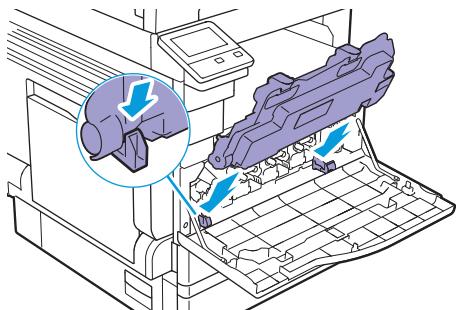


**17.** 残りの3つの穴に対しても、手順16を繰り返します。

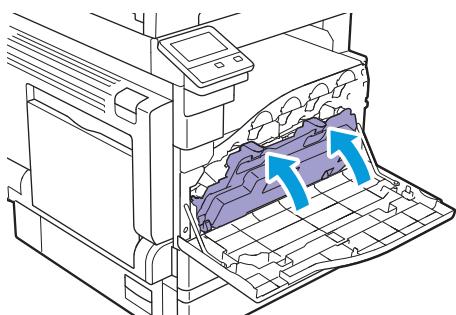
**18.** 清掃棒をフロントカバー裏側に戻します。



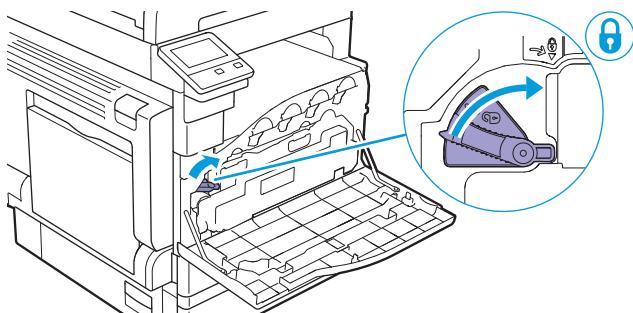
**19.** トナー回収ボトルの下部の2か所のくぼみを本機の突起部に合わせ、トナー回収ボトルを本機にセットします。



**20.** トナー回収ボトルを、カチッというまで押し込みます。



**21.** トナー回収ボトルのロックレバーを時計回りに回します。



**22.** フロントカバーを閉じます。

## 11.1.3 トナー回収ボトルを交換する

### 概要

トナー回収ボトルの交換時期になると、次のようなメッセージがタッチパネルディスプレイに表示されます。

| メッセージ                      | 残り印字可能ページ数* | 本機の状態および処置                                  |
|----------------------------|-------------|---|
| 「トナー回収ボトル [R5] を準備してください。」 | 約 1,000 ページ | トナー回収ボトルの交換時期が近づいています。新しいトナー回収ボトルを用意してください。 |
| 「トナー回収ボトル交換」               | -           | トナー回収ボトルの交換時期になりました。新しいトナー回収ボトルに交換してください。   |

\* 印字可能ページ数は、A4□の用紙を使用した場合の枚数です。印字できる残りのページ数は、印字条件、文書の内容、および本機の電源を入れる／切る頻度によって異なります。

#### ! 注記

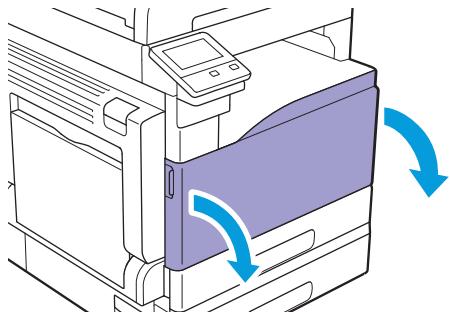
- トナー回収ボトルの裏側にあるグレーのスポンジ（5つ）には触らないでください。トナーで手が汚れるおそれがあります。
- トナー回収ボトルを交換するとき、トナーがこぼれ、床が汚れるおそれがあります。あらかじめ紙を敷くことをお勧めします。
- 弊社が推奨していないトナー回収ボトルを使用された場合、装置本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナー回収ボトルをご使用ください。

### トナー回収ボトルを交換する

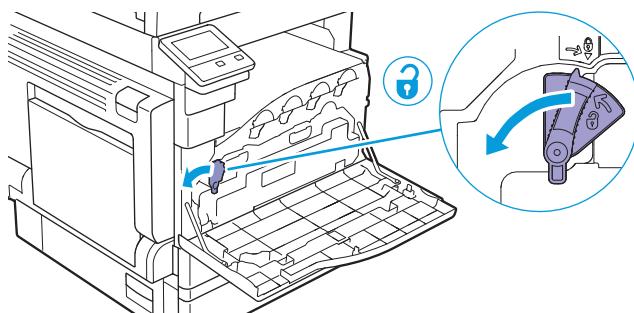
#### 1. 本機が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。

#### 💡 補足

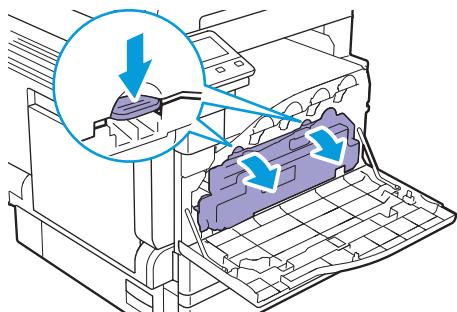
- トナー回収ボトルを交換するときは、本機の電源は入れたままの状態にしておいてください。



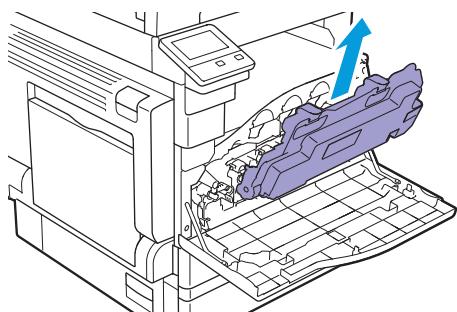
#### 2. ロックレバーを反時計回りに回します。



### 3. トナー回収ボトルのロックを解除します。

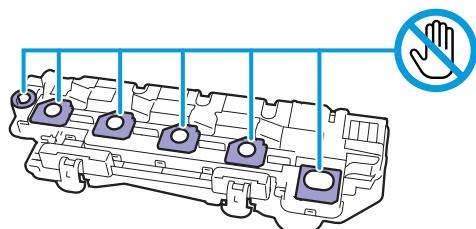


### 4. トナー回収ボトルをゆっくりと取り出し、トナーがこぼれないように、本機に接していた面を上に向けます。

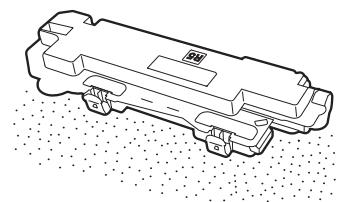


#### 注記

- トナー回収ボトルを取り出す際に、落とさないように注意してください。
- トナー回収ボトルの図に示した箇所を触らないようにしてください。トナーで手が汚れるおそれがあります。



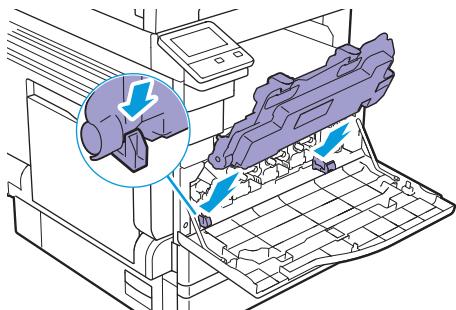
- トナー回収ボトルを図のように置かないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。



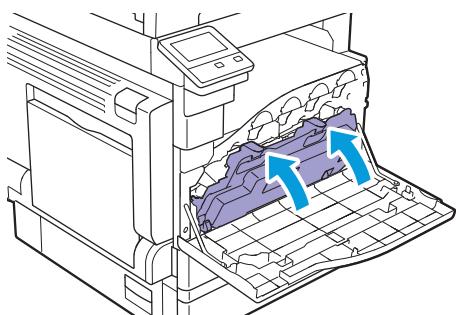
### 5. 新しいトナー回収ボトルに付属しているビニール袋に、使い終わったトナー回収ボトルを入れます。

### 6. 新しいトナー回収ボトルを用意します。

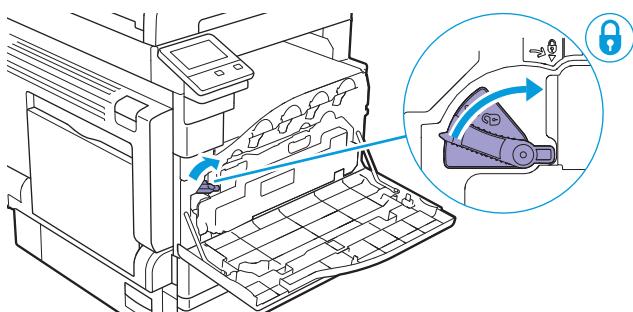
**7.** トナー回収ボトルの下部の2か所のくぼみを本機の突起部に合わせ、トナー回収ボトルを本機にセットします。



**8.** トナー回収ボトルを、カチッというまで押し込みます。



**9.** ロックレバーを時計回りに回します。



**10.** フロントカバーを閉じます。

# 11.2 清掃する

## ⚠ 警告

- ・機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

## ⚠ 注意

- ・機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

## ❗ 注記

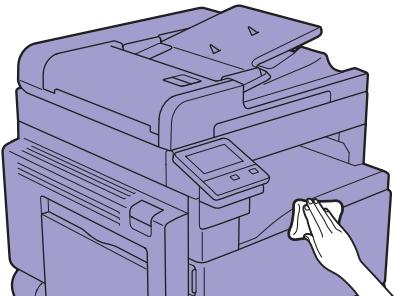
- ・電源スイッチを切って作業する場合は、データランプが消えていることを確認してから行ってください。本機の電源を切ると、メモリー内の印刷データや蓄積データは消去されます。

## 11.2.1 本体外部を清掃する

### ❗ 注記

- ・ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- ・水でぬらしすぎると、機械が故障したり、コピーするときに原稿が破れたりするおそれがあるので注意してください。

1. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で、本体の外側を拭きます。



### ❗ 注記

- ・水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。

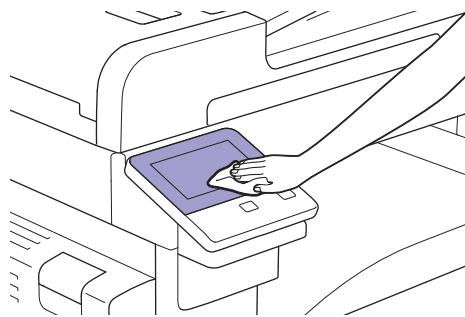
### 💡 補足

- ・汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

2. 柔らかい布で、水分を拭き取ります。

## 11.2.2 タッチパネルディスプレイを清掃する

1. 中性洗剤またはアルコールを染み込ませた柔らかい布で、液晶部だけを軽く拭きます。



### ! 注記

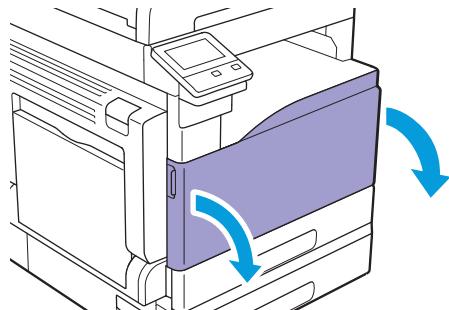
- ・中性洗剤または、アルコールを布に染み込ませる量は、液垂れしない程度にしてください。染み込ませる量が多すぎた場合は軽く絞ってから拭いてください。
- ・ベンジン、シンナーなどの揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりすると、カバー類の変色、変形、ひび割れの原因になります。
- ・パネル部分を強い力で拭くと損傷のおそれがあります。軽く拭いてください。

## 11.2.3 本体内部を清掃する

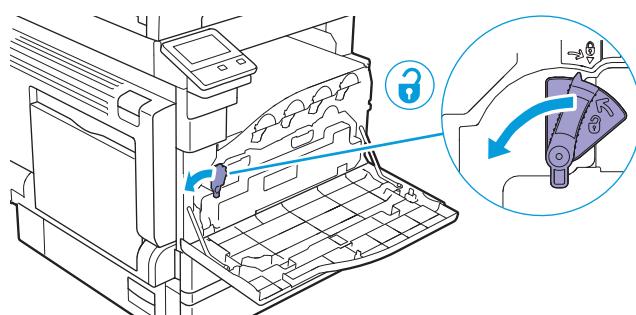
### LEDプリントヘッドの清掃

コピーやプリントに筋ができるなど画質に影響がある場合は、LEDプリントヘッド部を清掃してください。

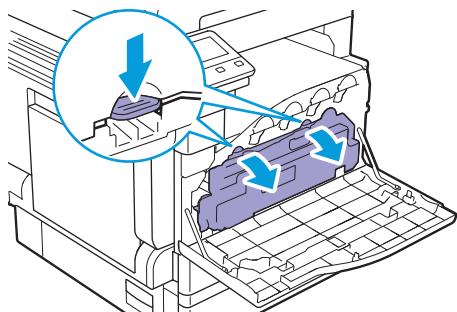
1. 本機が停止していることを確認し、フロントカバーを開けます。



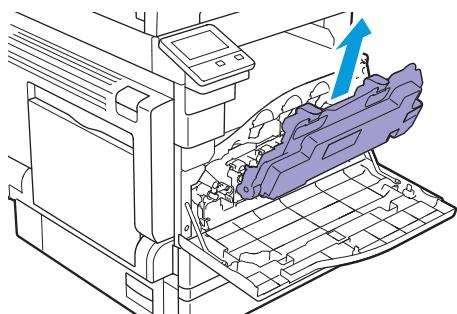
2. ロックレバーを反時計回りに回します。



### 3. トナー回収ボトルのロックを解除します。

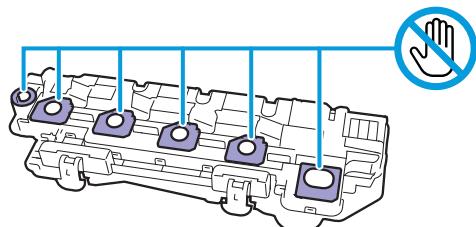


### 4. トナー回収ボトルをゆっくりと取り出し、トナーがこぼれないように、本機に接していた面を上に向けます。

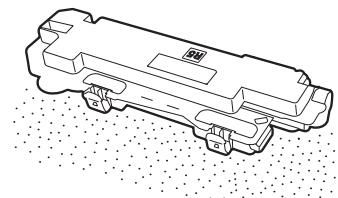


#### ! 注記

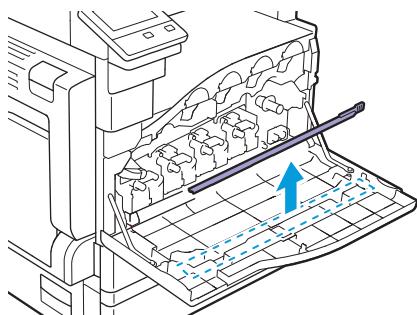
- トナー回収ボトルを取り出す際に、落とさないように注意してください。
- トナー回収ボトルの図に示した箇所を触らないようにしてください。トナーで手が汚れるおそれがあります。



- トナー回収ボトルを図のように置かないでください。トナーがこぼれるおそれがあります。



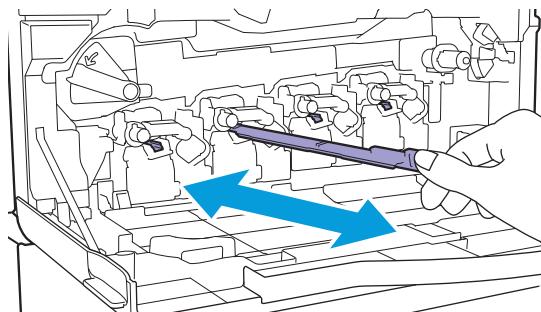
**5. フロントカバー裏側から清掃棒を取り外します。**



**6. ドラムカートリッジの清掃孔に、清掃棒を止まるまで差し込んでから、引き抜きます。**

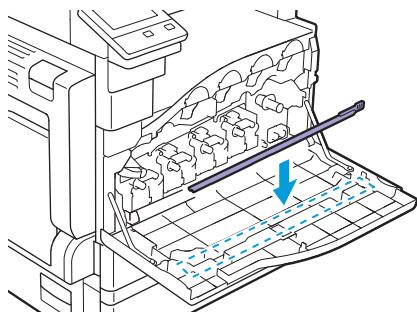


- ・パッドの付いた面を上にして、清掃棒を差し込んでください。
- ・清掃棒を何度も出し入れする必要はありません。

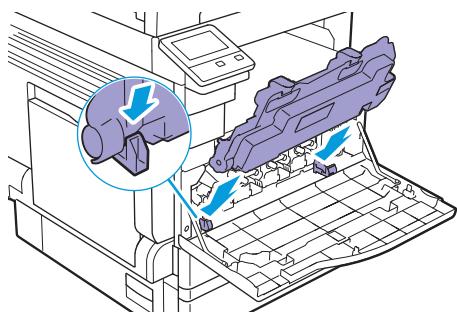


**7. 残りの3つの穴に対しても、手順6を繰り返します。**

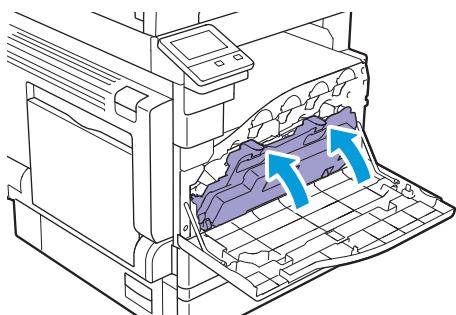
**8. 清掃棒をフロントカバー裏側に戻します。**



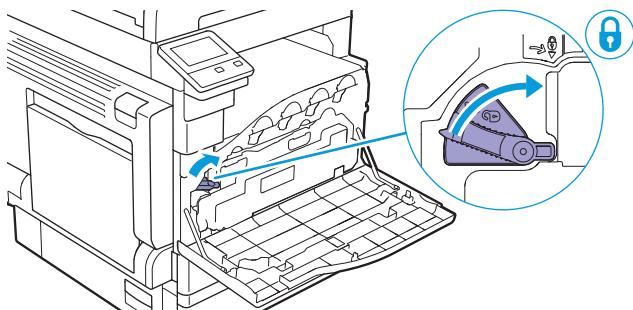
**9. トナー回収ボトルの下部の2か所のくぼみを本機の突起部に合わせ、トナー回収ボトルを本機にセットします。**



**10.** トナー回収ボトルを、カチッというまで押し込みます。



**11.** ロックレバーを時計回りに回します。



**12.** フロントカバーを閉じます。

## 11.2.4 原稿カバー、原稿ガラス、原稿押さえ部、原稿読み取りガラスを清掃する

原稿カバー、原稿ガラスが汚れていると、コピー、ファクス、スキャンの出力に汚れが出たり、原稿サイズを正しく検知しないことがあります。いつもきれいな出力結果を得るために、1か月に1回を目安に清掃してください。

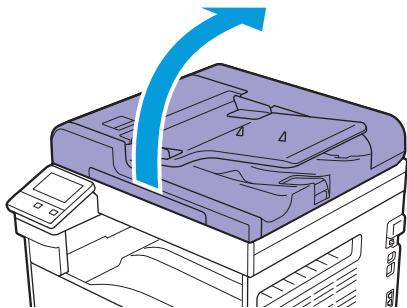
### ! 注記

- ・ベンジンやシンナーなどの薬品類は使用しないでください。プラスチック製品の塗装、コーティングなどを傷めることができます。
- ・水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。
- ・水でぬらしすぎると、機械が故障したり、コピー、ファクス、スキャンするときに原稿が破れたりするおそれがあります。

### 💡 補足

- ・汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽くふいてください。

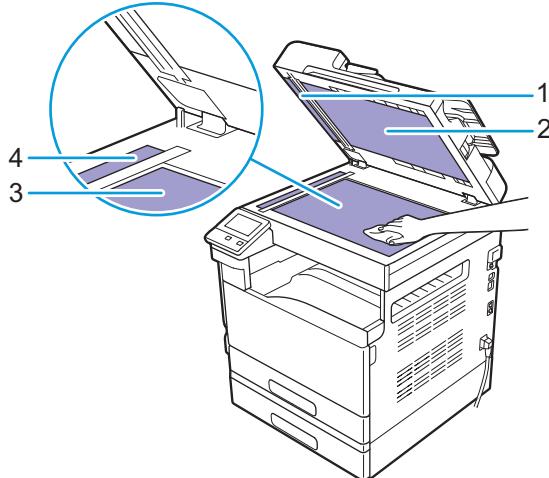
**1.** 原稿カバーを開きます。



- 2.** 原稿押さえ部、原稿カバー、原稿ガラス、原稿読み取りガラスの表面を水で湿らせた柔らかい布で拭きます。乾いた布またはペーパータオルで、完全に乾くまで水分を拭き取ります。

 **補足**

- ・原稿押さえ部を傷つけないように注意してください。



1 原稿押さえ部

2 原稿カバー

3 原稿ガラス

4 原稿読み取りガラス

## 11.2.5 自動両面原稿送り装置のローラー部を清掃する

自動両面原稿送り装置のローラーが汚れていると、コピー、ファクス、スキャンの出力に汚れが出たり、原稿づまりの原因になることがあります。

いつもきれいな出力結果を得るために、1か月に1回を目安に清掃してください。

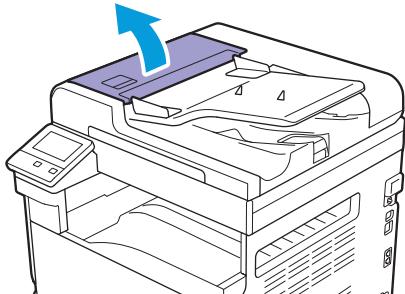
 **注記**

- ・ベンジンやシンナーなどの薬品類は使用しないでください。プラスチック製品の塗装、コーティングなどを傷めることができます。
- ・水でぬらしすぎると、機械が故障したり、コピー、ファクス、スキャンするときに原稿が破れたりするおそれがあります。

- 1.** 自動両面原稿送り装置の左側カバーの取っ手を引き上げて、止まるところまで開けます。

 **補足**

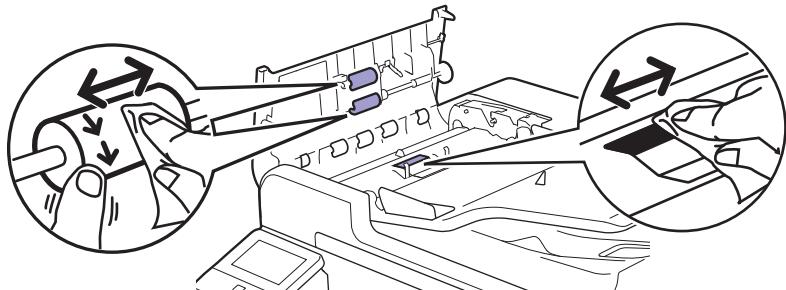
- ・カバーは、ゆっくりと開けてください。



## 2. ローラーと黒いパッドを水または中性洗剤をふくんだ布で拭きます。

### 注記

- ・水または中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。
- ・布は水滴が落ちない程度に固く絞ってご使用ください。内部に水滴が落ちると、誤動作を起こす場合があります。



## 3. 自動両面原稿送り装置の左側カバーを「カチッ」と音がするまで閉じ、カバーの手前や奥に浮きがないことを確認します。

# 11.3 出力したページ数を確認する

出力したページ数の合計は、メーター別、ユーザー別、および用紙サイズ別に確認できます。片面出力は1ページとして、両面出力は2ページとしてカウントします。



- ・CentreWare Internet Servicesを使っても、出力ページ数を確認できます。詳しくは、CentreWare Internet Servicesヘルプを参照してください。

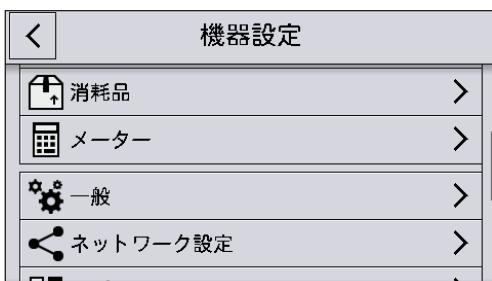
## 11.3.1 メーター別に確認する

メーターは、カラー モードによって3つに分かれています。

1. ⌂ <ホーム> ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [メーター] をタップします。



- ・各メーターについては、「[メーター] (P.201)」を参照してください。

## 11.3.2 ユーザー別、用紙サイズ別に確認する

レポートを出力して確認します。



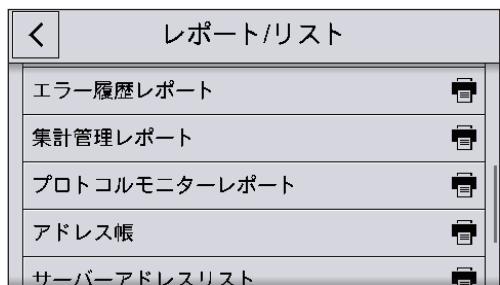
- ・[プリント集計管理] および [コピー集計管理] が無効の場合は、用紙サイズ別に出力ページ数を確認できます。
- ・[プリント集計管理] が有効の場合は、アカウント情報を持たないジョブのプリントは「未認証ユーザー」としてレポートに記載されます。

1. ⌂ <ホーム> ボタンを押します。

**2.** [機器設定] をタップします。



**3.** [レポート/リスト] > [集計管理レポート] をタップします。



# 12 困ったときには

|      |                     |     |
|------|---------------------|-----|
| 12.1 | 紙詰まりに対処する .....     | 338 |
| 12.2 | トラブルを解決する .....     | 344 |
| 12.3 | エラーコードが表示されたら ..... | 366 |

# 12.1 紙詰まりに対処する

## ⚠ 注意

- ・機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。  
特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

## 💡 注記

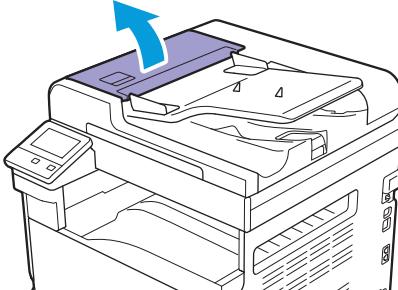
- ・電源スイッチを切って作業する場合は、データランプが消えていることを確認してから行ってください。本機の電源を切ると、メモリー内の印刷データや蓄積データは消去されます。

## 12.1.1 原稿が詰まった場合

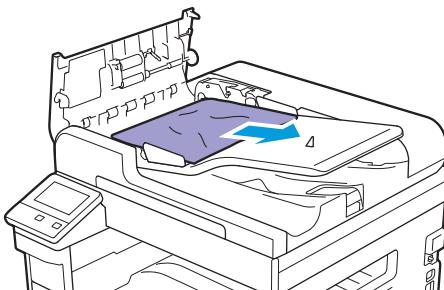
1. 自動両面原稿送り装置に残った原稿を取り除きます。
2. 自動両面原稿送り装置の左側カバーの取っ手を引き上げて、止まるところまで開けます。

## 💡 補足

- ・カバーは、ゆっくりと開けてください。



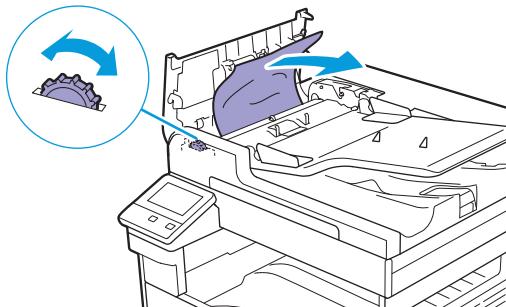
3. 原稿が引き込み部にはさまっていない場合は、そのまま原稿を取り除きます。



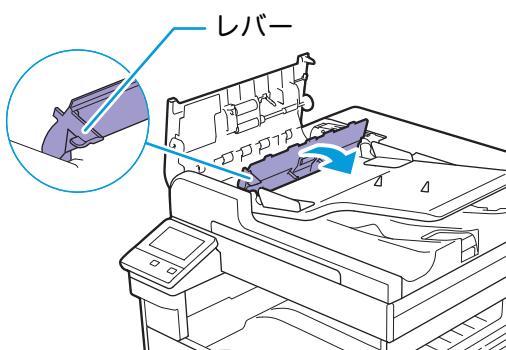
- 4.** メッセージにノブを回す指示がある場合は、ノブを回して、上側に原稿を送り出して取り除きます。

**! 注記**

- ・原稿がはさまっている場合は、直接引き抜かないでください。原稿が破れるおそれがあります。



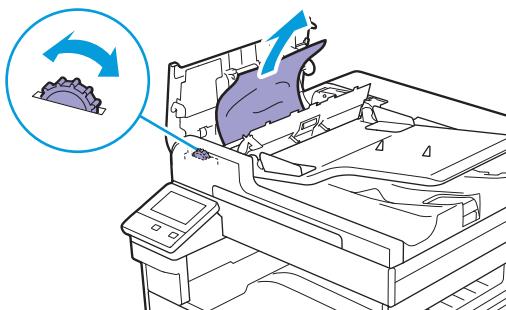
- 5.** メッセージに内カバーを開ける指示がある場合は、レバーを持ち上げて内カバーを開けます。



- 6.** ノブを回して原稿を上側に送り出し、取り除きます。

**! 注記**

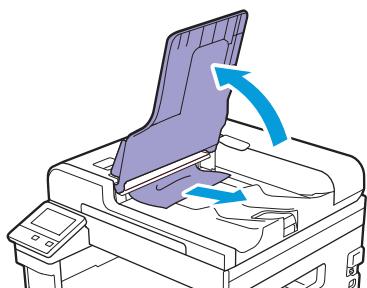
- ・原稿がはさまっている場合は、直接引き抜かないでください。原稿が破れるおそれがあります。



- 7.** 自動両面原稿送り装置の内カバーを閉じます。

- 8.** 自動両面原稿送り装置の左側カバーを「カチッ」と音がするまで閉じ、カバーの手前や奥に浮きがないことを確認します。
- 9.** 原稿が見つからない場合は、原稿カバーを静かに開けます。原稿があれば取り出し、原稿カバーを閉じます。

**10.** 手順9で原稿が見つからない場合は、原稿送りトレイを持ち上げて、原稿を取り除きます。



**11.** 原稿送りトレイを静かに戻します。

## 12.1.2 用紙が詰まった場合



・タッチパネルディスプレイに表示されたエラーを解決するには、用紙経路から用紙をすべて取り除く必要があります。

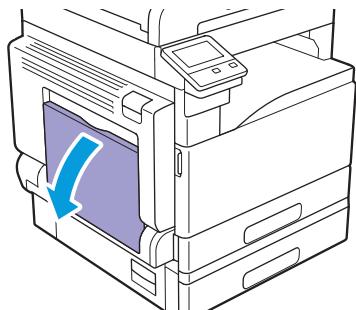
### 左側面上部カバー [A] の紙詰まりを取り除く



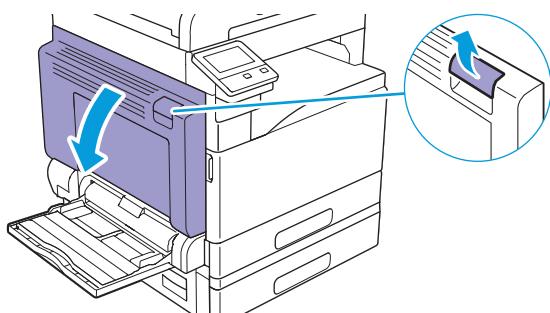
注記

・用紙を取り除くとき、左側面上部カバー [A] の内部にある本体側の転写ベルト（黒いフィルム状のベルト）にトナーが付いていることがあります。この転写ベルトには、触れないでください。画質に影響をおよぼしたり、転写ベルトが損傷して交換が必要になることがあります。

**1.** トレイ5（手差し）を開きます。

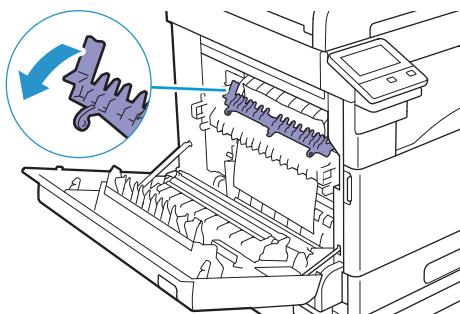


**2.** リリースレバーを上げながら左側面上部カバー [A] をゆっくりと開きます。



## ●定着部付近で紙詰まりが起きている場合

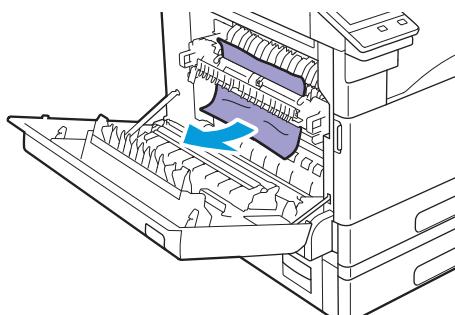
1. ハンドル [A1] を下に引きます。



2. 詰まっている用紙を取り除きます。



・機械の中に紙片を残さないでください。

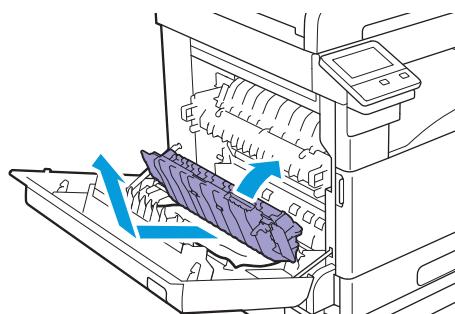


3. ハンドル [A1] を元の位置に戻します。

4. 左側面上部カバー [A] の中央部を押して、ゆっくりと閉じ、トレイ 5 (手差し) を閉じます。

## ●左側面上部カバー [A] 内で紙詰まりが発生した場合

1. ハンドル [A2] を持ち上げ、詰まった用紙を上方向に引きながら取り除きます。

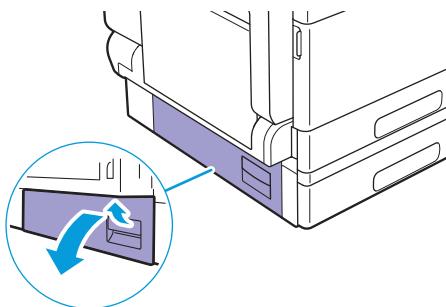


2. ハンドル [A2] を元の位置に戻します。

3. 左側面上部カバー [A] の中央部を押して、ゆっくりと閉じ、トレイ 5 (手差し) を閉じます。

## 左側面下部カバー [B] の紙詰まりを取り除く

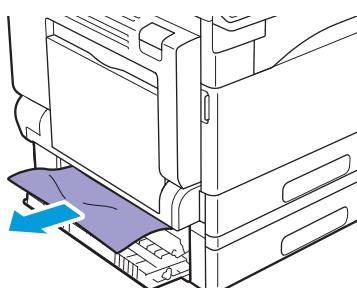
- リリースレバーを引き、左側面下部カバー [B] をゆっくりと開けます。



- 詰まっている用紙を取り除きます。



- 上部の見えにくい位置に用紙が詰まっている場合があります。よく確認してください。
- 用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。



- 左側面下部カバー [B] をゆっくりと閉じます。

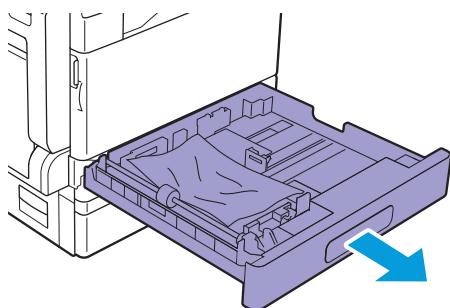
## トレイ1、トレイ2の紙詰まりを取り除く

- 詰まった用紙を取り除きます。



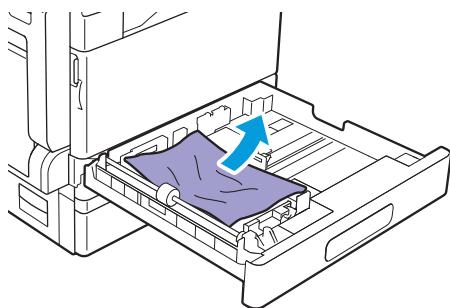
- トレイ1については、「左側面上部カバー [A] の紙詰まりを取り除く (P.340)」を参照してください。
- トレイ2（1トレイモジュール）（お使いの機種によってはオプション）については、「左側面下部カバー [B] の紙詰まりを取り除く (P.342)」を参照してください。

- 詰まっている用紙を取り除けない場合、用紙トレイを引き出します。



- 紙詰まりが発生したとき、紙詰まり位置を確認せずに用紙トレイを引き出すと、用紙が破れて機械の中に紙片が残ってしまうことがあります。故障の原因になるので、タッチパネルディスプレイで紙詰まりの位置を確認してから処置をしてください。

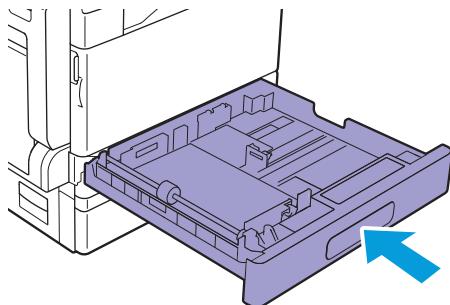
### 3. 詰まった用紙を取り除きます。



#### 💡 補足

- 用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。

### 4. 用紙トレイが止まるまで静かに押し込みます。



## トレイ5（手差し）の紙詰まりを取り除く

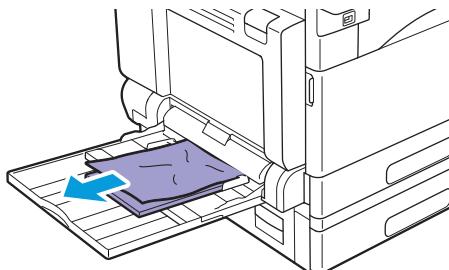
### 1. トレイ5（手差し）の奥（用紙の差し込み口付近）を確認し、詰まっている用紙を取り除きます。

#### 💡 注記

- 用紙を複数枚セットした場合は、いったんすべての用紙を取り出してください。

#### 💡 補足

- 用紙が破れた場合、紙片が残っていないか確認してください。



# 12.2 トラブルを解決する

本機にトラブルが発生した場合の処置について説明します。

## 12.2.1 メニュー設定のトラブル

| 症状                    | 処置   |
|-----------------------|--|
| 操作パネルから変更した設定が反映されない。 | ソフトウェア、プリンタードライバー、プリンターアプリケーションで設定します。操作パネルでの設定より優先されます。 |

## 12.2.2 機器本体のトラブル

故障かなと思う前に、もう一度、本機の状態を確認してください。

| 症状                    | 原因   | 処置  |
|-----------------------|--|---|
| 電源が入らない。              | 電源が切れていませんか？   | 操作パネルの  (電源/節電) ボタンを押して、電源を入れてください。   |
|                       | 電源コードがコンセントに差し込まれていますか？  | 電源コードを確実に差し込んでください。その後、電源を入れてください。  |
|                       | 本機側の電源コードが抜けていませんか？  |   |
| 状態表示ランプがオレンジ色に点滅している。 | 本機のシステムや付属機器にトラブルが発生しているおそれがあります。  | 本機の電源を切って、入れ直してください。トラブルが解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。  |
|                       | 用紙詰まり、または原稿詰まりが発生していませんか？  | 詰まった用紙や原稿を取り除いてください。<br> 参照<br>・用紙が詰まった場合は「用紙が詰まった場合 (P.340)」を、原稿が詰まった場合は「原稿が詰まった場合 (P.338)」を参照してください。 |
|                       | 本機のフロントカバーやそのほかのカバーが開いていませんか？  | 表示されているメッセージに従って処置してください。   |
| ディスプレイが暗い。            |  (電源/節電) ボタンが点滅していませんか？ | 節電状態に入っています。操作パネルの  (電源/節電) ボタンを押して、節電状態を解除してください。  |
|                       | 画面の明るさが暗く設定されていますか？  | [画面の明るさ] を調整してください。<br> 参照<br>・詳しくは、「[画面の明るさ] (P.202)」を参照してください。                                       |

| 症状                             | 原因  | 処置  |
|--------------------------------|---|---|
| プリントできない、またはコピーできない。           | タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されていますか？                     | 表示されているメッセージに従って処置してください。閉じたメッセージは、サイドバー画面から確認できます。   |
|                                |   | <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サイドバー画面については、「サイドバー (P.48)」を参照してください。</li> </ul>   |
| メモリー容量が不足していますか？               |   | <p>次のどれかの方法で処置してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタードライバーで [印刷モード] を [標準] にするか、[ページ印刷モード] を利用して再プリントする</li> <li>使用していないポートを [停止] に設定する</li> </ul>   |
| プリンタードライバーがオフラインになっていますか？      |   | プリンターアイコンを開いて、プリンターメニューのオフライン使用のチェックを外してください。   |
| プリントを指示したのにプリントを開始しない。         | LANケーブルまたはUSBケーブルが抜けていませんか？また、本機が無線LANに接続されていますか？ | LANケーブルまたはUSBケーブルの接続を確認してください。無線LANに接続する場合は、LANケーブルが本機に接続されていないことと、無線LANアダプタ（オプション）が本機に接続されていることを確認し、本機が無線LANに接続されているか確認してください。   |
|                                |   | <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>LANケーブルまたはUSBケーブルの接続については、「有線LANで接続する (P.24)」または「USBで接続する (P.25)」を参照してください。</li> <li>無線LANへの接続については、「無線LANで接続する (P.25)」を参照してください。</li> </ul> |
| コンピューター側の環境が正しく設定されていますか？      |   | プリンタードライバーなど、コンピューター側の環境を確認してください。  |
| 使用するプロトコルが有効に設定されていますか？        |   | 使用するプロトコルを有効に設定してください。  |
|                                |   | <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「[プロトコル] (P.214)」を参照してください。</li> </ul>  |
| トレイ5（手差し）にプリントを指示したのにプリントされない。 | 指定したサイズの用紙がセットされていますか？                            | 表示されたメッセージに従って、正しいサイズの用紙をセットして、もう一度プリントを指示してください。   |
|                                |   | <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「トレイ5（手差し）に用紙をセットする (P.69)」を参照してください。</li> </ul>  |
| 印字品質がよくない。                     | 画質のトラブルが発生していることがあります。                            | 後述の「画質のトラブル」を参照して処置してください。  |
|                                |   | <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「画質のトラブル (P.349)」を参照してください。</li> </ul>  |
| 用紙トレイの出し入れができない。               | プリント中にカバーを開けたり、電源を切ったりしましたか？                      | 無理に用紙トレイを出し入れしないで、電源を切ってください。数秒経過後、電源を入れてください。本機がデータを受信できる状態になったことを確認して、用紙トレイの出し入れをしてください。  |

| 症状                         | 原因                      | 処置  |
|----------------------------|-------------------------|---|
| 希望のサイズにコピーされない。            | 原稿ガラスまたは原稿カバーが汚れていませんか？ | <p>原稿ガラスまたは原稿カバーを清掃してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿カバー、原稿ガラス、原稿押さえ部、原稿読み取りガラスを清掃する (P.332)」を参照してください。</li> </ul> |
| OHPフィルムなどの透過度が高い原稿ですか？     |                         | <p>原稿ガラスに原稿をセットし、その上に白紙を載せてコピーしてください。</p>   |
| 原稿がずれていませんか？               |                         | <p>原稿を正しくセットしてください。</p>   |
| 原稿は正しくセットされていますか？          |                         | <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。</li> </ul>  |
| 自動両面原稿送り装置の原稿ガイドがずれていませんか？ |                         | <p>原稿ガイドを正しくセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。</li> </ul>                               |
| 原稿が折れ曲がっていませんか？            |                         | <p>原稿をのばして正しくセットし直してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。</li> </ul>                            |

| 症状   | 原因                               | 処置  |
|--|----------------------------------|---|
| 用紙詰まり、紙しづか<br>頻繁に発生する。   | 用紙が用紙トレイに正しく<br>セットされていますか？      | 用紙を正しくセットしてください。<br><br> 参照<br>・詳しくは、「トレイ1、トレイ2に用紙をセット<br>する (P.67)」を参照してください。   |
| 用紙トレイは正しくセットさ<br>れていますか？   |                                  | 用紙トレイを確実に奥まで押し込んで正しくセットして<br>ください。<br><br> 参照<br>・詳しくは、「トレイ1、トレイ2に用紙をセット<br>する (P.67)」を参照してください。   |
| 用紙が湿気を含んでいません<br>か？  |                                  | 未開封の用紙と交換してください。  |
| 用紙がカールしていません<br>か？   |                                  | 用紙トレイ内の用紙をうら返すか、新しい用紙と交換し<br>てください。   |
| 用紙と用紙トレイの設定は正<br>しいですか？  |                                  | セットしている用紙に合わせて、正しく用紙と用紙トレ<br>イを設定してください。<br><br> 参照<br>・詳しくは、「トレイ1、トレイ2に用紙をセット<br>する (P.67)」を参照してください。                                       |
| 機械の内部に詰まった用紙や<br>紙片が残っていたり、異物が<br>入っていませんか？                      |                                  | 機械のカバーを開けるか、用紙トレイを引き出して、紙<br>片や異物を取り除いてください。<br><br> 参照<br>・詳しくは、「用紙が詰まった場合 (P.340)」を参<br>照してください。  |
| 規格外の用紙が用紙トレイに<br>セットされていませんか？                                    |                                  | 本機の仕様に合う用紙と交換してください。<br><br> 参照<br>・詳しくは、「用紙について (P.62)」を参照して<br>ください。   |
| 用紙トレイ内の用紙上限線を<br>超えて、用紙をセットしてい<br>ませんか？                          |                                  | 用紙トレイ内の用紙上限線を超えないように、用紙を<br>セットしてください。<br><br> 参照<br>・詳しくは、「トレイ1、トレイ2に用紙をセット<br>する (P.67)」を参照してください。                                       |
| 用紙ガイドが正しくセットさ<br>れていますか？   |                                  | 用紙を正しくセットして、用紙ガイドを用紙に軽く當<br>てるように合わせてください。<br><br> 参照<br>・詳しくは、「トレイ1、トレイ2に用紙をセット<br>する (P.67)」または「トレイ5（手差し）に用<br>紙をセットする (P.69)」を参照してください。 |
| 用紙がきれいに裁断されてい<br>ますか？  |                                  | 用紙の種類によっては、きれいに裁断されていない場<br>合があります。よくさばいてから用紙をセットしてく<br>ださい。  |
| 原稿が送り込まれな<br>い。  | 原稿が小さくありませんか？                    | 自動両面原稿送り装置にセットできる原稿の最小サイズ<br>はA5□です。  |
| トレイ5（手差し）に<br>用紙をセットして [ス<br>タート] をタップする<br>とエラーメッセージが<br>表示される。 | トレイ5（手差し）の用紙ガイ<br>ドの位置を確認してください。 | 用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。<br><br> 参照<br>・詳しくは、「エラーコードが表示されたら<br>(P.366)」または「トレイ5（手差し）に用紙を<br>セットする (P.69)」を参照してください。                          |

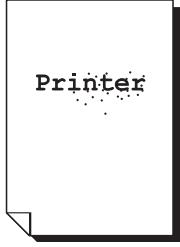
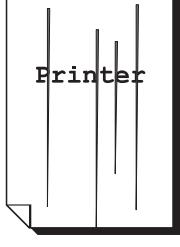
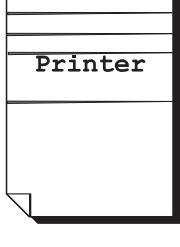
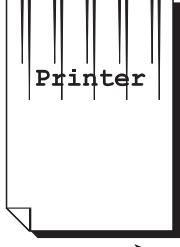
| 症状                                     | 原因                                    | 処置  |
|--|---------------------------------------|---|
| 原稿が頻繁に詰まる。                             | 適切な原稿を使用していますか？                       | 自動両面原稿送り装置に適した原稿を正しくセットしてください。  |
|  | 変形原稿や名刺、OHP フィルム、薄い原稿を使用しているか？        |  参照<br>詳しくは、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。                |
|  | 付せん紙やクリップ、セロハンテープなどを原稿につけたままにしていませんか？ | 付せん紙やクリップ、セロハンテープなどを取り除いてからコピーしてください。   |
|  | 原稿ガイドの位置がずれていますか？                     | 原稿ガイドの位置を調整してください。  |
|  |                                       |  参照<br>詳しくは、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。                |
|  | 原稿の一部が破れて、自動両面原稿送り装置に紙片が残っていますか？      | 自動両面原稿送り装置の上カバーを開けて確認してください。  |
|  |                                       |  参照<br>詳しくは、「原稿が詰った場合 (P.338)」を参照してください。               |
| 原稿の端が折れる。                              | 原稿がカールしていませんか？                        | 原稿のカールを直してから、セットしてください。   |
| カラーコピーが取れない。                           | [カラー モード] が [白黒] になってしまっていますか？        | [カラー モード] の [カラー] を選択してください。  |
|  |                                       |  参照<br>詳しくは、「[カラー モード] (P.97)」を参照してください。              |
|  | コピー集計管理機能が有効で、カラー コピーの使用が制限されていますか？   | 機械管理者にコピー集計管理機能の設定内容について確認してください。   |
|  |                                       |  参照<br>詳しくは、「登録ユーザーごとにコピーの利用を制限する (P.283)」を参照してください。 |
| ディスプレイに、トナーカートリッジ交換を促すメッセージが表示されていますか？ |                                       | メッセージに表示されている色のトナーカートリッジを交換してください。  |
|  |                                       |  参照<br>詳しくは、「トナーカートリッジを交換する (P.317)」を参照してください。       |
| ディスプレイに、ドラムカートリッジ交換を促すメッセージが表示されていますか？ |                                       | 新しいドラムカートリッジと交換する必要があります。お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。   |
| トナーカートリッジを交換してもトナーカートリッジ交換のメッセージが消えない。 | トナーカートリッジが正しくセットされていますか？              | メッセージに表示されている色のトナーカートリッジを再セットしてください。  |
|  |                                       |  参照<br>詳しくは、「トナーカートリッジを交換する (P.317)」を参照してください。       |

## 12.2.3 画質のトラブル

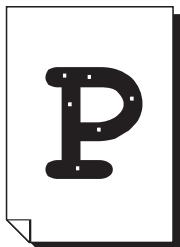
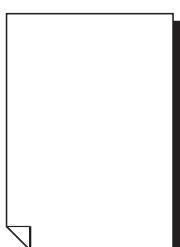
プリント結果の画質が悪い場合は、次の表から最も近いと思われる症状を選び、処置してください。該当する処置をしても画質が改善されない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

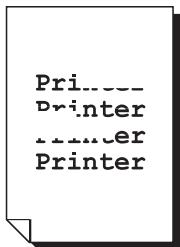
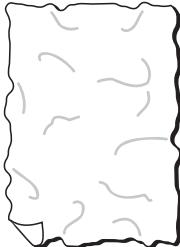
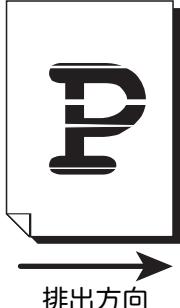
| 症状           | 原因                                 | 処置   |
|--------------|------------------------------------|--|
| コピーが汚れている。   | 原稿ガラスまたは原稿カバーが汚れていませんか？            | <p>原稿ガラスまたは原稿カバーを清掃してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"><li>詳しくは、「原稿カバー、原稿ガラス、原稿押さえ部、原稿読み取りガラスを清掃する(P.332)」を参照してください。</li></ul>                       |
|              | 原稿がOHPフィルムなどの透過度の高いものではありませんか？     | 透過度の高い原稿では、原稿カバーの汚れがコピーに写ります。原稿の上に白紙を載せてコピーしてください。   |
|              | 原稿がカラーペーパー、ざら紙、青焼きなどではありませんか？      | コピー濃度を調整するか、背景にある地色を除去してコピーしてください。   |
|              | 原稿が光沢のある印画紙ではありませんか？               | 光沢のある印画紙は、原稿ガラスに張り付きやすく、影が汚れるようにコピーされることがあります。OHPフィルムなどの透明フィルムを原稿の下に敷いてコピーしてください。  |
| コピーに黒筋に入る。   | 自動両面原稿送り装置の原稿ガラスが汚れていませんか？         | <p>原稿ガラスを清掃してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"><li>詳しくは、「原稿カバー、原稿ガラス、原稿押さえ部、原稿読み取りガラスを清掃する(P.332)」を参照してください。</li></ul>                             |
| コピーが濃すぎる。    | コピー濃度が【こく(+1)]～[こく(+3)]に設定されていますか？ | コピー濃度を調整してください。  |
| コピーが薄すぎる。    | 原稿の濃度が薄くありませんか？                    | <p>コピー濃度が【うすく(+1)]～[うすく(+3)]に設定されていますか？</p> <p>詳しくは、「[コピー濃度](P.97)」を参照してください。</p>  |
| コピーがわずかにずれる。 | 用紙がずれていたり、用紙の先端が用紙トレイの角から離れていますか？  | <p>用紙を正しくセットして、用紙ガイドを用紙に合わせてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"><li>詳しくは、「トレイ1、トレイ2に用紙をセットする(P.67)」または「トレイ5(手差し)に用紙をセットする(P.69)」を参照してください。</li></ul> |
| 原稿が汚れる。      | 自動両面原稿送り装置のローラー部が汚れていませんか？         | 自動両面原稿送り装置のローラー部を清掃してください。   |
|              |                                    | <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"><li>詳しくは、「自動両面原稿送り装置のローラー部を清掃する(P.333)」を参照してください。</li></ul>  |

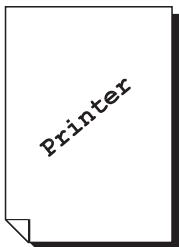
| 症状                                   | 原因                    | 処置  |
|--------------------------------------|-----------------------|---|
| コピーがずれたり、曲がっている。                     | 原稿が正しくセットされていませんか？    | <p>原稿を正しくセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。</li> </ul>                          |
| 用紙が用紙トレイに正しくセットされていますか？              |                       | <p>用紙を正しくセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「トレイ1、トレイ2に用紙をセットする (P.67)」を参照してください。</li> </ul>                |
| トレイ5（手差し）の用紙ガイドが用紙に触れるようにセットされていますか？ |                       | <p>用紙を正しくセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「トレイ5（手差し）に用紙をセットする (P.69)」を参照してください。</li> </ul>                |
| 自動両面原稿送り装置の原稿ガイドがずれていませんか？           |                       | <p>原稿を正しくセットして、原稿ガイドを原稿の端に当ててください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「用紙をセットする (P.67)」を参照してください。</li> </ul>           |
| 用紙トレイが確実にセットされていますか？                 |                       | <p>用紙トレイを確実に奥まで押し込んで、正しくセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「トレイ1、トレイ2に用紙をセットする (P.67)」を参照してください。</li> </ul> |
| コピーが部分的に写らない。                        | 用紙が湿気を含んでいませんか？       | <p>用紙が湿気を含んでいると、コピーが部分的に写らなかったり、不鮮明になります。未開封の用紙と交換してください。</p>   |
| 折り目やしわが入った用紙が用紙トレイに入っていますか？          |                       | <p>不良用紙を取り除くか、未開封の用紙と交換してください。</p>  |
| 原稿が貼り合わせ原稿や折り込みの原稿ではありませんか？          |                       | <p>貼り合わせたのりの部分や、折りの部分が、原稿ガラスに密着していないことが考えられます。原稿の上に白紙の束などを重ねて、原稿ガラスに密着させるようにしてください。</p>   |
| コピーに縞模様が写る。                          | 原稿の拡大コピーの倍率が大きすぎませんか？ | <p>拡大コピーをすると、倍率によっては縞模様が発生します。コピーの倍率を調整してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「[倍率] (P.98)」を参照してください。</li> </ul> |
| カラーコピーの色合いがずれていますか？がずれて画質が悪い。        |                       | <p>自動階調補正をしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「[自動階調補正] (P.228)」を参照してください。</li> </ul>                         |
| 直射日光の当たる場所に置かれていますか？                 |                       | <p>原稿ガラスに強い光が当たる状態で、電源を入れたり、節電状態を解除すると、色合いがずれることがあります。原稿カバーを閉じて電源を入れ、コピーまたはプリントできる状態になったら、再度電源を切って、入れ直してください。</p>   |

| 症状  | 原因   | 処置   |
|---|--|--|
|    | <p>プリントがうすい（かかる、不鮮明）。</p> <p>トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。</p> | <p>用紙が湿気を含んでいます。</p> <p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。</p> <p>新しい用紙と交換してください。</p> <p>新しいドラムカートリッジと交換する必要があります。お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。</p> <p>新しいトナーカートリッジと交換してください。</p> <p> <b>参照</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「トナーカートリッジを交換する(P.317)」を参照してください。</li> </ul> |
|    | 黒点がプリントされる。  | ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。   |
|  | 黒線または色線がプリントされる。   | <p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。</p> <p>原稿読み取りガラスが汚れています。</p>   |
|  | 等間隔に汚れが付着する。   | <p>原稿読み取りガラスが汚れています。</p> <p>原稿が汚れています。</p> <p>原稿の汚れを取り除いてください。</p>   |
|  | 用紙搬送路に汚れが付着しています。  | <p>数枚プリントしてください。</p> <p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。</p> <p>新しいドラムカートリッジと交換する必要があります。お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。</p>  |

排出方向

| 症状  | 原因  | 処置   |
|---|---|--|
| 黒くぬりつぶされた部分に白点が現れる。   | 使用している用紙が適切ではありません。   | 適切な用紙をセットしてください。   |
|    | ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。  | 新しいドラムカートリッジと交換する必要があります。お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。  |
| 指でこするとかすれる。<br>トナーが定着しない。<br>用紙がトナーで汚れる。  | 用紙が湿気を含んでいます。<br>使用している用紙が適切ではありません。<br>用紙種類の設定が、トレイにセットした用紙と合っていません。 | 新しい用紙と交換してください。<br>適切な用紙をセットしてください。<br>用紙種類を正しく設定してください。   |
|    |   | <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>用紙種類の設定については、「用紙をセットする (P.67)」を参照してください。</li> </ul> |
| 用紙全体が黒くプリントされる。   | ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。  | 新しいドラムカートリッジと交換する必要があります。お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。  |
|  | 高圧電源の故障が考えられます。   | お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。   |
| 何もプリントされない。   | 一度に複数枚の用紙が搬送されています（重送）。<br>電源または高圧電源の故障が考えられます。                       | 用紙をよくさばいてからセットし直してください。<br>お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。  |
|  |   |  |

| 症状  | 原因   | 処置  |
|---|--|---|
| 白抜けや白筋または色筋が出る。   | 用紙が湿気を含んでいます。<br>使用している用紙が適切ではありません。                                     | 新しい用紙と交換してください。<br>適切な用紙をセットしてください。                         |
|    |  |   |
| 全体がうっすらとプリントされる。  | トレイ5（手差し）を使用してプリントした場合で、プリンタードライバーで指定した用紙サイズと実際にセットされている用紙の種類とサイズが異なります。 | トレイ5（手差し）に、正しい種類とサイズの用紙をセットしてください。                          |
|    |  |   |
| 用紙にしわが付く。   | 一度に複数枚の用紙が搬送されています。  | 用紙をよくさばいてからセットし直してください。                                     |
|   |  |   |
| 文字がにじむ。   | 使用している用紙が適切ではありません。<br>用紙の継ぎ足しをしています。<br>用紙が湿気を含んでいます。                   | 新しい用紙と交換してください。   |
|  |  |   |
| たて長に白抜けまたは色抜けする。  | ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。<br>トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。                      | 新しいドラムカートリッジと交換する必要があります。<br>お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。 |
|  |  |   |

| 症状          | 原因                            | 処置   |
|-------------|-------------------------------|--|
| 斜めにプリントされる。 | 用紙トレイの用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。 | <p>たてよこの用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。</p>  <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「トレイ1、トレイ2に用紙をセットする (P.67)」、または「トレイ5（手差し）に用紙をセットする (P.69)」を参照してください。</li> </ul> |

## 12.2.4 コピーのトラブル

コピー機能利用時のトラブル処置方法について説明します。

### コピーできない

コピーできない場合の処置方法について説明します。

| 症状                             | 原因                              | 処置  |
|--------------------------------|---------------------------------|---|
| 自動両面原稿送り装置から原稿をうまく送り込めない。      | 原稿のサイズが小さすぎる。<br>適切な原稿を使用していない。 | <p>自動両面原稿送り装置にセットできる原稿の最小サイズはA5□です。</p> <p>変形原稿、名刺、OHPフィルム、薄い原稿は自動両面原稿送り装置では使用できません。また、付せん、クリップ、セロハンテープを付けた原稿も使用できません。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。</li> </ul> |
| 原稿ガイドの位置がずれている。                |                                 | <p>原稿サイズに合わせて、原稿ガイドを正しくセットしてください。</p>   |
| 原稿の一部が破れて、自動両面原稿送り装置に紙片が残っている。 |                                 | <p>自動両面原稿送り装置の上カバーを開けて、紙片を取り除いてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿が詰まった場合 (P.338)」を参照してください。</li> </ul>   |
| サイズが異なる原稿をセットしている。             |                                 | <p>サイズが異なる原稿をセットすることはできません。</p>   |

### 思ったとおりのコピー結果にならない

コピー結果が予想と違う結果になる場合の対処方法について説明します。

| 症状                             | 原因                    | 処置  |
|--------------------------------|-----------------------|---|
| コピーが汚れている。                     | 原稿カバー、または原稿ガラスが汚れている。 | <p>原稿カバー、または原稿ガラスを清掃してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿カバー、原稿ガラス、原稿押さえ部、原稿読み取りガラスを清掃する(P.332)」を参照してください。</li> </ul> |
| OHPフィルムなどの透過度の高い原稿を使用している。     |                       | 透過度の高い原稿では、原稿カバーの汚れがコピーに写ります。原稿の上に白紙を載せてコピーしてください。  |
| カラーペーパー、ざら紙、青焼きなどを原稿として使用している。 |                       | 紙の地色がコピーに写ります。コピー濃度を調整するか、画質を調整するか、地色除去を指定してコピーしてください。  |
| 光沢のある印画紙を使用している。               |                       | 光沢のある印画紙は、原稿ガラスに張り付きやすく、影が汚れのようにコピーされることがあります。OHPフィルムなどの透明フィルムを原稿の下に敷いてコピーしてください。   |
| コピーが濃すぎる、または薄すぎる。              | コピー濃度の設定が適切ではない。      | <p>コピー濃度を調整してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「[コピー濃度] (P.97)」を参照してください。</li> </ul>                                    |
| 原稿に適切な画質設定がされていない。             |                       | 黒い文字のコピー濃度が薄すぎる場合、[原稿の画質]を[文字]に設定してください。  |
| 原稿の色と、コピーの色階調がズれている。<br>色が異なる。 |                       | <p>自動階調補正をしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「[自動階調補正] (P.228)」を参照してください。</li> </ul>                                 |
| 原稿にあった、原稿タイプを選択していない。          |                       | [原稿の画質]で、原稿のタイプに合わせた画質を選択してください。  |
| 原稿の画質設定が適切ではない。                |                       | 黒い文字をコピーし、薄いと感じた場合は、[原稿の画質]で[文字]を選択してください。  |
| コピーがわずかにずれる。                   | 用紙トレイにセットされた用紙がズれている。 | 用紙をそろえて、用紙の先端を用紙トレイの手前の角に合わせてセットしてください。   |
| コピーが部分的に写らない。                  | 用紙が湿気を含んでいる。          | 用紙が湿気を含んでいると、コピーが部分的に写らなかったり、不鮮明になります。未開封の用紙と交換してください。  |
| 折り目やしわが入った用紙が用紙トレイに入っている。      |                       | 不良用紙を取り除くか、未開封の用紙と交換してください。   |
| 貼り合わせた原稿や、折り込んだある原稿を使用している。    |                       | 貼り合わせたのりの部分や、折りの部分が、原稿ガラスに密着していないことが考えられます。原稿の上に白紙の束などを重ねて、原稿ガラスに密着させるようにしてください。  |

| 症状                  | 原因   | 処置  |
|---------------------|--|---|
| コピーをすると原稿が汚れる。      | 自動両面原稿送り装置のローラー部が汚れています。                                   | 自動両面原稿送り装置のローラー部を清掃してください。  |
| コピーに縞模様が写る。         | 原稿の拡大倍率が大きすぎる。 拡大コピーをすると、倍率によっては縞模様が発生します。コピーの倍率を調整してください。 |  参照<br>・詳しくは、「自動両面原稿送り装置のローラー部を清掃する (P.333)」を参照してください。           |
| コピーがずれたり、曲がって写っている。 | 原稿が正しくセットされていない。   | 原稿を正しくセットしてください。<br> 参照<br>・詳しくは、「[倍率] (P.98)」を参照してください。         |
|                     | 自動両面原稿送り装置の原稿ガイドがずれている。                                    | 原稿を正しくセットして、原稿ガイドを原稿の端に当ててください。   |
|                     | 用紙トレイが確実にセットされていない。  | 用紙トレイを確実に奥まで押し込んで、正しくセットしてください。   |
|                     | トレイ5（手差し）の用紙ガイドがずれている。                                     | 用紙を正しくセットして、用紙ガイドを用紙の端に当ててください。   |
|                     | 原稿のサイズが合っていない。   | 原稿サイズを正しく設定してください。<br> 参照<br>・詳しくは、「[原稿サイズ] (P.100)」を参照してください。 |
|                     | 用紙のサイズが合っていない。   | 用紙サイズを正しく設定してください。<br> 参照<br>・詳しくは、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。 |

| 症状                         | 原因                            | 処置   |
|----------------------------|-------------------------------|--|
| 希望のサイズにコピーされない。            | 原稿カバー、または原稿ガラスが汚れている。         | <p>原稿カバー、または原稿ガラスを清掃してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿カバー、原稿ガラス、原稿押さえ部、原稿読み取りガラスを清掃する (P.332)」を参照してください。</li> </ul> |
| OHPフィルムなどの透過度の高い原稿を使用している。 |                               | <p>原稿の上に白紙を載せてコピーしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。</li> </ul>                              |
| 原稿がずれている。                  |                               | <p>原稿を正しくセットしてください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。</li> </ul>                                   |
| 自動両面原稿送り装置の原稿ガイドがずれている。    |                               | <p>原稿を正しくセットして、原稿ガイドを原稿の端に当ててください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。</li> </ul>                    |
| 原稿が折れ曲がっている。               |                               | <p>原稿をのばして正しくセットし直してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿をセットする (P.74)」を参照してください。</li> </ul>                             |
| コピーの端が切れる。                 | 印刷可能エリアを超えていている<br>原稿を使用している。 | 倍率を調整して、少し小さめにコピーしてください。   |

## 12.2.5 プリント時のトラブル

プリント機能利用時のトラブル処置方法について説明します。

### プリントできない

プリントできない場合の処置方法について説明します。

| 症状                                   | 原因  | 処置   |
|--------------------------------------|---|--|
| プリンターアイコンにデータが残っている。                 | 本機の電源が入っていない。   | 本機の電源を入れてください。<br><br> 参照<br>・詳しくは、「電源について (P.22)」を参照してください。                            |
| コンピューターのLANケーブルが外れている。               | コンピューターが無線LANに接続されていない。   | コンピューターのLANケーブルをつなげてください。<br>コンピューターを無線LANに接続してください。   |
| 本機のケーブルが外れている。または、本機が無線LANに接続されていない。 | 本機のケーブルを接続してください。無線LANに接続する場合は、LANケーブルが本機に接続されていないことと、無線LANアダプタ（オプション）が本機に接続されていることを確認し、本機を無線LANに接続します。 |  |
| 本機でエラーが発生している。                       | 本機でエラーが発生している。  | エラーの内容を確認して対処してください。   |
| コンピューターと本機の間のネットワークが正常ではない。          | コンピューターと本機の間のネットワークが正常ではない。   | ネットワーク管理者に相談してください。  |
| 使用するプロトコルが有効に設定されていない。               | 使用するプロトコルが有効に設定されていない。  | 使用するプロトコルを有効に設定してください。<br><br> 参照<br>・詳しくは、「[プロトコル] (P.214)」を参照してください。                |
| 本機が複数のコンピューターと接続している。                | 本機が複数のコンピューターと接続している。   | しばらく待ってから、再度プリントしてください。  |
| 大量に意味不明な文字（記号文字）が印刷される。              | 他社機のプリンタードライバーが使用されています。  | 適切なプリンタードライバーを使用してください。プリンタードライバーのプロパティ画面で、[詳細設定] タブのドライバーが本機になっていることを確認してください。  |
| データは本機に送られている。                       | 用紙が入っていない。<br>指定したサイズの用紙がない。  | 用紙を補給してください。<br>指定したサイズの用紙をセットしてください。<br><br> 参照<br>・詳しくは、「用紙をセットする (P.67)」を参照してください。 |
| 本機でエラーが発生している。                       | ジョブの実行が一時的に停止されている。   | エラーの内容を確認して対処してください。<br>画面でジョブをキャンセルするかどうかを指定してください。   |

## 思ったとおりのプリント結果にならない

プリント結果が予想と違う結果になる場合の処置方法について説明します。

| 症状                      | 原因  | 処置   |
|-------------------------|---|--|
| カラーでプリントされない。           | プリントオプションの [カラーモード] で [白黒] が選択されている。          | [カラーモード] で [カラー(自動判別)] を選択してください。  |
|                         | カラープリントジョブを強制的に白黒でプリントする設定になっている。             | [強制白黒プリント] を [しない] に設定してください。<br> 参照<br>・詳しくは、「カラープリントジョブを白黒でプリントする (P.83)」を参照してください。 |
| 異なる用紙サイズでプリントされる。       | 指定された用紙トレイに異なるサイズの用紙がセットされている。                | 用紙トレイにセットされた用紙のサイズを変えてください。もししくは、プリントオプションで、指定の用紙がセットされた用紙トレイを使用するように設定してください。   |
| 用紙の端にある画像が欠ける。          | 本機の印字可能エリアを超えている。                             | 本機の印刷エリアを拡張するか、ドキュメントの印字エリアを小さくしてください。   |
| プリントオプションで指定した内容が無効になる。 | 他機種のプリンタードライバーを使用している。<br>オプションが本機に装着されていません。 | 本機のプリンタードライバーをインストールしてください。<br>本機に装着されているオプションを確認して、プリンタードライバーのオプション構成を再度設定してください。   |

## 12.2.6 ファクスのトラブル

ファクス機能利用時のトラブル処置方法について説明します。

| 症状                            | 処置  |
|-------------------------------|---|
| ダイヤルトーンがない。                   | 電話回線が正しく接続されているか確認してください。   |
|                               | 別の電話機を電話用のソケットに差し込み、使えるかどうか確認してください。  |
| メモリーに保存されている電話番号へ正しくダイヤルできない。 | メモリーに電話番号が正しく保存されているか確認してください。<br>宛先表をプリントしてください。   |
| 原稿を読み込めない。                    | 原稿にしわがないか、また正しくセットされているかを確認します。原稿サイズが正しいか、また厚すぎたり薄すぎたりしないか確認してください。<br>自動両面原稿送り装置の上カバーがしっかりと閉じているか確認してください。   |
| ファクスが自動的に受信されない。              | 電話回線が正しく接続されているか確認してください。<br>ファクスモードが選択されているか確認してください。<br>用紙トレイに用紙がセットされているか確認してください。<br>画面に [ファクスメモリー空き容量不足] と表示されるか確認してください。<br>次の設定を、30秒など短い間隔にしてください。<br>・自動受信ファクス<br>・自動受信電話 / ファクス<br>・自動受信留守電 / ファクス |

| 症状                                      | 処置   |
|---|--|
| 本機がファクスを送信しない。                          | <p>画面にファクス送信中であることを示すメッセージが表示されるか確認してください。</p> <p>送信したファクスが届くか、受信側のファクス機を確認してください。</p> <p>[ダイヤルの種類] の [PB]、[DP(10PPS)]、[DP(20PPS)] を確認してください。</p> <p>原稿が自動両面原稿送り装置、または原稿ガラスにセットされているか確認してください。</p> <p>原稿を保存するための容量が不足している可能性があります。画面に [ファクスメモリー空き容量不足] というメッセージが表示されているか、ジョブ履歴レポートに017-970、033-787、033-788 というエラーが記録されていないか確認してください。</p> <p>その場合は、次のことを試してみてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送信画質を標準にする</li> <li>・1度に送信する枚数を減らす</li> <li>・受信済みのファクスがある場合は、その印刷が終わるまで待つ</li> <li>・送信待ちのファクスが送信終わるまで待つ</li> </ul> |
| 受信したファクスに空白部分がある、または受信したファクスの品質が低い。     | <p>適当な原稿のコピーをとり、本機が正しく動作しているか確認してください。</p> <p>トナーカートリッジが空になっていたら、トナーカートリッジを交換してください。</p> <p>ファクスモデムの速度を遅くしてください。</p> <p>本機にファクスを送信しているファクス機に問題がある可能性があります。</p>   |
| 受信したファクスの一部の文字が伸びてしまっている。               | 本機にファクスを送信しているファクス機に、一時的に紙詰まりが発生している可能性があります。  |
| 送信した原稿に線が入っている。                         | 原稿ガラス、原稿読み取りガラスの表面が汚れていたら、汚れをふきとけてください。  |
|   | <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳しくは、「原稿カバー、原稿ガラス、原稿押さえ部、原稿読み取りガラスを清掃する (P.332)」を参照してください。</li> </ul>  |
| 番号はダイヤルできるが、接続できない。                     | 相手側のファクス機の電源が入っていない、用紙が切れている、または着信に応じられない可能性があります。相手側に問題の解決を依頼してください。  |
| メモリーに原稿が保存されていない。                       | 原稿を保存するための容量が不足している可能性があります。画面に [ファクスメモリー空き容量不足] というメッセージが表示される場合、不要な原稿をメモリーから削除し、再度原稿を保存するか、実行中のジョブが完了するのを待ってください (例: ファクスの送受信)。  |
| 各ページ、または他のページ下部に空白があり、ページ上部にはテキストが少しある。 | <p>ユーザーオプション設定で誤った用紙設定を選択した可能性があります。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詳しくは、「用紙について (P.62)」を参照してください。</li> </ul>   |
| 本機がファクスを送受信しない。                         | <p>[ダイヤルの種類] の [PB]、[DP(10PPS)]、[DP(20PPS)] を確認してください。</p> <p>ケーブルが正しく接続されているか確認してください。</p> <p>電話回線が電話応答装置やコンピューターなどの機器を介して本機に接続されている場合は、それらの機器を介さず、本機に直接接続してください。</p>   |
| ファクスの送受信時にエラーがよく発生する。                   | △ 〈ホーム〉ボタンを押し、[機器設定] > [一般] > [ファクス設定] > [送信設定] > [モデムスピード] で、モデムの速度を落としてください。   |

| 症状                   | 処置   |
|----------------------|--|
| ファックスを受信するが、プリントしない。 | トナー残量を確認してください。<br>用紙トレイに用紙がセットされているか確認してください。 |
|                      | [ファックス受信転送設定] が [転送しない] に設定されていることを確認してください。   |
|                      | [受信制限] が [しない] に設定されていることを確認してください。            |
|                      | [セキュリティーファックス受信] が [しない] に設定されていることを確認してください。  |
|                      | [NVMの初期化] > [ファックス設定] を実行してください。               |

## 12.2.7 スキャナーのトラブル

スキャナー機能利用時のトラブル処置方法について説明します。  
本機でスキャンできない場合の処置方法について説明します。

| 症状                                    | 処置  |
|---------------------------------------|---|
| スキャナーが動作しない。                          | スキャンする原稿の向きが、次のように正しくセットされているか確認してください。<br>原稿ガラス：下向き<br>自動両面原稿送り装置：上向き        |
|                                       | スキャンする原稿を保存するための容量が不足している可能性があります。プレビュー機能が使用できるか試してください。または、スキャンの解像度を下げてください。 |
|                                       | USBケーブル、LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。  |
|                                       | USBケーブル、LANケーブルに問題がないか、確認してください。問題がある場合は、交換してください。                            |
|                                       | スキャナーが正しく設定されているかを確認します。お使いのソフトウェアで、スキャンされたデータが正しいポートへ送信されているかどうかを確認してください。   |
| スキャンが非常に遅い。                           | メール、スキャナー（ネットワーク）機能を使用すると、写真のスキャンは、文字より時間がかかります。                              |
|                                       | スキャンモードでは、スキャンされた画像を分析、再現するのに大きな容量が必要なため、通信速度が遅くなります。                         |
|                                       | 高画質でスキャンすると、低画質でスキャンするときよりも時間がかかります。  |
| 自動両面原稿送り装置で原稿送りに失敗したり、原稿が重なって送られたりする。 | 自動両面原稿送り装置のローラー部が正しく装着されているか確認してください。   |
|                                       | 原稿の用紙種類が本機の設定に適応しているか確認してください。  |
|                                       | 原稿が正しく自動両面原稿送り装置にセットされているか確認してください。   |
|                                       | 原稿ガイドが正しく調整されているか確認してください。  |
|                                       | 原稿枚数が自動両面原稿送り装置の容量を超えていないか確認してください。   |
|                                       | 原稿がカールしていないか確認してください。   |
|                                       | 原稿をよくさばいてから自動両面原稿送り装置にセットしてください。  |

| 症状  | 処置   |
|---|--|
| 自動両面原稿送り装置からスキャンすると、スキャンされたデータに縦の線が表れる。   | <p>原稿読み取りガラスを清掃してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿カバー、原稿ガラス、原稿押さえ部、原稿読み取りガラスを清掃する (P.332)」を参照してください。</li> </ul>  |
| 原稿ガラスでスキャンすると、同じ位置によがれが現れる。   | <p>清掃棒を使用し、機械を清掃してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「本体内部を清掃する (P.329)」を参照してください。</li> </ul>   |
| 自動両面原稿送り装置からスキャンすると、原稿が汚れる。   | <p>原稿ガラスを清掃してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「原稿カバー、原稿ガラス、原稿押さえ部、原稿読み取りガラスを清掃する (P.332)」を参照してください。</li> </ul>  |
| 自動両面原稿送り装置からスキャンすると、原稿が汚れる。   | <p>自動両面原稿送り装置のローラー部を清掃してください。</p> <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>詳しくは、「自動両面原稿送り装置のローラー部を清掃する (P.333)」を参照してください。</li> </ul>   |
| 画像の向きが斜めになる。  | <p>自動両面原稿送り装置、原稿ガラスに原稿がまっすぐにセットされているか確認してください。</p>   |
| 自動両面原稿送り装置からスキャンすると、スキャンされたデータに斜線が現れる。  | <p>原稿が分厚い場合、原稿ガラスからスキャンしてください。</p>   |
| コンピューター画面に表示される。メッセージ：<br>・ 望んだH/Wモードを設定できません。<br>・ ポートは他のプログラムによって使用されています。<br>・ ポートが無効です。<br>・ スキャナーはデータを受信中、またはプリント中です。実行中のジョブが完了してから、再試行してください。<br>・ 無効な操作。<br>・ スキャンに失敗しました。 | <p>コピー中、プリント中のジョブがある可能性があります。実行中のジョブが完了してから、再試行してください。</p> <p>選択したポートは現在使用中です。コンピューターを再起動し、再試行してください。</p> <p>ケーブルが正しく接続されていないか、電源が切れている可能性があります。</p> <p>スキャナードライバーがインストールされていないか、正しい動作環境が構築されていない可能性があります。</p> <p>ポートが正しく接続され、電源が入っていることを確認してください。その後、コンピューターを再起動してください。</p> <p>USBケーブル、LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。</p> |
| スキャナー（メール送信）、スキャナー（ネットワーク）機能を使用しているときに、指定した宛先に正しくスキャンデータを転送できない。  | <p>スキャナー（メール送信）の場合は、本機のアドレス帳またはCentreWare Internet Servicesで宛先のメールアドレスが正しいか確認してください。</p> <p>スキャナー（ネットワーク）の場合は、宛先表ツールでサーバーアドレスの設定が正しいか確認してください。</p>   |

## 12.2.8 無線 LAN 接続のトラブル

| 症状                             | 処置   |
|--------------------------------|--|
| 無線LAN接続が設定できない。                | LANケーブルが本機から外れていることを確認します。<br>[Wi-Fi] が有効になっていることを確認します。<br> 参照<br>・詳しくは、「[Wi-Fi] (P.210)」を参照してください。<br>コンピューターのファイアウォール設定により、本機との通信が遮断されている可能性があります。ファイアウォールを無効にします。<br>無線LANアクセスポイントがIEEE 802.11b/g/nに準拠し、2.4 GHz帯で使用可能かを確認します。 |
| WPS方式で無線LAN接続が設定できない。          | 無線LANアクセスポイントのセキュリティー設定がWPAまたはWPA2であることを確認します。WEPは、WPSでは対応していません。<br>無線LANアクセスポイントで、本機のMACアドレスでのアクセスが制限されていないことを確認します。<br> 参照<br>・無線LANアクセスポイントの操作については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。   |
| WPS（プッシュボタン方式）で無線LAN接続が設定できない。 | 本機のWPS操作を開始してから2分以内に無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押します。<br> 参照<br>・無線LANアクセスポイントの操作については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。  |
| WPS（PINコード方式）で無線LAN接続が設定できない。  | 無線LANアクセスポイントに入力したPINコードが正しいことを確認します。<br> 参照<br>・PINコードの入力方法については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。   |
| 本機のネットワークモードをアドホックモードに設定できない。  | [Wi-Fi Direct] が無効になっていることを確認します。<br> 参照<br>・設定については、「[Wi-Fi Direct] (P.212)」を参照してください。   |

## 12.2.9 Wi-Fi Direct のトラブル

| 症状  | 処置   |
|---|--|
| モバイル機器から本機を検出できない。  | 本機がWi-Fi Directを使用して別のモバイル機器と接続されている可能性があります。本機と別のモバイル機器の接続を切断してください。<br> 参照<br>・詳しくは、「Wi-Fi Directネットワークからモバイル機器を切断する (P.170)」を参照してください。 |
| モバイル機器と本機を接続できない。Android機器のWi-Fi Direct機能を使って本機と接続する場合は、本機の[グループ設定]を[グループオーナー]にします。 | [Wi-Fi Direct] が無効になっていることを確認します。<br> 参照<br>・設定については、「[Wi-Fi Direct] (P.212)」を参照してください。   |

| 症状   | 処置  |
|--|---|
| 「Wi-Fi Direct ネットワークからモバイル機器を切断する (P.170)」の手順を行っても本機からモバイル機器を切断できない。 | モバイル機器が本機に自動的に再接続している可能性があります。Wi-Fi Direct のパスフレーズを初期化し、モバイル機器を切断します。<br> 参照<br>・詳しくは、「パスフレーズを初期化する (P.171)」を参照してください。 |
| [Wi-Fi Direct] を有効にできない。   | ネットワークモードがインフラストラクチャー モードになっていることを確認します。  |
|  | [IP動作モード] が [IPv6] 以外のモードに設定されていることを確認します。  |

## 12.2.10 IPv6 環境のトラブル

| 症状                     | 処置   |
|------------------------|--|
| IPv6 の IP アドレスが設定できない。 | [Wi-Fi Direct] が無効になっていることを確認します。<br> 参照<br>・設定については、「[Wi-Fi Direct] (P.212)」を参照してください。 |

## 12.2.11 スキャナードライバー／ソフトウェアのトラブル

スキャナードライバー／ソフトウェアのトラブルの処置方法について説明します。

| 症状                        | 処置  |
|---------------------------|---|
| TWAIN ドライバーが本機に接続できない。    | USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。<br>本機の電源が入っているか確認してください。機械の電源が入っている場合、電源を切り、そのあと電源を入れて本機を再起動させてください。  |
| 宛先表データを本機から宛先表ツールに読み込めない。 | スキャンソフトウェアが起動中の場合、一度ソフトウェアを閉じ、再起動してからやり直してください。<br>USB ケーブル、LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。無線 LAN 接続の場合は、本機とコンピューターが、無線 LAN に正しく接続されていることを確認してください。 |
|                           | 機械の電源が入っているか確認してください。<br>コンピューターにスキャナードライバーがインストールされていることを確認してください（本機が USB ケーブルで接続されているとき、宛先表ツールはスキャナードライバーを介して電話帳データを復元します）。                     |

| 症状   | 処置   |
|--|--|
| Windows® Image Acquisition (WIA) ドライバーを使ったスキャンが中断する。 | Print & Scan Hub または Web Services on Devices (WSD) を使用してスキャンしてください。<br> 参照<br>・詳しくは、「Print & Scan Hub でスキャンする (P.138)」または「Web Services on Devices (WSD) でスキャンする (P.140)」を参照してください。<br>TWAINに対応する画像用ソフトウェアでスキャンする場合は、TWAIN ドライバーを使用してください。<br> 参照<br>・詳しくは、「TWAIN ドライバーでスキャンする (P.145)」を参照してください。 |

# 12.3 エラーコードが表示されたら

エラーが発生して操作が正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、操作パネルのタッチパネルディスプレイにメッセージとエラーコード（\*\*\*-\*\*）が表示されます。次の表でエラーコードを参照して、処置してください。

## ！注記

- ・エラーが発生した場合は、本機のメモリーに蓄積されている内容が消去されることがあります。

## 💡 補足

- ・次の表に記載されていないエラーコードが表示された場合は、操作パネルに表示されたメッセージの説明に従ってください。表の記載や操作パネルに表示されたメッセージの説明に従って処置をしても正常に戻らないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご連絡ください。

| エラーコード  | 対処方法  |
|---------|---|
| 005-942 | 原稿サイズが正しく検知されませんでした。自動両面原稿送り装置の原稿をセットし直してから、[スタート] をタップしてください。  |
|         |  <b>補足</b><br>・非定型サイズの原稿をセットする場合は、[原稿サイズ] で原稿サイズを設定してください。選択した原稿サイズによっては、原稿が用紙に収まらなかったり、原稿の周りの影が写り込む場合があります。 |
| 010-397 | 定着ユニットにエラーが起こりました。本機の電源を切り、再度電源を入れます。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。   |
| 016-338 | 本機の電源を切ります。無線LANアダプタ（オプション）が正しく取り付けられていることを確認し、再度本機の電源を入れます。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。  |
| 016-404 | 証明書に問題があります。システム管理者にお問い合わせください。[OK] をタップすると初期化を開始します。   |
| 016-405 |   |
| 016-503 | SMTPサーバーのホスト名が解決できません。SMTPサーバーとDNSサーバーが正しく設定されていることを確認します。  |
| 016-504 | POP3サーバーのホスト名が解決できません。POP3サーバーとDNSサーバーのユーザー名とパスワードが正しく設定されていることを確認します。  |
| 016-505 | POP3サーバーにアクセス中にログインエラーが起こりました。POP3サーバーのユーザー名とパスワードが正しく設定されていることを確認します。  |
| 016-506 | SMTPサーバーまたはPOP3サーバーが設定されていません。SMTPサーバーまたはPOP3サーバーの設定をします。   |
| 016-507 | SMTPサーバーにアクセス中にログインエラーが起こりました。SMTPサーバーのユーザー名とパスワードが正しく設定されていることを確認します。  |
| 016-520 | 本機の証明書が無効です。システム管理者にお問い合わせください。   |
| 016-521 | 宛先クライアントの証明書が無効です。システム管理者にお問い合わせください。   |
| 016-522 | SSL証明書を取得できませんでした。システム管理者にお問い合わせください。   |
| 016-523 | SSL証明書が正しくありません。システム管理者にお問い合わせください。   |
| 016-524 | SSL証明書の有効期限が切れました。システム管理者にお問い合わせください。   |
| 016-527 | システム管理者にお問い合わせください。状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。   |

| エラーコード  | 対処方法  |
|---------|---|
| 016-530 | LDAPサーバーにアクセス中に認証エラーが起こりました。本機の電源を切り、再度電源を入れます。認証サーバーのアクセス設定を確認します。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。   |
| 016-541 | 無線LAN Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterpriseを使用中に、サーバーまたはクライアントの無線証明書が正しく参照されません。システム管理者に依頼して、本機を有線LANに接続し、無線LAN設定を初期化してください。その後、無線証明書をインポートし、Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterpriseを再設定してください。   |
| 016-542 | Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterprise操作で証明書を取得しているときに、サーバー証明書エラーが起こりました。Radiusサーバーで使用していたサーバー証明書の有効期限が切れているなど、サーバー証明書に問題があります。システム管理者に依頼して、Radiusサーバーで使用していたサーバー証明書を確認してください。                     |
| 016-543 | 無線LAN Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterpriseを使用中に、サーバーまたはクライアントの無線証明書の破損エラーが起こりました。システム管理者に依頼して、本機を有線LANに接続し、無線LAN設定を初期化してください。その後、無線証明書をインポートし、Mixed Mode EnterpriseまたはWPA2-Enterpriseを再設定してください。 |
| 016-718 | プリント時に十分なメモリーがないため、エラーが起こりました。プリントは中止されます。プリントするデータのサイズを削減してください。RAMディスクを使用している場合は、RAMディスクのサイズを削減してください。  |
| 016-720 | 対応していないページ記述言語（PDL）が含まれています。対応しているプリンタードライバーを使用してください。  |
| 016-737 | 本機の電源を切り、タッチパネルディスプレイに何も表示されていないことを確認してから、本機の電源を入れてください。それでも解決しない場合は、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。   |
| 016-741 |   |
| 016-742 |   |
| 016-743 |   |
| 016-744 |   |
| 016-745 |   |
| 016-757 | アカウントが登録されていません。システム管理者にお問い合わせください。   |
| 016-758 | この機能は使用できません。システム管理者にお問い合わせください。  |
| 016-759 | 印字可能ページ数が上限を超えるました。システム管理者にお問い合わせください。  |
| 016-764 | 本機がSMTPサーバー接続時にエラーが起こりました。SMTPサーバー設定を確認するか、SMTPサーバーの管理者にお問い合わせください。   |
| 016-765 | SMTPサーバーの容量が不足しています。SMTPサーバーの管理者にお問い合わせください。  |
| 016-766 | メールサイズがSMTPサーバーの制限容量を超えています。SMTPサーバーの管理者にお問い合わせください。  |

 参照

- ・RAMディスクの機能については、「[RAMディスク] (P.234)」を参照してください。

 参照

- ・プリンタードライバーのインストール方法については、「Windows®用のソフトウェアをインストールする (P.32)」および「Mac用のソフトウェアをインストールする (P.35)」を参照してください。

| エラーコード  | 対処方法   |
|---------|--|
| 016-767 | 宛先のメールアドレスが正しくありません。メールアドレスを確認し、再度スキャンします。   |
| 016-768 | メール送信者のアドレスが正しくありません。メールアドレスを確認し、再度スキャンします。  |
| 016-786 | スキャンデータの送受信時にタイムアウトエラーが起こりました。LANケーブルが本機に正しく接続されていることを確認します。LANケーブルに問題がない場合は、サーバー管理者にお問い合わせください。   |
| 016-790 | ネットワーク接続エラーが起こりました。有線LAN接続の場合はLANケーブルが本機に正しく接続されていることを確認してください。<br>ケーブルに問題がないとき、または無線LAN接続の場合は、サーバー管理者にお問い合わせください。   |
| 016-799 | 無効なジョブです。プリンタードライバーで本機の設定を確認します。   |
| 016-924 | 暗号化方式をWEPに設定して無線LAN環境に接続する場合は、「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクから起動できる【おまかせセットアップ】を使った無線LANの設定ができません。無線LANアクセスポイントの暗号化方式がWEPの場合は、本機の操作パネルから無線LANの設定をします。  |
|         | <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>無線LAN設定については、「無線LANに手動設定で接続する(P.27)」を参照してください。</li> </ul>                                 |
| 016-985 | 解像度を下げて再度スキャンします。またはスキャンデータのファイル形式を変更します。  |
| 016-986 |  |
| 017-970 | 原稿を保存するための容量が不足しました。[閉じる]を選択し、次のことを試してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・送信画質を標準にする</li> <li>・1度に送信する枚数を減らす</li> <li>・受信したファクスを削除するか、送信が完了するまで待つ</li> <li>・セキュリティー受信モードを使用している場合、保存されているファクスジョブをプリントする</li> </ul> |
|         | <p> 参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セキュリティー受信モードの詳細については、「セキュリティー受信モードを使う(P.154)」を参照してください。</li> </ul>                      |
| 027-446 | IPv6アドレスが重複しています。IPv6アドレスを変更してください。  |
| 027-452 | IPv4アドレスが重複しています。IPv4アドレスを変更してください。  |
| 031-521 | SMBサーバーへのログインエラーが起こりました。システム管理者に依頼して、ログインできるコンピューターを確認してください。  |
| 031-522 | SMBサーバーへのログインエラーが起こりました。ログイン名(ドメイン名とユーザー名)とパスワードが正しいことを確認します。  |
| 031-523 | SMB共有名が無効です。設定した共有名を確認します。   |
| 031-524 | SMBサーバーのユーザー アカウントが上限を超えていません。一度にサーバーを使用するユーザー数が上限を超えていないかを確認します。  |
| 031-525 | SMB宛先クライアントの許諾エラーです。指定されたユーザーが格納場所のファイルを読み書きできる権限を持っているかを確認します。  |
| 031-526 | SMBサーバーのホスト名がネットワーク上に見つかりません。DNS接続を確認するか、転送先のサーバーがDNSに登録されているかを確認します。  |
| 031-527 | SMBサーバーのホスト名がネットワーク上に見つかりません。DNSアドレスを設定するか、転送先のIPアドレスを設定します。   |

| エラーコード  | 対処方法   |
|---------|--|
| 031-528 | SMBサーバーに接続できません。本機と転送先のSMBサーバーがネットワークで通信できているかを確認します。  |
| 031-529 | SMBサーバーへのログインエラーが起こりました。パスワードが無効です。パスワードが正しいかを確認します。   |
| 031-530 | SMB共有フォルダーが、指定されたSMBサーバーに見つかりません。次を確認します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・格納場所は正しいですか。</li><li>・設定したファイル名は、SMBサーバー上でファイルを作成したときの名前と同じですか。</li><li>・DFS設定は正しいですか。SMBサーバー、共有名、格納場所は、確認済みの設定に従って直接指定されていますか。</li></ul> |
| 031-531 | SMBサーバー上でファイル名またはフォルダーナーが見つかりません。指定したフォルダーハーへのアクセス権があるかを確認します。   |
| 031-532 | SMBスキャンファイル名またはフォルダーナーが上限を超えてます。ファイル名または転送先のフォルダーを変更します。または転送先フォルダーハー内のファイルを移動または削除します。  |
| 031-533 | SMBサーバーにファイルの書き込みができません。設定したファイル名がほかのユーザーに使われていないかを確認します。  |
| 031-534 | SMBサーバーにフォルダーの作成ができません。設定したフォルダーナーがほかのユーザーに使われていないかを確認します。   |
| 031-535 | SMBサーバーのファイルを削除できません。ほかのユーザーがファイルを使用していないかを確認します。  |
| 031-536 | SMBサーバーのフォルダーを削除できません。ほかのユーザーがフォルダーを使用していないかを確認します。  |
| 031-537 | SMBサーバーが容量を超えています。格納場所に十分な空き容量があるかを確認します。  |
| 031-539 | 指定されたSMBサーバーが無効です。サーバー名が正しいかを確認します。  |
| 031-540 | 指定されたドメイン名が無効です。ドメイン名が正しいかを確認します。  |
| 031-541 | 指定されたユーザー名が無効です。ユーザー名が正しいかを確認します。  |
| 031-542 | TCP/IP が初期化されません。しばらく待ってから同じ操作をします。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。  |
| 031-543 | SMBサーバーへのログインエラーが起こりました。システム管理者にログイン許可時間を確認してください。   |
| 031-544 | SMBサーバーへのログインエラーが起こりました。パスワードの期限が切れています。システム管理者にパスワードの有効期限を確認してください。   |
| 031-545 | SMBサーバーへのログインエラーが起こりました。パスワードを変更します。システム管理者にパスワード変更の必要性を確認してください。  |
| 031-546 | SMBサーバーへのログインエラーが起こりました。無効なユーザーが指定されました。宛先サーバーの設定については、システム管理者にお問い合わせください。   |
| 031-547 | SMBサーバーへのログインエラーが起こりました。SMBサーバーにアクセスできないユーザーが指定されています。宛先サーバーの設定については、システム管理者にお問い合わせください。   |
| 031-548 | SMBサーバーへのログインエラーが起こりました。SMBサーバーへのログイン時間が切れています。宛先サーバーの設定については、システム管理者にお問い合わせください。  |

| エラーコード  | 対処方法  |
|---------|---|
| 031-549 | SMBサーバーへのログインエラーが起こりました。指定されたユーザーは許可されません。パスワード入力は必須です。サーバーセキュリティー設定で、ゼロパスワードユーザーのアクセス許可を確認します。     |
| 031-550 | アペンドコマンドエラーが起こりました。本機がSMBサーバーにデータを付加する権限を持っているかを確認します。サーバーがアペンドコマンドに対応しているかを確認します。                  |
| 031-551 | リネームコマンドエラーが起こりました。本機がSMBサーバーのデータをリネームする権限を持っているかを確認します。サーバーがリネームコマンドに対応しているかを確認します。                |
| 031-552 | ジョブが中止されました。FTPサーバーにすでに存在するファイル名を変更します。   |
| 031-574 | FTPサーバーのホスト名が解決できません。DNS接続を確認します。または転送先のサーバーがDNSに登録されているかを確認します。                                    |
| 031-575 | FTPサーバーのホスト名が解決できません。DNSアドレスを設定します。または転送先のサーバーアドレスをIPアドレスとして設定します。                                  |
| 031-576 | FTPサーバーに接続できません。本機と転送先のFTPサーバーが通信できているかを確認します。確認事項の一例として、LANケーブルが接続されているか、サーバーのIPアドレスが正しいかなどを確認します。 |
| 031-578 | FTPサーバーへのログインエラーが起こりました。ログイン名（ユーザー名）とパスワードが正しいかを確認してください。   |
| 031-579 | FTPのサブディレクトリーパスが無効です。格納場所が正しいかを確認します。   |
| 031-580 | FTPサーバー上のファイル名またはフォルダーナーが見つかりません。サーバーへのアクセス権があるかを確認します。   |
| 031-581 | FTPスキャンファイル名またはフォルダーナーが上限を超えてます。ファイル名または転送先のフォルダーを変更するか、転送先フォルダー内のファイルを移動または削除します。                  |
| 031-582 | FTPサーバーにファイルの書き込みができません。指定したファイル名が格納場所で作成できるか確認するか、格納場所に十分な空き容量があるかを確認します。                          |
| 031-584 | FTPサーバーにフォルダーの作成ができません。指定したフォルダーナーが格納場所で作成できるか確認するか、指定したフォルダーナーと同じ名前のフォルダーが存在していないかを確認します。          |
| 031-585 | FTPサーバーのファイルが削除できません。サーバーへのアクセス権があるかを確認します。   |
| 031-587 | FTPサーバーのフォルダーが削除できません。サーバーへのアクセス権があるかを確認します。  |
| 031-588 | FTPサーバーにファイルの書き込みができません。格納場所に十分な空き容量があるかを確認します。   |
| 031-590 | ジョブが中止されました。FTPサーバーにすでに存在するファイル名を変更します。   |
| 031-594 | タイプコマンドエラーが起こりました。再度同じ操作をします。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。                           |
| 031-595 | ポートコマンドエラーが起こりました。再度同じ操作をします。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。                           |

| エラーコード  | 対処方法   |
|---------|--|
| 031-598 | アペンドコマンドエラーが起こりました。本機がFTPサーバーにデータを付加する権限を持っているかを確認します。サーバーがアペンドコマンドに対応しているかを確認します。   |
| 031-599 | PNFRコマンドエラーが起こりました。本機がFTPサーバーのファイルをリネームする権限を持っているかを確認します。サーバーがPNFRコマンドに対応しているかを確認します。  |
| 033-513 | ファクス通信エラーが起こりました。次の操作をしてください。<br>・受信したファクスを出力するか、ファクス送信が完了するまで待ちます。<br>・[セキュリティーファクス受信] を有効にしている場合は、蓄積されたファクスを出力します。   |
| 033-762 | 着信拒否された番号からのファクスを拒否しました。   |
| 033-776 | ファクスデータが大きすぎるため、メモリーの上限を超えるおそれがあります。スキャン解像度を下げ、再度スキャンします。  |
|         |  参照<br>・詳しくは、「[送信画質] (P.160)」を参照してください。   |
| 033-788 | 原稿を保存するための容量が不足しました。[閉じる] を選択し、次のことを試してください。<br>・送信画質を標準にする<br>・1度に送信する枚数を減らす<br>・受信したファクスを削除するか、送信が完了するまで待つ<br>・セキュリティー受信モードを使用している場合、保存されているファクスジョブをプリントする                         |
|         |  参照<br>・セキュリティー受信モードの詳細については、「セキュリティー受信モードを使う (P.154)」を参照してください。                                  |
| 034-515 | ファクス通信エラーが起こりました。本機または相手機のメモリーがいっぱいではないかを確認します。  |
| 034-791 | 電話線が正しく接続されているかを確認します。電話線が正しく接続されている場合は、次を確認します。<br>・ダイヤル種別は正しいですか。  |
|         |  参照<br>・詳しくは、「[ダイヤルの種類] (P.207)」を参照してください。<br>ダイヤル種別が正しく設定されている場合は、次を確認します。<br>・相手機はファクスを受信できますか。 |
| 035-701 | 送信先ファクスが応答しません。次を確認します。<br>・相手機の状態<br>・ダイヤル種別設定  |
|         |  参照<br>・詳しくは、「[ダイヤルの種類] (P.207)」を参照してください。  |
| 035-708 | ファクス通信エラーが起こりました。モデム速度を落とします。  |
| 035-717 |  参照<br>・詳しくは、「[モデムスピード] (P.208)」を参照してください。  |
| 035-718 | 送信元ファクスが応答しません。相手機の状態を確認します。   |
| 035-720 | ファクス通信エラーが起こりました。相手機の機能を確認します。   |
| 035-781 | [閉じる] を選択し、相手機が話し中でないか確認してください。  |

| エラーコード   | 対処方法  |
|--|---|
| 042-700  | <p>本機内部の温度が上昇しすぎたため、冷却モードに入りました。</p> <p>内部の温度が下がるとメッセージ画面は消えます。画面が消えるまで待ってください。</p> <p>室内の温度が高いと、本機の温度が下がるまで時間がかかります。室温を下げてください。</p> <p>画面が消えたら、本機の電源を切り、再度電源を入れます。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。</p>         |
|  注記   | <ul style="list-style-type: none"> <li>冷却モード中は、本機内部のファンが熱を逃がします。本機のフロントカバーを開いたり、電源を切ったりしないでください。</li> </ul>   |
| 042-701  | <p>本機内部の温度が上昇しすぎたため、冷却モードに入りました。</p> <p>内部の温度が下がるとメッセージ画面は消えます。画面が消えるまで待ってください。</p> <p>室内の温度が高いと、本機の温度が下がるまで時間がかかります。室温を下げてください。</p> <p>画面が消えたら、本体のカバーを閉じてください。自動的にスタートします。それでも状態が改善されないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。</p> |
|  注記   | <ul style="list-style-type: none"> <li>冷却モード中は画面に表示されるカバーを開けてください。冷却時間が短縮されます。</li> </ul>   |
| 062-956  | <p>原稿サイズが正しく検知されませんでした。原稿ガラスの原稿をセットし直してから、[スタート] をタップしてください。</p>  |
|  補足 | <ul style="list-style-type: none"> <li>非定型サイズの原稿をセットする場合は、[原稿サイズ] で原稿サイズを設定してください。選択した原稿サイズによっては、原稿が用紙に収まらなかったり、原稿の周りの影が写り込む場合があります。</li> </ul>   |
| 116-722  | <p>送信先のコンピューターから応答がありません。指定されたコンピューターが稼働していることを確認し、再度スキャンします。</p>   |

# 12.4 修理に出す前に

## 12.4.1 修理依頼について

以下の点を同意の上、修理依頼をお願いします。

- ・修理作業においてプリンター内のデータが失われる場合があります。この場合当社では責任を負うことができませんので、あらかじめご承知おきください。
- ・修理作業において取り外した部品の所有権は当社に帰属し、当該部品はご返却いたしかねますのであしからずご了承ください。
- ・本体に保存されたデータ（電話帳データ、受信データ等）の復旧依頼、バックアップ依頼は、対応しかねますのでご了承ください。

## 12.4.2 プリンター内の電話帳データ（個人情報）の取り扱いに関して

本機を修理に出す際は、本体に保存された宛先表データはあらかじめコンピューター上にバックアップをとり、プリンター内のデータは削除してください。修理時にデータが失われる場合があります。



- ・電話帳データは個人情報が含まれていますので、お客様の責任で削除することをお願いします。

# 付録

|                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| 主な仕様 .....                        | 375 |
| オプション製品について .....                 | 383 |
| 保証について .....                      | 384 |
| 無線 LAN アダプタ（オプション）の取り付けについて ..... | 389 |
| 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクについて .....  | 390 |
| 工場出荷時の状態に戻す .....                 | 391 |

# 主な仕様

本機の主な仕様を記載します。製品の仕様、および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 基本機能 / コピー機能

|                        |  |
|------------------------|--|
| 形式                     | デスクトップ   |
| メモリー容量                 | 1 GB (オンボード)   |
| カラー対応                  | フルカラー  |
| 読み取り解像度                | 600 × 600 dpi  |
| 書き込み解像度                | 1200 × 2400 dpi (文字、文字/写真、写真)  |
| 階調/表現色                 | 各色256階調 (1670万色)   |
| ウォームアップ・タイム            | 46秒以下 (室温23°C)   |
| リカバリータイム<br>(スリープ復帰時間) | 28秒以下 (室温23°C)   |
| 原稿サイズ                  | シート・ブック共に最大A3、11 × 17"、297 × 432 mm  |
| 用紙サイズ                  | 最大：A3、11 × 17" (トレイ5 (手差し) では297 × 432 mm)<br>最小：A5 (トレイ5 (手差し) では89 × 98 mm)<br>画像欠け幅：先端／後端／右／左 5.5 mm  |
| 用紙坪量                   | トレイ1：60～90 g/m <sup>2</sup><br>トレイ2：60～256 g/m <sup>2</sup><br>トレイ5 (手差し)：60～216 g/m <sup>2</sup><br> <b>注記</b><br>・当社推奨用紙の使用をお勧めします。使用条件によっては正しく印刷できない場合があります。 |
| ファーストコピー・タイム           | モノクロ：8.6秒 (A4口/モノクロ優先モード時)<br>カラー：10.8秒 (A4口/カラー優先モード時)  |
| 複写倍率                   | 等倍：1:1 ± 0.7%<br>固定倍率：50%、70%、81%、86%、115%、122%、141%、200%<br>任意倍率：25～400% (1% きざみ)   |
| 連続複写速度                 | A4口：モノクロ：20枚/分、カラー：20枚/分<br>A4/B4/A3/B5口/B5：モノクロ：12枚/分、カラー：12枚/分<br> <b>注記</b><br>・画質調整のため速度が低下することがあります。   |
| 給紙方式/給紙容量              | 標準：280枚 × 1トレイ + トレイ5 (手差し) 100枚<br>オプション：トレイ2 (1トレイモジュール)：560枚<br>最大：940枚 (標準+トレイ2 (1トレイモジュール))<br> <b>注記</b><br>・FUJI XEROX P紙                                |

|                  |   |
|------------------|---|
| <b>連続複写枚数</b>    | 999枚  |
|                  | <p> <b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画質安定化処理のため、機械の動作を一時的に中断することがあります。</li> </ul>   |
| <b>出力トレイ容量</b>   | 250枚 (A4)<br>200枚 (A3)  |
|                  | <p> <b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・FUJI XEROX P紙</li> </ul>   |
| <b>電源</b>        | AC100 V ± 10%、11 A、50/60 Hz 共用  |
| <b>最大消費電力</b>    | <p>最大消費電力：1.1 kW<br/>         スリープモード時：1.3 W<br/>         低電力モード時：47 W<br/>         レディー時：79 W</p> <p> <b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場出荷時に低電力モードは設定されていません。</li> </ul>  |
| <b>エネルギー消費効率</b> | 69 kWh／年 区分：複合機a  |
|                  | <p> <b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ法（平成25年3月1日付）で定められた測定方法による数値。</li> </ul>  |
| <b>大きさ</b>       | <p>幅 595 × 奥行 627 × 高さ 634 mm<br/>         幅 595 × 奥行 627 × 高さ 747 mm (トレイ2 (1トレイモジュール) 付き)<br/>         幅 640 × 奥行 727 × 高さ 1105 mm (トレイ2 (1トレイモジュール) と専用キャビネット付き)</p> <p> <b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源コード部は含まず。</li> </ul> |
| <b>質量</b>        | <p>49 kg<br/>         60 kg (トレイ2 (1トレイモジュール) 付き)<br/>         74 kg (トレイ2 (1トレイモジュール) と専用キャビネット付き)</p> <p> <b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トナーカートリッジは除く。</li> </ul>   |
| <b>機械占有寸法</b>    | <p>幅 974 × 奥行 627 mm<br/>         幅 974 × 奥行 727 mm (トレイ2 (1トレイモジュール) と専用キャビネット付き)</p> <p> <b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレイ5 (手差し) を最大に伸ばし、自動両面原稿送り装置の原稿受けストッパーを開いたとき。</li> </ul>   |

## プリント機能

|                 |   |
|-----------------|---|
| <b>形式</b>       | 内蔵型   |
| <b>連続プリント速度</b> | <p>基本機能／コピー機能に準ずる</p> <p> <b>注記</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画質調整のため速度が低下することがあります。</li> <li>・ドキュメントによっては速度が低下する場合があります。</li> </ul> |

|          |  |
|----------|--|
| 書き込み解像度  | 標準：1200 × 2400 dpi<br>高画質：1200 × 2400 dpi<br> <b>注記</b><br>・高画質はカラーモードのみ。   |
| ページ記述言語  | 標準：PCL6<br>オプション：—   |
| 対応プロトコル  | Ethernet (標準) : TCP/IP (lpd、IPP/IPPS、Port9100、Web Services on Devices)   |
| 対応OS     | 標準：<br>Windows® 10 (32 ビット)<br>Windows® 10 (64 ビット)<br>Windows® 8.1 (32 ビット)<br>Windows® 8.1 (64 ビット)<br>Windows® 7 (32 ビット)<br>Windows® 7 (64 ビット)<br>Windows Server® 2016 (64ビット)<br>Windows Server® 2012 R2 (64 ビット)<br>Windows Server® 2012 (64 ビット)<br>Windows Server® 2008 R2 (64 ビット)<br>Windows Server® 2008 (32 ビット)<br>Windows Server® 2008 (64 ビット)<br>macOS 10.13<br>macOS 10.12<br>OS X 10.11<br>OS X 10.10<br>OS X 10.9<br>オプション：—<br> <b>注記</b><br>・最新の対応OSについては、当社公式サイトをご覧ください。 |
| 内蔵フォント   | 標準：<br>日本語：2書体（平成明朝体™ W3、平成角ゴシック体™ W5）<br>欧文：93書体<br>オプション：—   |
| エミュレーション | PCL5、PDF*<br>*ContentsBridge Utilityからのプリントに対応。  |
| インターフェイス | 標準：Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T*、USB2.0<br>オプション：IEEE802.11 n/g/b (2.4 GHz)*<br>*有線LANと無線LANは同時に使用できません。  |

# スキャン機能

|  |  |
|--|--|
| 形式   | カラースキャナー   |
| 原稿サイズ  | 基本機能／コピー機能に準ずる   |
| 原稿読み取り速度   | 自動両面原稿送り装置の原稿読み取り速度に準ずる  |
| インターフェイス   | Ethernet 1000BASE-T／100BASE-TX／10BASE-T  |
| スキャナー（PC取り込み）：読み取り解像度  | TWAIN対応ドライバー<br>モノクロ2値／グレースケール：600 × 600 dpi、400 × 400 dpi、300 × 300 dpi、200 × 200 dpi、150 × 150 dpi<br>カラー：400 × 400 dpi、300 × 300 dpi、200 × 200 dpi、150 × 150 dpi<br>Windows® Image Acquisition (WIA) 対応ドライバー<br>モノクロ2値／グレースケール／カラー：400 × 400 dpi、300 × 300 dpi、200 × 200 dpi、150 × 150 dpi  |
| スキャナー（PC取り込み）：ドライバー  | TWAIN対応ドライバー、Windows® Image Acquisition (WIA) 対応ドライバー  |
| スキャナー（PC取り込み）：対応OS   | Windows® 10 (32ビット)<br>Windows® 10 (64ビット)<br>Windows® 8.1 (32ビット)<br>Windows® 8.1 (64ビット)<br>Windows® 7 (32ビット)<br>Windows® 7 (64ビット)<br>Windows Server® 2016 (64ビット)<br>Windows Server® 2012 R2 (64ビット)<br>Windows Server® 2012 (64ビット)<br>Windows Server® 2008 R2 (64ビット)<br>Windows Server® 2008 (32ビット)<br>Windows Server® 2008 (64ビット) |
| <p> <b>注記</b><br/>・最新の対応OSについては、当社公式サイトをご覧ください。</p> |  |
| スキャナー（PC取り込み）：出力フォーマット   | アプリケーションに依存  |
| スキャナー（ネットワーク）：読み取り解像度  | モノクロ2値／グレースケール：600 × 600 dpi、400 × 400 dpi、300 × 300 dpi、200 × 200 dpi<br>カラー：400 × 400 dpi、300 × 300 dpi、200 × 200 dpi  |
| スキャナー（ネットワーク）：対応プロトコル  | TCP/IP (SMB、FTP)   |

|                        |   |
|------------------------|---|
| スキャナー（ネットワーク）：対応OS     | Windows® 10 (32ビット)<br>Windows® 10 (64ビット)<br>Windows® 8.1 (32ビット)<br>Windows® 8.1 (64ビット)<br>Windows® 7 (32ビット)<br>Windows® 7 (64ビット)<br>Windows Server® 2016 (64ビット)<br>Windows Server® 2012 R2 (64ビット)<br>Windows Server® 2012 (64ビット)<br>Windows Server® 2008 R2 (64ビット)<br>Windows Server® 2008 (32ビット)<br>Windows Server® 2008 (64ビット)<br>macOS 10.13<br>macOS 10.12<br>OS X 10.11<br>OS X 10.10<br>OS X 10.9 |
| <b>注記</b>              | ・最新の対応OSについては、当社公式サイトをご覧ください。   |
| スキャナー（ネットワーク）：出力フォーマット | モノクロ2値：TIFF、DocuWorks文書、PDF<br>グレースケール／カラー：TIFF、JPEG、DocuWorks文書、PDF  |
| スキャナー（メール送信）：読み取り解像度   | モノクロ2値／グレースケール：600 × 600 dpi、400 × 400 dpi、<br>300 × 300 dpi、200 × 200 dpi<br>カラー：400 × 400 dpi、300 × 300 dpi、200 × 200 dpi   |
| スキャナー（メール送信）：対応プロトコル   | TCP/IP (SMTP)   |
| スキャナー（メール送信）：出力フォーマット  | モノクロ2値：TIFF、DocuWorks文書、PDF<br>グレースケール／カラー：TIFF、JPEG、DocuWorks文書、PDF  |
| スキャナー（WSD）：読み取り解像度     | アプリケーションに依存<br><b>注記</b><br>・WSDはWeb Services on Devicesの略称です。  |
| スキャナー（WSD）：対応プロトコル     | TCP/IP (WSD)  |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| <b>スキャナー (WSD) : 対応OS</b>     | Windows® 10 (32ビット)<br>Windows® 10 (64ビット)<br>Windows® 8.1 (32ビット)<br>Windows® 8.1 (64ビット)<br>Windows® 7 (32ビット)<br>Windows® 7 (64ビット)<br>Windows Server® 2016 (64ビット)<br>Windows Server® 2012 R2 (64ビット)<br>Windows Server® 2012 (64ビット)<br>Windows Server® 2008 R2 (64ビット)<br>Windows Server® 2008 (32ビット)<br>Windows Server® 2008 (64ビット) |
| <b>スキャナー (WSD) : 出力フォーマット</b> | アプリケーションに依存  |

## ファクス機能

|                |  |
|----------------|--|
| <b>送信原稿サイズ</b> | 最大：A3、11 × 17"   |
| <b>記録紙サイズ</b>  | 最大：A3、11 × 17"<br>最小：A4、8.5 × 11" (レター)  |
| <b>電送時間</b>    | 3秒台<br><br> <b>注記</b><br>・ A4 サイズの 700 字程度の原稿を標準画質 (8 × 3.85 本/mm)、高速モード (28.8 kbps 以上 : JBIG) 送信時。画像情報のみの電送時間で、通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状況により異なります。 |
| <b>通信モード</b>   | ITU-T G3   |
| <b>走査線密度</b>   | 標準：8 × 3.85 本/mm、200 × 100 dpi<br>高画質：8 × 7.7 本/mm、200 × 200 dpi<br>超高画質 (400 dpi)：16 × 15.4 本/mm、400 × 400 dpi  |
| <b>符号化方式</b>   | MH、MR、MMR、JBIG   |
| <b>通信速度</b>    | 33.6/31.2/28.8/26.4/24.0/21.6/19.2/16.8/14.4/12.0/9.6/7.2/4.8/2.4 kbps   |
| <b>適用回線</b>    | 加入電話回線、PBX、最大1 ポート* (G3-1 ポート)<br>* 接続可能な回線数は1回線。ポートとは通信可能なチャネル数。  |

## ダイレクトファクス機能

|   |   |
|---|---|
| 送信原稿サイズ   | A3、B4、A4  |
| 送信画質  | ファクス機能の走査線密度に準ずる  |
| 通信速度  | ファクス機能に準ずる  |
| 適用回線  | ファクス機能に準ずる  |
| 対応OS  | Windows® 10 (32 ビット)<br>Windows® 10 (64 ビット)<br>Windows® 8.1 (32 ビット)<br>Windows® 8.1 (64 ビット)<br>Windows® 7 (32 ビット)<br>Windows® 7 (64 ビット)<br>Windows Server® 2016 (64ビット)<br>Windows Server® 2012 R2 (64 ビット)<br>Windows Server® 2012 (64 ビット)<br>Windows Server® 2008 R2 (64 ビット)<br>Windows Server® 2008 (32 ビット)<br>Windows Server® 2008 (64 ビット) |
| <p> <b>注記</b></p> <p>・最新の対応OSについては、当社公式サイトをご覧ください。</p> |   |

## 両面出力機能

|             |                           |
|-------------|---------------------------|
| 自動両面可能用紙サイズ | 基本機能／コピー機能に準ずる            |
| 用紙坪量        | 60 ~ 169 g/m <sup>2</sup> |

# 自動両面原稿送り装置

|           |  |
|-----------|--|
| 原稿送り装置の種類 | 自動両面原稿送り装置   |
| 原稿サイズ     | 最大：A3、11×17"<br>最小：A5<br> <b>注記</b><br>・非定形サイズでは最小125×125 mm  |
| 用紙坪量      | 38～128 g/m <sup>2</sup> (両面時：50～128 g/m <sup>2</sup> )   |
| 原稿積載枚数    | 110枚<br> <b>注記</b><br>・FUJI XEROX P紙  |
| 原稿読み取り速度  | コピー時：モノクロ 20枚／分、カラー 20枚／分<br>スキャン時：モノクロ 23枚／分、カラー 23枚／分<br>(当社標準原稿 (A4片面)、300dpi/200dpi、ネットワーク保存時)<br> <b>注記</b><br>・読み取り速度は、お客様のご使用環境によって異なる場合があります。 |

## 1トレイモジュール（オプション）

|             |   |
|-------------|---|
| 用紙サイズ       | 最大：A3、11×17"<br>最小：A5   |
| 用紙坪量        | 60～256 g/m <sup>2</sup>   |
| 給紙容量 / 給紙段数 | 560枚 × 1段<br> <b>注記</b><br>・FUJI XEROX P紙  |
| 大きさ         | 幅545×奥行586×高さ113 mm<br> <b>注記</b><br>・ハンドル部突起含む。   |
| 質量          | 11 kg   |
| 本体接続時の占有寸法  | 幅 974 × 奥行 627 mm<br> <b>注記</b><br>・本体+1トレイモジュール（オプション）<br>・トレイ5（手差し）を最大に伸ばし、自動両面原稿送り装置の原稿受けストッパーを開いたとき。 |

# オプション製品について

本機には、次のオプション製品を装着できます。購入方法につきましては、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

| 製品名       | 内容  |
|-----------|---|
| 無線LANアダプタ | 無線LANに接続する機能を追加します。                       |
| 1トレイモジュール | 560枚の用紙をセットできるトレイです（FUJI XEROX P紙使用時）。    |
| 専用キャビネット  | 収納用のキャビネットです。1トレイモジュール装着時に追加できます。         |
| 専用キャスタ台   | 本機を移動させるためのキャスタ付き台です。1トレイモジュール装着時に追加できます。 |

## 💡 補足

- ・オプション製品は予告なく変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。最新の情報につきましては、お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせください。

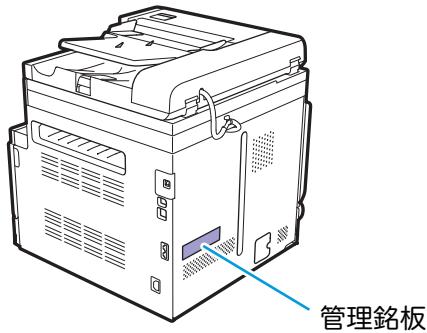
# 保証について

## 保証書について

本機には「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」をご覧ください。また、お買い求めの販売店またはサービス窓口へお問い合わせください。

### 注記

- ・本機の背面に製品の型番、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。お買い求めの販売店またはサービス窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一本機が保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



## 保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- ・ 契約保守  
年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- ・ 出張修理  
サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

## 保守サービスの種類

| 種類           | 概要  | 修理料金              |                 | お支払い方法       | 受付窓口 <sup>*1</sup>     |
|--------------|---|-------------------|-----------------|--------------|------------------------|
|              |   | 保証期間内             | 保証期間外           |              |                        |
| 契約保守         | ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。 <sup>*3</sup> （原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。 | 機器構成、契約期間に応じた一定料金 |                 | 契約期間に応じて一括払い | NEC<br>フィールディング<br>(株) |
| スポット保守（出張修理） | 修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。 <sup>*3</sup> （原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。   | 無料 <sup>*2</sup>  | 修理料<br>+<br>出張料 | そのつど<br>清算   |                        |

<sup>\*1</sup> 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NECサービス網一覧表」もしくは、インターネットのWebページ  
<http://www.fielding.co.jp/per/index.html>  
 をご覧ください。

<sup>\*2</sup> 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

<sup>\*3</sup> 保守サービス会社は保守サービス実施にあたり、マイナンバー（個人番号）は取り扱いません。装置内に印字済み、若しくは印字途中の用紙や、記憶領域等が存在し、マイナンバー（個人番号）を含む情報が残っている可能性がある場合は引取修理を承れませんので、必ずお客様立会いの下に修理を行うこととさせて頂きます。

### 参照

- 保守サービスの最新情報については、インターネットのWebページ  
<http://www.nec.co.jp/products/laser/support/>  
 をご覧ください。

## プリンターの耐久性について

Color MultiWriter 600Fの耐久性は、印刷ページ数が24万枚、または使用年数5年のいずれか早い方です。

# 消耗品と有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について

## 消耗品の寿命について

NEC 純正の消耗品（トナーカートリッジなど）は、MultiWriter の動作・印刷品質がもっとも安定するように、MultiWriter 専用に開発・設計された商品です。

複合機の性能を維持し、安定・快適な出力環境を得るため、NEC 純正の消耗品をご使用されることをおすすめいたします。

NEC 純正品ではない消耗品をお使いになり、その商品が原因でトラブルが起きた場合の対応は、保守契約締結の有無や無償保証期間内か否かに関わらず、有償修理となる場合がございますので、ご注意ください。

| プリンター型番  | 品名              | 印字可能ページ数   | 消耗品型番       |
|----------|-----------------|------------|-------------|
| PR-L600F | トナーカートリッジ（イエロー） | 約8,000ページ  | PR-L600F-11 |
|          | トナーカートリッジ（マゼンタ） | 約8,000ページ  | PR-L600F-12 |
|          | トナーカートリッジ（シアン）  | 約8,000ページ  | PR-L600F-13 |
|          | トナーカートリッジ（ブラック） | 約10,000ページ | PR-L600F-14 |
|          | トナー回収ボトル        | 約15,000ページ | PR-L600F-33 |
|          | ドラムカートリッジ       | 約55,100ページ | PR-L600F-31 |



印字可能ページ数は、A4 □ の用紙を使用した場合の枚数です。印字可能ページ数は、印字内容、用紙のサイズ、種類、使用環境などによって異なりますので、あくまでも目安としてお考えください。

## 有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について

プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。これを有寿命部品（定期交換部品、有償）といいます。

有寿命部品（定期交換部品、有償）は、寿命がくると [交換依頼] のメッセージが表示されます。本機の性能を維持するために早めの交換をお願いします。

次の表を参照して、必要な有寿命部品を確認し、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。なお、有寿命部品（定期交換部品、有償）は、エンジニアが交換いたします。

| エラーコード                                   | 表示メッセージ  | 部品名   | 推奨交換周期<br>(寿命の目安) |
|--|--|---|-------------------|
| 005-479                                  | 自動原稿送り装置の搬送ロールを交換してください。   | 原稿送りローラキット  | 約50,000ページ        |
| 010-421                                  | 定着ユニット[R8]を交換してください。   | 100Kキット   | 約100,000ページ       |
| 071-401<br>072-401                       | トレイ1の搬送ロールを交換してください。<br>トレイ2の搬送ロールを交換してください。   | 左記のいずれかが表示された場合は「現像器キット」の交換時期となります。 <sup>*1</sup> | 約38,000ページ        |
| 093-944<br>093-945<br>093-946<br>093-947 | 現像ユニット[Y]を交換してください。<br>現像ユニット[M]を交換してください。<br>現像ユニット[C]を交換してください。<br>現像ユニット[K]を交換してください。 |   |                   |

<sup>\*1</sup> トレイモジュールをご使用の場合は「オプショントレイロールキット」も交換時期となります。

# 補修用性能部品について

弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を、機械本体の製造終了後7年間保有しています。

## 情報サービスについて

プリンター製品に関する最新情報

インターネット [NEC Web サイト]

URL : <http://jpn.nec.com/printer/laser/>

プリンターに関する技術的なご質問、ご相談

NECプリンタインフォメーションセンター

フリーダイヤル 0120-614-552

(受付時間：9:00～17:00 月曜日～金曜日 \*土・日・祝日および当社所定の休日を除く)

携帯電話・PHSからでもご利用になれます。(電話番号をよくお確かめの上おかけください。)

## MultiWriterサポート窓口について

| MultiWriterサポート窓口 |  |
|-------------------|--|
| 修理受付窓口            | 保守契約(サポートパック含む)されているお客様<br>専用フリーダイヤルへおかけください。(契約後 担当営業または登録窓口より案内)<br>受付時間：年中無休24時間  |
| 修理受付窓口            | 保守契約されていないお客様<br>NECプリンタインフォメーションセンター<br>フリーダイヤル 0120-614-552<br>(受付時間：9:00～17:00 月曜日～金曜日<br>*土・日・祝日および当社所定の休日を除く)<br><br>携帯電話・PHSからでもご利用になれます。<br>(電話番号をよくお確かめの上おかけください。) |
| 使い方相談             |  |

# 使用済みカートリッジ回収について

## ●方法1

### 直接回収

使用済みカートリッジをご購入時の梱包箱に入れて、下記連絡先にご連絡ください（フリーダイヤル）。また、インターネット（電子メール）を利用した受け付けも行っております。1本からでも、当社指定の宅配業者がお客様のところへ回収にお伺いいたします。なお、送料をお支払いいただく必要はありません。

- 連絡先

EP カートリッジ回収センター

TEL : 0120-30-6924 FAX : 0120-30-8049

E-MAIL : ep-kai@mua.biglobe.ne.jp

- 受付時間

9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日を除く)

## ●方法2

### お持ち込みいただく場合

お買い上げの販売店までお持ちください。購入時の梱包箱をご利用くださいますと便利です。



### 補足

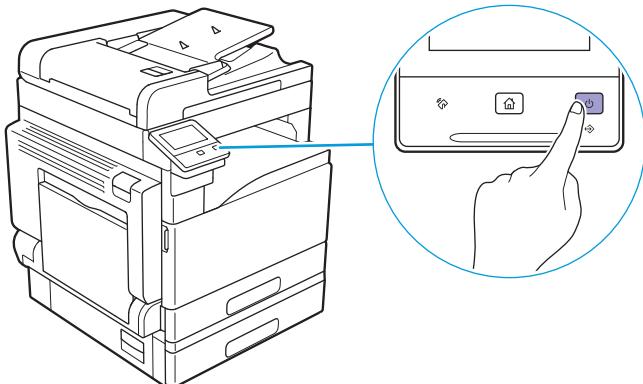
- 回収を希望されないカートリッジ等につきましては、お客様が適切に処分してくださいますようお願い申し上げます。

# 無線LANアダプタ（オプション）の取り付けについて

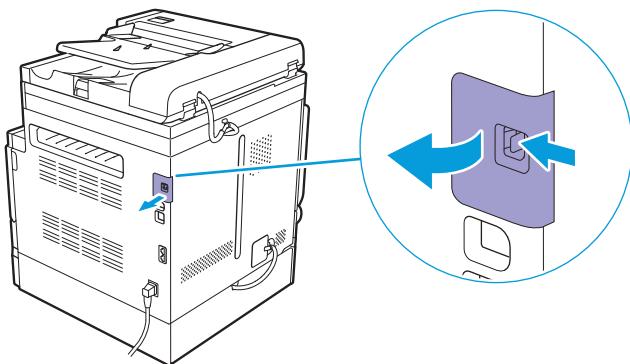
## 1. 本機の電源を切ります。



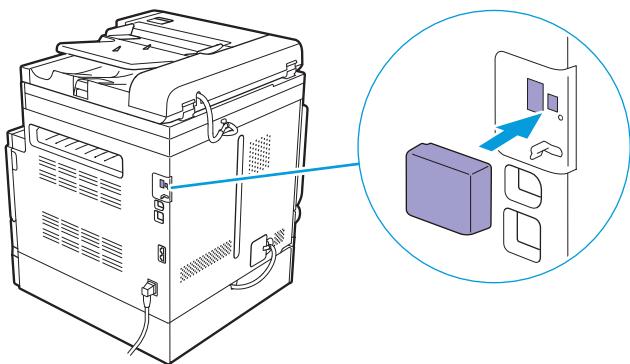
・電源を切る方法については、「電源を切る (P.22)」を参照してください。



## 2. 無線LANアダプタ（オプション）ソケットのカバーを、レバーを左に押して取り外します。



## 3. 無線LANアダプタ（オプション）のコネクターを無線LANアダプタ（オプション）ソケットに差し込みます。



# 「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクについて

「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクには、マニュアルとプリンタードライバー／スキャナードライバー／ユーティリティなどのソフトウェアが収録されています。

「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスクには次のソフトウェアが収録されています。

| OS      | ドライバー/ソフトウェア              | 概要/インストール方法   |
|---------|---------------------------|---|
| Windows | PCL ドライバー<br>(プリンタードライバー) |  <b>参照</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・「[おまかせセットアップ] でインストールする (P.33)」</li><li>・「[好みインストール] でインストールする (P.34)」</li></ul>   |
|         | XPS ドライバー                 | 次のフォルダーに格納されているzipファイルを任意の場所に解凍し、解凍したフォルダー内にあるinfファイルを、お使いのOSでの手順に従ってインストールします。<br>「ソフトウェア/製品マニュアル」ディスク>Software>XPS>i386_amd64> (使用する言語フォルダー)<br> <b>補足</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。</li></ul> |
|         | スキャナードライバー (USB 接続用)      |  <b>参照</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・「[おまかせセットアップ] でインストールする (P.33)」</li><li>・「[好みインストール] でインストールする (P.34)」</li></ul>  |
|         | Print & Scan Hub          |  <b>参照</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・「[おまかせセットアップ] でインストールする (P.33)」</li><li>・「[好みインストール] でインストールする (P.34)」</li><li>・「本機に付属するソフトウェアを使う (P.242)」</li></ul>   |
|         | 宛先表ツール                    |  <b>参照</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・「[好みインストール] でインストールする (P.34)」</li><li>・「本機に付属するソフトウェアを使う (P.242)」</li></ul>  |
|         | ContentsBridge Utility    |  <b>参照</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・「[好みインストール] でインストールする (P.34)」</li><li>・「本機に付属するソフトウェアを使う (P.242)」</li></ul>  |
| Mac     | macOS/OS X用プリンタードライバー     |  <b>参照</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・「Mac用のソフトウェアをインストールする (P.35)」</li></ul>  |

# 工場出荷時の状態に戻す

初期化することで、本機を工場出荷時の状態に戻すことができます。

ただし、次の設定は初期化されません。

- ・ 機械管理者の認証設定
- ・ [認証失敗アクセス拒否] の設定
- ・ [サービスロック] の設定
- ・ [セキュリティーアクセス受信] の設定
- ・ [プリント集計管理] の設定
- ・ [コピー集計管理] の設定
- ・ [USBポート設定] の有効／無効の設定
- ・ [ユーザー認証] の設定

本機を初期化するには、次の手順を実行します。

## ● [ファックス設定] / [スキャン設定] / [ユーザー情報] / [アプリ情報] / [システム設定] / [アドレス帳] の初期化

1. ⌂ <ホーム> ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [メンテナンス] > [NVMの初期化] をタップします。

4. 初期化する項目をタップします。



・項目については、「[NVMの初期化] (P.228)」を参照してください。

5. [スタート] をタップします。

## ● 無線LAN／有線LAN設定の初期化

1. ⌂ <ホーム> ボタンを押します。
2. [機器設定] をタップします。



3. [ネットワーク設定] をタップします。

- 4.** 無線LAN設定を初期化する場合は、[Wi-Fi] > [Wi-Fi設定の初期化] をタップします。  
有線LAN設定を初期化する場合は、[その他] > [ネットワーク設定の初期化] をタップします。



・無線LANを使用している場合に、[ネットワーク設定の初期化] をタップすると、無線LAN設定と有線LAN設定の両方が初期化されます。

- 5.** [スタート] をタップします。

